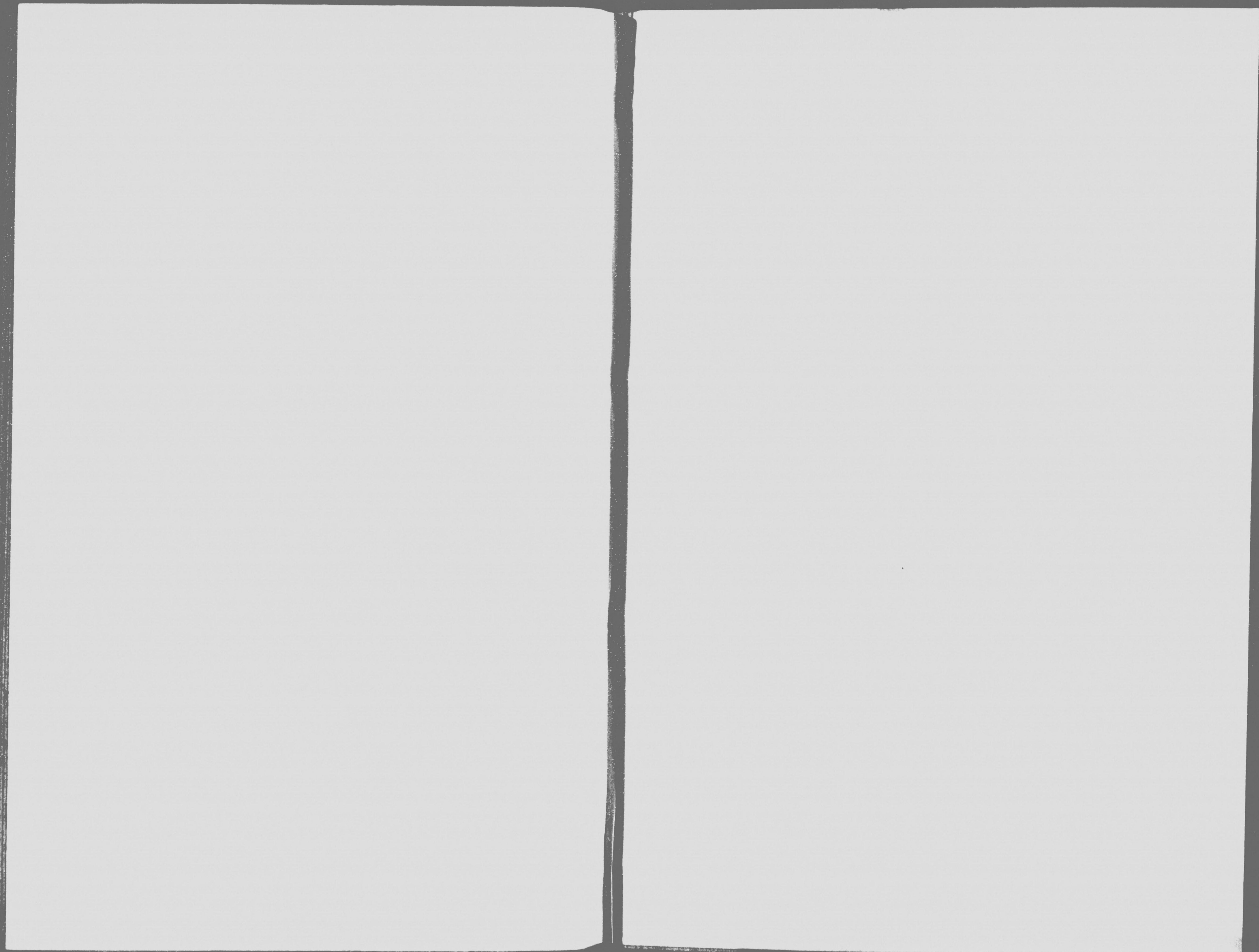


701  
90

〇  
複写

事故本  
乱丁あり  
夕の項の  
P59~60は  
ツの項の  
P6の後にあり







1E 3K-74

資本金 五千七百五十萬圓(拂込済)  
諸積立金 八千參百八拾八萬圓

東京市麴町區丸ノ内二丁目一番地



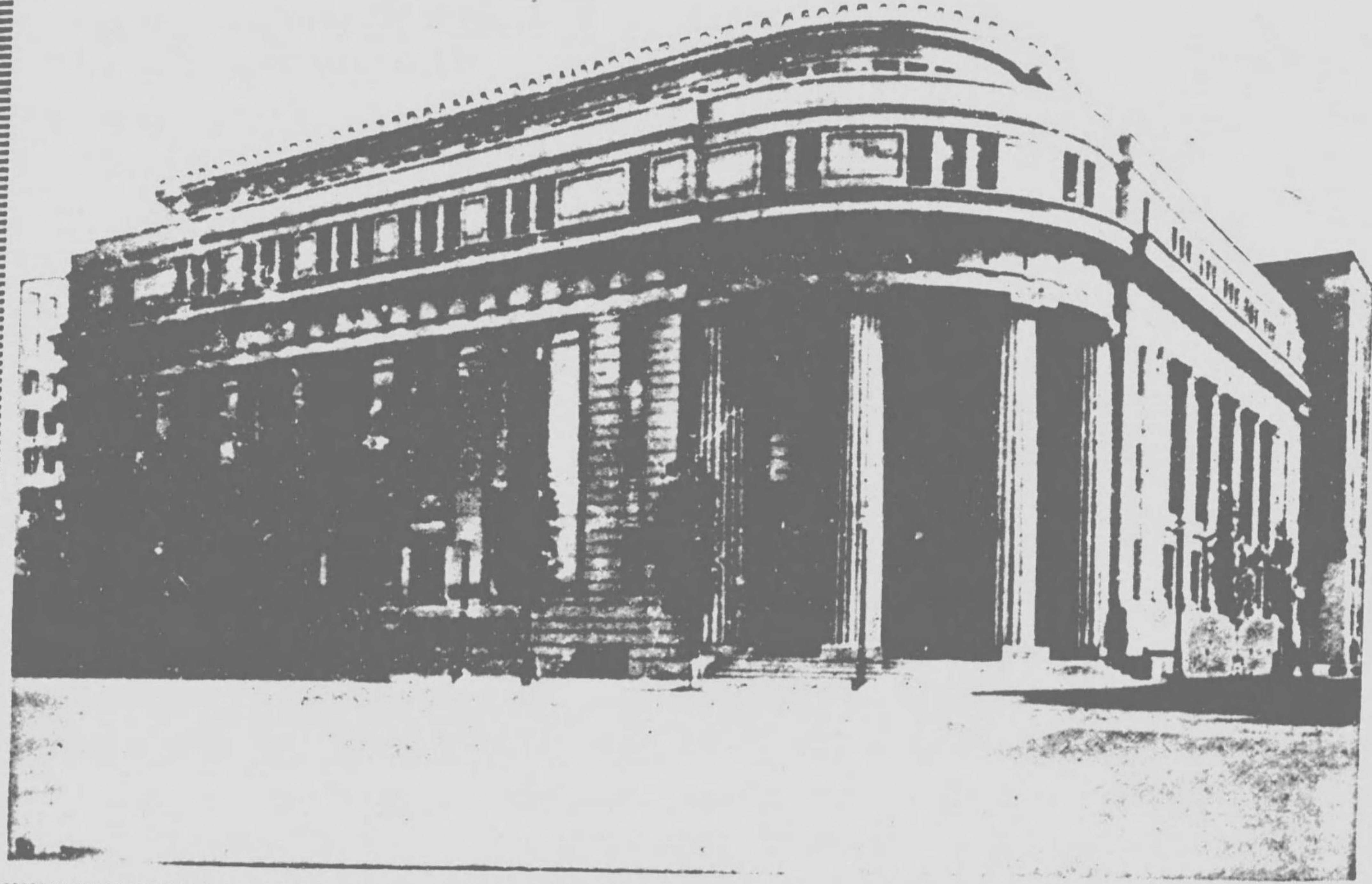
株式會社

# 第一銀行

電話丸ノ内(23) 一一五五八一一(〇〇)

## 支店所在地

東京、川崎、横浜、豊橋、名古屋、四日市  
京都、大阪、神戸、廣島、下關、門司  
小倉、福岡、久留米、熊本、函館、小樽  
札幌、宇都宮、足利、栃木、桐生、館林  
京城、釜山、大連







株式會社 三 菱 社  
三 菱 地 所 株 式 會 社  
株 式 會 社 三 菱 銀 行  
三 菱 鑛 業 株 式 會 社  
三 菱 重 工 業 株 式 會 社  
三 菱 信 託 株 式 會 社  
三 菱 商 事 株 式 會 社  
三 菱 倉 庫 株 式 會 社  
三 菱 石 油 株 式 會 社  
三 菱 海 上 火 災 保 險 株 式 會 社  
三 菱 電 機 株 式 會 社  
三 菱 石 炭 油 化 工 業 株 式 會 社



三 井 合 資 會 社  
三 井 物 產 株 式 會 社  
株 式 會 社 三 井 銀 行  
三 井 信 託 株 式 會 社  
三 井 生 命 保 險 株 式 會 社  
三 井 鑛 山 株 式 會 社  
東 神 倉 庫 株 式 會 社





# 帝國海上火災保險株式會社

## 營業科目

海陸保險、運送保險、航空保險、火災保險、自動車保險  
傷害保險、信用保險、森林保險、硝子保險、盜難保險

本社 東京市麴町區大手町一丁目六番地

取締役社長 阿部 壽 準  
常務取締役 戸倉 惣太 郎  
常務取締役 菊地 文吾

支店 大阪・神戸・横濱・名古屋・京都・福岡・新京  
代理店 内地・滿鮮・支那・印度・歐米樞要ノ地ニアリ



# 株式會社 安田銀行

資本金 壹億五千萬圓  
積立金 七千九百六十六萬圓

東京市麴町區大手町一丁目六番地

電ノ内話 (23) 代表三四五一・三四六一

## 支店 所在地

東京 宇都宮 上野 旭 烏 笠 門 八  
京都 田宮 川 取 岡 司 代  
横濱 足利 鶴岡 小 井 米 大 小  
濱 岡 利 岡 樽 阪 原 子 倉 兒  
濱 福 山 札 茨 松 八 釜  
松 島 形 幌 木 江 山 幡  
名古屋 郡 米 函 京 岡 尾 枝 京  
山 屋 澤 館 都 山 道 光 城  
甲 府 津 本 蘭 鶴 野 島 廣 州 平  
前 橋 臺 谷 路 鶴 寺 井 岡  
高 盛 上 根 神 津 高 長  
崎 岡 崎 訪 室 戶 山 崎 松  
桐 青 飯 帶 福 倉 丸 熊  
生 森 田 廣 井 敷 龜 本  
伊 勢 秋 長 野 金 玉 觀 高  
崎 田 野 牛 澤 島 寺 瀨



# 竹内金庫

優秀無比

堅牢第一

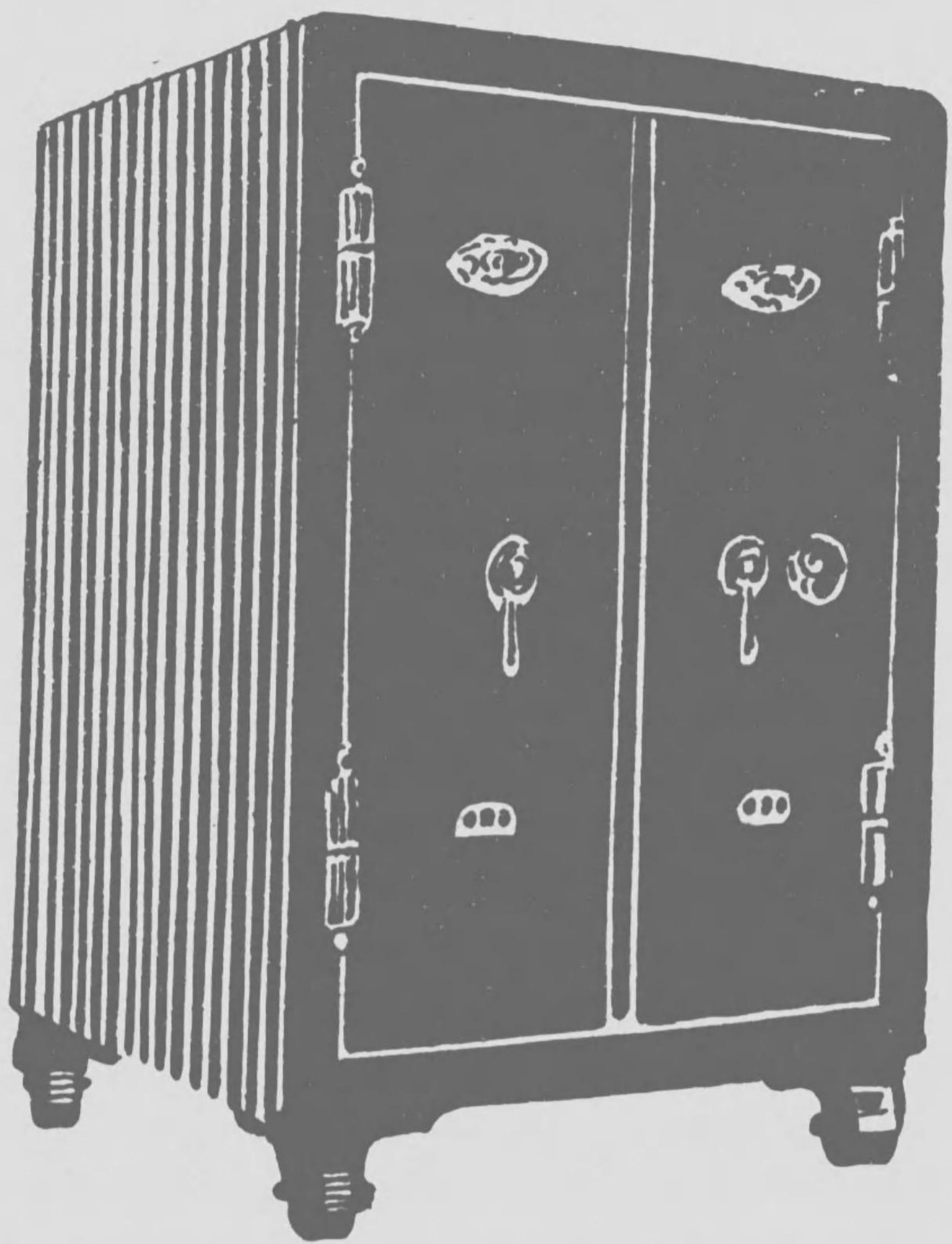
外觀最美

大日本金庫製造元祖  
ベント式金庫創製

合資  
會社

東京・馬喰町  
竹内金庫店

電話 隔花 (67) 五五五  
振替口座東京 一一一  
六六六  
二一〇  
番番番  
番番番



## 特許製品目錄

御法川多條式線絲機  
御法川二九式燃燒機  
I M 自動給炭機  
御法川船用自動給炭機  
ニューデルタ電動卓上錐  
小型シエーパー 其他

東京市小石川區初音町

電話 小石川 (85) 五二二  
一一四  
二〇  
一六一

# 合名會社 御法川工場

## 發賣代理店

淺野物産株式會社  
三井物産株式會社  
合資會社泰明商會  
合資會社ナカヤス商會

## 工場

御法川工場川口出張所

埼玉縣川口市金山町

電話 川口 二二二  
九七四  
四一三  
三五六  
番番番



▽ 徵兵保險  
▽ 結婚保險  
▽ 總契約高  
▽ 總資產

▽ 戰友共濟保險  
▽ 護國養老保險  
拾貳億五千參拾壹萬圓  
貳億四千七拾六萬圓



# 第一徵兵保險株式會社

本社 東京市京橋區銀座西三丁目

電話京橋 自二一〇一 至二二〇五  
自二一五七 至二二六九  
振替口座 東京 二九四〇番  
大阪 六八四〇番

取締役社長 太田新吉



# 高島屋飯田株式會社

東京市京橋區銀座西二ノ一

電話京橋 (56) 自一〇二一 至一〇二五  
自一〇二八 至一〇三二  
七一六三 至七一六六  
七六三三 至七六三六  
八七四〇 至八七四四  
八二四六 至八二四八

取締役社長 飯田藤二郎  
常務取締役 後藤忠治郎  
常務取締役 齊藤良清

支店出張所々在地

大阪・神戸・名古屋・奉天・横須賀・倫敦・シドニー  
南米・上海・天津・大連・新京・漢口・安慶

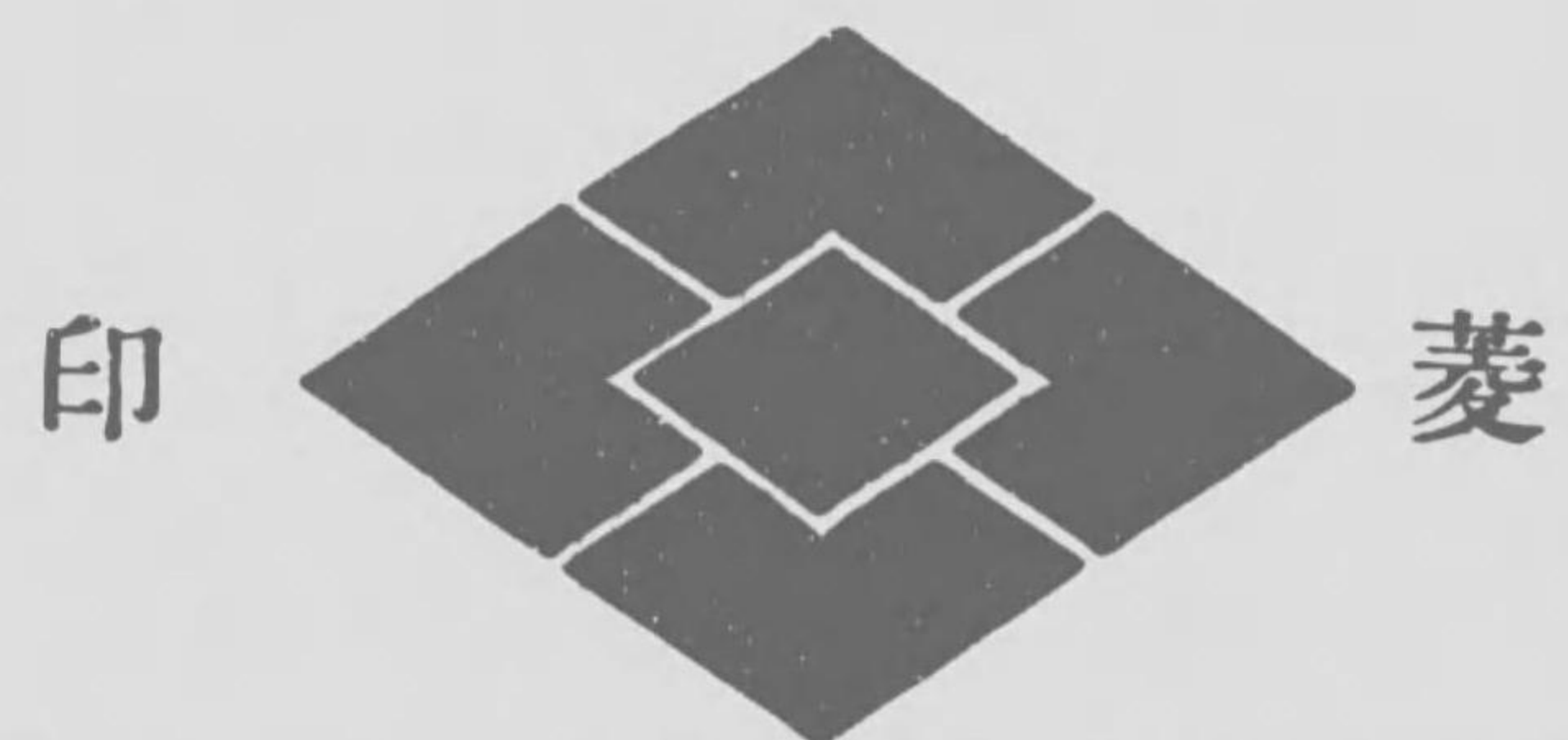




# 日本發送電株式會社

資本金 七億參千九百參拾壹萬五千參百圓

本社 東京市小石川區小石川町壹番地



創業明治四十年九月

## 製 品 種 目

各種板硝子	安硝子	硝子	苛性ソーダ	純無水炭酸ソーダ	重炭酸ソーダ	セスキ炭酸ソーダ	鹽化カルシウム	耐火煉瓦	電融鑄造耐火煉瓦
-------	-----	----	-------	----------	--------	----------	---------	------	----------

資本金 四千百貳拾五萬圓

東京市丸の内

## 旭硝子株式會社

電話丸の内(23) 一代表番號 三三二八五

### 工場及試験所

試驗所	伊保工場	鶴見工場	牧山工場	尼崎工場
橫濱市鶴見區	兵庫縣伊保區	橫濱市鶴見區	福岡縣戶畑市	兵庫縣尼崎市

### 支店及出張所

東京支店	大阪支店	門司支店	名古屋支店	小樽出張所
東京市京橋區京橋二ノ四	大阪市東區道修町四ノ五	電話北濱六六五	電話門司二二〇番地	電話小樽三六四





# 官界名鑑



## 食物の完全消化

### タカチアスターゼ

タカチアスターゼは一般の局方チアスターゼ類の追隨を許さざる強力なる消化力を發揮し、酵素劑の至難とせる糖化力の一定を期し更に興味深き特性は

胃酸液腸アルカリ液に消化力阻害されず又食塩、醬油と混在するも消化力は絶対に減退しない事實である。

(適應症)

消化不良 胃酸過多 食慾不振

東京市日本橋區室町

三共株式会社



三〇〇錠  
一〇〇錠





凡例

- 一、本書は大日本帝國官公吏を登載し調査要項は位階、勳等、爵位、學位、官職名、出生地、閱歷、趣味、家庭、現住所、電話番号等の廣範圍に及ぶ
- 一、資料蒐集に就いては其の資格標準に因り身元、閱歷に就きて本人へ直接照會又調査員を訪問せしめ一層の完璧を期したるも數度の照會にも回答を得ざるものあり、又編纂後回答を得たるものあり、何れも編者の遺憾とする處なるも次版を以て補足充實を期さんとす
- 一、從來此種出版物は書籍豫約若しくは掲載料徴收に因り編纂せるものあり、從つて當然掲載すべき人物にして除外せる例あるも當社に於ては絕對嚴正なる方針の下に編纂し凡そ當社の資格標準に因れるものは本人の諾否に拘らず之を掲載せり、以て純然たる文獻たらしめんとす
- 一、本書家庭欄中の生年(明)は明治、(大)は大正、(昭)は昭和の略稱、例へば(明五)は明治五年、(大五)は大正五年、(昭五)は昭和五年を示せり、略稱中正三勳三功三工博は正三位勳三等功三級工學博士の略稱高文合格は文官高等試験合格の略稱なり、學校名は帝大は帝國大學、醫大は醫科大學、高商は高等商業、高工は高等工業、高校は高等學校、高師は高等師範、高女は高等女學校等の略稱なり
- 一、本書は總て「五十音」順に配列せり、目次は通俗的發音に依るも本書使用者にして一稱呼に於て發見し得ざる場合は更に他の稱呼に依られたし、例へば小「オ」の部に發見し得ざる時は「コ」の部に求むるが如し
- 一、べ切に間に合はざりしものは「五十音順」に據らず一括して掲げたれば目次又は卷末を一覽せられたし編纂に就きては努めて正確を期したるも印刷中敍位動、死亡、轉居、轉任、退官に因る變動又止むを得ざる所とす
- 一、編輯後及印刷後判明せる移動は別に掲載せり

昭和拾五年八月

編者識



























































































































アの部

安 徳

從五 內務技師兼興亞院技師  
土木局第一技術課勤務

安 徳

德島縣士族明治卅五年四月九日出生大正十一年新潟高校同十五年東京帝大工學部土木工學科各卒業同年內務工手拜命昭和四年任內務技師東京土木出張所勤務同十二年土木試驗所兼動ノ經テ現特前記ノ職ニ在リ 國籍 市保土谷區神戸土町六六二

安 徳

正五勳五 水産講習所教授兼兼  
議院書記官兼農林事務官 水産講習所庶務課長

安 徳

大分縣官平ノ四男明治廿二年七月十五日同縣日田郡夜明村ニ生ル同四十四年大分師範卒業同校附屬小學校訓導拜命爾後福壽縣中學東京成城中學各教諭ニ歴職後農林省水産局ニ大リ現特前記ノ任ニ在リ 國籍 妻アキ子(明廿六) 福壽縣山手町一四四女立高女(明廿六) 二男(一) 大十四(二) 東京市小石川區小日町一ノ一五九(大塚一八一)

安 徳

從五勳六 愛知縣書記官 經濟

安 徳

東京府士族得時二男明治卅三年二月十七日出生大正十三年東京帝大法學部英法科卒業直ニ內務省ニ入り京都府屬拜命同十五年任地方事務官高知縣學務部社寺兵事課長兼社會課長社會局事務官社會部職業課勤務社會局事務官兼

安 徳

社會局書記官勞動部勞務課長社會局書記官專任厚生書記官勞動局勞務課長等歷任昭和十四年四月勞働局指導課長ヲ經テ同年九月現職ニ就ク 國籍 讀書登山(國籍)妻政子(明四〇) 倉田雲平長女久留米高女卒(嗣子仰也(昭五)) 長女敬子(同四) 二男純也(同十二) 三名古屋市千種區田代町越前三八〇千種一〇九〇

安 徳

從七 軍事保護院理事官 總裁

安 徳

從五勳五 司法書記官 行刑局

安 徳

從五勳六 臺灣總督府事務官

安 徳

從五勳四 特許局事務官 總務

安 徳

正五勳四 特許局事務官 總務

安 徳

正五勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

安 徳

從四勳四 文部省督學官 教育

山形縣人久右衛門長男明治十五年二月廿一日出生同卅九年東京帝大文學部哲學科卒業仙臺第一長野各中學教諭富岡宇佐會津明倫愛知縣立第一大阪府立北野各中學校長等歷任昭和十二年現職ニ任テ 國籍 讀書旅行(國籍)妻およし(明廿一) 宮城縣川村豐吉三女仙臺松操高女卒(長男明(大三) 二男徹(同六) 三男彰(同十一) 池田市石橋町官舎(石橋二二)

從五勳五 醫學專門部教授 臺北帝大附屬

正五勳五 醫學專門部教授

新瀉縣乙次ノ二男明治廿四年八月出生大正四年新潟醫專卒業同五年京都帝大醫學部助手同八年臺北醫專教授ヲ經テ現職ニ就ク同十三年歐米ニ留學同十四年學位ヲ受ク 國籍 國籍 妻芳美(明廿八) 長女美都子(昭二) 二女幸子(同十) 國籍 臺北市千歲町二ノ二八(昭四) 八八一

從五勳四 特許局事務官 總務

正五勳四 特許局事務官 總務

秋田縣人青柳軍兵四男明治卅一年四月三日出生同四十四年安達元之助ノ養子トナル大正九年高文合格翌年東京帝大法科卒業特許局屬同事務官總務部登錄課長審判部書記課長總務部出願課長兼任商工事務官總務部調查課長商工書記官大臣官房統計課長等歷任昭和十一年特許局事務官審判部長同十三年札幌山監督局長ヲ經テ同十五年六月現職ニ就ク同七年歐米各國へ出張ス(國籍)妻父元之助(明八) 養母エイ(同十八) 妻憲子(同卅八) 東京府田村藤四郎長女三輪田高女卒(長女祥子(昭五)) 東京市麴町區三年町特許局內

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育

從四勳四 文部省督學官 教育







長女千葉高女卒(長男政一(大十四)長女タエ子(同六、筑紫高女卒)二女カヅ子(昭三) 長崎縣南高來郡島原町古丁

安藤 明道 從四勳四 興亞院調査官 華中愛知縣增吉二男明治廿七年十月出生同四十四年家督相續大正八年高文合格翌年京都帝大經濟學部卒業大藏省司稅官關東廳事務官內務局財務課勸務課課長次ヲ歐米ニ出張關東廳秘書官長官々房秘書課長次ヲ歐米ニ出張關東廳秘書官兼任稅務監督局書記官大阪稅務監督局直稅部長同局總務部長大藏書記官主稅局經理課長等歷任昭和十二年九月長崎稅關長ニ任ジ同十四年三月前記ノ職ニ就ク 妻倭子(明廿四、岐阜縣林友九郎二女)男誠太(大十四)二男錠治(昭四) 東京市本郷區駒込林町三五 駒込五〇五

安藤 一雄 從三勳二 工博 九州帝大教授 香川縣人大西盛太ノ弟明治十六年五月出生後先代虎之輔ノ養子トナリ大正八年家督相續明治四十一年東京帝大工科應用化學科卒業歐米各國ニ留學歸朝後東京帝大九州帝大各助教授歷任大正六年學位ヲ受ク同九年戰後ノ工業視察ノ爲メ歐米ニ遊ビ昭和四年及同十年更ニ外遊現時九州帝大教授工學部長タリ 妻洋子(國產養母タキ(明六)妻ミツヨ(同十八)養父虎之輔長女高松高女卒)女恰子(大七)女エミ子(同十一) 福岡市渡邊通五丁目北川端九五六 西三一三六

農事試驗場技師試補同技手ヲ經テ同廿一年同技師ニ進ム歐米出張數度大正八年學位ヲ受ク現時農事茶葉園藝各試驗場長タリ昭和十年七月帝國學士院會員被仰付兼ニ東京帝大農學部教授タリ 妻はな(明六、兵庫縣本庄忠治姉)長男秀夫(同廿)同妻ミサ(同廿六、陸軍少將津田時若長女勉町高女卒)同長男誠(昭五)同二男實(同七)二男英二(昭四三) 東京市澁野川區西ヶ原町官舎團駒込四一五

東京府儀兵衛ノ二男明治十二年四月八日出生大正三年家督相續明治廿六年東京帝大文科英文科卒業更ニ大學院ニ學ブ長崎商學教授ヲ經テ同十四年現職ニ就ク大正八年英米ニ留學ス 妻幸子(明十一、文博幸田成行妹從四勳三前東京音樂學校教授提琴家)男熙(同四〇)男膺(同四四)男馨(大三)四男品(同九) 東京市上京區東三本木通丸太町上 五八九〇

年現職ニ就ク 妻恒子(伴甲藏妹淑德高女卒)男謙二(昭三) 東京市中野區上野原町八 安藤 蘇峰 正六 保險院技師 社會保險局栃木縣人明治廿年七月九日出生大正十五年京都帝大理學部卒業內務省社會局技手昭和五年社會局技師ヲ經テ現時前記ノ職ニアリ 東京市中野區鷺宮四ノ四八三田中方

安藤 祐事 從四勳四 新潟高校教授 愛知縣稻葉俊成三男明治十九年九月十三日出生後安藤家ノ養子トナル同十四年東京帝大文科國文學科卒業東京府立第三中學教諭ヲ經テ現職ニ就ク 妻瑠璃(明廿六、富田養淳長女中津川高女卒)二女澄子(大三、日本女大卒)三女三枝子(同九、新潟高女卒)四女淑子(同十二) 新潟市關屋町二八ノ一 三一四六

安中 忠雄 從五 群馬縣書記官 學務部長 新潟縣土族石次郎長男明治廿八年十二月廿七日出生昭和三年東京帝大法學部英法科卒業同年愛知縣警部同縣屬爾來同五年地方警視滋賀縣保安課長地方事務官同縣社會課長同九年廣

足立 俊夫 從七 東京市豐島區主事 教育 東京府房次郎ノ長男明治十九年三月一日出生同四十年東京洋協會專門學校卒業朝鮮總督府ニ入り大正十四年東京市ニ轉ス兼ニ戶籍兵事課長タリ 妻魚沼(明廿七、志和太一) 東京市本郷區各卒)二女禮子(同十三)三男和夫(昭元) 東京市豐島區椎名町六ノ二七八 昭合長崎三一七五

安藤 一郎 從四勳三 第三高校教授

鳥取縣社會課長同十年社會局事務官保險部勤務等歷任同十二年內務事務官計畫局勤務同十三年タイ國在勤ヲ經テ同十四年九月現職ニ就ク 妻菊子(明四一、岐阜縣津高女卒)長男和彦(昭五)長女敬子(同八)二男端彦(同十) 前橋市曲輪町六一官舎 二八四七

足立 仁 正五勳四 臺北帝大教授 理農 北海道人元太郎長男明治廿年十一月出生大正元年家督相續同十年北海道帝大農科農藝化學科卒業北海道帝大助手同助教授臺灣總督府高等農林教授臺北帝大助教授兼同附屬農林專門部教授等ヲ經テ昭和四年現職ニ就ク 妻獨英米各國ニ留學ス 妻みづ子(明四〇、千葉縣鈴木貫太郎二女)長男元彦(昭二)長女洋子(昭四)二男道彦(同十二) 東京市大田區安城四六二 昭四二一



東京府人確三ノ男明治廿九年十月廿九日出生  
大正八年東京帝大工學部探礦冶金科卒業農商  
務技師十年農務技師十四年農商務技師同  
年商工技師十五年農務技師所技師兼任昭和  
十三年八月臨時物資調整局技師兼商工技師第  
一部第一課長ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク  
【東京府魚沼郡男(大十五) 女信子(同十三)  
東京市四谷區本村町三九四四谷一〇九

足立芳之助 長 正五勳五 滋賀縣立彦根中學校  
京都府理兵衛三男明治廿年四月十四日出生同  
四十二年東京高師卒業鳥取商業三次中學各教  
諭世羅虎姫各中學校校長ヲ經昭和五年現職ニ就  
ク【東京府妻小み子(明治廿) 京都府小牧村長女福  
知山高女(卒) 長男芳郎(大三) 一男芳徳(同十  
五) 二女順子(昭六) 昭彦根市下番衆町二二  
足羽 則之 正六 鐵道省事務官 運輸局勤  
務

鳥取縣人昭和四年東京帝大獨法科卒業鐵道省  
事務官鐵道局副參事東京鐵道局人事課長ヲ經  
テ昭和十三年現職ニ就ク【東京府妻小み子(明治廿五)  
東京市大森區馬込町東四ノ二六八八大森六  
三二七

我妻 榮 正五勳三 東京帝大教授 法學  
山形縣又次郎ノ長男明治廿年四月一日米澤市  
ニ出生大正九年東京帝大獨法科卒業業同大  
學助手助教授ヲ經テ昭和二年現職ニ就ク大正  
十二年歐米各國ニ留學ス【東京府妻小み子(明治廿八) 鈴  
木米次郎(三女佛英和高女卒) 長男洋(昭三) 二  
男堯(同五) 東京市板橋區石神井南田中一〇  
七一 石神井一二二

阿賀 正美 從五 保險院書記官 社會保險  
福岡縣人明治廿六年三月十六日同縣若松市ニ  
出生大正十五年東京帝大法學部政治科卒業東  
京府ニ入り次テ内務省社會局勞働部勤務昭和  
四年任地方法務官官廳勤務山梨縣農商課長  
千葉縣社會課長等歷任昭和十年社會局事務官  
保險部勤務ヲ經テ同十三年四月現職ニ就ク  
【東京府妻小み子(明治廿四) 東京府江口六四女) 長  
男正宏(同七) 二男義文(同九) 東京市世田谷  
區野澤町一ノ九二 昭世田谷三八二一

阿久津國造 從四勳三 北海道帝大教授 工  
栃木縣龜松ノ二男明治廿三年八月廿八日出生  
大正四年分家ス同二年東京帝大工科造船科卒  
業同十二年歐米各國ニ留學歸朝後現職ニ就ク  
【東京府妻小み子(明治廿五) 東京  
府中村三郎養妹九段精華高女(女) 女きよ(大十  
一) 昭札幌市大通東七ノ一四八四六

阿久津隆二 從四勳四 東京商大附屬商學專  
門部教授  
栃木縣人耕作ノ二男明治十六年九月廿二日出  
生大正十年分家ス夙ニ米國ニ留學シネッソ州  
立大學卒業バチユラー、オア、ローノ稱ヲ受ケ  
歸朝後栃木中學同商業廣島商業各教諭山口東  
京各商教授東京商大豫科教授兼附屬商學專  
門部教授同學生主事等歷任昭和七年東京商大  
豫科教授同十一年二月現職ニ就ク【東京府妻小み子(明治廿四) 栃木縣飯島善治長女)  
女智恵子(大七) 女惠美子(同十一) 女典子  
(昭三) 東京市板橋區西大久保三ノ一三八四  
四谷六七四〇

阿南 惟雄 從四勳二 陸軍中將 陸軍次官  
大分縣人尙ノ二男明治廿年二月廿一日出生夙  
ニ陸軍士官學校卒業任步兵少尉爾來累進陸軍  
少將ニ陞ル其間陸軍大學校卒業步兵一聯隊附  
參謀本部々員步兵第四十五聯隊附侍從武官兼  
軍事參議院幹事近衛步兵第二聯隊長東京陸軍  
幼年學校長昭和十二年陸軍省人事局長等歷任  
同十四年十月現官ニ就ク【東京府妻小み子(明治廿四) 熊本縣竹下平作二女水戸  
高女(卒) 長男惟敬(大十) 二男惟義(同十二) 長  
女喜美子(昭元) 三男惟正(昭八) 二女聰子(同  
十一) 東京市麹町區永田町一ノ二〇官舎  
銀座二五五六

阿部 謙藏 正五勳四 文部省宗敎局長  
京都府人安太郎ノ二男明治廿年一月出生昭和  
八年分家大正十年京都帝大法科獨法科卒業業同  
十一年高文合格埼玉縣兒玉北埼玉各郡長地方  
事務官埼玉縣各縣勤務地方警視栃木官廳各  
縣勤務文部書記官學生部學生課長思想部思想  
課長大臣官房文書課長資源局事務官文部書記  
官兼内閣調查局調查官等歷任昭和十二年文部  
省思想局長敎學局企畫部長同十四年高松高商  
校長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク同十一  
年歐米各國ニ出張セリ【東京府妻小み子(昭五) 長  
女美也子(昭三) 二女明子(同八) 東京市澁谷  
區金王町五〇三三四七〇

阿部 嘉輔 正五勳三 海軍少將 企畫院部  
山口縣人明治十八年出生同十四年海軍兵學  
校卒業海軍少尉ニ任テ昭和十三年海軍少將ニ  
累進兼ニ内閣調查局調查官ヲ兼任ス【東京府妻小  
子 長男秀夫(昭六) 鎌倉市西佐助一六五七

阿部 嘉七 從四勳三 門司市長  
熊本縣人嘉平ノ三男明治十八年三月出生同四  
十三年神戶高商ヲ卒業次テ東京高商專攻部ヲ  
卒ヘ大正元年高文合格爾來石川縣屬津島總督  
府事務官山形縣理事官高知岡山兵庫各縣警務  
部長警視廳書記官大分茨城靜岡各縣知事歷任  
昭和十一年四月退官同十二年門司市長トナル  
【東京府妻小み子(昭六) 長野縣  
增田通三女) 男才三(同四五) 東京帝大法科卒  
男仁助(大三) 同大學在) 男弘吉(同五) 靜岡高  
校在) 昭門司市一坂町公宅二二

阿部 嘉輔 正五勳三 海軍少將 企畫院部  
山口縣人明治十八年出生同十四年海軍兵學  
校卒業海軍少尉ニ任テ昭和十三年海軍少將ニ  
累進兼ニ内閣調查局調查官ヲ兼任ス【東京府妻小  
子 長男秀夫(昭六) 鎌倉市西佐助一六五七

阿久根 睦 正五勳四 海軍軍醫大佐  
鹿兒島縣人助市ノ二男明治廿七年四月出生昭  
和十年分家ス大正八年東京帝大醫學部卒業海  
軍々醫中尉ニ任テ昭和十年海軍々醫大佐ニ累  
進其間佐多軍醫長佐世保海軍病院敎官吳海軍  
病院敎官獨逸國駐在伊勢軍醫長兼分隊長海軍  
々醫學敎官兼監事兼名古屋醫科大學敎授ヲ  
歷任昭和七年學位ヲ受ケ【東京府妻小み子(昭五)  
妻(昭五) 鹿兒島縣中村吉太郎長女鹿兒島  
縣立第一高女(卒) 男淳(昭三) 女和子(大十一)  
二女恭子(同十三) 三女治子(昭八) 四女周子  
(同十) 名古屋千種區覺王山通一ノ四ノ二  
千種一〇〇三

阿曾 均 從四勳四 鐵道省工務局長  
和歌山縣士族章一郎長男明治廿二年八月二日  
出生大正四年九州帝大工科土木工學科卒業鐵  
道院技師同鐵道局技師鐵道技師等歷任其  
間東京鐵道局新橋保線事務所長門司鐵道局保  
線課長同工務課長鐵道監察官工務局保線課長  
等歷任昭和十二年七月現職ニ進ム【東京府妻小  
子(昭三) 現戶主) 養母チチ(同十四) 妻スズ子  
(同三) 愛知縣鶴岡賢一長女久留米高女(卒)  
長男紀(昭三) 長女アキ子(大十) 二女京(同十  
五) 東京市大森區田園調布三ノ三六六 田  
園調布二九三二

阿知和彦 正五勳五 官幣大社朝鮮神宮々  
愛知縣秀穂ノ長男明治六年十月出生同廿九年  
家督相續同廿年任神宮官掌神宮皇學館助敎授  
別格官幣社建勳神宮官幣中社吉田神社宮  
司別格官幣社東照宮官司神宮禰宜神宮神部署

阿部 一 從四勳五 內務技師 下關土木  
宮城縣幾之助長男明治廿六年二月出生大正七  
年京都帝大工科土木工學科卒業業內務工手次  
內務技師ニ任テ仙臺土木出張所勤務ヲ經テ現  
職ニ就ク【東京府妻小み子(昭六) 宮城縣佐  
藤二郎長女仙臺東華高女(卒) 男桂一(大十二)  
女保子(同九) 二男力(昭四) 昭下關市阿彌陀寺  
前町同出張所內

阿部 謙藏 正五勳四 文部省宗敎局長  
京都府人安太郎ノ二男明治廿年一月出生昭和  
八年分家大正十年京都帝大法科獨法科卒業業同  
十一年高文合格埼玉縣兒玉北埼玉各郡長地方  
事務官埼玉縣各縣勤務地方警視栃木官廳各  
縣勤務文部書記官學生部學生課長思想部思想  
課長大臣官房文書課長資源局事務官文部書記  
官兼内閣調查局調查官等歷任昭和十二年文部  
省思想局長敎學局企畫部長同十四年高松高商  
校長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク同十一  
年歐米各國ニ出張セリ【東京府妻小み子(昭五) 長  
女美也子(昭三) 二女明子(同八) 東京市澁谷  
區金王町五〇三三四七〇

阿部 嘉輔 正五勳三 海軍少將 企畫院部  
山口縣人明治十八年出生同十四年海軍兵學  
校卒業海軍少尉ニ任テ昭和十三年海軍少將ニ  
累進兼ニ内閣調查局調查官ヲ兼任ス【東京府妻小  
子 長男秀夫(昭六) 鎌倉市西佐助一六五七

阿部 嘉七 從四勳三 門司市長  
熊本縣人嘉平ノ三男明治十八年三月出生同四  
十三年神戶高商ヲ卒業次テ東京高商專攻部ヲ  
卒ヘ大正元年高文合格爾來石川縣屬津島總督  
府事務官山形縣理事官高知岡山兵庫各縣警務  
部長警視廳書記官大分茨城靜岡各縣知事歷任  
昭和十一年四月退官同十二年門司市長トナル  
【東京府妻小み子(昭六) 長野縣  
增田通三女) 男才三(同四五) 東京帝大法科卒  
男仁助(大三) 同大學在) 男弘吉(同五) 靜岡高  
校在) 昭門司市一坂町公宅二二

阿部 嘉輔 正五勳三 海軍少將 企畫院部  
山口縣人明治十八年出生同十四年海軍兵學  
校卒業海軍少尉ニ任テ昭和十三年海軍少將ニ  
累進兼ニ内閣調查局調查官ヲ兼任ス【東京府妻小  
子 長男秀夫(昭六) 鎌倉市西佐助一六五七

主事同愛知支署長國幣中社諏訪神社宮司ヲ歷  
補昭和六年現職ニ就任ス【東京府妻小み子(昭四)  
(明十一) 靜岡縣下田新左衛門(男) 安邦(同四  
一) 早大專門部卒) 男晃彦(大元) 橫濱高工卒)  
女由貴子(同三) 長崎高女卒) 女清子(同四) 京  
城高女卒) 女茂子(同五) 同校卒) 女二見子(同  
七) 龍谷高女卒) 女和子(同十一) 東京府三坂  
通官舎龍山七七五

阿妻 利八 從五勳五 東京府立第四高等女  
福島縣鈴木榮吉ノ二男明治十六年一月六日出  
生後同縣阿妻實太郎ノ養子トナル同十四年  
東京高師卒業同校敎諭兼生徒監補助ヲ經テ愛  
媛縣女子師範敎諭宮城縣立瀧谷高女校長等歷  
任大正十一年現職ニ就ク【東京府妻小み子(昭三)  
東京府妻小み子(昭三) 養父實太郎長女會津女學  
卒) 長男知幸(大六) 東京高師卒) 二女トシエ  
(明四四) 東京女師範二部卒) 三女光枝(大三)  
府立第四高女卒) 文化裁縫女學卒) 四女久枝  
(同十三) 府立第四高女卒) 二男忠夫(昭三) 同  
八王子市明神町四八三 昭一四〇

阿刀田令造 正四勳三 第二高校々兼長敎授  
宮城縣人義潮長男明治十一年八月七日出生大  
正十一年家督相續明治廿八年東京帝大文科史  
學科ヲ卒業私立京都高女校長ヲ經テ同四十三  
年第二高校敎授ニ轉シ昭和七年同校長ニ任テ  
【東京府妻小み子(昭三) 宮城縣椎川  
恒妹東京高師家政科卒) 長男駿郎(同廿九)  
東京帝大法學部卒) 二男研三(同四五) 東北帝  
大理學部副手) 三男徹三(大四) 東北帝大理學  
部卒) 四女アヤ(同七) 仙台市外記丁官舎

阿部 謙藏 正五勳四 文部省宗敎局長  
京都府人安太郎ノ二男明治廿年一月出生昭和  
八年分家大正十年京都帝大法科獨法科卒業業同  
十一年高文合格埼玉縣兒玉北埼玉各郡長地方  
事務官埼玉縣各縣勤務地方警視栃木官廳各  
縣勤務文部書記官學生部學生課長思想部思想  
課長大臣官房文書課長資源局事務官文部書記  
官兼内閣調查局調查官等歷任昭和十二年文部  
省思想局長敎學局企畫部長同十四年高松高商  
校長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク同十一  
年歐米各國ニ出張セリ【東京府妻小み子(昭五) 長  
女美也子(昭三) 二女明子(同八) 東京市澁谷  
區金王町五〇三三四七〇



**阿部 勝雄** 正五勳三功四 海軍少將 海軍  
 岩手縣雄七ノ男明治廿四年四月十八日出生大  
 正十四年海軍大學卒業進少將ニ陞ル其間本  
 省軍務局第二艦隊參謀海軍大學教官第三艦隊  
 參謀本省軍務局第一課長軍令部出仕兼本省出  
 仕多摩龍驤加賀各艦隊長等歷補昭和十三年四  
 軍令部第三部長ヲ經テ同十四年十月現職ニ就  
 少 乘馬造園讀書旅行圖書纂子(明卅七、  
 江藤鋪二女下關高女卒)嗣子泰彦(大十二)二  
 男信彦 三男英彦 長女喜美子(東京市赤坂  
 區表町四ノ一官舎)赤坂三三三六

**阿部 久一** 從七 商工事務官 機械局勤務  
 新潟縣人大正三年十一月五日出生昭和十三年  
 高文行政科合格翌年東京帝大經濟學部經濟學  
 科卒業同年商工局拜命工務局勤務振興部勤務  
 ヲ經テ同十五年一月現職ニ任ズ(東京市四谷  
 區仲町二ノ一和田方)

**阿部 久三郎** 正五勳五 大阪帝大助教授 工  
 福島縣阿部久治郎ノ二男明治廿九年九月三日  
 出生大正九年九州帝大工學部機械科卒業東北  
 帝大講師ヲ經テ昭和四年現職ニ就ク同五年歐  
 米ニ留學ス(留學スボーッ)妻喜代(明卅六、  
 宮城縣耕陸長女)長男久郎(大十五) (京都府  
 乙訓郡大山崎村三三三山崎二〇)

**阿部 久治** 正四勳三 判事 那霸地方裁判  
 新潟縣富太郎長男明治十三年一月出生大正二  
 年家督相續明治廿五年東京專門學校行政科卒  
 業同廿九年任判事弘前青森仙臺札幌各區地方  
 裁判所判事松山山口各地方裁判所部長津山區  
 兼岡山地方裁判所津山支部々長島取地方裁判

所部長尾道區裁判所監督判事兼廣島地方裁判  
 所尾道支部々長下關區裁判所監督判事兼山口  
 地方裁判所下關支部々長歷任昭和十四年前記  
 ノ職ニ補ス(妻リン(明十一、新潟縣阿部眞  
 之助姉)男達夫(同四一)女チエ(同四三) (那  
 霸市松山町一八二八)

**阿部 清** 從五勳 工務 京都帝大助教授  
 德島縣人豐太郎四男明治廿五年六月出生昭和  
 十年分家ス大正七年京都帝大工科電氣工學科  
 卒業財團法人青柳研究所技師京都帝大工學部  
 講師ヲ經テ昭和五年同大學助教授ニ任ズ同十  
 年學位ヲ受ク(妻美穂(明卅、京都府小貫ヲ  
 シ養子) (京都府左京區吉田中大路町三四  
 阿部 清 從四勳五 內務技師 橫濱土木  
 福島縣土族清ノ二男明治廿四年十一月出生大  
 正四年分家ス同七年京都帝大工科土木工學科  
 卒業任內務技師東京土木出張所利根川改修事  
 務所主任名古屋土木出張所勤務ヲ經テ昭和十  
 四年六月現職ニ就ク(妻イヨ(明卅、福島縣  
 川島榮一郎孫)嗣子吉男(大十) (橫濱市內務  
 省橫濱土木出張所內)

**阿部 邦一** 從五勳六 三重縣書記官 總務  
 德島縣人明治卅二年十二月五日出生大正十一  
 年高文ニ合格翌年東京帝大法學部英法科卒業  
 石川縣河北郡長地方事務官大阪府警察部調停  
 課長都市計畫地方委員會事務官兼地方事務官  
 兵庫縣都市計畫課長兼學務課長土木部庶務課  
 長鹿兒島縣書記官經濟部長內務書記官土木局  
 道路課長等歷任昭和十三年秋田縣書記官總務  
 部長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク(妻同三

同助手同十四年臺灣總督府醫院長兼同大學  
 教授臺北醫院外科部長大正五年瑞西ニ出張歸  
 朝後鐵道醫ニ任ズ東京鐵道病院副院長ヲ經テ  
 現職ニ就ク(妻イト(明廿一、大分縣渡元妹  
 大分縣立高女卒) 男子郎(同四五) 女瑠子(大  
 六) (四男十郎(同十) 五男五郎(同十四) (東京  
 市淀橋區十二社二六一) (同九四) (東京  
 市淀橋區) 從五 小樽市立高等女學校長  
 青森縣宇三郎二男明治卅二年二月出生大正十年  
 東京高師卒業札幌師範教諭野付牛中學校教頭  
 深川高女校長歷任昭和八年現職ニ就ク(妻ス  
 ボーッ)妻國子(千葉縣鈴木勝三養子)  
 長男浩(昭二) 一男孝(同四) 長女淑子(同六)  
 二女澄子(同八) (小樽市仲ノ町一五)

**阿部 信行** 從二勳一 特命全權大使 中華  
 石川縣土族先代信滿ノ長男明治八年十一月出  
 生同卅年陸軍士官學校卒業任陸軍砲兵少尉昭和  
 八年陸軍大將ニ累進其間陸軍大學教官元帥  
 副官參謀本部々長野砲第三聯隊長參謀本部課  
 長陸軍大學幹事國大使館附武官輔佐官參謀  
 本部總務部長東宮職御用掛陸軍省軍務局長軍  
 事參議院幹事長官內省御用掛資源局參與陸軍  
 次官同大臣臨時代理陸軍參謀本部第四師團  
 長臺灣軍司令官軍事參議院參謀長等歷補昭和十一年  
 三月待命被仰付同十四年八月內閣總理大臣ニ  
 親任同十五年一月桂冠同年四月現職被仰付特  
 ニ國務大臣ノ禮遇ヲ賜フ(妻ニ軍事研究ノ爲メ  
 獨逸ニ駐在ス) (妻ミツ(明十九、神奈川縣土  
 族原知信長女) 長男信男(同四三) 三女寬子(大  
 六) 四女恒子(同九) 二男信弘(同十一) (東京

年上海(同十年歐米各國ニ出張ス) スボ  
 ツ(妻國子(明卅六、生田和平二女神戶女學  
 院卒) 嗣子嘉文(大十五) (津市下部田一五  
 阿部 源藏 正六 地方事務官 兵庫縣經濟  
 福岡縣人明治卅三年十二月出生大正十四年東  
 京帝大法學部英法科卒業同年高文行政科合格  
 同十五年警視廳ニ入り駒込警察署ニ勤務爾來  
 警務部警務保昭和三年月島警察署長同四年任  
 警視廳警視大森高輪留四谷本富士愛宕各警  
 察署長同十二年警視廳消防司令官消防部消防  
 長等歷任同十三年地方事務官山梨縣總務部地  
 方課長兼知事官房主事ヲ經テ同十四年現職ニ  
 就ク(神戶市神戶區中山手通四丁目縣公舍十  
 一) (妻合一五七五)

**阿部 剛一** 正五勳五 朝鮮總督府判事 高  
 愛媛縣芳太郎長男明治十八年出生大正二年東  
 京帝大法科政治科同九年法律科各卒業東京地  
 方裁判所判事京城釜山馬山各地方法院判事大  
 邱覆審法院判事同部長等歷職昭和十年現職ニ  
 就ク(妻まさ(明卅) 長男男(昭四) 長女道  
 子(大九) (京城府南米倉町一八九) 本局五四  
 二五)

**阿部 次郎** 正四勳三 東北帝大教授 法文  
 山形縣人富太郎二男明治十六年八月出生大正  
 三年分家明治四十年東京帝大文科哲學科卒業  
 歐洲留學大正十二年歸朝東北帝大教授ニ任ズ  
 現ニ法文學部勤務タリ(妻ツね(明十四、東  
 京府宮崎覺長女高師專修科卒) 男敬吾(大十  
 一) 女和子(同三) 女美和子(同六) 三女千枝子  
 同九) (仙臺市土樋二四五) 三五九三

**阿部 謙夫** 正五勳五 鐵道技師 信濃川電  
 東京府人大正六年東京帝大土木科卒業(新潟  
 縣中魚沼郡千平町信濃川電氣事務所內)

**阿部 宗一** 從六勳六 樺太廳警視 惠須取  
 秋田縣吉治郎長男明治廿三年十月二日出生同  
 四十四年秋田中學卒業同縣巡查拜命大正六年  
 警察官練習所卒業增田角間川六郷小坂刈和野  
 角館大曲各署長縣特高課長樺太廳本斗知取敷  
 香真岡大泊豐原各署長ヲ歷補同廳警視保安課  
 長ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク(妻書畫骨董  
 刀劍スキ一劍道) 長男忠夫(大十二) 長女榮  
 子(同十) 二男孝夫(同十五) 三男和男(昭六)  
 四男眞雄(同八) 二女喜美子(同十) (樺太惠須  
 取警察署長官舎)

**阿部 修四郎** 正五勳五 帝室林野局技師 東  
 青森縣賢吉四男明治廿年三月出生大正九年分  
 家同四年東京帝大農科林學科卒業任帝室林野  
 管理局技師木曾支局三股東京支局天城各出張  
 所長帝室林野管理局技師次ヲ帝室林野局技師  
 東京支局業務課勤務ヲ經テ昭和十四年現職ニ  
 就ク(妻刀劍菊栽培) 妻ト(明卅一、青森  
 縣田澤兵治長女) 男修二(昭二) 女靜子(大十)  
 三男修三(昭五) (東京市杉並區阿佐ヶ谷六ノ  
 二二四)

**阿部 實夫** 從四勳四 醫博 鐵道醫 東京  
 大分縣如山長男明治十年四月十日出生大正五  
 年家督相續明治廿七年東京帝大醫科卒業大學  
 院ニ學ビ同大學副手佐藤外科ニ勤務同廿九年

市淀橋區西大久保一ノ三六一) 四谷二九七

**阿部 壽夫** 從七 地方事務官 沖繩縣總務  
 福岡縣人大正四年三月五日出生昭和十年阿縣  
 小倉師範卒業同十一年高等豫備試驗同十三年  
 高等試驗行政科合格其間小學校訓導長職同  
 年熊本縣屬拜命總務部地方課勤務ヲ經テ同十  
 五年一月現職ニ任ズ(那霸市松山町一ノ九  
 七八)

**阿部 房市** 正六勳六 地方技師 秋田縣經  
 愛媛縣人明治廿三年五月八日出生大正四年東  
 京帝大農科林學實科卒業岡山縣林業技師同縣  
 技師同十一年同縣產業技師內務部山林課勤務  
 同十四年同縣農林技師ヲ經テ昭和十二年地方  
 技師ニ任ズ(東京府勤務同十三年十一月現職ニ  
 就ク) (秋田市榎山本町九五)

**阿部 文二郎** 正四勳二 行政裁判所評定官兼  
 岩手縣和三四ノ二男明治十三年三月廿一日出  
 生明治廿九年東京帝大法科獨法科卒業後伯林  
 大學ニ學ビ歸朝後東京地方裁判所部長ヲ經テ  
 現職ニ就ク(妻和子(明廿二、新潟縣黒田英  
 雄長女) 男文雄(同四四) 女百合子(大八) 三男  
 漸(同十) 四女夢子(同十三) (東京市麻布區廣  
 尾町七九) 三田二五三一)

**阿部 光寬** 從六 農林事務官 農務局兼臨  
 山口縣土族明治四十四年七月一日出生昭和六  
 年高文行政科合格翌年東京帝大法學部法律學  
 科卒業同七年農林局命置林局勤務同十年農  
 林事務官ニ任ズ(妻林局勤務ヲ經テ同十二年農



務局勤務同十四年臨時農村対策部兼務ヲ命ゼ  
ラル東京市淀橋區下落合二ノ七二二グリ  
ンアバト落合長崎二二六六

阿部 宗孝 從四勳四 東京府立高等學校校長  
山口縣士族宗忠ノ長男明治八年六月廿日出生  
同廿五年東京帝大文科卒神樂川縣立小田原  
中學校教頭トナリ同廿七年同校長ニ進ミ大正  
十一年現職ニ就ク昭和七年歐米各國ヲ視察ス  
三浦精一四女成女高女卒(昭八)山口縣士族  
東京市杉並區上高井戸四ノ一九七八(昭三)  
九四八

阿部 明治 正五勳四 朝鮮總督府平壤稅  
務監督局長  
秋田縣士族忠亮長男明治廿六年三月出生大正  
五年家督相續同四年廣島高師卒業旭川上田各  
中學校教諭歷職同十年京都帝大文科英法科卒  
業翌十一年高文合格朝鮮總督府同府理事官  
同府事務官咸興北道平安南道各財務部長忠清  
北道警察部長全羅北道內務部長ニ歷任昭和十  
一年咸興稅務監督局長ヲ經テ同十四年二月現  
職ニ就ク(昭三)妻アイ(明治廿九)秋田縣齋藤時之  
助長女東京女高師文科卒(昭三)長男(昭三)  
長女(昭三)同(昭三)一男(昭三)二女(昭三)  
(同五)同平壤府東下一〇ノ一五(昭三)五三七

阿部 八代太郎 正四勳三 東京高師教授  
岡山縣柏太郎ノ長男明治十六年十二月三日出  
生大正四年家督相續明治四十二年京都帝大理  
工科數學科卒業第三高師講師ヲ經テ同四十四  
年現職教授ニ任ズ大正四年英佛獨ニ留學著書  
數種アリ(昭三)讀書園藝(昭三)妻俊子(昭三)六、兵

四(二男洋二郎(同十五)二女禮子(昭三)同廣  
島市下町官舎中二一  
相川 宗次郎 浦和市長  
埼玉縣先代宗次郎長男明治廿一年一月出生前  
名幾太郎ヲ改メ襲名ス後米穀商ヲ營ミ昭和十  
三年浦和市長ニ就任ス妻ニ相川精菱監査役市  
會議長タリ(昭三)妻みや(明治廿六)埼玉縣吉澤文  
作二女(昭三)嗣子(昭三)大五(昭三)同(昭三)三  
女(昭三)昭二(昭三)五男(昭三)同(昭三)四女(昭三)同(昭三)  
浦和市岸町七ノ五(昭三)二〇二〇

相川 廣秋 正六 水産試驗場技師  
東京府保三ノ長男明治廿六年一月一日東京市  
=出生大正十四年東京帝大農學部水産科卒業  
昭和四年水産講習所囑託拜命同九年水産試驗  
場技師ニ任ズ(昭三)妻俊子(昭三)福島縣黒川  
元三女跡見高女卒(昭八)長女洋子(昭八)二女淡子  
(昭十)同東京市大森區入新井四ノ八四

相澤 廣治 正五勳五 地方技師 宮城縣經  
濟部勤務 宮城縣農學校長  
宮城縣角治ノ長男明治廿年十一月廿日出生同  
四十二年盛岡高等農林卒業同校研究科ニ入り  
大正元年任宮城縣技師來宮城縣穀物検査所  
長同縣技師公立實業學校校長兼教諭原農學校  
長等ニ歷任昭和七年現職ニ就ク(昭三)妻  
妻五(昭三)宮城縣佐々木桑吉長女東華高女  
卒(昭三)嗣子(昭三)大七(昭三)四男(昭三)長女(昭三)  
子(昭三)同(昭三)二女(昭三)昭元(昭三)五男(昭三)同(昭三)三  
女(昭三)同(昭三)六男(昭三)同(昭三)仙臺市東新町  
一〇

相田 岩夫 正五勳四 大藏省理財局長  
山形縣人大正八年東京帝大法科政治科卒業大  
藏省ニ入り果進大藏事務官兼銀行検査官銀行  
局勤務次ニ銀行検査官專任銀行局検査課長ヲ  
經テ昭和十四年一月現職ニ就ク(昭三)東京市小石  
川區久堅町七四(昭三)小石川四七六二

車藤横尾孝妹)長男正英(大元)二男宏夫(同  
三)女治子(同六)三男英三(同九)同東京市豊  
島區集鳴二ノ二二〇〇(昭三)大塚二〇

阿部 安二 正七 營林局技師 東京營林局  
經營部土木課長  
新潟縣人明治廿四年十月三日出生昭和三年任  
陸軍工兵少尉翌年東京帝大農學部林學科卒業  
同七年營林局技師拜命東京營林局勤務同十一  
年營林署技師ヲ經テ翌年營林局技師ニ任ジ青  
森東京各營林局勤務同十四年九月現職ニ就ク  
同東京市中野區中野驛前ケ一七一

阿部 二課長 興亞院書記官 經濟部第  
岩手縣勇治ノ男明治廿五年十一月廿三日出生  
昭和二年東京帝大法學部法科卒業商工省ニ  
入り特許局東京鐵道監督局鐵道局監督局監督  
官兼書記官札幌鐵道監督局鐵道課長商工事務  
官兼商工書記官鐵道局鐵道課長兼臨時物資調  
整局事務官第一課第一課長同十四年六月商工  
書記官鐵道局製鐵課長ヲ經テ同十五年二月現  
職ニ就ク(昭三)妻スボツ讀書(昭三)妻秀(昭三)八、  
福島與平三女佛英和高女卒(昭三)長女千恵子(大十  
五)二女惠美子(昭三)同東京市中野區大和町  
二一〇(昭三)中野五二〇一

阿部 余四男 從四勳三 廣島文理大教授  
山形縣富太郎ノ四男明治廿四年一月出生大正  
五年東京帝大理科動物學科卒業第二高師廣島  
高師各教授ヲ經テ昭和四年廣島文理大教授ニ  
任ズ妻ニ同校附屬海濱實驗所長タリ昭和二年  
動物學研究ノ爲メ獨逸ニ留學ス(昭三)美術鑑賞  
旅行(昭三)妻ス(昭三)明廿四、山形縣齋藤憲太郎叔

山形縣人大正八年東京帝大法科政治科卒業大  
藏省ニ入り果進大藏事務官兼銀行検査官銀行  
局勤務次ニ銀行検査官專任銀行局検査課長ヲ  
經テ昭和十四年一月現職ニ就ク(昭三)東京市小石  
川區久堅町七四(昭三)小石川四七六二

相田 泰三 從五勳六 秋田縣立角館中學校  
福島縣亦作五男明治廿五年六月七日若松市ニ  
出生大正五年廣島高師卒業大泊會津各中學大  
泊高女教諭本莊高女校長等ヲ經テ現職ニ就ク  
(昭三)妻曲(昭三)妻七(昭三)明廿八、小林靜藏長女會  
津高女卒(昭三)長男浩(昭三)二男恒夫(昭三)三  
長女和子(昭三)三男三郎(昭三)四男(昭三)同  
六)五男泰男(昭三)同秋田縣仙北郡角館町同  
校內(昭三)一三

相野 田平 正五勳五 大分縣書記官 總務  
廣島縣人藤平五男明治廿八年五月廿七日同縣  
佐伯郡中村ニ出生後分家ス大正九年東京帝大  
法學部政治科卒業高文ニ合格奈良縣屬拜命爾  
來栃木縣警視山形縣理事官地方事務官山形青  
森香川熊本各縣勤務等歷任昭和八年秋田縣書  
記官學務部長同十年栃木縣書記官學務部長ヲ  
經テ同十二年七月現職ニ就ク(昭三)妻スボツ讀書  
市山中高女卒(昭三)長男(昭三)大十五)長女翠(昭三)  
二女嫩(昭三)同大分市荷揚町官舎(昭三)一七

相原 一介 從六 文部省宗務官  
宮城縣士族三郎治ノ長男明治十六年四月十四  
日仙臺市ニ出生同廿九年家督相續同廿七年  
第二高師ヲ經テ同四十年東京帝大文科卒業爾  
來內務省宗敎局囑託文部省宗敎局囑託水産講

母)長男富士雄(大六)三女ゆり(同十一)四女  
萬里子(昭二)五女貴美(昭五)六女千鶴子(同  
八)同廣島市西白鳥町廿一

阿部 隆介 從六勳六 文部理事官兼東京高  
師教授 大臣官房秘書課兼文書  
東京府士族明治廿一年八月十一日出生大正七  
年東京外語英語科卒業同九年文部屬拜命大臣  
官房文書課勤務昭和八年兼任東京高師教授同  
十五年一月文部理事官ニ任ゼラル(昭三)東京市四  
谷區南寺町一六

阿部 禮一 從五勳六 地方商工技師 新潟  
縣製造試驗場長  
新潟縣禮太長男明治廿六年八月十日出生大正  
六年大阪高工卒業東京稅務監督局技師拜命  
玉縣技師兼任昭和二年任新潟縣商工技師同五  
年現職ニ就ク(昭三)妻ミキオ(昭三)一、新潟縣相  
馬衛平三女新發田高女卒(昭三)嗣子(昭三)二  
男慶二(昭三)同(昭三)三男穆(昭三)長女郁子(同  
四)四男進(昭三)五男壯(昭三)同(昭三)新潟市關  
屋松波町八ノ一(昭三)二〇四

相川 勝六 從四勳三 廣島縣知事  
佐賀縣人定藏ノ二男明治廿四年十二月六日出  
生大正八年東京帝大法學部獨法科卒業任千葉  
縣屬同年高文行政科合格爾來德島縣理事官兼  
視察警視官內大臣秘書官兼宮內書記官內務事  
務官兼警視官內務部部長京都市府書記官學務  
部長神奈川縣書記官警察部長內務事務官警保  
局保安課長朝鮮總督府事務官同官房外事課長  
等歷任昭和十二年七月宮崎縣知事ヲ經テ同十  
四年九月前記ノ任ニ就ク(昭三)妻靜(昭三)同十  
四年九月前記ノ任ニ就ク(昭三)妻靜(昭三)同十  
四年九月前記ノ任ニ就ク(昭三)妻靜(昭三)同十

習所囑託兼外國語學校教授等ヲ經テ昭和十四  
年八月現職ニ任ズ妻ニ大正十四年歐米ニ留學  
昭和十四年八月支方面調查ニ出張大正十一  
年以來駒澤大學講師ヲ兼任ス(昭三)道(昭三)長  
男良一(大元)東大法科卒高輪中學教諭(昭三)長女  
マリ(昭三)同五、搜眞女學卒日本畫家(昭三)二男和光(同  
六)京大法科在(昭三)鎌倉市雪ノ下四〇六

相原 賢藏 從五勳六 宮城縣立古川中學校  
明治廿四年一月廿日神奈川縣厚木町ニ出生同  
四十五年東京高師地歴部卒業福井縣島崎森宮  
城各師範教諭白石中學校校長歷任昭和十年現職  
ニ就ク(昭三)妻エイ(昭三)二男俊二(昭三)大十四)  
長女文子(昭三)二女和子(昭三)三女久子(昭三)  
十二)三男啓次(昭三)四女規子(昭三)五女良  
子(昭三)同宮城縣志田郡古川町

相原 守正 正五勳四 檢事 吳區裁判所檢  
愛媛縣藤藏ノ二男明治廿年三月出生大正三年  
東京帝大法科獨法科卒業同五年任檢事宇都宮  
區兼同地方小濱區金澤區兼同地方笠岡區岡山  
地方兼同區下關區兼山口地方下關支那山口地  
方兼同區各裁判所檢事昭和四年島取地方同區  
裁判所檢事同八年三次區兼廣島地方三次支部  
檢事濱田區兼松江地方濱田支部津山區兼廣島  
地方津山支部各檢事ヲ經テ現職ニ就ク(昭三)妻  
喜代江(昭三)九、兵庫縣阿本槌之助長女(昭三)男義  
憲(昭三)大十四)女久子(昭三)五女千枝(昭三)同吳  
市稻荷町同所內

會田 鶴雄 正四勳三 京都高等工藝學校教  
京都府人正豐ノ長男明治四年十一月出生同廿



六年家督相續同廿九年帝大理科動物學科卒業  
第五高校教授第三高校講師京都工藝學校講師  
ヲ經テ大正六年現職ニ就ク昭和七年「メダカ」  
ノ研究ニヨリ帝國學士院賞ヲ受ク「刀劍弓」  
道國男權次(大五)女芳子(大七) 京都都市左  
京區夷川通川端東入上七八一

**變知 養一** 從六 興亞院書記官 華北連絡  
部在勤  
東京府人昭和六年東京帝大法學部政治科卒業  
大藏事務官同財務官北京在勤等ヲ經テ現時前  
記ノ任ニアリ 北京市東四牌樓北大街鐵獅子  
胡同第十二號

**青木 市治** 從六勳六 電氣廳事務官  
東京府市右衛門長男明治廿年一月五日出生大  
正元年選信省ニ入り大臣官房文書課勤務同六  
年選信局同十五年文書係長昭和九年通信  
事務官兼選信局事務官水戸郵便局長同十年簡  
易保險局事務官第五徵收課長次ヲ簡易保險事  
務官簡易保險局第二徵收課長ヲ經テ同十四年  
四月現職ニ就ク 讀書旅行 妻茂代(明  
卅一、長野縣大澤林次郎長女)長男市雄(大九)  
長女富美子(同十三) 東京市世田谷區弦卷町  
一ノ三 世田谷二一五五

**青木 久作** 正八 地方警視 靜岡縣警務部  
靜岡縣人明治廿五年十一月一日出生大正六年  
同縣巡查拜命昭和二年警部補同七年任警部警  
察練習所長熱海吉原藤枝各警察署長歷職同十  
四年六月現職ニ任ズ 靜岡市春日町一四

**青木 楠男** 從四勳五 內務技師 內務省土  
秋田縣士族定謙七男明治廿六年七月廿三日出

生大正七年東京帝大工科土木工學科卒業內務  
省土木局調査課ニ勤務翌年任內務技師東京第  
一土木出張所及土木局兼務同十三年歐米各國  
ニ出張歸朝後前記ノ職ヲ拜命電氣燈塔構造物  
ニ關スル著書二三アリ 卓球球壇球洋樂 妻  
スミ(明卅五、東京府馬場島渡二女)立第二高  
女卒)女豐子(大十)二女采子(昭三) 東京市  
板橋區板橋町六ノ三四五八 板橋九〇五

**青木 熊夫** 正六 拓務書記官 拓務局南米  
新潟縣人大正十五年東京帝大農學部農政學科  
昭和四年同大學法學部英法科各卒業拓務省ニ  
入り拓務事務官拓務局勤務管理局兼務ヲ經テ  
同十五年五月現職ニ就ク 海外出張ス 東京  
市世田谷區經堂町三六六

**青木 敬輔** 正五勳四 判事 若松區裁判所  
福岡縣人長男明治廿一年十一月出生大  
正五年京都帝大法科英法科卒業司法官試驗  
備檢事ヲ經テ同七年任判事德島地方兼同區和  
歌山地方兼同區大阪府兼同區高知地方兼同  
區神戸地方兼同區大阪府兼同區大阪府兼同  
區判事兼神戸各地方裁判所判事長歷任昭和十  
五年二月現職ニ就ク 讀書旅行 妻富子  
(明廿八、大阪府須藤信顯四女) 男孝頼(大十  
三)女廣子(同七)女智子(同十) 女妙子(同十  
二)女賢子(昭二)二男久頼(同三) 若松市榮  
町同區裁判所內

**青木 貞雄** 正六勳六 德島縣書記官 警察  
官城縣人明治廿一年四月十五日同縣遠田郡ニ  
出生大正十年宮城縣師範本科第一部卒業爾來

同縣原町尋常高等東京市千束尋常同一橋高等  
各小學校等ニ歷職其間昭和三年日大法文學部  
法律科卒業在學中高文行政科同司法科各合格  
同三年青森縣屬兼同縣警部拜命同六年任地方  
警視大分縣保安課長兼刑事課長同七年愛媛縣  
特高課長同十年廣島縣特高課長同十一年福岡  
縣特高課長等歷任同十三年一月警視廳警視特  
別高等警察部特高第二課長ヲ經テ同十五年四  
月現職ニ就ク 德島市南濱官舎 二〇四四

**青木 重臣** 從五勳五 厚生書記官 職業部  
監理課長  
長野縣人明治卅三年八月六日出生大正十三年  
第二高校昭和二年京都帝大法學部各卒業其間  
大正十五年高文行政科合格石川縣警部同縣巡  
査教習所長警視廳技師兼警部同屬兼警部專任  
警部警視廳警視廳麻布六本木深川西平野各警  
署長地方警視大阪府警務部同府警務部專任  
官滋賀縣警務課長兼特高課長兼警務官兼警務  
長等歷任昭和十一年依願免本官同十三年四月  
福井縣書記官兼警務部長同十四年四月內閣總理  
大臣秘書官兼內務書記官兼興亞院總裁秘書官  
警保局勤務ヲ經テ同年九月現職ニ就ク 東京  
市世田谷區北澤二ノ二五 世田谷四四七三

**青木 周三** 從四勳二 貴族院議員 橫濱市  
山口縣青木周哲ノ三男明治八年八月廿六日出  
生先代五百輔ノ養子トナリ同十六年家督相續  
ス同卅五年東京帝大法科英法科卒業高文ニ合  
格鐵道事務官拜命爾來果進同四十五年歐米各  
國ニ出張歸朝後東京鐵道管理局經理課長兼東

**青木 忠次郎** 大阪市理事 電氣局電氣部長  
大阪府忠兵衛ノ弟明治廿四年八月出生先代姉  
タメノ養子トナリ大正二年家督相續同五年京  
帝大工科電氣工學科卒業現時前記ノ任ヲリ  
國養母タメ(明廿一、父忠兵衛長女)妻八重  
(明卅一、大阪府殿井伊三郎長女) 男忠一(大  
十)女俊子(同九)二男豐二郎(同十二)二女弘  
子(昭三) 大阪府市東區北久寶寺町一ノ四〇〇  
船場三一三三

京倉庫長鐵道院理事經理局調度部長等歷任大  
正八年退職同十年再官界ニ入り橫濱市電氣  
局長同市助役鐵道省經理局長加藤高明第一次  
內閣濱口內閣各鐵道次官等ニ任ズ現時橫濱市  
長タリ 大正十五年貴族院議員ニ勅選サル  
國常務津國妻於兔猪(明廿一、高知縣士族  
前野作從姉)男周吉(同四四)女峰子(大元)二  
男周次郎(同四)四女壽三子(同十三) 東京市  
中野區新井町四九五 中野四六〇〇

**青木 成一** 正五勳三 陸軍少將 中部防衛  
明治廿五年一月出生大正元年任少尉爾來果進  
少將ニ陞進昭和十五年三月現職ニ就ク 豊一歩  
兵第四十一聯隊長兵器局機械課長タリ 大阪  
市東區中部防衛司令部內

**青木 誠四郎** 從五勳六 東京農學教育專門學  
長野縣士族房順ノ四男明治廿七年三月十五日  
出生大正十一年東京帝大文科卒業更ニ大學院  
ニ心理學ヲ專攻ス同大學農學部講師同助教授  
ヲ經テ昭和十二年四月現職ニ就ク 東京女子大  
東京女專各講師文部省司法省各嘱託タリ 妻  
染色手藝映畫攝影 妻英(明廿七、東京府人  
見修藏妹)長女任子(大十一)二女淳子(同十  
五) 東京市小石川區大塚仲町三六 大塚二  
二二一

**青木 誠之** 正五勳五 通信局技師 熊本遞  
兼本縣士族兼誠ノ長男明治卅一年一月一日出  
生大正十一年九州帝大工學部電氣工學科卒業  
爾來通信局技師札幌名古屋大阪各遞信局電氣  
課長兼任電氣試驗所技師大阪出張所長遞信技  
師兼遞信局技師電氣局兼東京遞信局勤務兼管

船務勤務昭和十年東京地方遞信局電氣課長ヲ  
經テ同十四年四月現職ニ就ク 熊本市新屋敷  
一三三〇

**青木 善之助** 從五勳六 岐阜縣立第二工業學  
滋賀縣岩次郎長男明治廿二年七月廿七日出生  
大正六年東京高工卒業小倉工業佐賀縣立工業  
各教諭ヲ經テ昭和二年現職ニ就ク 妻キキ  
(明廿八) 大垣市南若森町

**青木 大吾** 從六 軍事保護院事務官 授護  
新潟縣人大吉ノ長男明治卅五年一月一日出生  
昭和四年東京帝大經濟學部卒業警視廳巡查拜  
命爾來埼玉縣警部兼地方警視廳長崎縣警務課  
長大阪府監察課長等歷任厚生事務官臨時軍  
事保護部勤務ヲ經テ昭和十四年七月現職ニ就  
ク 國妻綾子(新潟縣鈴木時三郎長女)岡高  
女卒)長男大祐(昭五)長女裕子(同十)二女道  
子(同十三) 東京市豐島區池袋三ノ一五四六  
大塚二一一五

**青木 保** 從三勳二 工博 東京帝大工學  
部教授兼特許局技師 同審查官  
大分縣士族工藤直作ノ四男明治十五年六月出  
生先代カツノ養子トナリ同卅七年家督相續同  
四十二年東京帝大工造兵學科卒業同大學講  
師助教歷任大正六年歐米ニ留學同九年歸朝  
後教授ニ進ミ同十一年學位ヲ受ク 妻壽曲  
(國妻サタ(明廿一、高瀬武次郎義妹) 男保雄  
(同四三)男貞次(同四五)男正三(大四)長女シ  
ヅ(同十一)二女トシ(同十四)四男司郎(昭三)  
東京市世田谷區祖師ヶ谷一ノ一二九六ノ二  
四四四七

**青木 信夫** 正六 地方技師 大阪府土木部  
明治卅二年二月廿七日出生大正十三年九州帝  
大工學部卒業同十五年任道路技師靜岡縣勤務  
昭和十年任土木技師兼道路技師同十二年任地  
方技師岩手縣土木課長ヲ經テ現職ニ就ク 國大  
阪市住吉區阿部野筋二丁目官舎 國王寺一四  
八〇

**青木 延春** 從六 醫博 厚生技師兼人口問  
山口縣人明治卅五年二月十八日出生大正十二  
年第一高校理科昭和二年東京帝大醫學部醫學  
科各卒業同大學副助手國立感化院醫武藏野



學院々東京帝大醫學部副手東京府立松澤病  
院醫員衛生局事務顧問同八年學位ヲ受ケ  
同十一年內務技師任命衛生局勤務同十三年厚  
生技師同年兼任兵保護院技師業務局勤務次  
ノ同十四年兼任人口問題研究所研究官トナル  
東京市中野區區黨二ノ八八一  
青木 善好 正七 東京市江戶川區長  
長野縣人明治廿年三月十九日出生同四十二年  
裁判所書記試驗合格東京府屬拜命大正十二年  
任南葛飾郡長後北葛飾郡南千住町助役ヲ經テ  
昭和七年東京市荒川區主事稅務課長同八年庶  
務課長歷職同十三年現職ニ就ク  
東京市杉並區天沼二ノ三九四獲選三〇一三  
青木 秀夫 從五勳六 軍事保護院書記官  
栃木縣人明治廿六年八月廿五日出生同大正  
十三年高文行政科合格同十五年東京帝大法  
學部政治學科卒業爾來山口縣屬兼警部社會局  
屬地方事務官兒島縣社會課長三重縣教育課  
長工場課長地方警視岡山縣保安課長兼工場課  
長神奈川縣保安課長等歷任昭和十二年七月奈  
良縣書記官警務部長ヲ經テ同十三年十一月現  
職ニ就ク  
妻成子(明四二、東京府村上龍英  
女)男保之(昭十)尙一女アリ  
區白山御殿町一四〇小石川五六〇五  
青木 秀雄 正八 地方警視 鳥取縣警務部  
鳥取縣人明治廿年四月十四日出生大正十年同  
縣巡查拜命昭和三年警部補同七年任鳥取縣警  
務部警務部長警務部刑事課長河原八橋各警務  
署長警務部保安課長歷任同十四年六月任地方  
警視現職ニ就ク  
鳥取市江崎町一〇一一二

青木文一郎 正五勳四 臺北帝大教授 理農  
岐阜縣土族貞治ノ長男明治十六年八月出生昭  
和四年家督相續明治四十四年東京帝大理科動  
物學科卒業大學院ニ學ビ大正二年九州帝大助  
手愛知醫大豫科教授第八高校講師臺灣總督府  
高等農林學校教授等歷任昭和四年現職ニ及ブ  
兼ニ理農學部長ヲ任テ昭和二年歐米ニ留學ス  
圖書室圖書室長ヲ任テ昭和二年歐米ニ留學ス  
野幸一郎(昭四)女岐島高女卒(昭六)女瑞  
瑠子(昭六)女文子(昭八)三女昭子(昭六)女  
北市昭和町大學官舎三九九五  
青木 誠 從七 地方事務官 神戶縣學務  
部社會課長兼臨時軍事保護院書記官  
佐賀縣人大正三年三月廿七日出生昭和十年福  
岡高校同十四年東京帝大法學部法律學科各卒  
業其間同十三年高文行政科合格翌年福井縣屬  
拜命總務部地方課勤務 經テ同十五年四月現  
職ニ任ズ  
那那市久米町一ノ四九〇五一八  
青木 正映 正五勳五 稅務監督局書記官  
仙臺縣人吉田董二六男明治廿一年十一月出生  
同廿七年同縣士族青木敏治ノ養子トナリ昭和  
二年家督相續大正十一年東京帝大法學部獨法  
科卒業高文合格大藏屬拜命爾來司稅官前橋新  
潟各稅務署長稅務監督局長崎關關稅監督局長  
港務部長稅務監督局長古原稅務監督局長  
關稅部長ヲ經テ昭和十一年四月現職ニ任ズ  
妻明子(明四一、愛知縣本多郡長女東京  
府立第五高女卒)長男敏雄(昭七)二男秀雄(同

十)仙臺市同心町通二五〇一九二一  
青木 與吉 從五勳六 富山縣伏木商業學校  
廣島縣松三男明治十五年二月二日出生同四  
十三年明大法科卒業下關丸米商會會計主任福  
山市進進鳥取岡山第一大阪市市岡各商業教  
ヲ經テ昭和三年現職ニ就ク  
妻サカヨ(明卅、廣島縣長谷川秋三郎四  
女福山高女卒)長男秀夫(大六)長女富美枝(同  
十二)二男伸夫(同十五)三男宏夫(昭四)富  
山縣射水郡伏木町三六六  
青木 三郎 勳四 明石市長  
岡山縣尾藤德作ノ弟明治十四年十一月廿六日  
出生青木與八郎ノ養子トナル大正元年中央大  
卒業同年辯護士試驗合格現地ニ開業昭和十二  
年現職ニ就ク  
妻美登利(明十八、養父與八郎長  
女新見高女卒)長男(同四二、關西中卒)長女  
壽子(同四四、神戸女學院卒)二女律子(大三)  
二男美樹男(同十一)同明石市相生町二ノ二〇  
三〇六〇三  
青木 藤二郎 正五勳四 東北帝大教授 理學  
岐阜縣土族貞治ノ二男明治廿一年一月出生大正  
三年東京帝大理科地質學科卒業更ニ大學院ニ  
入ル東北帝大講師同大學助教ヲ經テ同十年  
米國ニ留學歸朝後昭和十一年同大學教授ニ進  
ム  
妻えい(明卅八、宮城縣奧田末治三女)  
長女陽子(昭四)仙臺市本橋町一七  
青木 亮 正七 保險院簡易保險事務官  
愛媛縣人茂ノ二男明治廿九年三月十五日出生  
昭和二年浦和高校同五年東京帝大法學部獨法

科各卒業其間同四年高文司法科翌年同行政科  
各合格同年選信屬兼選信局書記拜命同十一年  
通信事務官兼選信局事務官豐橋郵便局長同年  
專任選信局事務官廣島選信局庶務課長兼選信  
講習所長次ノ北支那方面軍司令部附中華民國  
臨時政府郵政總局副局長北支那方面軍司令部  
屬託ヲ經テ同十四年八月現職ニ就ク  
東京市  
本郷區本郷三丁目一  
青戸 精一 從六 文部書記官 宗教局保存  
島根縣長之助ノ甥明治廿五年十月廿九日出生  
昭和二年東京帝大法學部政治學科卒業同年高  
文行政科合格文部省ニ入り同十年文部屬同十  
一年文部事務官普通事務局長大臣官房文書  
課兼務同十二年七月兼任文部書記官宗教局保  
存課長同年八月文部書記官專任トナル  
東京市  
市杉並區西田町一ノ七七獲選四九四六  
青戸 信實 從三勳二 金澤高等工業學校長  
島根縣人伴次郎ノ長男明治九年七月出生大正  
十年家督相續明治廿四年東京帝大工科土木工  
學科卒業第七高校造士館名古屋高工各教授歷  
任同四十二年歐米各國ニ出張ス  
妻花(明廿四、島根縣藤間清藏四女)男  
泰賢(大三)女美名(明四二)女久美(大五)女美  
根(同八)二男賢(同十一)四女美保(同十三)五  
女玲子(昭四)金澤市里見町二六八八  
青沼 太郎 從五勳四 平市長  
福島縣土族慶應三年十一月六日出生磐城中學  
卒業福島縣刑務所看視長ヲ經テ明治卅年任長  
野縣警部長野署長縣衛生高等警察各課長歷補  
同四十四年任警視岩手縣警務課長盛岡署長和

賀白河會津郡郡長長平町長ヲ經昭和十二年現  
職ニ就ク  
妻七(明五、同縣士族西川政吉  
長女)長男淡夫(同廿九、東京帝大醫學部卒)同  
妻トモ子(同卅七、同縣士族坂田藤助二女磐城  
高女卒)同長男康福(大十四)同二男健雄(昭  
二)同三男國雄、同長女秀子(昭十)同平市舊城  
跡二二四四〇二  
青柳 一郎 從五勳六 軍事保護院書記官  
千葉縣人青柳篤恒ノ長男明治卅三年出生大正  
十五年東京帝大法學部政治學科卒業內務省ニ入  
リ果進地方警視熊本福岡各縣警務部特高課長  
昭和十二年福島縣書記官警務部長同十四年四  
月傷兵保護院書記官業務局長等ヲ經テ  
同年七月現職ニ就ク  
妻早苗(同卅七、故貴族  
(明十)母信子(同十五)妻早苗(同卅七、故貴族  
院議員阿部浩五女佛英和高女卒)同東京市牛  
込區中町一二〇牛込三〇七二  
青柳 秀夫 從五 北海道廳部長 經濟部長  
群馬縣人富樫竹次ノ五男明治卅年七月前橋市  
ニ出生同卅九年青柳新米ノ養子トナル大正十  
一年東京帝大法學部政治學科卒業橫濱正金安  
田各銀行歷職同十五年高文合格爾來靜岡縣屬  
北海道廳事務官商工課長地方事務官大阪府經  
濟部商務課長同府總務部課長ニ歷任昭和  
十三年北海道廳拓殖部長ヲ經テ現職ニ就任ス  
妻富貴子(明卅九、群馬縣中村清次郎女同  
志社英文科卒)嗣子俊夫(昭三)長女文子(同  
五)同札幌市北二條西七丁目官舎一八一七  
青山 憲三 正五勳四 內務參事官 衆議院

石川縣坂本三郎四郎ノ弟明治十二年九月出生  
先代與三八ノ養子トナリ同卅五年家督相續同  
卅四年和佛法律學校卒業爾來農ヲ嗣キ衆議院  
議員當選五回立憲政友會ニ屬シ昭和十五年一  
月內務參事官ニ任ズ  
妻初惠(明廿、石川縣  
士族櫻井秋哉長女同縣立第一高女卒)男正一  
(同卅八、中大卒)男淳二(同卅九、日大卒)男修  
三(同四三、法大卒)男敬四郎(大十)同東京市  
芝區君塚町一〇〇高輪三一八〇  
青山 公亮 正五勳五 臺北帝大助教授 文  
茨城縣淺治郎長男明治廿九年五月出生大正六  
年家督相續同九年東京帝大文科東洋史學科卒  
業松江高校講師同教授鳥根縣師範講師ヲ經テ  
昭和六年現職ニ任ズ  
妻重(明卅四、東京市  
岡田榮次郎長女)養子正子(昭四)同臺北市大  
安字龍安坡五一〇四五〇六  
青山 齊 正四勳三 檢事 宮崎地方裁判  
宮城縣各控訴院檢事歷職昭和十一年六月沖  
繩地方裁判所檢事正ヲ經テ現職ニ就ク  
宮崎  
市宮田町官舎二一四  
青山 新一 正五勳四 理博 金屬材料研究  
岐阜縣人爲吉ノ長男明治十五年六月出生大正  
十五年家督相續明治四十四年東京高師數物化  
學科卒業東北帝大理科助手東京アルカリ工業  
會社鹿兒島電氣工業瓦斯會社第三工業部長東  
北帝大助教授ヲ經テ昭和十一年八月同教授ニ  
進ム大正十三年學位ヲ受ク一般化學研究ノタ  
メ歐洲各國ニ留學ス  
妻矩(明卅一、東京府  
墨岩武夫叔母)男照一(大六)女利子(同三)女



秀子(同九)三女千枝子(昭五)仙臺市花壇  
廣兒島縣仲應二男明治廿四年三月五日出生大  
正三年明治學院中學卒業同五年警視廳巡查長  
命同十五年任警部遺失物係長刑部庶務課長  
兼家出入收容所長昭和十二年目白警察署長ヲ  
經テ同十五年二月任警視廳現職ニ就ク(國)妻歌  
子(明卅三)鹿兒島縣重春藤一郎(妹)長女初枝  
(大十五)東京市品川區大井瀧王子町四五八  
〇(國)大森七八九一

青山 信雄 正五勳五 佐賀高等學校教授  
熊本縣土族信忠ノ長男明治廿六年七月出生大  
正十年分家ス同九年東京帝大理學部地質學科  
卒業教育界ニ入り昭和十年英國ニ留學ス(國)  
妻ハツ(明卅五)奈良縣乾安五郎(長女)男敏信  
(昭五)女美津子(大十一)二女百合子(同十三)  
四女富美子(昭二)二男賢信(同八)佐賀市赤  
松町二二

青山 美乘 正七 北海道廳事務官 後志支  
廣島縣人明治廿六年三月廿九日出生昭和二年  
東京帝大理學部獨法科卒業同四年北海道廳屬  
拜命同年高文行政科合格同八年同廳農林主事  
産業水産課勤務ヲ經テ同十四年二月現職ニ就  
ク(國)北海道俱知安町支廳官舎四六八

青山 秀雄 正五勳五 鐵道局技師 東京鐵  
道局人明治廿六年出生大正八年京都帝大工  
學部土木科卒業大阪鐵道局ニ入り工務課ニ勤  
務昭和十一年七月技師ニ任ジ大阪鐵道局工務  
部長ニ就任後現所ニ轉ズ(國)東京市澁谷區千駄  
ヶ谷五ノ八五八官舎四四谷七一三〇

青山秀三郎 從四勳三 工博 東京帝大教授  
福井縣人正之ノ二男明治廿七年三月出生昭和  
七年分家大正七年東京帝大工科採鑛冶金科卒  
業翌年任同大學助教昭和三年獨佛米各國ニ  
留學同五年歸朝後學位ヲ受ケ同年十一月同大  
學教授ニ任ズ(國)讀書園(國)妻定子(明卅  
三)男爵西村敬三(妹)女子學習院卒)長男博之  
(昭七)長女園子(大十四)東京市淀橋區戸塚  
町三ノ九二八(國)牛込二二二〇

青山 操 從四勳四 稅關獸醫官 大阪稅  
關關務 廣島縣人明治四十三年東京帝大獸醫科卒業門  
司稅關勤務ヲ經テ現職ニ就ク(國)大阪市港區同  
稅關內

青山理三郎 從五勳六 鐵道醫 名古屋鐵道  
愛知縣青山理兵衛二男明治十八年六月廿日出  
生同廿九年愛知醫專卒業任同校助教大正十  
二年現職ニ就ク(國)洋樂旅行寫眞(國)妻し  
ま(明廿七)愛知縣福田員助三女愛知縣立高女  
卒)長男理(大十一)長女郁子(同五)名古屋  
市西區江川町三ノ六(國)西二六八

赤池 健 正七 警察講習所教授兼內務事  
務官 警保局勤務 東京府人明治四十二年六月八日出生昭和五年  
靜岡高校同九年東京帝大法學部獨法科各卒業

其間同八年高文行政科合格翌年栃木縣屬同十  
一年兼任警部翌年免兼官學務部社會課長同年  
七月任地方警視千葉縣警務部勤務ヲ經テ同十  
四年九月現職ニ就ク(國)東京市澁谷區原宿二ノ  
二一〇(國)青山五八

赤岩 八郎 正四勳二 醫博 九州帝大教授  
德島縣人敏三郎三男明治十四年三月出生京都  
帝大福岡醫大卒業任母校助教後歐米各國留  
學歸朝後青森縣技師岡山醫大教授兼同附屬專  
門教授ヲ經テ現時九大教授ニシテ(國)妻トミ(明廿  
五)德島縣新居圭藏三女奈良女高師卒)男二郎  
(大十二)三男道夫(昭二)四男洋(同四)長女朝  
子(同七)福岡市藥院古濱町四一七ノ二(國)西  
四五三六

赤尾 秀高 職業主事 土浦職業紹介所長  
山梨縣人明治廿二年七月廿三日出生夙ニ慶大  
經濟科ヲ卒業シ同大法學部大學院ニ學ビ橫濱  
市書記同主事ニ任ジ隣保館中央授産所庶務  
課各勤務昭和十一年東京市書記同十三年現職  
ニ就ク(國)茨城縣土浦町同所內(國)八六四

赤木 愛太郎 正五勳四 神奈川縣立湘南中學  
校長兼教諭 岡山縣人庄平三男明治六年九月十四日出生同  
卅三年東京高師文科卒業鳥取二中沖繩師範山  
形師範各教諭新潟縣長岡女子師範校長ヲ經テ  
大正十年三月現職ニ就ク神奈川縣教育會理事  
兼幹事ヲ(國)讀書園(國)妻カキ(明十七)宮崎  
久平(長女)長男勝彦(同四二)三男正彦(大六)  
長女秀子(同十)神奈川縣高座郡藤澤町南仲  
通二(國)藤澤三五一

赤司 禮三 正七 警林局技師 熊本警林局  
福岡縣人明治卅三年九月十四日出生大正十五  
年東京帝大農學部林學科卒業同年警林局技師  
拜命昭和四年任陸軍砲兵少尉同年警林局技師  
同十年同技師魚梁瀨警林局長翌年任警林局技  
師高知警林局勤務同十三年熊本警林局勤務翌  
年同局事務課長ヲ經テ同十五年五月現  
職ニ就ク(國)熊本市内坪井町一七一ノ二

赤塚 幹也 從五勳五 陶磁器試驗所技師  
茨城縣駿次郎長男明治廿五年五月二日出生大  
正六年東京高工窯業科卒業同立工業試驗所  
都市立陶磁器試驗場技師同技師同所國立移管  
後同陶磁器試驗所第一部長同所國立移管  
課長ヲ經テ現職ニ就ク(國)古陶器(國)妻初子  
(明卅三)京都府清水正文(妹)高女(國)愛  
知縣東春日井郡守山町八四六

赤塚 清 從六 香川縣立多度津工業學校  
福岡縣人明治十八年十二月九日出生同卅九年  
東京高工電氣科電氣機械分科卒業古河鐵業所  
足尾銅山勤務大正元年筑後水力電氣會社主任  
技師同十二年退社後福岡縣立八女工業學校ニ  
奉職昭和十三年四月現職ニ就ク(國)妻さき  
(明廿四)青森縣渡邊四兵衛(長女)長男信義(大  
四)高専卒)二女俊子(大八)香川縣多度津  
多度津町大字新町一七二(國)一三四

赤羽 照 從四勳三 判事 大阪地方裁判  
所長

赤木 觀之 正五勳四 大使館參事官 上海  
廣島縣人杉原佐太郎ノ三男明治卅年五月出生  
大正四年赤木修作ノ養子トナリ昭和十年家督  
相續大正九年高文行政科合格同七年京都帝大  
法學部政治科卒業爾來東京府屬內務局地方警  
視廳同縣保安課長山口縣特高課長兵庫縣外事  
課長外事事務官兼內務事務官兼關東廳事務官  
兼領事上海在勤高知縣書記官警務部長等歷任  
昭和十年拓務書記官管理局警務課長同十二年  
大臣官房文書課長等ヲ經現時前記ノ任ニ在リ

赤木 鐵夫 從五勳六 中央航空研究所書記  
岡山縣伊勢次郎ノ三男明治卅二年九月十四日  
出生大正十三年東京帝大法科獨法科卒業通信  
省奉職經理局主計課勤務北海道鐵道郵便局長  
中央電話局加入課長札幌通信局規畫課長大阪  
通信局用品課長廣島東京地方各通信局監督課  
長ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク(國)外遊  
ス(國)運動(國)妻阿具利(明四〇)兵庫縣改田  
武馬五女夕陽丘高女卒)長女幸子(昭五)二女  
洋子(同七)東京市大森區馬込町四ノ三一  
一四(國)大森九〇〇〇

赤木 正雄 從四勳四 農博 內務技師兼農  
林技師 土木局第三技師課長  
兵庫縣甚太夫二男明治廿三年三月出生昭和二  
年分家大正三年東京帝大農科林學科卒業內務  
省大阪土木出張所履ヲ經テ任內務技師土木局

赤木 正雄 從四勳四 農博 內務技師兼農  
林技師 土木局第三技師課長  
兵庫縣甚太夫二男明治廿三年三月出生昭和二  
年分家大正三年東京帝大農科林學科卒業內務  
省大阪土木出張所履ヲ經テ任內務技師土木局

赤木 觀之 正五勳四 大使館參事官 上海  
廣島縣人杉原佐太郎ノ三男明治卅年五月出生  
大正四年赤木修作ノ養子トナリ昭和十年家督  
相續大正九年高文行政科合格同七年京都帝大  
法學部政治科卒業爾來東京府屬內務局地方警  
視廳同縣保安課長山口縣特高課長兵庫縣外事  
課長外事事務官兼內務事務官兼關東廳事務官  
兼領事上海在勤高知縣書記官警務部長等歷任  
昭和十年拓務書記官管理局警務課長同十二年  
大臣官房文書課長等ヲ經現時前記ノ任ニ在リ

赤木 鐵夫 從五勳六 中央航空研究所書記  
岡山縣伊勢次郎ノ三男明治卅二年九月十四日  
出生大正十三年東京帝大法科獨法科卒業通信  
省奉職經理局主計課勤務北海道鐵道郵便局長  
中央電話局加入課長札幌通信局規畫課長大阪  
通信局用品課長廣島東京地方各通信局監督課  
長ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク(國)外遊  
ス(國)運動(國)妻阿具利(明四〇)兵庫縣改田  
武馬五女夕陽丘高女卒)長女幸子(昭五)二女  
洋子(同七)東京市大森區馬込町四ノ三一  
一四(國)大森九〇〇〇

赤木 正雄 從四勳四 農博 內務技師兼農  
林技師 土木局第三技師課長  
兵庫縣甚太夫二男明治廿三年三月出生昭和二  
年分家大正三年東京帝大農科林學科卒業內務  
省大阪土木出張所履ヲ經テ任內務技師土木局

赤木 正雄 從四勳四 農博 內務技師兼農  
林技師 土木局第三技師課長  
兵庫縣甚太夫二男明治廿三年三月出生昭和二  
年分家大正三年東京帝大農科林學科卒業內務  
省大阪土木出張所履ヲ經テ任內務技師土木局



初木縣半次郎ノ長男明治十三年十一月出生同四十四年分家同四十二年東京帝大法科法律科卒業同四十五年任判事大阪地方同區各裁判所判事大阪地方裁判所部長等ヲ經テ東京地方裁判所檢事ニ轉シ大正十三年司法省參事官司法書記官昭和三年再任判事東京控訴院部長大審院判事神戸橫濱各地方裁判所長ニ歷任同十四年六月現職ニ任ゼラル豊ニ日大明大各講師ニシテ大正十五年歐米各國ニ出張ス妻サタ(明廿、初木縣竹内熊吉長女)長男辰雄(同四四)二男陽(大二)三男三喜男(同十一)四女阪市北區若松町官舎北二〇

赤松 從五 內務書記官 警保局經濟赤松 從五 內務書記官 警保局經濟

長野縣太田長男明治廿二年三月六日出生昭和二年東京高師卒業高文合格警視廳檢閱課長內務事務官警保局圖書檢閱係勤務青森縣書記官警務部長等歷任昭和十四年四月警視廳部長衛生部長同年九月內務書記官警保局圖書課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就任ス妻珠子(明廿九、東京府玉江文雄妹日本女大附屬高女卒)長男弘(昭四)二男厚(同六)三男稔(同八)東京市麹町區平河町二ノ二九段五〇七〇

赤松 從七 神戸市理事 社會部長 靜岡縣秀雄ノ男明治廿年五月十一日出生同志大ベンシルベニヤ大各卒業大阪府社會課主事石川縣社會課長財團法人浴風會主事中央融和事業協會理事等歷職昭和十年神戸市理事市社會課長兼海員館長トナリ同十三年現職ニ就任ス妻讀書益我(父秀雄(明元)母シノ(同四)妻富士子(同廿八)靜岡縣中島晴妹靜岡高女卒)長男輝明(大九)二男恒明(同十一)三男信明(同十三)四男春樹(同十五)五男文雄(昭五)長女歌子(同八)神戸市灘區篠原北町二ノ九七御影四九一六

赤松 從四 臺灣總督府高雄州知事 和歌山縣人芳太郎長男明治廿三年四月出生同廿九年家督相續大正七年東京帝大法科英法科卒業高文合格爾來臺灣總督府州警視廳地方理事官州事務官臺南州警務部長同內務部長兼臺北州教育課長高雄州警務部長同內務部長兼臺中州警務部長府事務官殖產局警務課長兼商工課長殖產局山林課長兼警務課長文教局警務課長ニ歷任後歐米各國及埃及へ出張後退官再ビ文教局警務課長次ヲ內務局地方課長兼地理課長殖產局農務課長府專賣局參事新竹州知事ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク高崎市山下町官舎二一〇〇

赤松 從四 文部次官 維新史料編纂事務局局長 普通試驗委員長 富山縣德壽弟明治廿二年一月出生大正三年東京帝大法科獨法科卒業文部書記官兼外務書記官文部大臣秘書官大臣官房秘書課長文部省實業事務局局長同專門學務局長歷任昭和十一年退官日華學會理事東亞文化協會總務部長タリシモ同十五年一月文部次官ニ就任ス妻ミドリ(明卅一、富山縣南日實妹)長男義洋(大五)長女道(同七)二男義邦(同十二)三女慶子(昭八)東京市豐島區駒込五ノ九八一〇大塚六〇一五

赤間 文三 從五 商工書記官 化學局有機關長

千葉醫大教授ニ任ズ豊ニ同大學附屬圖書館長ヲ兼テ同十四年學位ヲ受ク妻讀書(妻喜久子(明卅七、細川昱爾妹廣島縣立吳高女卒)長男昂(大十四)二男暢(昭二)三女葉市末廣町一ノ一三四千葉一〇一一

赤松 從六 軍事保護院事務官 業務受授縣人昭和四年高文合格內務省ニ入り地方事務官廣島縣學務部課長兼兵保護院事務官業務局勤務ヲ經テ同十四年現職ニ就ク東京市中野區上ノ原二七

赤松 從五 文部 京城帝大教授 山口縣人照長男明治十九年十二月出生大正九年家督相續明治四十三年京都帝大文科哲學科卒業同大學院ニ入り大正九年龍谷大學教授同年歐米各國ニ留學同十二年歸朝昭和二年現職ニ任ズ妻チヨ(明廿一、愛媛縣森十郎姉)養子尙(昭二、東京府赤松義隆三男)東京府府町

明石 長助 正七 營林局事務官 大阪營林局長事務取扱 庶務部地元施設課

山形縣人大正二年三月卅一日出生昭和九年高文行政科合格翌年東京帝大法學部法律學科卒業同十一年農林局命翌年任農林事務官經濟更生部勤務ヲ經テ同十四年八月現職ニ就ク大阪府北河內郡友呂岐村宇都香里末廣町五五九

明承久次郎 從四 林業試驗場技師 福岡縣土族卯三ノ四男明治廿二年十二月出生大正五年東京帝大農科林學科卒業山林技師同

女卒)長男輝明(大九)二男恒明(同十一)三男信明(同十三)四男春樹(同十五)五男文雄(昭五)長女歌子(同八)神戸市灘區篠原北町二ノ九七御影四九一六

赤松 從四 臺灣總督府高雄州知事 和歌山縣人芳太郎長男明治廿三年四月出生同廿九年家督相續大正七年東京帝大法科英法科卒業高文合格爾來臺灣總督府州警視廳地方理事官州事務官臺南州警務部長同內務部長兼臺北州教育課長高雄州警務部長同內務部長兼臺中州警務部長府事務官殖產局警務課長兼商工課長殖產局山林課長兼警務課長文教局警務課長ニ歷任後歐米各國及埃及へ出張後退官再ビ文教局警務課長次ヲ內務局地方課長兼地理課長殖產局農務課長府專賣局參事新竹州知事ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク高崎市山下町官舎二一〇〇

赤松 從四 文部次官 維新史料編纂事務局局長 普通試驗委員長 富山縣德壽弟明治廿二年一月出生大正三年東京帝大法科獨法科卒業文部書記官兼外務書記官文部大臣秘書官大臣官房秘書課長文部省實業事務局局長同專門學務局長歷任昭和十一年退官日華學會理事東亞文化協會總務部長タリシモ同十五年一月文部次官ニ就任ス妻ミドリ(明卅一、富山縣南日實妹)長男義洋(大五)長女道(同七)二男義邦(同十二)三女慶子(昭八)東京市豐島區駒込五ノ九八一〇大塚六〇一五

赤間 文三 從五 商工書記官 化學局有機關長

技師ヲ經テ大正十一年林業試驗場技師ニ任ジ現在ニ及ブ昭和三年歐洲各國ニ留學ス妻三枝(明卅一、石川縣林駒之助三女)長男敬太(大十五)長女邦子(同九)二女民子(同十三)二男康次(昭四)三女孝子(同十)東京市荏原區戶越町五六

忍 從三 名古屋市長 靜岡縣土族杯武ノ二男明治十四年六月出生同四十四年東京帝大法科佛法科卒業同年高文合格官途ニ就キ果進長野兵庫各縣警務部長福井縣內務部長警視廳警務課長山形鹿兒島千葉群馬各縣知事復興局長地部長榑太長官大阪府知事等歷任昭和十年退官同十四年名古屋市長ニ舉ゲラル妻みつ(明十六、靜岡縣藤原秀太郎妹東京女子美術共立女子職業各卒)男信男(同四三、東京工大卒)男正男(大九)四名古屋市中區南久屋町一ノ三〇中一二三四

秋岡 保治 正五 官幣大社日枝神社宮司 岡山縣美三郎二男明治十九年倉敷市ニ出生同四十四年國學院大學國史科卒業金鑽神社神宜砥鹿神社久前神社鎌倉宮宮司八幡宮各宮司明治神宮權宮司春日神社宮司等ヲ經テ昭和十四年六月現職ニ就ク妻讀書(妻公子(明廿六、岡山縣香西正一郎長女玉島高女卒)養子銀夫(同四五、福岡縣小野新一弟濱濱高商卒)長女佐加衣(大九)養子銀夫妻)東京市麻布區筈町一七五〇赤坂五二〇五

秋田 實 從四 第五高校教授 鳥取縣土族章隆三男明治廿年七月出生同四十

福岡縣故岩吉ノ三男明治廿三年五月卅一日同縣宗像郡津屋崎町ニ出生大正十四年東京帝大法學部獨法科卒業高文合格昭和四年任地方事務官爾來沖繩縣社寺兵事課長兼社會課長兼商工水產課長兼縣立工業指導所長山梨縣社寺兵事課長知事官房主事兼知縣社寺兵事課長兼農務課長兼地方事務官大阪府土木部都市計畫課長兼警務課長等歷任同十四年四月歸島縣書記官經濟部長ヲ經テ同年六月現職ニ就任ス妻惠美子(明四二、廣島縣故文治四女廣島縣立第一高女卒)長男達文(昭七)長女禮子(同十)東京市牛込區若松町七七〇牛込七三九〇

赤松 從四 警務部衛生課長 福岡縣人紺迫松藏ノ三男明治十八年九月十八日出生赤松淳ノ養子トナリ昭和五年分家ス明治四十二年東京帝大醫科獨科全科修了洲崎病院醫員拜命爾來福井青森靜岡各縣警務署高知福島各縣技師地方技師新潟縣警務署廣島縣警務部衛生課長等ヲ經テ現時前記ノ任タリ昭和八年學位ヲ受ク妻ひさ(明廿一、養父津長女)女茂子(大三)女壽子(同六)女英子(同九)女豊子(同十一)神戸市中山手通四丁目公會會合二四三〇

赤松 從四 醫博 千葉醫大教授 廣島縣又四郎二男明治廿八年三月十五日廣島市ニ出生大正八年東京帝大醫科卒業同大學醫化學教室ニ研鑽同十一年獨逸ニ留學同十三年

五年東京帝大文科獨文科卒業爾後商學教諭關西學院高等科主任教授ヲ經テ大正八年現職ニ就ク昭和二年文部省在外研究員トシテ獨伊米各國留學同四年歸朝ス妻かをる(明廿二、鳥根縣足立義重從姉)長男成就(大十一)長女順美子(同五)三女美耶子(同十)四女赫耶子(同十五)三男成功(昭二)熊本本市大江本

秋谷 實 從五 農林技師 羣馬縣人明治卅年十月十一日出生大正十四年東京帝大農學部農學科卒業昭和三年羣馬縣試驗場技師ヲ經テ同四年農林技師ニ任ジ羣馬縣勤務今日ニ及ブ同十五年中華民國へ出張ス妻倉市大町二三三〇鎌倉九四七

秋月 明 從七 地方事務官 埼玉縣學務部長 和歌山縣人明治廿五年二月十八日出生大正五年明治大學法科本科卒業同九年奈良縣巡查拜命爾來同部長同縣警務部補同警務部官崎香川島各縣屬各縣警務部健康保險課長兼任德島縣警務部警視廳保安部健康保險課長係長同企畫係長等ヲ經テ昭和十三年六月現職ニ就ク妻浦和市岸町八ノ三四〇二二七四

秋月 正七 宮崎縣高鍋中學校校長兼教 宮崎縣人種繁長男明治廿三年十月十七日出生大正五年鹿兒島高農卒業農商務省農事試驗場勤務宮崎農學校教諭ヲ經テ昭和九年現職ニ就ク妻ノブ(明卅二、福岡縣栗飯原金次郎二女東京高女卒)嗣子種久(大十二)長女樹子(同十一)二女秋子(同十三)三女香久子(昭九)宮崎縣兒湯郡高鍋町



從五勳六 陶磁器試驗所技師  
東京府人明治廿四年出生大正五年東京高工窯業科卒業地方商工技師=任シ滋賀縣窯業試驗場長ヲ經テ現職=就ク東京都市伏見區深草正覺寺(一五六〇)

院調查官 陸軍航空大佐 企畫  
明治廿七年出生大正四年士官學校卒業陸歩少尉同航空兵科=轉科シ同大佐=累進野砲兵第廿三聯隊附ヲ經テ昭和十三年五月臨時物資調整局事務官總務部計畫課長等歷任現職=就ク東京市中野區住吉町三五〇中野二〇九六

從五 新潟縣立卷中學校校長  
新潟縣渡邊佐之吉ノ男明治廿八年七月廿一日同縣佐渡郡二見村=出生秋野三藏ノ養子トナル大正九年東京高師理科卒業山形新瀉各師範教諭歷昭和八年現職=就ク國劍道庭球短艇スキー(其國)養父三藏(明八、現戶主)養母タツ(同十二)妻明代(同廿三、養父三藏女河原田高女卒)長男一(大五、新潟高技理科卒)二男進(同七)三男幸(同十一)四男廣(同十五)長女フシ(昭四)五男勲(同五)六男陸(同七)新瀉縣西浦郡卷町中江通三

職業主事 鶴岡職業紹介所長  
山形縣人明治十三年四月廿九日出生明治四十年慶應大學政治科卒業時事新報社入社大阪時事新報社神戸支局長後米國尖玲昆州ポートランド市中央日報社=招聘セラレテ同社主筆=任シ歸朝後加茂機業株式會社支配人鶴岡市商業補習學校教諭同市役所書記同市主事等=歷

正六 農林技師 三本木原開  
靜岡縣人明治廿四年六月廿六日出生昭和二年東京帝大農學部農學科卒業同四年地方農林技師神奈川秋田各縣農林技師同十年地方技師滋賀縣勸務青森縣耕林技師同十三年農林技師=任シ農務局勸務同十四年五月現職=就ク青森縣上北郡三本木町字瀬戸山二七

正六 醫博 東京衛生試驗所技師  
栃木縣先代豐吉長男明治廿六年三月卅日出生大正十五年東京帝大醫學部卒業同大學細菌學教室=研究昭和四年現職就任同六年學位ヲ受ク(昭四)妻律子(明四〇、校長長女實踐女學卒)嗣子豐彦(昭八)浦和市鹿島臺

正六 道路技師兼土木技師  
山形縣人明治廿七年二月十一日出生大正五年東京帝大農科林學科卒業同年栃木縣土木技師翌年山林技師東京大林區署勸務昭和二年神奈川縣土木技師ヲ經テ同十四年五月現職=就ク岐阜市加納鐵砲町一

正五 厚生書記官 労働局指導  
埼玉縣土族保雄二男明治卅五年一月廿一日同縣南埼玉郡岩槻町=出生大正十四年高文合格翌十五年東京帝大法學部政治科卒業社會局屬拜命地方警視山口縣警務課長特高課長愛知縣特高課長外務事務官兼領事館內務事務官東亞局第二課勸務兼上海在勤群馬縣書記官學務部長歷任昭和十四年九月現職=就ク(昭四)庭球運動(昭三)妻三代子(明四二、埼玉縣高橋三郎女浦和高女卒)長男保憲(昭五)二男保隆(同七)東京市板橋區常盤臺一ノ二五(板橋六二)

正五 大藏書記官 主稅局關稅  
子爵秋元春朝ノ長男明治廿八年三月出生昭和三年東京帝大經濟學部商業學科卒業大藏省=

正六 勳五 東京帝室博物館監査  
靜岡縣土族光修長男明治廿一年四月三日出生大正二年東京帝大文科卒業後同大學=美學美術史專攻昭和四年歐米=歴遊現時前記職=ア(昭一)和歌(昭二)妻花枝(明廿七、新潟縣堀口九萬一長女三輪田高女卒)長男光和、二女百合惠二男光貞(東京市淀橋區下落合一ノ四三六)

正六 青森縣立弘前高等女學校  
千葉縣人明治十七年出生同廿九年早大文學科卒業=妻=八戶中學校長タリ(弘前市藏主町秋山 理敏 從五勳五 總領事 シドニ=在長野縣人明治卅年四月出生大正九年東京高商卒業高文外交科合格外務局拜命同十一年東京商大附屬專攻部領事科卒業任領事官補爾來外務事務官通商局第一課勸務大使館三等書記官伊國在勤同二等書記官外務事務官通商局第三課勸務兼任外務大臣秘書官外務書記官大臣官房電信課長企畫調查官總裁秘書官企畫院書記官等歷任大使館一等書記官中華民國在勤ヲ經テ現職=任セラレ(昭三)妻綾子(日本女大卒)長女敦子(昭三)二女壽美子(同六)三女美都子(同七)東京市赤坂區水川町二七(留守宅)赤坂四一二六

正七 地方警視 愛知縣警察部  
東京府人明治四十二年十月十九日出生昭和十年高文行政科合格翌年東京帝大法學部政治學

任昭和十三年現職=就ク(昭四)同市馬場町一

正六 醫博 東京衛生試驗所技師  
栃木縣先代豐吉長男明治廿六年三月卅日出生大正十五年東京帝大醫學部卒業同大學細菌學教室=研究昭和四年現職就任同六年學位ヲ受ク(昭四)妻律子(明四〇、校長長女實踐女學卒)嗣子豐彦(昭八)浦和市鹿島臺

正六 道路技師兼土木技師  
山形縣人明治廿七年二月十一日出生大正五年東京帝大農科林學科卒業同年栃木縣土木技師翌年山林技師東京大林區署勸務昭和二年神奈川縣土木技師ヲ經テ同十四年五月現職=就ク岐阜市加納鐵砲町一

正五 厚生書記官 労働局指導  
埼玉縣土族保雄二男明治卅五年一月廿一日同縣南埼玉郡岩槻町=出生大正十四年高文合格翌十五年東京帝大法學部政治科卒業社會局屬拜命地方警視山口縣警務課長特高課長愛知縣特高課長外務事務官兼領事館內務事務官東亞局第二課勸務兼上海在勤群馬縣書記官學務部長歷任昭和十四年九月現職=就ク(昭四)庭球運動(昭三)妻三代子(明四二、埼玉縣高橋三郎女浦和高女卒)長男保憲(昭五)二男保隆(同七)東京市板橋區常盤臺一ノ二五(板橋六二)

正五 大藏書記官 主稅局關稅  
子爵秋元春朝ノ長男明治廿八年三月出生昭和三年東京帝大經濟學部商業學科卒業大藏省=

正六 勳五 東京帝室博物館監査  
靜岡縣土族光修長男明治廿一年四月三日出生大正二年東京帝大文科卒業後同大學=美學美術史專攻昭和四年歐米=歴遊現時前記職=ア(昭一)和歌(昭二)妻花枝(明廿七、新潟縣堀口九萬一長女三輪田高女卒)長男光和、二女百合惠二男光貞(東京市淀橋區下落合一ノ四三六)

正六 青森縣立弘前高等女學校  
千葉縣人明治十七年出生同廿九年早大文學科卒業=妻=八戶中學校長タリ(弘前市藏主町秋山 理敏 從五勳五 總領事 シドニ=在長野縣人明治卅年四月出生大正九年東京高商卒業高文外交科合格外務局拜命同十一年東京商大附屬專攻部領事科卒業任領事官補爾來外務事務官通商局第一課勸務大使館三等書記官伊國在勤同二等書記官外務事務官通商局第三課勸務兼任外務大臣秘書官外務書記官大臣官房電信課長企畫調查官總裁秘書官企畫院書記官等歷任大使館一等書記官中華民國在勤ヲ經テ現職=任セラレ(昭三)妻綾子(日本女大卒)長女敦子(昭三)二女壽美子(同六)三女美都子(同七)東京市赤坂區水川町二七(留守宅)赤坂四一二六

正七 地方警視 愛知縣警察部  
東京府人明治四十二年十月十九日出生昭和十年高文行政科合格翌年東京帝大法學部政治學

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

入リ大藏事務官主稅局勸務次ヲ企畫院書記官  
財務部勸務同調查官第五部勸務總裁秘書官兼任內閣總理大臣秘書官等歷任同十四年九月企畫院書記官第一課勸務ヲ經テ同十五年二月現職=就ク(昭四)父春朝(明十四、貴族院議員現戶州)妻欽子(大二、男爵伊達宗克妹)嗣子和朝(昭十一)東京市麻布區弁町一五九(赤坂一八〇七)

從六勳六 大阪市理事 財務部  
大阪府北河內郡友呂岐村一五八七(香里八秋山 要 從四勳三 司法省刑事局長山梨縣人信太郎ノ長男明治十七年十二月出生同卅三年家督相續同四十四年東京帝大法科獨法科卒業大學院=學ブ東京區東同地方橫濱地方兼同區各裁判所檢事浦和市谷各刑務所長東京區東同地方各裁判所檢事司法書記官兼檢事東京控訴院檢事大審院檢事大坂控訴院檢事大審院檢事歷任同十三年司法省刑務局長ヲ經テ同十五年五月現職=就ク妻=同九年歐米各國=出張ス(昭三)妻(昭七、同府吉井廣吉五女東京高女卒)嗣子玄女(大十)女美枝子(同五)日出女學文化裁縫女學各卒)女節子(同七、實踐高女卒)東京市世田谷區野澤町一ノ一〇(昭三)世田谷三三四二

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長

正七 都市計畫地方委員會事務  
地方委員會事務 靜岡縣總務部  
庶務課長兼都市計畫課長







課長 廣務課長等ヲ經テ現職ニ就ク 國庫中  
濱野 千里 東京市主事 水道局庶務課副  
千葉縣人先代爲吉ノ長男明治廿九年九月四日出  
生夙ニ縣立大宮中學校ヲ卒業大正九年東京  
市水道局ニ入ルニ三河島營業所長タリ  
釣魚ニ養子ハ女子(明治廿七、片瀨松藏文)嗣  
子千秋(大十三)三男三千雄(昭八)千葉縣東  
葛飾郡柏町字柏一五

濱野 國市 從六 地方視學官 島根縣學務  
島根縣人明治廿年四月十五日出生大正十一年  
東京高等師範科第二部昭和七年東京文理大物理  
學科各卒業其間東京高師助手兼訓導廳立廣島  
第一中學教諭成蹊高師助教授兼教諭歷職東京  
文理大助手東京高師講師大阪市立市岡中學教  
諭島根縣立濱田中學教諭昭和十四年同縣立大  
田農學校校長兼教諭同大田高等家政女學校校長  
兼教諭ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク 國松江市  
北堀町

濱野 長光 正六 宮内事務官兼參事官兼式  
東京府士族長次郎長男明治廿七年五月八日出  
生昭和三年東京帝大法學部政治學科卒業農林  
省農務局勸務課來大阪營林局事務官農林事務  
官畜産局勸務課室會計審查官室室博物館事務  
官兼宮内省參事官同事務官東京帝室博物館經  
理課長兼學藝課長等ヲ經テ前記ノ職ニ就ク  
讀書散步 妻梅(明治四一、東京府岸本順  
吉五女東京府立第五高女卒)長女貴代(昭十)  
東京市中野區高根町五 中野五四三七

奈良兩縣ニ於テ警察部健康保險課長タリ 國姫  
路市五軒町一五四 二七二  
濱山 忠愛 從四勳三 醫學博士 京都府立醫大  
京都府上野佐壽二男明治十二年十二月出生先  
代都次郎ノ養子トナリ大正四年家督相續明治  
廿九年京都帝大醫學科卒業同大學助教授ニ任ジ  
歐洲各國ニ留學大正四年學位ヲ受領同十年教  
授トナリ同十二年京都府立醫大ニ轉ズ 妻同  
學長同附屬病院長タリ 妻順(明治廿、妻父都  
次郎二女京都府立第一高女卒)嗣子明(同四  
一)二男哲二(同四五)二女なほ(四五)三女せ  
つ(同十二) 國京都市上京區室町通水上ル  
西陣二二七八

濱利 春次 從七 地方警視 滋賀縣警察部  
秋田縣人明治廿四年五月五日出生文官普通試  
驗合格任農林局山林勸務復興局庶務課課  
務ヲ經テ昭和三年七月任内務局警保局勸務同  
十三年六月任地方警視現職ニ就ク 國大津市松  
本日日出官會 一二七九

麻生 禮次 正五勳四 京城帝大教授 法文  
千葉縣人源太郎ノ三男明治廿九年七月出生昭  
和十一年分家大正九年東京帝大文科國文科卒  
業朝鮮總督府屬同府編修書記總督官房庶務  
部勸務同編修官學務部勸務愛知縣第一高女教  
諭第六高女校教授ニ任テ昭和三年任京城帝大助  
教授次ノ同教授ニ任テ 國京城府三坂通一二三  
國龜山七七一六

麻生 治一 從五勳六 地方商工技師 濱松  
工業試驗場勸務

濱野 英明 從五勳五 判事 水戸地方裁判  
千葉地方裁判所判事東京控訴院判事歷補昭和  
十四年九月現職ニ就ク 國水戸市同地方裁判所  
淺野 三千三 正五勳四 藥博 傳染病研究所  
千葉縣日色彌兵衛ノ次男明治廿七年九月十八  
日出生後淺野家ノ養子トナル大正八年東京帝  
大醫科藥學科卒業同大學副助手同十四年金  
澤醫大附屬藥學專科教授昭和六年同主事兼務ヲ經  
テ現職ニ任ズ昭和二年米獨兩國ニ留學ス  
妻スミ(明治卅五、新潟縣星野昌平長女新潟高女  
卒)長男三千秋(昭六) 國東京市大森區上池上  
町九〇一 國在居七一一

濱野 貞紀 正六 朝鮮總督府通信事務官  
岡山縣政一長男明治廿八年十月一日出生昭和  
四年東京商大卒業通信局庶務電氣各課勸務同  
十一年通信局庶務課長ヲ經テ同十五年三月現  
職ニ就ク 將棋座球 父政一(明治十二)妻  
文子(同四三、佐賀縣黑岩覺一四女京城第二高  
女卒)長男寬治(昭六)二男晃治(同九)三男隆  
治(同十一) 國京城府大和町三丁目 國本局四八  
六〇

淺見 哲作 從七勳七 警視廳警視 小松川  
栃木縣藤一郎弟明治廿四年三月九日出生大正  
二年警視廳巡查奉命昭和五年任警部小松川本  
富士宮坂各署搜查第一課京橋愛宕各署勸務同  
十一年池袋署長トナリ尋テ任警視現職ニ就任  
妻キン(明治廿九)長男隆(大十三)長女初  
ス 國妻キン(明治廿九)長男隆(大十三)長女初

富山縣先代治作ノ長男明治十九年十一月十二  
日出生大正二年東京高工卒業遠野中學岐阜縣  
陶器學校歷勸宮城縣工業會技師山形縣米澤工  
業試驗所勸務現職ニ就ク 妻ひで(明治廿五、竹本秀見長  
女富山師範卒)長男治夫(大五)長女秋子(同  
九)二女治子(同十二)二男治郎(同十四) 國濱  
松市鴨江町一四九八

麻生 茂 地方警視 福島縣警察部警務課  
茨城縣人 大正三年十月八日出生昭和十年第一  
高女同十四年東京帝大法學部各卒業其間同十  
三年高文行政科合格翌年愛媛縣屬拜命經濟部  
商工課勸務ヲ經テ同十五年四月現職ニ任ズ 國  
福島市新田九〇 國一九九

朝倉 文夫 從四勳五 帝國藝術院會員 東  
大分縣士族渡邊要藏ノ三男明治十六年三月出  
生同廿六年家督相續同四十年東京美術學校彫  
刻科卒業後研究科ニ入ル同四十二年第二回文  
部省展覽會ニ彫刻「聞」ヲ出品二等賞ヲ受ケ御  
買上ノ榮ニ浴ス爾後入選屢次大正十年東京美  
術學校教授ニ任ジ同四年文部省美術展覽會審  
査員被仰付次ノ帝國美術院會員ニ舉ゲラル昭  
和三年十月同會員及審査員ヲ辭シ同十年六月  
帝國藝術院會員ニ推サル 國妻やま(明治廿五、  
東京府山田元吉二女)女孺子(大十一) 國東京  
市下谷區谷中天王寺町二〇 國下谷六五四九  
朝比奈實太郎 從五勳五 教學局部長 企畫  
靜岡縣人金太郎ノ三男明治廿四年四月十日同  
縣富士郡大宮町ニ出生大正九年分家同五年廣

島高等師範本科地理歴史部ヲ卒業樟太郎ニ奉  
職爾來同屬同高女教諭同視學兼同高  
女教諭同十三年高文行政科合格新潟縣屬内務  
部社會課長學務部社會課長地方事務官千葉縣  
勸務同縣社會課長兼本島各縣勸務文部事務  
官大臣官房會計課兼文書課勸務文部書記官社  
會教育局青年教育課長大臣官房文書課長等歷  
任昭和十四年四月興亞院書記官華北連署部在  
勸ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク 妻ニ普通學  
務局學務課長ヲ兼任ス 國旅行ス。一 妻  
富子(明治卅五、靜岡縣岡田荒吉長女同縣立大  
宮高女卒)二男元(大十二)三男新(同十四) 國  
東京市澁谷區青葉町二〇 國青山八三四〇  
朝比奈實太郎 從七 職業主事 足利職業紹介  
滋賀縣人明治廿六年四月十六日出生大正三年  
栃木縣巡查奉命爾來果進シテ昭和十二年任地  
方警視其間喜連川大田原日光各署長ニ歷任同  
十三年現職ニ就ク 國足利市役所構内同所内  
朝比奈實太郎 從三勳二 藥博 帝國學士院會  
東京府士族和四郎長男明治十四年四月出生同  
廿八年家督相續同廿八年東京帝大醫科藥學科  
卒業大學院ニ學ビ助手トナリ同四十二年私費  
ヲ以テ瑞西ニ留學同四十五年文部省留學生ト  
ナル同四十四年學位ヲ受ク大正元年東京帝大  
醫科助教授同七年教授ニ任ズ 國栽培 妻  
こと(明治十七、靜岡縣河邊富助長女)男正二郎  
(大十二)二男英三(同三)三男菊雄(同六)長女か  
ほ(同九)二女千代(同十一)三女てる(同十  
三)四女フク(昭三) 國東京市澁谷區戸塚町三  
ノ一二三 國牛込四一六〇

枝(同九)二女富子(昭四)二男成男(同六)三男  
芳男(同九) 國東京市江戶川區小松川四ノ五七  
國墨田六三

淺見 興七 正五勳四 農博 東京帝大教授  
岐阜縣與右衛門ノ三男明治廿七年三月出生大  
正七年東京帝大農學科卒業現職ニ任ズ 在  
リ 妻ゆり子(明治廿六) 國東京市板橋區石神  
井立野町九〇六 國吉祥寺六三二  
淺見 津 正五勳五 地方技師 新潟縣土  
木部長  
兵庫縣人明治廿四年七月十二日出生大正六年  
京都帝大工科土木科ヲ卒業漢米コーネル大學  
及イリノイ大學ニ研究同八年任内務技師土木  
局勸務同十三年任地方技師長野縣勸務昭和二  
年鹿兒島同四年同島同七年同井同十年長崎各  
縣土木課長歷任同十四年八月現職ニ就ク 國新  
潟市學校町通二官會 國一〇六六

濱見 義弘 正五勳四 工博 北海道帝大教  
授 工學部勸務  
埼玉縣人竹三郎ノ三男明治卅一年六月出生昭  
和六年分家大正十一年東京帝大工學部卒業  
同十一年通信省電氣試驗所研究員同十四年現  
職ニ任ジ同十二年歐米各國在留昭和十一年  
學位ヲ受ク 國藤曲スキキ 妻千賀(明治  
卅九、兵庫縣兼吉兵衛二女)長女恭子(昭六)二  
女公子(同八) 國札幌市南十九條西五丁目  
淺山七五三 從七 職業主事 經路職業紹介  
福岡縣士族明治廿一年七月十日出生生夙ニ東京  
帝大法科ニ學ビ社會局健康保險署書記同佐  
賀奈良各縣屬昭和十三年現職ニ就ク 妻ニ佐賀

九、兵庫縣兼吉兵衛二女)長女恭子(昭六)二  
女公子(同八) 國札幌市南十九條西五丁目  
淺山七五三 從七 職業主事 經路職業紹介  
福岡縣士族明治廿一年七月十日出生生夙ニ東京  
帝大法科ニ學ビ社會局健康保險署書記同佐  
賀奈良各縣屬昭和十三年現職ニ就ク 妻ニ佐賀

九、兵庫縣兼吉兵衛二女)長女恭子(昭六)二  
女公子(同八) 國札幌市南十九條西五丁目  
淺山七五三 從七 職業主事 經路職業紹介  
福岡縣士族明治廿一年七月十日出生生夙ニ東京  
帝大法科ニ學ビ社會局健康保險署書記同佐  
賀奈良各縣屬昭和十三年現職ニ就ク 妻ニ佐賀



實川 慶 從六 地方事務官 茨城縣學務部社會課長

茨城縣士族明治廿七年八月九日出生大正二年同縣立水戸中學校卒業第一高校ニ學ビ同八年茨城縣屬拜命内務部勸業課產課農林課農務同縣農林主事補次ヲ同主事昭和十二年十一月地方事務官ニ任ジ社寺兵事課長ヲ經テ同十三年十二月現職ニ就ク同水戸市十軒町六七三番地

長野縣人昭和九年東京帝大法學部政治科卒業商工省鑛山局勸務商工大臣秘書官兼商工事務官大臣官房秘書課勸務商工事務官統制局勸務ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク同北京市興亞院華北連絡部内

安平 從五 南洋熱帶研究所技師

東京府人明治四十四年東京帝大農科農學科卒業南洋廳ニ入り果道現時熱帶研究所所長タリ同南洋群島パオ諸島コロール島同所内

東京府人友義長男明治廿年七月廿日出生大正十年東京文理大教育科卒業立教大學教授ヲ經テ東京高師研究室ニ研究奈良縣師範教諭同縣立五條高女校長ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク同妻さかえ(明卅七、京都府片岡隆姉同府立高女卒)嗣子豊(昭二)二男稔 長女規水子(昭七)同奈良市北袋町一〇二八〇六

重野 弘 正五勳四 總領事 シカゴ在勳 大使館二等書記官外務書記官通商局第二課長大臣官房文書課長兼翻譯課長官報報告主任並

東 富雄 正七勳七 學校管轄技師 岐石川縣人舊姓杉田ト稱ス明治卅年十二月十日出生大正十五年日本大學高工專攻部建築學科卒業富山縣建築技師同縣管轄技師同技師ニ任

東京府人明治十六年二月四日出生同卅八年水産講習所卒業後同所ニ入り教授トナリ現在ニ及ブ同妻ちか(東京市牛込區余丁町六八)

東 龍太郎 正五勳四 醫博 東京帝大醫學部教授兼文部省教育官 同大學評議員

大阪府人藤九郎ノ長男明治廿六年一月出生大正六年東京帝大醫學科卒業同大學院ニ學ビ同大學醫科助手トナル後ロンドン大學ニニバシテイ、カレッジニ於テ物理化學及生理學ヲ專攻東京帝大助教授文部省學校衛生官等歷任昭和六年英米ニ留學同七年東京帝大教授ニ任ズ大正十五年學位ヲ受ク同スポーツ博覽會ニ

女高師附屬高女卒)男克彦(大九)女敦子(同十一)二男健彦(同十五)二女和子(昭三)三男博彦(同五)同東京市板橋區下石神井二ノ一二一七石神井五三

大澤 貞利 正五勳五 鐵道監察官 福島縣士族貞藏ノ長男明治卅一年一月廿九日

統計主任ヲ經テ昭和十四年十月現職ニ就ク同東京市麻布區飯倉片町三一菊池方

味岡 莊 從五勳五 地方技師 福島縣警署 警察衛生課長

島根縣正義二男明治廿三年十一月廿八日松江市出生大正六年愛知縣立醫學專卒業同七年岐阜縣工場監督官補爾來同縣技師島根縣衛生技師同縣衛生技師京都府衛生技師衛生技師青森縣衛生課長等歷任昭和十四年七月任地方技師現職ニ就任ス同妻(明廿八)男義一(東京陸軍幼年學校)女千勢子(青森縣立高女)同福島市宮田七〇七九九

飛鳥井雅信 正四勳五 宮内事務官 先代恒磨二男明治廿六年七月出生大正十三年襲爵同七年早大政經科卒業同十一年高文合格帝室林野局事務官東京支局監理課長ヲ經テ昭和十二年現職ニ就ク同妻(明四)妻敏子(明卅五、子爵八條隆正長女女子學習院高等科卒)男雅道(昭九)長女典子(同二)二女祥子(同三)二男雅慶(同十二)同東京市澁谷區原宿二ノ一七〇、九號國神山三三五〇

厚木 勝基 正四勳三 工博 東京帝大教授 東京府士族南平次ノ長男明治廿年三月出生同十四年東京帝大工科應用化學科卒業大正五年米澤高工教授次テ同六年東京帝大工學部助教同八年米澤留學同十年現職ニ就ク同十二年學位ヲ受ク著書數種アリ同妻ミチ(明廿五、兵庫縣天方基廣三女大阪府立清水谷高女卒)女智枝(大四、佛英和高女卒)女榮子(同六同校卒)同東京市小石川區丸山町二一〇大塚

出生大正十年高文行政科合格同十一年東京帝大法學部政治學科卒業任鐵道局書記爾來鐵道局副參事神戶札幌東京各鐵道局副參事同五年在外研究員同七年歸朝後鐵道局副參事門司鐵道局運轉課貨物掛長兼配車掛長同島橋運輸事務所長鐵道局參事名古屋鐵道局庶務課長兼教育所長總務部長同運輸部長ヲ經テ同十四年九月現職ニ就ク同妻トキ(明廿八、齋藤鐵次長女福島縣立會津高女卒)男貞明(大十三)長女照子(昭二)同東京市杉並區西荻窪二ノ一二三

穴澤 龍作 東京市技師 土木局道路管理課 山口縣虎藏ノ長男明治廿三年五月五日出生大正五年京都帝大工科土木科卒業東京市ニ入り果道技師ニ任ジ道路局工務掛長經理課契約掛長庶務課工務掛長下水課技師掛長同第二工務所長下水課工務掛長臨時市廳舍建築部庶務課長等歷任昭和十年本所區長ヲ經テ現職ニ就ク同妻(明卅四、山口縣河田郡同縣立高女卒)長男藤宏(大十三、成城學園在)同東京市世田谷區成城八八九九碓三〇九

龍崎 松平 從四勳四 臺灣總督府判官 高宮城縣人五郎左衛門五男明治十八年五月出生昭和四年分家ス夙ニ中央大學專門部卒業同四十四年判檢事登用試驗合格司法官試驗補任命同四十五年辯護士開業等ヲ特許辯護士ヲ兼ヌ大正七年臺灣總督府法院判官ニ任ジ臺中地方法院高等法院覆審法院兼臺北地方法院各判官ヲ

一四五二 厚地 法人 從五勳六 朝鮮總督府事務官 鹿兒島縣金次郎長男明治廿八年二月二日出生昭和二年東京帝大法學部英法科卒業朝鮮總督府勸務同七年拓務事務官次テ樺太廳農林部長同殖産部長歷任同十三年七月朝鮮總督府專賣局事務官鹽務課長ヲ經テ同十五年二月現職ニ就ク同妻芳江(大四、鹿兒島縣厚地宗七郎二女縣立第一高女卒)同京城府光化門通一官會遺孀 正 從四勳五 東京高師教授 愛知縣加藤正高ノ五男明治廿五年十一月十五日出生同縣士族瀧美與一ノ養子トナル大正九年東京帝大理學部物理學科卒業後現職ニ就ク同妻(明卅九、東京府足立豐藏二女山脇高女卒)嗣子勝忠(昭四)長女和子(大十五)同東京市豐島區長崎四ノ二七七落合長崎二四九一

東 治 島根縣警務部健康保險課長 廣島縣人明治卅三年二月廿四日廣島市竹屋町ニ出生昭和三年中央大學專門部正科法學科卒業中之條稅務署庶務課長健康保險署書記兼觀摩保安部健康保險課勸務江東健康保險出張所勸務保安部健康保險課勸務同王子倉戶各健康保險出張所勸務昭和十三年保安部健康保險課勸務同健康保險出張所勸務等歷任同十四年五月八王子健康保險出張所所長ヲ經テ現職ニ就ク同松江市段町縣廳内

東 佛三郎 熊谷市助役 埼玉縣人萬三四男明治十六年十月十五日出生那智町助役等ヲ經テ昭和八年現職ニ就ク同妻こゝろ(明廿三、小久保三三五女)嗣子純

經テ昭和二年現職ニ就ク同妻靜子(明卅五)同臺北市書院町二ノ三法院官舍三二七五

油谷 精夫 正七 貿易局事務官兼倉庫院事務官 第一市場第二課勸務 山口縣人明治四十年十一月廿七日出生昭和六年九州帝大法文學部法科同八年東京帝大經濟學部各卒業翌年高文行政科合格同十年商工局拜命翌年任商工事務官貿易局勸務同十二年貿易局事務官ニ任ジ第二部輸入課第一部第二課勸務ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク同東京市品川區西品川五ノ一〇〇九

精松 龍 從四勳三 判事 豐岡區裁判所 監督兼神戸地方豐岡支部々長 鹿兒島縣士族珍磨二男明治十四年三月出生昭和三年家督相續同卅四年東京專門學校法律科卒業判檢事登用試驗合格任判事爾來福島地方安津津地方兼同區名古屋地方兼同區大垣地方兼同區地方兼同區和歌山地方兼同區中村區高知縣同地方兼同縣知山縣山各區裁判所判事ニ歷任洲本區裁判所監督兼神戸地方洲本支部判事ヲ經テ現職ニ就ク同妻(昭六)妻正榮(同廿、京都府西川新次妹)同兵庫縣城崎郡豐岡町裁判所官舍三三九四

天谷 健二 從五勳六 朝鮮總督府秘書官 福井縣士族荒木金四郎三男明治廿四年十一月五日出生天谷寬ノ養子トナル福井縣勸務局井電力取締役兼支配人職業紹介事務局事務官東京地方職業紹介事務局長浴風會庶務課長ヲ經テ昭和十一年現職ニ就ク同妻トキ(昭一)妻少

二七



き子(明世)長男正(大十三)長女房子(同九)東京府立八高女卒(二)女純子(昭五)三女紀子(同八)三男敦(同十)四男恂(同十二)東京府大和町二官舎本局四〇八

**天啓** 實作 從五 醫博 栃木縣衛生技師 宇都宮診療院長

栃木縣榮次ノ四男明治廿四年八月四日出生大正四年千葉醫大卒業同大學附屬病院勤務ヲ經テ同十年現職ニ就任昭和九年學位ヲ受ク

釣魚 妻百合子(明世)千葉縣長嶋金三郎四女千葉縣立高女卒(長男一榮(大八)長女美江子(十一)二女菊枝(同十四)二男博(昭三)三男都宮市河原町一〇九〇宇都宮二九九八

**天啓** 次一 正五勳五 特許局技師 審判部 審判官

福井縣人大正十年東京帝大工學部應用化學科卒業特許局ニ入り現時前記ノ職ニ在リ東京市杉並區上荻窪一ノ一〇

**天啓** 清 正七勳六 地方事務官 群馬縣 群馬縣人明治廿三年三月廿四日同縣新田郡ニ出生同四十年同縣立太田中學ヲ卒業後入隊陸軍歩兵中尉ニ任官ス夙ニ群馬縣新田郡書記拜命爾來同縣屬同土木主事ヲ歷任昭和十一年七月地方事務官ニ任ジ商工課長兼獎勵館長ヲ經テ同十三年六月現職ニ就ク同前橋市萩町二二〇二七八

**天啓** 篤治 從四勳三 大使館參事官 青森縣政容四男明治廿六年三月出生大正六年東京帝大法政科政治科卒業外交官及領事官試驗合格同年外交官補拜命爾來大使館三等書記官

米國在勳公使館三等書記官西班牙在勳外務事務官條約局第一課勤務大使館二等書記官白耳義國在勳公使館二等書記官同一等書記官瑞西國在勳大使館一等書記官ソウイェト聯邦在勳等歷任昭和六年外務省書記官情報部第一課長調查部第二課長同九年總領事アレキサンドリヤ在勳同十一年一月公使館一等書記官エジプト國在勳ヲ經テ同十一年大使館參事官ニ任ジブラジル在勳被命同十年八月日使通商會議帝國代表委員被仰付同十四年五月待命被仰付

代表委員被仰付同十四年五月待命被仰付

妻綾子(明世)長崎縣土族柳谷卯三郎長女(長女紀子(大十五)二女純子(昭三)三女淳子(同六)東京市四谷區鹽町一ノ三四柳谷方園四谷五一五一

**天啓** 敏介 從四勳四 醫博 朝鮮總督府道 技師兼同府技師 京畿道警察部 衛生課長兼警務局勤務兼藥用植 物研究所長

山口縣土族中村長輔ノ二男明治十九年十一月出生大正三年天岸一順ノ養子トナル同五年大阪府立醫大卒業東京濟生會病院北里研究所東京帝大等ニ研究ヲ重ネ爾來內務省防疫事務局託兵庫縣技師同十年任朝鮮總督府技師警務局勤務ヲ經テ現時前記ノ任ニ在リ同九年學位ヲ受ケ昭和四年新嘉坡ニ出張ス

妻父一順(明三)愛媛縣土族淺井一徳四男現戶主)養母ヨシ(同十二)天岸維倫(二女)男太郎(大九)東京府元町二ノ七龍山八四三

**天啓** 太郎 從七 地方事務官 靜岡縣警察 部工場課長 工場監督官

靜岡縣人熊吉ノ長男明治廿二年四月六日出生大正十五年靜岡縣屬會計課勤務昭和八年屬兼

警部知事官房勤務同十三年六月知事官房主事秘書課長兼文書課長等ヲ經テ同年八月地方事務官ニ任ジ現職ニ就任ス

讀書 妻ツヤ子(明世)長男幸雄(昭七)長女美奈子(同三)二女順子(同五)二男武(同十)靜岡市西千代田町縣警住宅三二號二〇〇八

**天啓** 榮十郎 正五勳四 通信事務官 名古屋 愛知縣人榮三良ノ長男明治廿五年三月出生同四十二年名古屋郵便局通信吏員養成所卒業大正九年高文ニ合格通信事務官兼通信局事務官那須郵便局長兼同無線電信局長心得兼務伏見郵便局長兼深草郵便局長心得兼務局事務官通信事務官名古屋無線電信局長ニ歷任昭和十年現局長ニ任ズ

觀世流流曲 妻てい(明世)愛知縣安井柳助長女(長男榮夫(大十二)長女哲子(同十四)三男昭二(昭二)二女惠子(同五)四男和彦(同七)五男明(同十)名古屋市西區白旗町三ノ二西一五〇〇

**天啓** 貞晴 從四勳三 文博 京都帝大教授 神奈川縣人藤三ノ四男明治十七年九月廿日出生大正九年分家ス明治四十五年京都帝大文科哲學科卒業第七高專學院各教授ヲ經テ大正十五年京都帝大助教授ニ任ジ昭和六年同教授ニ進ム大正十二年歐米各國ニ留學ス

讀書 妻タマ(明世)東京府青木傳七三女(同)京都市左京區下鴨下川原町四六ノ二二上二〇〇三

**天啓** 登一郎 正五勳五 鐵道技師 經理局兼 大臣官房研究所勤務

栃木縣天野熊三郎ノ二男明治廿二年四月五日出生大正五年東京帝大農科林學科卒業後農林省ニ入り同七年鐵道省ニ轉ジ同研究所倉庫課勤務同九年任鐵道技師現職ニ就ク

讀書 妻コヲ(明世)東京府長谷田正長女東京市立高女卒(二女郁子(昭元)東京市下谷區上野櫻木町三六下谷四九一〇

**天啓** 義邦 從七勳七 地方事務官 山梨縣 山梨縣人明治廿五年三月十五日出生大正四年同縣中巨摩郡書記同十五年同縣屬拜命學務部社寺事務課勤務昭和十二年同社會課長翌年一月總務部會計課長歷任同十四年三月地方事務官ニ任ジ同課長勤務同十五年本官ヲ免ゼラル

同甲府市日向町官舎三三〇九

**天啓** 英二 正四勳二 特命全權大使 伊國 德島縣久米彌二男明治廿八年八月出生同四十五年東京高商專攻部卒業外交官及領事官試驗合格大使館三等書記官瑞西國在勳公使館二等書記官外務事務官歐米局勤務廣東及哈爾濱總領事公使館一等書記官支那在勳大使館參事官ノ聯邦在勳外務省情報部長等歷任特命全權公使瑞西國駐劄ヲ經テ昭和十四年九月現職ニ任ズ

妻美代(明世)久保勇長女學智院女學部卒(長男大平(大十一)長女廣子(同十二)二女和子(同十四)二男民雄(昭二)三男浩平(同三)在瑞西國日本公使館內(留守宅)東京市赤坂區青山南町六ノ七三團青山八三三〇

**天啓** 正六 學校督修技師 東京府總 務部督修課長

千葉縣人明治廿三年八月廿五日出生大正三年

東京高工建築科卒業同七年明治神宮造營局技手同十一年同技師同十四年東京市技師昭和六年東京工大鳩託ヲ經テ同十一年東京府督修技師總務部督修課長トナリ同年學校督修技師ニ任ズ東京市中野區本町通六ノ一八國中野二〇八二

**天啓** 新次郎 東京市主事 總務局都市計畫課 德島縣人富永竹五郎二男明治廿八年一月廿九日同縣那賀郡立江町出生先代要之助ノ養子トナル日大法科ニ學ビ辯護士試驗合格後東京市ニ入り監査局統計課長監査部監査課長ヲ經テ現職ニ就ク

妻幸子(明世)養父要之助(二女)東京市牛込區新小川町二ノ一牛込七〇一〇

**天啓** 鐵藏 從六勳七 前保護觀察所保護司 大阪保護觀察所勤務

熊本縣人明治廿二年八月十九日出生大正十年關西大學法科專門部卒業內務省ヲ經テ昭和五年任地方警視香川和歌山岐阜各縣特高課長歷任同十三年現職ニ轉ズ

妻菊(明世)長男安和(大十五)二男芳男(昭三)三男幸哉(同七)長女三知子(同十三)同布施市中小坂五九一

**天啓** 實作 從四勳三 農博 東京帝大教授 山梨縣人景通ノ四男明治廿二年十一月出生大正九年分家ス同三年東京帝大農科水產學科卒業同九年同大學助教授ニ任ジ同十四年英米獨留學昭和二年歸朝翌年學位ヲ受ク同四年同大學教授ニ進ミ現時農學部勤務附屬水產實驗所長トナリ

妻文子(明世)東京府柴垣鎮郎二女(男龍吉(昭三)二女恭子(大十一)五女慶子(同十)東京市目黒區駒場町九〇七園邊谷三一九

**天啓** 收兵 正七 地方事務官 山梨縣學務 部社寺事務課長

山梨縣二三郎長男明治廿四年八月廿日出生夙ニ東京山梨郡書記次ノ山梨縣屬拜命地方課知事官房歷勤後會計課長官房主事ヲ經テ地方事務官ニ任ジ同縣社寺事務課長同十五年七月本書編纂中本官ヲ免ゼラル

讀書 妻愛子(明世)山梨縣飯島新造五女山梨女子師範卒(長男孝(大十三)縣立甲府中學在)長女茂里枝(同九)縣立甲府高女卒(二女かつみ(同十一)同校卒)三女光江(昭四)同甲府市日向町官舎三三八一〇

**天啓** 實 從五勳三 陸軍歩兵大佐 商工 省物資調整官 大臣官房審議室 附 總務局勤務

山梨縣人明治廿五年十二月十五日出生大正三年陸軍士官學校卒業同年任陸軍歩兵少尉同十四年陸軍大學昭和二年陸軍下志津飛行學校同年明野飛行學校各卒業同十二年任陸軍歩兵大佐同十四年八月現職ニ補セラル

東京市杉並區天沼一ノ二四二園萩五五一八

**天啓** 要平 從七 東京市城東區主事 庶務 課長

山梨縣人明治廿八年三月十七日出生大正十年日本大學法律科卒業後東京市ニ入り電氣局秘書課同庶務課同勞動課ニ各勤務問題研究ノタメ歐米ニ出張歸朝後東京市杉並區書記同主事戶籍課長同豐島區主事戶籍課長等ヲ經テ昭和十二年十月現職ニ就ク

陸軍歩兵中尉トナリ東京市杉並區阿佐ヶ谷一ノ七一



表四六二一

兩宮 正六 銀行検査官 銀行局勤務
山梨縣人大正十二年東京帝大經濟學部卒業三
井銀行本店外國營業部勤務ヲ經テ大藏省ニ入
リ現ニ銀行検査官タリ東京市杉並區西田町
二ノ三五番三六九六

從五 貿易局技師兼商工技師第
二部化學農水産課勤務
東京府人明治廿六年十二月十六日出生昭和二
年東京帝大農學部農藝化學科卒業同年商工技
師五年任同技師貿易局勤務十二年七月貿易
局技師ニ任ジ第一部情報課兼第二部輸出課
勤務翌年五月兼任臨時物產調整局技師同年九
月免兼官同十四年六月現勤務トナリ同十五年
五月兼任商工技師化學局勤務タリ東京市淀
橋區戸塚町二ノ一四三

從六 警察講習所教授兼内務事
務官 警保局勤務
福島縣人明治廿二年九月廿二日同縣河沼郡日
橋村ニ出生大正十四年東京高師文科卒業高文
合格爾來石川縣屬兼福島縣地方警視石川縣警務
課長地方事務官山形縣警務課長地方警視同縣
特高課長等歷任昭和十三年長野縣特高課長ヲ
經テ同十五年現職ニ就ク
(明廿八、旗原高女卒)長男春太郎(大十五)二
男尙男(昭四)東京市杉並區天沼二六四
荒井 清 正五勳五 商工技師 總務局兼
振興部勤務
兵庫縣人明治廿一年三月廿八日出生大正十年
東京帝大工學部卒業同年工業試驗所技師同十
二年技師ニ任ジ大阪工業試驗所勤務昭和十三
年同所第一部長次ヲ臨時物產調整局技師ヲ經
テ同十四年六月現職ニ就ク東京市目黒區三
谷町一三五

理科各卒業同大學講師同助教甲南高校教授
臺灣總督府高等農林學校教授ヲ經テ大正十五
年歐米各國ニ留學臺北帝大教授農學部勤務
ヲ經テ昭和十一年八月現職ニ就ク同三年學位
ヲ受ク
妻ニキ(明廿九、佐賀縣荒木村)
長男巖(大九)二男勝(同十)長女百合子(同十
四)三男豊(昭二)東京市上京區小山西北大野
町二三番四七三五
荒川 正七 營林局技師 高知營林局
專業部販賣課長
宮崎縣土族明治廿四年五月日出生昭和二年
東京帝大農學部林學科卒業同四年營林局技師
兼營林局技師專任營林局技師兼本營林局
勤務同九年營林局技師多良木營林局長同十
一年同技師長須崎各營林局長ヲ經テ同十四年
十二月現職ニ就ク高知市丸ノ内同局内
荒川 昌二 從四勳三 對滿事務局長 英
佛駐在
大分縣土族新十郎二男明治廿四年十二月廿日
出生昭和五年家督相續大正五年東京帝大法科
政治科卒業大藏省ニ入り爾來シベリヲ駐在海
外駐劄財務官附板橋稅務署長大藏主計官大藏
書記官同主計課長大臣官房會計課長銀行檢査
官銀行課長外國爲管理部長海外駐劄財務官
兼大藏事務官日本銀行監理官ヲ經テ昭和十五
年三月現職ニ就ク
(明廿一、米山梅吉二女聖心女學院卒)長
男健夫(大八)長女米子(同十三)東京市赤坂
區青山南町六ノ一四七番青山一一〇
荒川 信 正五勳三 海軍主計少將 海軍
航空技術廠會計部長
東京府人明治四十五年經理學校卒業少將ニ累

進海軍航空本部總務部第二課長佐世保海軍工
廠會計部長海軍經理學校教頭等ヲ經現職ニ就
ク
妻ニキ、長男信美(海軍航空技術廠内
荒川大太郎)正五勳四 逕信省工務局長
東京府重芳、長男明治廿八年九月出生大正八
年東京帝大工科電氣科卒業逕信省ニ入り工務
局無線課長市外建設課長ヲ經テ昭和十三年現
職ニ就ク
妻ニキ(明廿一、鳥崎仁作三女)
長女千野子(大九)次女萬里子(同十三)三女京
子(昭五)四女陽子(同八)東京市豊島區池袋
三ノ一六一〇番大塚二〇〇五
荒川 文六 從三勳一 工博 九州帝大總長
東京府土族省吾、長男明治十一年十一月出生
同廿二年家督相續同廿三年東京帝大工科電氣
工學科卒業同大學助教ニ任ジ同四十年獨英
米ニ留學同四十二年歸朝ニ翌年九州帝大教授
ニ進ミ同年學位ヲ受ク昭和十一年同大學總長
ニ任ズ
(明十六、東京府土
族井深棍之助長女普連士女學校卒)男康夫(同
廿九)同妻正代(大元、東京府三木國太郎長女
聖心女學院卒)男信生(明四五)女輝子(大六)
女滿壽江(同七)女綾子(同九)女登志子(同十
一)女春枝(同十三)三男弘文(同十五)福岡
市地行西町七三番西一三六二
荒川 又市 從五 山形縣書記官 學務部長
福岡縣人明治廿六年九月一日出生大正十五年
高文行政科合格任北海道廳屬尋テ地方事務官
青森縣勸務地方警視青森縣特高課長兵庫縣特
高課長地方事務官栃木縣耕田課長同農務課長
愛知縣工場課長大阪府地方課長歷任昭和十三
年内閣統計局書記官勞動課長兼庶務課長厚生

年高千穂高商卒業同年警視廳巡查命翌年警
察講習所教授課程及昭和二年明大法科專門部
卒業同年任巡查部長高文行政科合格爾來警視
廳警部補同技師兼警部警務技師警視廳屬警部
警部專任同警部同七年警視廳警部布六本木警
察署長同八年神田萬世橋警署署長等歷任同十
三年地方事務官福島縣社寺兵事課長同十四年
同縣警務課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク
同山口市瀧區一〇八二
荒井 陶 從六 警察講習所教授兼内務事
務官 警保局勤務
福島縣人明治廿二年九月廿二日同縣河沼郡日
橋村ニ出生大正十四年東京高師文科卒業高文
合格爾來石川縣屬兼福島縣地方警視石川縣警務
課長地方事務官山形縣警務課長地方警視同縣
特高課長等歷任昭和十三年長野縣特高課長ヲ
經テ同十五年現職ニ就ク
(明廿八、旗原高女卒)長男春太郎(大十五)二
男尙男(昭四)東京市杉並區天沼二六四
荒井 清 正五勳五 商工技師 總務局兼
振興部勤務
兵庫縣人明治廿一年三月廿八日出生大正十年
東京帝大工學部卒業同年工業試驗所技師同十
二年技師ニ任ジ大阪工業試驗所勤務昭和十三
年同所第一部長次ヲ臨時物產調整局技師ヲ經
テ同十四年六月現職ニ就ク東京市目黒區三
谷町一三五
荒井 文實 正五勳四 理博 京都帝大教授
兵庫縣人長田シゲノ男明治廿三年三月出生同
廿五年得次ノ養子トナリ大正十三年家督相續
ス同三年東京高師數物化學部同七年京都帝大



其ノ間陸軍大學卒業露國駐在武官參謀本部課長兼兵司令官參謀本部第一部長陸軍大學校長第六師團長教育總監本部部長ヲ經テ大養内閣ニ陸軍大臣ニ親任齊藤内閣ニ留任同九年一月辭任軍事參議官トナリ華族ニ列シ男爵ヲ授ケラル同十一年四月豫備役被仰付ニ歐洲大戦中從軍武官トシテ八ヶ年間在外勤務ス昭和十二年十月近衛内閣ニ參議制新設ト共ニ内閣參議ニ列シ同十三年文部大臣ニ親任後内閣參議ニ再任ス(國體)妻キ(明十七、東京府栗原忠三(株)男貞發(同四二、從五)二男護夫(大八)三男明夫(同十四)東京市澁谷區幡ヶ谷本町一ノ六三〇四谷九七

**荒木 新造** 正六勳五 農林理事官 大臣官 熊本縣人明治十二年十二月十九日出生同卅一年同縣屬拜命知事官房勤務次之廣島縣世羅郡書記農商務局山林局長大臣官房秘書課勤務兼任臨時產業調查局農林局長農工商大臣官房秘書課勤務山林局長農工商局長任營林局長林事務官等ヲ經テ昭和九年農林理事官ニ任ズ東京市麹町區三番町四ノ八官舎

**荒木 俊馬** 正五勳六 理博 京都帝大助教 熊本縣土族竹次郎長男明治卅年六月出生同四十年家督相續大正八年廣島高師理科卒業同年滋賀縣立彦根中學教諭ニ任ジ同九年京都帝大理學部ニ入り同十二年同大學學士試驗合格同年同大學理學部講師同十三年同大學助教授任之妻ニ昭和三十二年同五年露西亞及米國同九年南洋群島同十一年滿洲國及中華民國ニ各在留出張ス(國體)繪畫(國體)母キジ(明七)妻京

(同卅七、東京府渡邊鐵次郎從姉京都府立第一高女卒) 男雄豪(大十四)長女みそら(昭八)二男俊豪(同十) 東京市左京區吉田中大路一四上四一三

**荒木實三郎** 從二勳一 醫博 帝國學士院會 員 樞密顧問官 京都帝大名譽 教授 群馬縣先代保爾ノ長男慶應二年十月出生明治十六年家督相續同廿年帝大醫科別科卒業同廿二年渡獨ストラスブルグ大學ニ生理化學ヲ專攻同廿八年歸朝任第三高師教授同卅年學位ヲ受ケ同卅二年京都帝大醫科教授同卅年同大學總長ニ歷任昭和四年學務院長ニ任ジ同十二年辭之同年樞密顧問官仰付ラル(國體)妻キ(明十、工博井上仁吉妹)長男新太郎(同卅、理博)同妻セツ(同卅五)京都府森島庫太長女同府立第一高女卒(同長男昭一(昭二)男二男敬二(同八)男三郎(明四二) 東京市在原區小山町四九七〇在在原二四六〇

**荒木 彦彌** 從四勳二 海軍主計中將 橫須 宮山縣人明治十六年十二月出生同四十二年東京帝大法科卒業翌年海軍中主計ニ任ジ同四十五年海軍經理學校乙種學生教程卒業爾來橫須賀海軍工廠會計部主計長兼橫須賀海軍第一師團第一師團主計長兼海軍第一師團第一師團主計長兼海軍工廠會計部部長海軍省經理部第一課長等歷補昭和八年海軍主計少將ニ任ジ軍令部兼海軍省出仕海軍經理學校教官海軍艦政本部會計課長次之同十一年十二月廣海軍工廠長ヲ經テ現職ニ就任ス(國體)妻スガニ(明廿八、廣島縣善精長女吳高女卒) 長男英

吾(大十三)長女壽子(昭四)二男忠彦(同八) 橫須賀市稻岡町官舎(二〇七

**荒木文四郎** 正四勳四 工博 神戸市理事 岡山縣人福次郎ノ二男明治十五年六月出生同四十年東京帝大工科土木工學科卒業北海道農事業手トナリ同技手同技師ニ過ミ大正七年內務技師ニ轉ジ神戸市土木出張所勤務昭和九年五月之ヲ辭シ現時神戸市土木部長タリ大正十五年工學博士ノ學位ヲ受ケ(國體)妻ハ(明廿四、北海道土族山口因妹)男英次郎(大二)女千代(同二)女薰(同五)女綠(同九) 神戸市葦合區熊内通五ノ五九〇葦合二二三〇〇

**荒木 萬壽夫** 正六 電氣圖書記官兼内閣東北 局書記官 電氣圖書記官兼房總務 課長 長崎縣人大正十四年京都帝大經濟學部經濟科 卒業滿洲國國務院總務廳勤務昭和十一年通信 書記官航空局總務課長同十三年同廳理部企畫 課長ヲ經テ同十四年八月現職ニ就ク東京市 中野區道玄町八一〇中野二五九〇

**荒木 光太郎** 從四勳三 東京帝大教授 經濟 東京府土族十畝ノ長男明治廿六年五月出生大 正八年東京帝大法學部經濟學科卒業同大學助 教授トナリ昭和二年同教授ニ任ズ大正十二年 英米獨佛各國(留學)父十畝(明五)妻光 子(同卅五、東京府莊清次郎五女)女明子(大十 一) 東京市本郷區向ヶ丘彌生町三〇〇小石川 六〇〇

**荒木 義夫** 正五勳四 德島縣知事 兵庫縣人矩ノ長男明治廿七年六月十七日出生

昭和九年家督相續大正八年京都帝大法科佛法 科卒業高文行政科合格内務屬福井縣警視保安 高等各課長地方事務官福井縣地方課長鹿兒島 縣庶務課長三重縣工場課長同社會課長兼商工 水産課長山梨縣野神奈川各縣書記官警務部長 昭和十二年六月大阪府書記官警務部長同十四 年一月警務部長警務部長ヲ經テ同年九月現 職ニ就任ス(國體)德島市德島町官舎(二〇四三 〇〇)

**荒木 正六** 正六 德島縣警務課長 佐賀縣土族明治廿八年三月六日出生昭和三年 京都帝大工學部探検冶金學科探検科卒業同年 嶺山監督局技手同八年同技師ニ任ジ同九年現 職ニ就任ス(國體)同市土手町同嶺山監督局内

**荒木 正五勳四** 京都府立女子專門學 校校長 山口縣人同縣佐波郡防府町三田尻青木町ニテ 出生明治四十三年東京帝大文科國文科卒業山 口縣私立鴻城中學周陽中學各教諭ヲ經テ京都 府立女子專門學校教授ニ轉ジ昭和十年六月現 職ニ就ク東京市上京區小山堀池町二二一〇一 〇〇

**荒木 正六勳六** 司法理事官 大臣官 房會計課勤務 山口縣吉賀町太郎二男明治廿五年一月十日山 口市ニ出生荒瀬惣太郎ノ妻トナル大審院書 記長司法大臣秘書官司法事務官ヲ經テ現職ニ 就ク(國體)妻ク(明九)妻登貴子(同卅、養父 德太郎長女山口高女卒)長女鞠子(大十四) 東京市品川區下大崎二ノ一〇大崎二三〇〇八 〇〇

**荒木 清一** 從六勳六 通信局書記官 大阪 通信局購買課長兼經理課長

東京府人清藏ノ長男明治卅九年出生昭和四年 東京帝大法學部政治學科卒業同六年關東廳ニ 入り同八年奉天郵便局長同九年大連中央郵便 局長同十年任貯金局事務官仙臺貯金支局長同 十一年貯金局第一貯金課長同十二年同局庶務 課長ヲ經テ同十三年現職ニ就ク(國體)妻トシ (大二、東京府堀吉彦二女三輪田高女卒) 大阪 市住吉區山阪西之町二ノ十六天王寺五三 〇〇〇

**荒木 總太郎** 東京市主事厚生局軍事課課長 東京市小石川區主事庶務課長ヲ經テ現職ニ就 ク(國體)東京市小石川區西原町二ノ十五大塚六 二八一

**新 敏雄** 從五勳六 大藏書記官兼貿易局 書記官 爲替局輸入第二課長兼 貿易局第三課長兼第二課長 石川縣人大正十三年東京帝大經濟學部卒業大 藏省ニ入り稅務監督局事務官仙臺稅務監督局 直稅部長門司稅關總務監督各部長大藏省爲替 局輸入第二課長兼臨時物資調整局第六部第十 三課長等歷任昭和十四年六月現職ニ就ク(國體) 東京市牛込區中町三〇〇牛込五四八〇

**新井 茂** 從五 貿易局書記官 總務課長 兵庫縣人大正十五年東京帝大法學部政治學科 卒業商工省ニ入り果道商工事務官商工書記官 貿易局書記官兼臨時物資調整局事務官貿易局 統制課長同第二課輸入課長臨時物資調整局第 六部第十三課長兼務等歷任昭和十三年九月第 二部第四課長兼務等歷任昭和十四年四月第二部 機械金屬課長ヲ經テ同年八月現職ニ就ク(國體) 東京市世田谷區上馬町一ノ五九五世田谷四三

六四

**新井 茂司** 從六 興亞院事務官 華中連絡 埼玉縣人昭和六年九州帝大法學部卒業內務省 に入り地方事務官長野縣總務部地方課長厚生 事務官體力局勤務ヲ經テ同十四年五月現職ニ 就ク(國體)東京市在野區中延町一三〇〇

**新井 裕** 正七 地方事務官 長野縣警務 工場課長兼總務部地方課長 栃木縣土族大正三年五月十三日出生昭和九年 第一高校同十二年東京帝大法學部法律學科各 卒業其間同十一年高文行政科合格翌年內務局 拜命警保局勤務ヲ經テ同十三年五月地方事務 官ニ任ジ前記ノ職ニ就ク(國體)長野市櫻枝町官舎 二九六八

**新井 禮治** 從五 農林技師 米穀局資料課 埼玉縣人明治卅二年出生大正十三年東京帝大 農學部農經科卒業農林省ニ入り果道技師ニ任 ジ昭和八年米穀局名古屋米穀事務所長同十一 年米穀局調查課勤務同十三年四月東京米穀事 務所長ヲ經テ現職ニ就ク(國體)妻トシ(明卅、 かつ子(明卅一、中津高女卒)長男瑞敏(大十 二)二男瑞彦(昭元) 東京市目黒區駒場町七 六四〇澁谷一一五八

**新屋 五郎** 從六勳六 保險院理事官兼厚生 局事務官 社會保險局監理課勤務 群馬縣人明治卅年七月廿三日出生大正十三年 日本大學專門部法律科卒業先是群馬縣及實業 局ニ勤務同年復興局局長命總理部勤務昭和五



年復興事務局屬翌年社會局屬勞動部監督課勤務同七年社會局理事官労働部勤務同十三年現職ニ任ズ東京市杉並區和泉町四一七

**新居善太郎** 正五勳四 厚生省社會局長  
東京府倉造ノ四男明治廿九年一月出生大正十年東京帝大法科英法科卒業高文合格翌十二年廣島縣佐伯郡長復興局事務官内務事務官兼内閣總理大臣秘書官兼文部大臣秘書官内務書記官土木局道路課長同河川課長等歷任内務書記官兼大臣秘書官大臣官房人事課長ヲ經テ昭和十三年十一月現職ニ就ク妻藤枝(明治四十、東京府麻生二郎五女女子學習院卒)男光(昭五)長女正子(昭四)二男誠(昭十)東京市澁谷區宇田川町一四四益谷三六七六

**廣藤** 從七 厚生理事官 職業部  
山形縣人明治廿七年四月廿二日出生昭和三年東京帝大法學部法律科卒業同十三年五月現官就任ス東京市世田谷區下馬町一ノ三二一

**有實** 忠實 從五 官幣大社水川神社宮司  
山梨縣安處長男明治十六年一月二日出生神宮皇學館卒業甲州加茂神社主典淺間神社禮宜唐澤山神社鹿兒島神宮各官司ヲ經テ昭和五年現職ニ就ク妻(明治十九、山梨縣吉岡廣義二女)嗣子庸信(大五)四男陽一郎(昭六)二女カホル(昭十三)五男壯六(昭十五)六男耳(昭四)國崎玉縣北足立郡大宮町

**有坂** 正七勳六 職業主事 劍路職業紹介所長  
群馬縣人明治廿七年一月三日出生同四十四年高山社實業學校卒業大正三年北海道巡査拜命同九年警部補同十二年任警部昭和十年北海

道廳警視廳水上警察署長ヲ經テ同十四年四月現職ニ就ク劍路市北大通一丁目九〇

**有澤** 作治 從四勳四 朝鮮總督府判事 京  
富山縣土族喜四郎四男明治廿四年四月出生大正二年京師帝大法科獨法科卒業大正四年朝鮮總督府判事ニ任ジ爾來大邱地方法院京城地方法院水原支廳公州地方法院同井邑支廳釜山地方法院晉州支廳各判事清津地方法院部長大邱地方法院判事全州地方法院判事等歷任昭補昭和十二年三月現職ニ就ク妻ミチ(明治廿四、京都府土族花田銀太郎長女)長男廣(大四)四女山府通町二官舎二四八

**有田** 喜一 從五勳六 通信書記官 大臣官房文書課長  
兵庫縣人明治廿四年四月廿日出生大正十四年東京帝大經濟學部經濟科卒業同年高文行政科合格爾來簡易保險局書記通信事務官兼通信局事務官鳥取郵便局長通信局事務官札樾通信局經理課長通信省事務官電氣局勤務兼關東廳通信事務官通信書記官電氣局業務課長等歷任昭和十二年電氣局經理課長同十三年電力管理課備局總務課長兼任同十四年四月電氣局書記官長官々房總務課長ヲ經テ同年八月現職ニ就ク東京市大森區南千束町二三七在原四四八

**有田** 八郎 從三勳一 外務大臣 興亞院副總裁 貴族院議員  
新潟縣人故山本悌二郎ノ弟明治十七年九月出生有田リノ養子トナル同四十二年東京帝大法科獨法科卒業外交官及領事官試驗合格外務省ニ入り累進公使館一等書記官兼領事大使館

一等書記官總領事駐獨大使館參事官亞細亞局長特命全權公使埃國駐特命全權大使白耳義國中韓民國駐劄任昭和十一年廣田内閣ノ外務大臣ニ親任次子宇垣外相ノ下ニ外務省顧問トナリ同十三年十月再々外務大臣ニ親任同十四年八月挂冠同十五年一月更ニ親任ス妻ヤス(明治廿、新潟縣佐藤嘉十郎養妹)長男省三(昭四)四男浩吉(大四)同妻妙子(昭九、男爵玉松公敏妹)五男圭輔(昭六)東京市淀橋區下落合一ノ四二六大塚六九四(官舎)東京市龜町區三年町五銀座三六一四、四一七四

**有富** 從四勳三 東京文理大教授兼東京高師教授  
福岡縣三郎二男明治十七年一月十五日出生昭和七年分家明治四十一年東京高師本科同四十四年京師帝大文科史學科各卒業佐賀高師東京高師各教授ヲ經テ現職ニ就ク大正十五年佛米支各國ニ留學ス妻ヨヨ(明治廿二、福岡縣藤井喜三郎五女藤立福岡高女卒)男扶桑(昭四)女鈴枝(大五、府立第二高女卒)東京市小石川區竹早町一四四小石川三九一

**有地** 實吉 從七 職業主事 福山職業紹介所長  
廣島縣人明治廿年二月十四日出生大正六年福岡縣立東筑中學校卒業廣島縣產品部書記廣島縣屬歷任昭和十三年七月現職ニ就ク福山市新馬場町同所内三〇三

**有近** 彌樂 正五勳四 旅順工大教授  
山口縣人門助ノ長男明治廿七年十一月出生同卅四年家督相續大正八年東京帝大工科探礦科卒業旅順工科學堂教授旅順工大專門部教授同

大學豫科教授同助教授ヲ經テ昭和九年三月同教授ニ進ム大正十一年歐米各國ニ留學ス妻枝(明治卅、山口縣星野鏡長女)國旅順市高崎町三二ノ四四五六

**有泉** 昇 從四勳四 判事 橫須賀區兼橫濱地方各裁判所判事  
大分縣格一ノ四男明治十三年二月出生大正五年分家明治廿九年東京帝大法科英法科卒業同四十五年任判事爾來土浦東京各區橫濱區同地方字都宮區同地方宮崎地方同區千葉地方各裁判所判事昭和二年木更津區裁判所判事兼千葉地方裁判所木更津支部々長木更津區裁判所兼青葉裁判所四年浦和區裁判所監官判事兼浦和區地方裁判所判事等ニ歷補シ現時前記ノ任ニ在リ妻せん(明治九、東京府岸本半次郎三女)長男孝一(昭四)國須賀市深田二四一

**有野** 學 從五勳四 總領事 濟南在勤  
福岡縣人明治十九年十二月出生同四十四年東亞同文書院卒業關東都督府陸軍省山東鐵道管理部附公使館二等通譯官上海領事館二等書記官等歷職昭和十一年八月現職ニ就ク妻(昭九)フ濟南府商埠三經路緯七路角官舎九二有原 東京 從五勳六 東京府立第十一高等

**熊本** 縣人 從七 長男明治廿一年四月廿七日出生大正七年東京高師國文科同十二年同校專攻科各卒業同校助教神奈川高女京都女師各教諭東京府立第一高女教諭同教授歷任昭和十三年現職ニ就ク妻(昭米視察)妻よし(明治廿八、神奈川縣大塚延太郎長女渡邊裁縫女學校卒)長男陸郎(大十)長女具子(昭十二)東京市大森區田圃調布一ノ一二三田圃調布

二六八九

**有馬** 英二 正四勳二 醫博 北海道帝大教授  
福井縣人栗山英哉ノ二男同俊一ノ弟明治十六年五月出生先代カノ養子トナリ同卅年家督相續同四十二年東京帝大醫科卒業朝鮮總督府醫院醫官ニ任ジ大正五年歐洲出張爾後朝鮮總督府醫務教授トナリ同九年更ニ歐洲ニ留學後北海道帝大醫學部附屬醫院長ヲ經テ現職ニ就ク妻つる(明治廿六、東京府岡田喜之祐長女)嗣子洋(大五)男純(昭七)女惠美子(昭十)四男昌(昭十四)丸枕市南三條西十六丁目二四〇六

**有馬** 謙一 正六 山口縣立柳井中學校校長  
福岡縣人丸岡寅市三男明治卅二年五月日出生有馬家ヲ相續ス大正十年廣島高師卒業同縣土生實科高女教諭神戶縣視學廣島平生高女校長廣島縣視學等歷任昭和六年山口縣立下關高女校長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク妻二枝(明治廿九、大分縣常賀房藏二女中津高女卒)長男昌義(昭五)長女暢子(大十五)二女悠紀子(昭二)二男俊彦(昭七)山口縣玖珂郡柳井町一七〇

**有馬** 純次 正六 地方視學官 愛媛縣學務  
鹿兒島縣土族明治卅三年三月廿九日出生大正十三年廣島高師卒業同年廣島縣三原女子師範教諭兼調導同縣立三原高女教諭昭和三年愛媛縣師範教諭同十二年同縣立大洲中學校校長兼教諭ヲ經テ同十四年三月地方視學官ニ任ジ愛媛縣勸務同十五年一月學務課長ニ就任ス松山市御幸町一六一〇

**有馬** 省吾 從六 營林局技師 熊本營林局  
鹿兒島縣人明治卅三年四月十日出生大正十四年東京帝大農學部林學科卒業翌年營林局技師昭和五年營林局技師同十年同技師松本營林局長ヲ經テ同十二年營林局技師ニ任ジ大阪營林局在勤同十四年九月現職ニ就ク熊本市東坪井町二八

**有馬** 豐馬 正六 熊本縣立大津中學校校長  
明治卅一年四月十七日熊本縣北郡佐敷町ニ生ル大正十三年東京高師卒業千葉縣新海縣高田市各高女滋賀縣女子師範教諭熊本縣學務課勸務ヲ經テ昭和十一年現職ニ就任ス熊本縣菊池郡大津町四六

**有馬** 夏繼 從二勳一 功三 海軍大將 樞密  
和歌山縣土族元丞長男久元元年十一月出生明治廿四年家督相續同廿一年任海軍少尉大正九年海軍大將ニ陞ル其間海軍砲術學校校長海軍兵學校長第三艦隊司令官海軍教育本部長等ニ歷補昭和六年明治神宮々司ニ任ズ次子樞密顧問官ニ推サル日露ノ役ニ殊勳アリ妻子寛(明治十八、和歌山縣神野介海二男)同妻勝子(昭廿五、東京府土族中山勝之助長女高女卒)同三女文子(昭十一、女子學習院卒)東京市澁谷區大山町一八四益谷一六七〇

**有松** 昇 從五勳六 岐阜縣書記官 學務  
東京府土族故樞密院顧問官英義ノ長男明治卅三年八月十七日出生大正十三年東京帝大法學部獨法科卒業内務省ニ入り爾來神奈川千葉各縣保安課長警視廳警視調停課長監察官兼職院書記官兼社會局事務官地方事務官兵庫縣商工





長山樂縣書記官警察部長警察講習所教授北海道廳部長經濟部長歷任昭和十二年拓務書記官東亞局第一課長同十三年拓務局東亞第一課長ヲ經テ現職ニ就ク  
 乘馬登山音樂家  
 澄子(明治五、小出牧三女東京女高師附屬高女卒)長男晃(昭二)長女清子(同三) 岐阜市長良三九〇官舎一五〇

有光 次郎 從五 文部書記官 專門學務局 學務課長  
 高知縣人政吉ノ三男明治廿六年十二月十日出生昭和二年東京帝大法科獨法科卒業後文部省ニ入リ宗敎局保存課長ヲ經テ現職ニ就ク  
 運轉 妻綾子(大元、高知縣清岡榮之助二女高等學園卒)男正文(昭十三) 東京市牛込區市ヶ谷加賀町二ノ二 牛込四二〇八

有光 幸高 從七 地方事務官 福岡縣經濟 福岡縣人明治卅年同縣糸島郡櫻井村ニ出生大正五年同縣農學校卒業後兵役ニ服務後陸軍歩兵中尉ニ任官ス大正九年未島農學校助教諭心得拜命兩率同助教諭同敎諭心得產業組合中央會同縣支部主事補同主事歷職後全國購買組合聯合會主事トナリ大阪支所東京本所各肥料配給課長ヲ經テ昭和十二年九月再ビ產業組合縣支部會主事ニ任ジ同十三年九月初官職ニ就任ス福岡市本庄町天神通三八

有本 恒太郎 正六 土木技師兼道路技師 靜 岡縣土木部砂防課長  
 和歌山縣土族明治廿七年五月廿五日出生大正五年名古屋高工土木科卒業同八年內務技師手拜命昭和七年土木技師兼道路技師ニ任ジ靜岡縣

長女素子(大十二)二女康子(同十五) 東京市 世田谷區下馬二ノ一一三〇 澁谷九五二  
 長野縣重見良材ノ二男明治廿六年二月十五日 出生同縣土族栗屋新三郎ノ養子トナリ後家實 相續ス大正七年東京帝大工科船舶造船科卒業 橫濱船渠會社技師ヲ經テ同十二年農林技師拜 命現時水産局勤務タリ 眞實 妻ノフ (明治四、東京府栗屋辰祐長女松江高女卒)長 女孝子(大八)二女和子(同十一) 東京市中野 區上野原町七 中野五二一八

土木技師兼道路技師同十四年六月現職ニ就ク 靜岡市西千代田町三八 三五七四  
 有安 堅三 正五 勳五 檢事 函館地方裁判 岡山縣久藏ノ三男明治廿一年三月出生大正八 年分家同六年東京帝大法科卒業司法官試補後 檢事ニ任ジ大阪神戸各地方裁判所檢事東京刑 事地方裁判所東京控訴院各檢事歷任昭和十三 年大阪地方裁判所次席檢事ヲ經テ同十五年四 月現職ニ就任ス 妻君子(明治卅一、岡山縣船 橋太郎妹)長男倫一(昭四)女民子(大九)二女 佳子(同十三)三女久子(昭七) 函館市沙見町 三七五

有吉 實 從四 勳四 尼崎市長 京都府土族三七ノ三男明治十九年五月出生同 四十五年東京帝大法科獨法科卒業同年司法官 試補拜命大正二年高文ニ合格德島縣警視廳島 長野山形各縣理事官鳥取三重兩縣各縣警視廳 長官崎縣內務部長愛知縣警視廳部長官崎縣知事 等ニ歷任昭和七年退官尼崎市長ニ舉ゲラレ同 十五年五月再選セラレ 妻彰子(明治廿四、京 都府土族根本吉太郎三女) 尼崎市神田中道 八ノ二五七 三二三

淡路 國治郎 從五 文博士 航空研究所員兼東 東京府人大正八年東京帝大文學部心理學科卒 業昭和四年學位ヲ受ク現時前記ノ職ニ在リ 東京市小石川區西丸山町一五 大塚七二三〇  
 淡島 敬助 從五 勳六 專賣局長 東京地 東京府人大正十一年北海道帝大農科農藝化學 科卒業ス妻ニ芝工場勤務タリ 東京市世田谷

區世田谷四ノ六五 世田谷四〇九八  
 栗津 包勝 正六 地方農林技師 千葉縣經 濟部畜産課長  
 東京府土族明治廿三年九月十日出生大正四年 東京帝大農科獸醫學實科卒業同十五年農林技 師拜命畜産局勤務昭和四年地方農林技師ニ任 ジ千葉縣農林技師トナリ今日ニ及ブ同七年英 領加奈陀及米國へ出張ス 千葉市本千葉町官 舎 一四九四

栗屋 健二 正五 勳五 沖繩縣立水産學校長 愛知縣土族宗用ノ二男明治十二年四月十八日 同縣海部郡知立町ニ出生同卅八年農商務省水 産講習所本科製造科卒業宮城縣郡立水産試驗 學校敎諭同縣立水産學校敎諭同縣水産試驗場 技師愛知縣瀧澤水産組合技師等ヲ經テ大正 九年岩手縣立水産學校校長兼敎諭ニ任ジ次ア同 十二年現職ニ任セラレ 妻志津(明治十九、愛知縣井上啓次郎長 女)長男武(大二、京都帝大法科卒) 那覇市 下泉町二ノ三六

栗屋 仙吉 正五 勳四 農林省水産局長 東京府土族顯祐ノ二男明治廿六年十一月七日 出生大正八年東京帝大法科獨法科卒業爾來廣 島縣屬同縣警部同縣御郡長北海道廳理事官 同事務官高知愛知大阪各府縣書記官警視廳長 愛知兵庫各縣書記官總務部長等歷任昭和十二 年七月大分縣知事同十四年四月農林省經濟更 生部長ヲ經テ同年五月現職ニ就ク 繼母リ (明治十五、埼玉縣福田久右衛門三女) 妻幸代 (同卅七、廣島縣安藤八尾長女) 長男剛(昭四)



イの部

井内 清雄 從五勳六 鐵道局參事 新瀉鐵道局運輸部長  
山形縣士族金太郎長男明治廿九年三月十一日出生夙ニ東京帝大法學部獨法科卒業仙臺鐵道局書記同局運輸課山形秋田各運輸事務所東京鐵道局運輸課庶務課千葉上野各運輸事務所鐵道省監督局業務課庶務課仙臺運輸事務所長昭和十二年鐵道省陸運監理官監督局庶務課庶務課ヲ經テ現職ニ任ズ  
妻周子(明治廿八、士族矢野仁一長女御茶水高女卒)嗣子宏(大十五)二男(昭三)長女澄子(同五) 新潟市水道町官舎三四八二  
井川 俊一 從六 醫博 厚生技師 衛生局  
茨城縣人明治廿九年九月十四日出生昭和二年水戸高校同五年東京帝大醫學部藥學科各卒業同大學副手同十年內務技師拜命衛生局庶務課同十三年厚生技師トナル同十一年學位ヲ受ク 東京市本郷區眞砂町三〇  
井山 實三 正四勳二 農博 北海道帝大教授 農學部勤務 附屬農場長  
京都府人乙藏三男明治十六年六月出生同四十二年東北帝大農科農學科卒業同大學助教同四十九年農博ノ學位ヲ受ク同十一年獨英米瑞各國留學同十三年歸朝現教授ニ任ズ昭和六年歐洲各國ニ出張ス 妻ハル(明治廿五、北海道服部小瀧治二女東京音樂學校卒) 嗣子潔(大四)

女博士(同七)女妙子(同十) 札幌市南七條西十四丁目一三五二 昭二九一

井口 幸一 從五勳六 厚生技師 勞働局勸務 工場監督官  
和歌山縣精太郎長男明治卅年四月十二日兵庫縣ニ出生大正十一年京都帝大工學部工業化學科卒業農商務省工務局內務省社會局勞動課勸務ヲ經テ同十五年社會局技師ニ任ズ昭和十三年現職ニ就ク 野球庭球ゴルフ國將棋  
妻房子(明治四二、兵庫縣飯田忠右衛門長女第一高女卒)長男弘康(昭七)長女昌子(同六) 東京市荏原區中延町一〇七三

井口 貞夫 從五勳四 大使館一等書記官兼 領事 米國在勤  
昭和十一年外務省書記官調查部第五課長同十二年東亞局勸務同十三年情報部第一課長通信書記官兼任ヲ經テ同十五年五月現職ニ就ク 東京市麻布區霞町一(留守宅) 赤坂五一〇  
井口 慶象 從四勳三 工博 北海道帝大教授 工學部勤務  
靜岡縣源藏二男明治廿一年七月出生大正四年東京帝大工科土木工學科卒業三重縣技師新瀉縣技師岐阜縣土木課長昭和二年任內務技師東京橫濱各土木出張所及狩野川改修事務所ニ勤務昭和六年現職ニ就ク同七年學位ヲ受ケ同年文部省在外研究員トシテ歐米各國ニ派遣セラレ 妻カヨ(明治廿三、三重縣田中秋二女) 兼子善吉(昭三) 札幌市南十九條西六丁目 札幌五一六九

井口 兼海 正五勳四 醫博 警視廳技師 衛生部防疫課長  
滋賀縣人國證三男明治十六年九月出生後家督相續同十四年日本醫學學校卒業大正三年警視廳檢診醫員警察醫員防疫官補ヲ經テ同八年警視廳技師ニ任ズ現時防疫課長タリ 妻ニ昭和五年痘瘡及種痘ノ研究ニヨリ學位ヲ受ク 國政書院 妻政館(明治廿四、滋賀縣井口圓澄長女京都高女卒)男信海(大三)二男孝文(同十一)女行子(同十四) 東京市小石川區戸崎町三三三 小石川三三二

井口 常雄 正四勳三 工博 東京帝大教授 工學部勤務 航空研究所員  
故工博在屋ノ二男春久ノ弟明治廿一年九月出生大正十五年分家同二年東京帝大工科造船學科卒業通信局技師通信技師ヲ經テ同六年東京帝大工科助教ニ任ズ同十一年同大學教授ニ進ム 妻ポルト 妻道(明治廿六、東京府工博山口準之助長女御茶水高女卒) 東京市小石川區駕籠町一三二 大塚一一四一  
井口 秀夫 從七勳八 社會事業主事 宮崎縣有馬良一長男明治廿九年十二月十一日出生井口スカノ養子トナリ昭和五年家督相續大正四年宮崎中學卒業同十五年同縣屬拜命昭和十二年十月任社會事業主事宮崎縣勸務現時社會課長タリ 國基乘馬 妻直(宮崎高女卒)長男馨(大十三)二男潤治郎(昭三)長女民子(同七) 宮崎市中津濱町四ノ一 一二四八

井口 正夫 正六 地方事務官 茨城縣學務 部事務課長  
和歌山縣人明治廿七年二月九日出生昭和四年東京帝大法學部卒業瀧井縣屬拜命爾來地方警



親長野縣事務地方事務官山口初木各縣事務  
九(長男昌彦(同八)水戸市城匠町官舎九二二)  
井下 從七 地方事務官 大分縣事務  
千葉縣人明治四十四年六月十五日出生昭和八  
年廣島高校卒業同十二年高文合格翌十三年東  
京帝大法學部政治科卒業任愛知縣庶務課長  
務同十四年任地方事務官地方事務官課長  
年六月現職=就任=野球部大分市中  
島三條八二〇  
井下 從五 勳六 朝鮮總督府事務官  
職產局商工課長兼企業部第三課  
長  
北海道松尾ノ男明治卅三年五月廿一日出生大  
正十二年九州帝大工科同十五年東京帝大經濟  
學部各卒業同十三年高文合格朝鮮總督府庶務  
局庶務課長同十四年任總督府庶務官內務局庶務  
北道平安南道各警察部長歷職同十二年朝鮮總  
督府事務官庶務官房文書課長兼國勢調查課長  
ヲ經テ同十四年四月現職=就任=妻賴子  
(明治二)嗣子宮久(昭十)長女隆子(同八)東京  
城府元化門通三四官舎元化門一七七一  
井下 東京市理事 市民局公園課長  
東京府土族氣一ノ長男明治十七年八月一日京  
都市ニ生レ同卅八年東京農大卒業市土木局公  
園課ニ入リ果敢現職=任=旅行讀書  
妻孝子(明治廿七)東京府土族秋山謙藏長女日本  
女大卒(長男洋(大四)慶大在)二男健(同六)三  
男透(同十三)東京市目黒區中目黒一ノ六六

七 勳二 四七〇  
井島 政官 正五勳五 巖本市立高女校長  
福岡縣人倉久右衛門二男明治七年二月廿五日  
出生武次郎ヲ養子トナル同卅一年東京高師卒  
業加元中學教諭熊本中學教諭天草八代各中學  
校長任昭和四年現職就任 登山 妻求  
(明治十一)兼父次郎三女(本館)長男春  
海(同卅五)東大工科卒(同妻)子(同四二)兼  
本縣海上船運長女(立第一高女高等科卒)二  
男(大)三男義人(同四)四男龍夫(同六)五  
男靖夫(同十)孫健一(昭八)長男春海長男  
同雅子(同五)同長女(昭八)本市北千反畑  
井下 善一 正六 農林省產案組合事務官  
經濟更生部勤務  
福島縣人三郎ノ長男明治廿五年二月出生大  
正五年東京帝大農學部卒業同縣產案主事農  
林省產案組合事務官全國米穀販賣購買組合總  
務部長等ヲ經テ現職=就任= 國游旅行  
妻ツネ(明治卅三)平田徳太郎長女唐津高  
女卒(長男昌(昭六)長女和子(同四)二男朝  
善(同七)東京市杉並區阿佐ヶ谷二ノ六四三  
萩坂二七〇〇  
井下 正五勳六 地方海員審判所審判  
官兼通商局書記官 東京地方通信局  
員審判所勤務 東京地方通信局  
海軍部長  
福岡縣三郎ノ二男明治廿七年十月十三日出  
生大正十二年東京帝大經濟學部商業科卒業同  
年高文行政科司法科各合格貯金局書記拜命同  
十三年任貯金局事務官爾來小樽貯金支局長通  
信局事務官札幌通信局庶務課長通信省事務官  
兼通信局事務官東京通信局勤務貯金局事務官

名古屋廣岡各貯金支局長通信局書記官兼本  
信局保險課長東京地方通信局保險課長ヲ經テ  
昭和十三年現職=就任=東京市世田谷區北澤  
四ノ三七〇 世田谷四〇五〇  
井下 從五 內務技師 土木局第二技  
術課勤務  
山形縣土族藤四郎長男明治廿二年十月十七日  
出生大正十二年東京帝大工學部土木科卒業同  
年東京電燈會社技師同十四年廣瀨市技師次  
昭和四年歸國廣瀨市技師同八年同縣道橋課長  
同十年香川縣土木課長同十二年本縣經濟部  
土木課長ヲ經テ同十四年現職=就任= 藤佐  
スキーン 妻子(明治四〇)山口縣田口  
盛治長女名古屋高女卒(長男正昭(昭二)長女  
和子(同五)二女道子(同十)東京市杉並區清  
水町六一  
井下 正五勳五 朝鮮總督府技師 農  
林局林業課長  
熊本縣人明治廿三年八月出生大正四年東京帝  
大農學部林學科卒業山形技師命同九年朝鮮  
總督府技師同十五年技師=任=山林部勤務  
林業技師新羅州警務署長ヲ經テ昭和十二年七  
月現職=就任=妻美代子(明治廿六)東京府  
西大門町三三號官舎元化門二九五八  
井下 從二 正五勳六 廣島縣書記官 警察  
福井縣人明治廿二年三月廿三日出生  
昭和五年兄辨治方ヨリ分家大正十一年高文  
合格翌十二年京都市大法學部司法科卒業任石  
川縣廣南來同縣警務地方警務官事務官官良  
培玉愛媛廣島各縣警務內務事務官同書記官地  
方局地方債財務各課長三原官舎各縣書記官警

務部長等歷任昭和十四年四月現職=就任=妻  
藤子(明治廿七)岡山縣內田恒太郎三女東京府  
立第一高女卒(長男武(昭三)二男朝(同五)廣  
島市水主町五五四官舎中二五二  
井下 從五 臺灣總督府事務官 職產  
局商工課長兼物品陳列館長  
東京府忠信ノ二男明治廿二年二月出生大正九年  
東京帝大法學部司法科卒業東京府屬同府農林  
主事地方事務官神戶縣事務官同縣書記官兼家部  
長ヲ經テ臺灣總督府事務官=任=職產局商工  
課長兼臺南所長昭和十五年二月現職調查課  
長ヲ兼ス 妻書子(明治廿七)東京府平尾初五郎妹藤見女(卒)男達男(昭  
九)長女昌子(同六)二女陽子(同十一)妻北  
市千歲町二ノ三八 同二〇三一  
井下 從四 勳二 臺灣總督府技師 總  
督官房管轄課長  
福井縣今瀨ノ長男明治十二年二月出生同四十  
四年家督相續同卅九年東京帝大工科建築學科  
卒業工學博士辰野金吾萬四司建築事務所ニ  
入リ同十四年任臺灣總督府技師昭和四年現  
職=就任=長野縣士族小口長藏(二女)妻藤  
(明治二)長野縣士族小口長藏(二女)妻藤  
大正町二ノ五三 同三八八〇  
井下 從三 正六勳五 法制局參事官  
京都府正三ノ四男明治廿九年四月六日出生昭  
和三年高文行政科合格同四年東京帝大法學部  
法律科卒業同年兵庫縣屬拜命爾來內務局土木  
局參事官官房文書課勤務地方事務官茨城縣勤  
務地方警務課長千葉縣警務課長地方事務官新潟縣

學務課長社會局事務官臨時軍事保護部勤務  
兵保護院事務官計費局勤務等歷任同十三年企  
畫院調查官兼法制局參事官總裁官房審議室勤  
務ヲ經テ同十四年現職=就任= 劍道乘馬  
妻悅子(明治四四)岡山縣故石井敬雄二女佛  
英和女學校卒(長女觀子(昭八)長男正敬(同  
十)二女禮子(同十二)東京市世田ヶ谷區下  
馬二ノ一〇八六 同谷一八〇六  
井下 從四 勳四 東京外國語學校教授  
熊本縣土族義久長男明治廿二年二月出生大正  
二年東京帝大文科英文科卒業同六年東京外國  
語學校教授=任=同十年米英各國=留學同十  
三年歸朝妻マダカ(大六)東京市大森  
區雪ヶ谷一三三九  
井下 從四 勳四 警務 地方技師 靜  
岡縣警務部衛生課長  
長野縣平三男明治十六年四月十日出生同四  
十二年日本醫學校卒業東京府立治療所醫員靜  
岡縣警務部同縣技師山形縣技師鳥取縣技師同  
縣衛生課長歷任昭和六年地方技師茨城縣衛生  
課長ヲ經テ同十一年現職=就任=學位ヲ受  
ク 妻眞直球國 妻信(明治)東京京  
華高女卒(長男功(大四)東京帝大法科在)二  
男次夫(同六)三男敏夫(同十四)四男裕雄(同  
十五)靜岡市北安東町二號官舎 一五八七  
井下 從三 正五勳四 農林省山林局長  
長野縣豐作長男明治卅二年二月出生大正十年  
高文行政科合格翌年東京帝大法學部卒業農商  
務局拜命爾來水產講習所教授同教授兼農商務  
事務官農林書記官水產局水產課長同書記官兼  
外務書記官水產局監督課長等歷任昭和十二年

九月農林書記官大臣官房企畫課長同十四年一  
月同文書課長兼調查課長同年五月農林省經濟  
更生部長次ヲ警務局長事務官東京警務局長ヲ經  
テ同十五年六月現職=就任=妻大正十四年  
聯邦ニ昭和八年英米各國ニ出張ス 讀書  
妻キツ(明治四〇)福島縣八田宗吉長女(長  
男正敏(昭三)二男健彦(同四)長女篤子(同六)  
二女節子(同八)三男正光(同九)東京市澁谷  
區永住町三四 同青山八二二〇  
井下 從三 正五勳四 東京商大教授兼附  
京府府議議長男明治廿七年九月十四日出生大  
正九年東京商專攻部卒業同校助手拜命同十  
五年任東京商大商專專門部教授兼同大學助教  
授昭和二年現職=就任=妻大正十一年現職=留學  
ス 妻 妻い(明治九)東京府北多摩  
郡武藏野町吉祥寺五二〇 同吉祥寺三三一  
井下 從三 正五勳四 新潟市長  
埼玉縣土族村田田吉ノ二男明治十九年十二月  
出生同四十年從兄井上稻作ノ後ヲ承ケ家督相  
續大正元年高文合格翌年東京帝大法科政治學  
科卒業爾來福井縣屬同縣理事官長野大坂  
各府縣理事官茨城縣本新潟縣各府縣警務部  
長佐賀縣知事歷任昭和六年臺灣總督府警務局  
長トナル後之ヲ辭シ東京市電氣局理事旭川市  
長ヲ經テ昭和十三年十一月新潟市長=就任=  
妻まつ(明治廿一)群馬縣中島喜三郎長女)  
長男暢(大九)長女順子(大十三)二女悦子(昭  
五)新潟市西大畑町五九二七ノ一 同三一四  
井下 從三 正五勳五 奈良縣立郡山中學校  
長兼教諭



愛知縣士族岡田宜方三男明治十四年一月廿八日出生井上喜代治ノ養子トナル同四十年東京高師卒業岩手師範岡崎中學奈良師範各教諭歷任大正十一年縣立高田高女校長ヲ經テ現職ニ就任ス

妻輪子(明治廿八、大阪府交川有妹東京女高師卒)長男章(大四)長女照子(同同、奈良女高師卒)二女敏子(同六)二男哲夫(同八)三男和夫(同十)同奈良縣磯城郡耳成町東内膳

井上 從五勳五 檢事 東京刑事地方裁判所檢事兼東京區裁判所檢事

福岡縣喜三郎ノ三男明治卅年十月三日出生大正十一年東京帝大法學部卒業東京區東京刑事地方裁判所檢事東京區裁判所檢事ヲ經テ昭和十五年一月現職ニ就ク

妻直(明治四〇、小西春雄長女福岡高女卒)長女洋子(大十三)二女康子(昭二)東京市中野區水川町二八

井上 一夫 正五勳五 會計檢査院檢査官 第四部第三課長

岡山縣人小坂廣右衛門長男明治廿八年五月出生岡縣人先代多吉郎ノ養子トナリ家督相續大正八年中央大學專門部法律科卒業翌九年會計檢査院書記第二部第二課勤務同十年高文合格翌年任副檢査官爾來第三部第三課第二部第一課第三部勤務昭和十二年任檢査官第二部第二課長ヲ經テ同十五年一月現職ニ就任ス

妻美知(明治卅五、靜岡縣内海濱昭二女東京女子大卒)長男知一(昭四)長女美國(大十二)二男昭平(昭六)三男幸雄(同十)東京市大森區山王ノ二八七七大森八五一〇

井上 一之 從五勳五 警備管財局技師 石川縣士族茂長男大正十年東京帝大工學部建

築科卒業大藏省ニ入り果進現時前記ノ職ニ在リ

妻あや(明治卅五、東京府上野金太郎二女府立第三高女卒)東京市目黒區三田九九園大崎三七一三

井上 從五勳六 醫博 京都帝大助教 岡山縣人哲二ノ四男明治廿七年七月出生大正八年京都帝大醫科卒業同大學助手同講師ヲ經同十四年同助教任テ同十三年學位ヲ受ク昭和五年以降二ヶ年半歐米各國ニ留學ス

馬術及弓道ニ長シ(明治卅六、京都府木村幸次郎二女)長男哲夫(大十四)長女幸枝(同十五)二女知子(昭五)三女節子(同八)二男俊治(同十)同京都府左京區岡崎西天王町六一

井上 克己 從四勳三 工博 九州帝大教授 東京府士族昆雄ノ三男同重喜ノ弟明治廿三年十一月出生大正四年東京帝大工科冶金學科卒業同大學工科助教授拜命同十一年獨英佛各國ニ留學同十四年九州帝大教授任テ昭和二年學位ヲ受ク

妻榮(明治廿七、東京府大島道太郎二女東京女高師附屬高女卒)男道雄(大六)長女美枝(同九)二女安子(同十二)同福岡市鳥飼三ノ二八二西四五八九

井上 桓征 從四勳三 海軍大佐 外務省電 山口縣士族信厚五男明治十五年一月出生同卅七年海軍兵學校卒業翌卅八年任海軍少尉大正十三年海軍大佐ニ果進昭和二年豫備役被仰付其間海軍大學海軍水雷學校選科各卒業海軍々司令部出仕海軍水雷學校海軍大學教官等ニ歷補同九年外務省電信官ニ任シ今日ニ及ブ

レイ(明治廿三、臺北帝大教授足立仁姉神奈川縣立高女卒)長男起夫(大三)二男俊彦(同七)三男哲夫(同十)長女彰子(同十三)東京市世田谷區上北澤町三ノ八七七

井上 實一 正五勳五 檢事 東京控訴院檢 奈良縣伊次ノ弟明治廿四年十月出生大正五年京都帝大法科法律科卒業司法官試補拜命同六年任判事後檢事ニ轉シ爾來橫濱熊本濱松東京各裁判所勤務同十一年米英獨佛各國ヲ巡遊巴里大學ニ刑事法ヲ專攻翌年歸朝東京濱松東京各地方裁判所檢事東京控訴院檢事千葉地方裁判所檢事ヲ經テ昭和十一年現職ニ就任ス

妻英子(明治廿八、東京府森田得二郎妹京都府立第一高女卒)長女千滿子(大三)二女三代子(昭二)三女成子(同五)四女冬子(同八)東京市牛込區仲之町三五五牛込七二五〇

井上 有九 正七 農林事務官 水産局兼經 濟更生部勤務

高知縣人明治十四年五月卅日出生昭和九年東京帝大法學部政治學科卒業同十一年高文行政科合格翌年農林局拜命農務局勤務同十年農林局事務官兼本營林局勤務ヲ經テ同十四年三月農林事務官ニ任テ東京市牛込區新小川町二ノ一〇同洞會江戶川アバト六二〇號

井上 啓次郎 正六勳六 校長兼教授 官城縣人大正七年廣島高師國語科卒業岐阜縣立第二中學教頭ヲ經テ昭和十三年九月現職ニ就ク

同高山市同女學校內

井上 憲行 正七 文部省宗務官

兵庫縣人和田岩太郎ノ八男明治卅年十一月五日出生後井上家ニ入ル大正十年第六高校ヲ經テ同十三年東京帝大法學部獨法科卒業文部省宗務局ニ入り昭和十四年九月現職ニ任ズ

演劇 妻延子(明治卅八、養父福岡縣井上義理長女)長男元(昭二)二男虎二(同六)東京市小石川區小日向町一ノ二八

井上 健一 正四勳三 判事 仙臺地方裁判 福岡縣健藏ノ長男明治十四年五月出生後家督相續同廿六年明治法律學校卒業判事登用試驗合格同廿八年判事ニ任シ爾來札幌熊本山鹿小倉佐賀大分福岡各裁判所判事ニ歷補旭川函館各地方裁判所長ヲ經テ現職ニ就ク

妻若流(明治卅二、大分縣岩見吉次郎長女)養子キネ(大五、弟折治長女福岡女專卒)仙臺市片平丁大町頭一五七

井上 健太郎 正七 興亞院事務官 華中連絡 福岡縣人明治廿九年九月廿九日出生昭和三年第三高校河六年京都帝大法學部各卒業京都府屬廣務課課長昭和七年高文行政科合格同十二年七月地方事務官山形縣商工水産課長規畫課長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク

海興亞院華中連絡部政務局內

井上 謙次郎 正五勳四 女子學習院教授 群馬縣勇次郎長男明治九年三月出生後家督ヲ相續シ同卅年群馬縣尋常師範卒業同縣下小學校ニ奉職後石井商店里支店長茂木合名里支店主任等歷職同四十二年佛國クルノール文科大學ニ學ビ歸朝後東京外語學院各講師

鳴託大正七年東京外語教授次テ同十年女子學習院教授ニ進ミ學習院講師ヲ兼テ

妻たけ(明治十七、東京女高師卒)嗣子光夫(大二)東京市板橋區板橋町二ノ四九

九國板橋六七四

井上 五郎 從四勳四 醫博 京都帝大教授 京都府人河村清兵衛ノ三男明治十五年七月出生同十九年先代セいの養子トナリ同卅五年家督相續同四十四年京都帝大醫學部卒業同大學助手助教ヲ經テ教授ニ任ズ大正十一年學位ヲ受ケ昭和二年歐米各國ニ出張ス

妻由曲(京都府左京區岡崎東天王町九八)上六四五七

井上 庚二 從四勳三 特命全權公使 ハンガリー國駐劄 神奈川縣喜代松二男明治廿三年八月出生大正六年東京帝大法科政治科卒業外交官及領事官試驗合格爾來大使館三等書記官外務事務官領事兼臺灣總督府事務官總領事官外務書記官通商局第一課長商工書記官兼任大使館參事官獨國在勸業局長十二年待命被仰付同年十月外務省歐亞局長ニ任シ同十四年六月現職ニ就ク

妻(明治卅一、愛媛縣士族矢野祐義二女神奈川高女津田英學各卒)嗣子信也(大十)長女澄子(同十一)二女ミドリ(同十二)三女明子(同十四)四女二葉(昭四)

東京市大森區馬込町東二ノ八九五(留守宅)

大森七八六四

井上 俊太郎 從四勳五 馬政局事務官 總務 三重縣人金助ノ三男明治廿九年二月出生同卅三年兄金次郎ノ養子トナル大正十年東京帝大法

科卒業同年高文合格山林事務官營林局事務官大阪營林局林務課長兼農林事務官農林書記官農務局肥料課長山林局林政課長等歷任昭和九年滿洲洲ニ轉シ臨時產業調查局理事官資料科長畜産局副局長林野局長ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク

妻(同六年歐米各國ニ出張ス)父金次郎(明治八、現戶主)養母小きん(同五)妻(同卅五、兵庫縣富永安長長女)長女敏子(昭二)東京市豊島區要町三ノ四八落合長崎三三四八

井上 正一 正五 工博 關東局技師 關東 兵庫縣人明治廿三年一月出生大正七年東北帝大理學部化學科卒業任關東局技師同政部產課勤務關東州廳內務部勤務ヲ經テ現職ニ就ク

昭和二年學位ヲ受ケ同大連市早苗町一〇〇三三三五六三

井上 尚一 從六 地方事務官 愛知縣經濟 合監督官 福井縣人昭和八年東京帝大法學部法律科卒業商工省ニ入り保險事務官保險局勤務同十三年十月地方事務官愛知縣總務部會計課長兼經濟部第一商工第二商工各課長ヲ經テ現職ニ就ク

同名古屋市東區西二葉町官舎東三二八一

井上 重次郎 從七勳八 地方事務官 千葉縣 京都府人明治卅四年十月廿八日出生大正十三年立命館大學專門部法律科卒業先是同十年任京都府屬官房文書係勤務昭和八年兼任警務部警務課建築工場課勤務工場監督官補總務部總務員課兼務ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク



業市長洲町二丁目官舎 特許局技師 審査官

井上 信 機務部技師

千葉縣源司三男明治十三年十二月出生大正六年分家入明治廿九年東京帝大工務機械工學科卒業大正十三年特許局技師任之妻小美江(明治廿七、千葉縣廣安廣安千葉高女卒)長男(明治廿七、長女(昭三)二男忠(同六)東京市瀧野川區西ヶ原町九七一王子三三七九

井上 信 從七 地方事務官 新潟縣總務部 新潟縣人明治廿五年十月廿七日出生新潟縣書記補同縣土木書記大正十四年普通試驗合格任同縣內務部土木課助務同縣農務課助務經濟部農務課助務等歷昭昭和十三年八月地方事務官任之前記ノ職ニ就任ス新潟市本町通十四番町三二二一 二三五

井上 信 從五 地方技師 大阪府警 兵庫縣新太郎長男明治廿七年一月廿九日神戸市ニ出生大正七年京都第三高校同十年東京帝大工學部建築學科各卒業任陸軍技師爾來大阪府建築技師地方技師大阪府都市計畫地方委員會技師兵庫地方委員會助務地方技師等歷任昭昭和七年地方技師專任愛知縣建築監督官都市計畫愛知地方委員會幹事同縣警務部建築課長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク 妻貞子(明治廿三、金田正長女岡山縣立高女卒)長男(大十三、東海中學在)長女榮美子(同十、兵庫縣立高女卒)二女美子(同十一、同校在)三女久美子(昭三)二男敏(同五)大阪府西區江之

子島東三町官舎土佐堀二三八 井上 信 從五 醫務 樟太廳醫院醫官 兵庫縣富之助ノ長男明治廿一年一月二日出生大正十二年大阪醫大卒業京都帝大內科教室ニ勤務同縣林婦人科教室ニ研究昭和七年現職ニ就ク同單位ヲ受テ陸軍二等軍醫タリ 妻三子(明治廿七、兵庫縣丸尾光春長女京都精華高女卒)長男(昭二)樟太

井上 信 從六 地方警備 神奈川縣警務 富山縣人明治廿八年七月廿一日出生昭和四年高文合格翌年東京帝大法學部政治科卒業同六年社會學部同十年十二月東京府屬同十年任地方警備香川和歌山各縣警務課長歷任同十二年七月任地方事務官同縣警務課長經濟統制課長經濟課長兼農務課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク陸軍主計中尉タリ 妻貞子(昭二)長男(昭三)東京府立第五中學校

井上 信 從五 內務技師 大阪土木 長野縣清兵衛長男明治廿六年六月十四日出生大正十三年京都帝大工學部土木科卒業內務省大阪土木出張所ニ入り野川川田川紀ノ川和歌山港同國道各改修工事ニ從事ス 妻貞子(昭二)長女(昭三)東京府立第五中學校

井上 信 從五 種馬牧場技師 日高種馬 大阪府人舊姓三井ト稱ス明治廿一年六月一日出生大正十五年東京帝大農學部獸醫學科卒業昭和二年農林技師同四年同技師畜產局勤務同十一年馬政局技師同十三年兼任農林技師經濟更生部勤務ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク妻貞子(昭二)長女(昭三)東京府立第五中學校

井上 信 從七 牧場技師 宮崎縣總 官崎縣人明治廿三年四月七日出生大正三年官崎縣ニ入り昭和七年知事官房統計課長同十二年現職ニ就任ス宮崎市末廣町二丁目 二二九

井上 信 從五 判事 名古屋控訴院 京都府靜雄ノ二男明治廿九年一月出生大正五年家督相續同九年京都帝大法科獨法科卒業後判事ニ任テ奈良盛岡各地方裁判所判事名古屋區裁判所判事ヲ經テ現職ニアリ 妻富美(明治廿六、四日市立高女卒)名古屋市東區

井上 信 從四 工業試驗所技師 東京 神奈川縣士族美吉長男明治廿五年十二月出生大正十二年家督相續同五年東京帝大工學部電氣工學科卒業工業試驗所ニ入り翌年任同技師同九年臨時空軍研究所技師ニ轉ジ同十四年歐米各國へ出張歸朝後再任工業試驗所技師今日ニ

井上 信 從六 地方視學官 廣島縣學務 島根縣士族明治廿九年四月六日出生大正十年早稻田大學高等師範部英語科同十五年東京帝大文學部西洋史學科各卒業埼玉縣師範部檢査官廣島縣三原女子師範部檢査官同縣立三原高女教諭昭和十年任地方視學官岩手縣勸導同十一年

日出生井上令照ノ美子トナル同四十五年東京高師卒業任東京府豐島師範檢査官主事府立第八高女校長任後現職ニ就ク 旅行運動檢査官 妻ふちの(明治廿三、美父令照四女宮城縣立高女東京高師各卒業)長男(昭七)三男(昭九)四男(昭十)三女照子(昭二)東京市澁谷區原宿三ノ三一 一 青山三五〇六

井上 信 從五 國民精神文化研究所 長崎縣士族實之介ノ長男明治廿四年二月出生同四十五年家督相續大正六年東京帝大法科政治科各卒業同大學院ニ入り同大學助手法政大學教授選信官史練習所東京帝大工學部各講師臺北帝大教授歷任昭和十一年一月現職ニ就ク大正十五年歐米各國留學ス 妻ヤス(明治廿八、佐賀縣士族大島源六(一)女)長男(昭十)日本中學卒)長女(昭八)東京府立三高女卒)三男(昭十)東京市澁谷區代々木本町七八八 四谷五〇三〇

井上 信 從四 工務 鐵道技師 東京 福岡縣士族明治廿二年二月九日出生大正五年京都帝大工學部土木工學科卒業滿鐵入社同九年任鐵道局技師同十年同技師爾來札幌鐵道局野付牛保線事務所長東京鐵道局助務長米田出雲朝後鐵道技師工務局助務課長代理同縣新務技師鐵道局助務工務局保線課長東京改裝事務所長等ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク同十年學位ヲ受テ東京市品川區上大崎四ノ二四九官舎 大崎一一三七

井上 信 從七 地方事務官 石川縣經濟 正七 地方事務官 石川縣經濟 部商工水産課長

井上 信 從四 檢事 沼津區裁判所 群馬縣士族孝政ノ二男明治十二年六月出生同廿四年家督相續同四十四年東京帝大法科獨法科卒業任檢事爾來橫手區本莊區秋田區盛岡區同地方大阪區同地方京都區同地方堺區青森地方同區各裁判所檢事官城控訴院檢事補和地方兼同區千葉地方兼同區各裁判所檢事歷補後現職ニ任テ 妻ヨシ(明治廿二、栃木縣石井豐太郎妹宇都宮高女卒)二女敏子(昭四、浦和高女卒)三女京子(昭五、千葉高女卒)沼津市平町 一三三四

井上 信 從六 地方警備 愛知縣警務部 鹿兒島縣平太郎長男明治四十年出生東京帝大法科卒業埼玉縣警務課長ヲ經テ現職ニ就ク 妻雅子(明治四三、樟山資英四女雙葉高女卒)名古屋市千種區千種通三ノ二七 千種 八一

井上 信 從四 判事 大審院判事 千葉縣士族義行ノ長男明治十八年四月出生大正二年東京帝大法科法律科卒業同六年任判事爾來東京地方兼同區各裁判所判事東京地方裁判所部長東京控訴院判事東京控訴院部長大審院判事司法省調査部長等ヲ歷任昭和十四年現職ニ任テ 妻子(昭十)女小枝子(昭六)東京市中野區新井町五〇二 中野四八六九

井上 信 從五 判事 名古屋控訴院 縣立盛岡高女校長兼教諭ヲ經テ同十三年七月現職ニ就ク 妻廣島市翠町一七八 中二二六

井上 信 從五 種馬牧場技師 日高種馬 大阪府人舊姓三井ト稱ス明治廿一年六月一日出生大正十五年東京帝大農學部獸醫學科卒業昭和二年農林技師同四年同技師畜產局勤務同十一年馬政局技師同十三年兼任農林技師經濟更生部勤務ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク妻貞子(昭二)長女(昭三)東京府立第五中學校

井上 信 從七 牧場技師 宮崎縣總 官崎縣人明治廿三年四月七日出生大正三年官崎縣ニ入り昭和七年知事官房統計課長同十二年現職ニ就任ス宮崎市末廣町二丁目 二二九

井上 信 從五 判事 名古屋控訴院 京都府靜雄ノ二男明治廿九年一月出生大正五年家督相續同九年京都帝大法科獨法科卒業後判事ニ任テ奈良盛岡各地方裁判所判事名古屋區裁判所判事ヲ經テ現職ニアリ 妻富美(明治廿六、四日市立高女卒)名古屋市東區

井上 信 從四 工業試驗所技師 東京 神奈川縣士族美吉長男明治廿五年十二月出生大正十二年家督相續同五年東京帝大工學部電氣工學科卒業工業試驗所ニ入り翌年任同技師同九年臨時空軍研究所技師ニ轉ジ同十四年歐米各國へ出張歸朝後再任工業試驗所技師今日ニ

井上 信 從六 地方視學官 廣島縣學務 島根縣士族明治廿九年四月六日出生大正十年早稻田大學高等師範部英語科同十五年東京帝大文學部西洋史學科各卒業埼玉縣師範部檢査官廣島縣三原女子師範部檢査官同縣立三原高女教諭昭和十年任地方視學官岩手縣勸導同十一年



**井上 壽成** 正五勳五 理博 工業試驗所技  
熊本縣清熊二男明治廿六年五月出生大正八年  
京都帝大理科化學科卒業工業試驗所技師  
現時前記ノ職ニ在リ同二年學位ヲ受ク  
曲澤妻和子(明治廿七、廣島縣額直七女廣島  
高女卒) 東京市澁谷區代々木西原町九五七  
四谷八三〇〇

**井上 春義** 正八 地方事務官 宮崎縣總務  
官崎縣人明治廿四年一月十六日出生大正十三  
年任宮崎縣屬昭和七年任警部同十年人事課  
長ヲ經テ同十四年任地方事務官現職ニ就ク  
宮崎市南廣島通二ノ二二〇五二八

**井上 秀太郎** 正六勳五 久留米市助役  
福岡縣俊藏二男明治十七年二月出生大正九年  
福岡縣屬拜命同警部同倉郡長地方事務官知  
事官房主事兼統計課長社寺兵事課長任昭和  
七年大牟田市助役ヲ經テ同十三年現職ニ就ク  
乘馬妻國子(明治廿二、福岡縣土族深  
見辰次郎養子)男良成(同四二、九州醫專卒)男  
行禮(大四)女妙子(同九)女万壽子(同十五)男  
茂(昭二)久留米市兩管町同役所内

**井上 浩** 職業主事 吳職業紹介所長  
廣島縣人明治廿九年一月十日出生同四十三  
年高輪中學卒業中央大學ニ學ブ大正七年任吳市  
書記同十三年出羽川電氣株式會社支配人ニ轉  
ゼシモ同十五年再度吳市ニ入り同市職業紹介  
所長ヲ經昭和十二年任吳市主事同十三年七月  
現職ニ就ク 吳市二河通同所内 二九三九

代碩平ノ養子トナリ明治廿三年家督相續同年  
帝大醫科醫學部卒業同校眼科助手兵庫縣立姫  
路病院副院長岡山醫專教授等歷任同廿七年學  
位ヲ受ク和歌ヲ能クシ義ニ御歌所寄人タリ  
妻リウ(明五、東京府佐藤芳三郎二女)男  
泰忠(同廿二、東京帝大法科卒)同妻敏子(同四  
十、東京府中村義四郎長女東京女學館卒)同長  
女泰子(昭二)同二女久子(同四)東京市澁谷  
區青葉町一〇〇青山四六八

**井上 光實** 鳥取市長  
鳥取縣傳藏長男明治十七年三月一日現地ニ生  
ル同廿五年倉吉農學校卒業同廿八年東京農大  
修業村農課ニ當選縣會議長四回ニ及ブ妻ニ  
日ノ丸自動車社長鳥取新報社取締役  
治純妻富子(明廿三、鳥取縣露上長藏長  
女)長男高禮(大五、鳥取一中卒)二女清香(大  
十、同縣立高女卒)二男健次郎(昭二)三男敏夫  
(昭四)鳥取縣岩美郡津ノ井村生山四

**井上 八重** 正五勳五 朝鮮總督府道技師  
岡山縣人明治十八年十一月四日出生同四十  
三年岡山醫專卒業橫濱市立萬治病院勤務德島縣  
警察廳ヲ經大正十年任道技師兼道慈惠醫院醫  
官廣向北海道警察部衛生課長歷昭和六年現職  
就任 妻由香里(明廿七)嗣子勳(昭四)長女  
朝子(大十一) 威美府盤龍町官舎 四六二

**井上 康夫** 從七 地方事務官 高知縣總務  
部人事課長  
福岡縣人明治四十二年七月五日出生昭和五年  
福岡高技同十年東京帝大法學部各卒業其間同  
九年高文行政科合格翌年埼玉縣屬拜命學務課

**井上 博** 正六 縣立鳥取第二中學校長  
廣島縣人駿一長男明治廿九年一月廿一日出生  
大正九年廣島高師卒業秋田女師教諭京都福山  
鳥取各師範附屬小學主事米子高女教頭倉吉高  
女校長等歷昭和十三年鳥取縣立米子高女校  
長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク 妻千里  
(明卅六、廣島縣友田幹次長女新庄高女卒) 嗣  
子厚(昭八)長女千代(大十)二女文子(同十四)  
鳥取市立川町同校内 八六四

**井上 廣治** 正五勳五 檢事東京控訴院檢事  
山形縣人明治廿一年十二月出生大正五年東京  
帝大法科卒業同九年任檢事字都宮地方兼同區  
東京區兼同地方新湯地方兼同區靜岡區兼同地  
方各裁判所檢事青森地方裁判所檢事兼區裁判  
所檢事青森保護觀察所長水戶地方裁判所檢事  
兼同區裁判所檢事ヲ經テ現職ニ就任 妻  
ス、(明廿七、縣立高田高女卒)男正雄(大八)  
女阿彌子(同五)二男治貞(同十三) 東京市麴  
町區霞ヶ關同所内

**井上 文介** 從五勳六 山形縣書記官 警察  
兵庫縣士族明治卅三年二月十日同縣城崎郡三  
方村ニ出生大正十二年高文行政科合格翌年東  
京帝大法科政治科卒業廣島縣屬拜命爾來同縣  
御前長官地方事務官廣島縣屬拜命爾來同縣  
保安課長北海道警務視察課長地方事務官岩  
手縣商工水產課長同農務課長兼知事官房主事  
京都府工場課長同地方課長等歷任昭和十一年  
十月茨城縣書記官經濟部長ヲ經同十四年一月  
現職ニ就ク 山形市新築官舎 二二  
井上 高壽藏 從五勳六 鐵道書記官 大臣官  
房養成課長

勤務同十一年兼任同縣警部翌年專任警部保安  
課長次子警務課勤務同年同縣屬警部警務課  
勤務ヲ經テ同十四年六月休職被命同十五年五  
月現職ニ就ク 高知市縣人事課長公舎

**井上 豐** 正五勳五 拓務技師 殖産局勤  
務省ニ入り果通現ニ殖産局商工課勤務タリ  
東京市大森區馬込町東一ノ一〇九〇

**井上 洋之助** 從五勳五 判事 浦和地方法判  
事 橫濱區裁判所東京控訴院各判事前橋地方法判  
事部長ヲ經テ現職ニ就ク 浦和市常盤同所内

**井上 義海** 從六 大藏事務官 爲替局勤務  
廣島縣人昭和八年東京帝大法學部獨法科卒業  
東京市本郷區弓町一ノ八朝陽館別館内

**井上 義夫** 正六 神戸市立第一神港商業學  
校校長  
京都府仙太郎長男明治廿五年三月廿二日出生  
大正四年廣島高師同十二年京都帝大經濟學部  
各卒業岡山官崎高津神戶第三各中學神港商業  
各教諭德島縣立商業校長ヲ經テ昭和十三年現  
職ニ就ク 妻つぎ(明廿九、京都府大道嘉右  
衛門妹若松高女卒)長男健(大七)二男晉(同十  
神戶一中卒)三男良(昭三) 神戸市灘區森後  
町三ノ九

**井上 理** 從七勳七 社會事業主事 福島  
縣學務部社會課長  
福島縣人明治卅一年二月十二日出生大正六年  
福島縣師範第二部卒業大正九年任福島縣屬教  
育課勤務昭和六年社會課ニ轉ジ同十二年八月

任社會事業主事同十三年六月現職ニ就ク 福  
島市霞内三〇八四七

**井上 柳櫻** 正四勳三 農博 上田靈林專門  
東京府士族範ノ弟明治十三年九月出生同四十  
一年東京帝大農科農藝化學科卒業大正二年現  
校教授ニ任ジ後現職ニ就ク同六年學位ヲ受ク  
妻ニ獨佛兩國ニ留學ス 妻みよ(明廿七、東  
京府中川澄夫姉)養子歌子(大十三、天沼俊一姪  
成蹊高女卒) 同上田市新夢町四三三

**井上 正平** 正七勳六 關東局事務官 關東  
區兒島縣人明治卅六年三月三日兒島市ニ出  
生大正十二年高等試驗令第七條試驗及昭和五  
年高文司法科合格任關東警部補同七年高文  
行政科試驗合格同九年警部補同十二年高文  
長同十一年任警視四平街署長同十二年警務部  
警務課長兼高等警察課長等ヲ經テ現職ニ就ク  
大連市長者町同所内

**井原 正平** 學校長兼教諭  
茨城縣人 大正七年廣島高師卒業縣立上溝高等  
女學校ヲ經テ昭和十二年現職ニ就ク 神奈川  
縣上高座郡藤澤町花澤

**井深 操吉** 正五勳四 地方技師兼地方商工  
技師 岐阜縣立多治見工業學校  
岐阜縣石原門三郎四男明治八年八月一日大垣  
市出生井深松吉ノ養子トナル同廿四年東京高  
工卒業鐵道院官房研究所勤務ヲ經テ大正六年  
現職ニ就ク 陶器研究 妻ゆた(年廿一、  
養父松吉長女)嗣子芳夫(同廿九、早大卒)二男  
和雄(大六)女敏子(同十一) 岐阜縣土岐郡多

山形縣士族明治卅三年一月二日出生大正十一  
年高文行政科合格同十二年東京帝大法學部法  
律科卒業鐵道局書記命爾來鐵道局鐵道省事  
務官鐵道局副參事名古屋鐵道局運輸課旅客掛  
長鐵道省事務官兼國際觀光局事務官運輸局總  
務課勤務國際觀光局書記官庶務課長ヲ經テ昭  
和十四年現職ニ就ク其間同二年滿洲ニ出張同  
六年在外研究員被命海外ニ留學ス 東京府北  
多摩郡小金井町一四八二 一二七

**井上 政一** 正七勳六 警視廳警視 既橋警  
福岡縣人八長男明治廿四年九月廿五日出生大  
正二年警視廳巡查命爾來果通昭和九年任警  
視赤坂青山堀留各署長ヲ經テ同十三年現職ニ  
就ク 父文八(現戶主)妻エで(明廿四) 東  
京市本所區東駒形二ノ二〇〇 田二〇〇一  
井上 登太郎 從五勳五 公使館一等書記官  
東京府金治郎長男明治卅二年十月八日出生大  
正十二年東京帝大法科政治科卒業外務省ニ入  
リ佛國大使館ニ勤務自耳義大使館三等書記官  
外務事務官滿洲國大使館三等書記官領事証書  
在勤大使館二等書記官ポーランド國在勤等歷  
任昭和十三年公使館二等書記官ヲトウイア國  
在勤次子大使館二等書記官ブルガリア國在勤  
ヲ經テ同十四年十月現職ニ就ク 漢籍登山  
國父金治郎(明三、現戶主)母ウメ(同十三)  
國在ハンガリー國日本公使館内

**井上 通壽** 正三勳二 醫博 貴族院議員  
兵庫縣松岡操ノ三男前貴族院書記官長柳田國  
男畫家松岡輝夫ノ實兄慶應二年十二月出生先

九



治見町平野 正五勳五 米穀利用研究所技師

井水 正名 同所長 大分縣良庵三男明治廿六年三月九日出生大正八年東京帝國大學農學部農學科卒業農商務省奉職米穀局勤務昭和八年十月農林技師大阪米穀事務所長ヲ經テ同十三年現職ニ就任ス

井光 忠光 大阪府大手前健康保險出張所長 鹿兒島縣人明治廿三年十月三日出生大正十三年中央大學法科卒業內務省社會局ニ入り同十五年十月神奈川縣健康保險事務所和五年島取縣健康保險課同十年警視廳品川健康保險出張所同十一年鹿兒島縣同十三年滋賀縣ヲ經テ同十五年二月現職ニ就ク

井本 政信 正六 都市計畫兵庫地方委員會技師兼地方技師 兵庫縣勤務 明治廿四年九月一日富山縣ニ出生大正八年東京帝國大學農學部卒業明治神宮造營局復興局橫濱市都市計畫愛知地方委員會各技師歷任昭和十年現職ニ就ク

井村 隆全 正七 豐博 厚生技師 衛生局長 千葉縣人明治廿三年十一月一日出生昭和三年東京帝國大學醫學部醫學科卒業同大學傳染病研究所技師外務省文化事業部上海自然科學研究所技師同十一年岡山縣衛生技師翌年地方技師同縣警察部衛生課勤務ヲ經テ同十三年三月現職ニ就ク

井上 正三 從五勳六 福島縣立安積高等女學校校長兼教諭 福島縣人明治十八年一月出生同四十五年廣島高師卒業德島中學金澤女師各教諭會津高女校長等歷任後現職ニ就ク

五十川 捷造 正六 地方事務官 德島縣總務部庶務課長兼人事課長兼知事官房主事 福島縣人明治廿三年八月六日出生大正十四年早稻田大學政經學部政治科卒業翌年高文行政科合格昭和二年警視廳巡查拜命次テ同警部補同四年同警部保安部規畫課勤務第二第一各方面擔當監察官附同六年任警視廳警視南千住青山西神田坂本四谷本富士愛宕各警署署長歷補同十三年八月地方事務官ニ任テ德島縣地方課長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク

伊江 朝睦 正五勳五 典獄 小菅刑務所長 男爵朝江ノ弟明治廿三年十一月出生大正六年東京帝國大學法科卒業刑務裁判所檢察官京長都長崎各刑務所長ヲ經テ昭和十三年九月現職ニ就ク

朝忠(大六)二男朝雄(同十)東京市葛飾區少

一年現職ニ就ク 葦撞球部部長(明七)妻あや(明廿二)富山實科高女卒(長男信夫(大九)青山學院卒)長女桂子(同十一)神戶一高女卒(二女行子(同十五)二男次夫(昭四)三男三夫(昭五)兵庫縣武庫郡精道村芦屋伊勢講田五四)

五十嵐 欽也 正七 厚生技師 衛生局勤務 秋田縣人明治廿五年十二月二日出生昭和五年北海道帝國大學農學部農藝化學科卒業北海道農務部同職技師ヲ經テ支那農務部農產課經濟部農產課勤務ヲ經テ同十四年十二月現職ニ就ク

五十嵐 作樂 正六 土木技師兼道路技師 富山縣人明治廿八年四月廿七日出生大正八年名古屋高工土木科卒業同年兵庫縣土木技師翌年石川縣土木技師同十二年兵庫縣道路技師兼土木技師同年同府道路技師兼土木技師同十三年和歌山縣土木技師兼道路技師ヲ經テ同十四年八月現職ニ就ク

五十嵐 善作 從五勳六 山形縣立酒田中學校山形縣太田富治三男明治十九年一月十一日出生先代九兵衛ノ養子トナル大正二年廣島高師卒業松本縣本長岡各中學山形縣女子師範各教諭縣視學補同長井各地酒田各高女校長ヲ經テ昭和十二年四月現職ニ就ク

伊賀 敏郎 從六 地方農林技師 滋賀縣經濟部水產課長 兵庫縣人明治廿八年九月廿八日出生大正七年農商務省水產講習所本科漁撈科卒業滋賀縣水產試驗場技師德島縣產業技師滋賀縣農林技師同縣屬歷任昭和八年地方農林技師ニ任テ滋賀縣農林技師ニ補セラレ今日ニ及ブ

伊木 壽一 正五勳六 史料編纂官 東京帝國大學史料編纂所勤務 山口縣士族裔藏ノ長男明治十六年三月出生大正十三年家督相續明治廿九年東京帝國大學史料編纂官東京帝國大學史料編纂所ニ勤務傍ラ帝大法學部講師慶大講師明大教授學士院囑託タリ

伊佐早 信 從四勳三 判事 函館地方裁判所長 山形縣士族裔藏ノ長男明治十七年六月出生大正八年家督相續同四十二年東京帝國大學法科卒業任判事水戸大阪奈良各地方各區裁判所判事仙臺地方裁判所判事等歷補宮城控訴院判事仙臺地方裁判所部長下關區監督判事福井地方裁判所長ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク

酒田市龜ヶ崎町四五六 從五勳五 逓信局書記官兼簡易保險局事務官 仙臺逓信局局長 東京府人龜太郎ノ弟明治廿三年十月廿日出生同四十五年明治大學商學部畢業為替貯金局書記官事務官下關貯金支局局長大阪貯金支局長振替貯金局長金澤仙臺各貯金支局長等歷任昭和十年貯金局長同十三年同集計課長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク

五十嵐 勇二 正五勳六 逓信技師 工務局試験課長 東京府士族裔工博秀助ノ二男明治廿一年九月十八日出生昭和八年家督相續大正十一年東京帝國大學電氣科卒業同十二年任逓信局技師次テ逓信技師昭和十三年逓信局技師兼逓信局工務課長ヲ經テ同十五年現職ニ就任ス其間臨時電信電話建設局東京逓信局工務課電話試驗係長兼電力係長工務局東京逓信局局長等ニ歷勤同六年巴里ニ出張ス

妻彌子(同廿五)東京府士族葛嶺三女)男篤(大二)女宮子(同五)男正(同八)女日出子(同十三)女幸子(昭五)函館市沙見町四九六九

伊坂 眞維 從六 札幌市立高等女學校長 福井縣人山下庄之助ノ二男明治廿六年十二月十六日同縣足羽郡ニ出生後北海道伊坂重馬ノ養子トナル福井縣師範ヲ經テ大正九年東京高師理科卒業福井師範各教諭昭和五年札幌市視學ニ歷任同十二年三月現職ニ就任ス

伊澤 聖平 從五 東北帝大教授 法文學部 岡山縣元助ノ男明治廿四年四月九日出生大正十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學法科卒業同大學助手東北帝大助教ヲ經テ昭和九年現職ニ就ク

伊澤 正宣 正五 東北帝大助教 工學部 岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師囑託同十四年現職ニ就ク

伊澤 爲吉 醫師 市立京都病院長 內科醫 栃木縣人大正三年京都帝國大學內科卒業同四年同大學病院中西內科ニ入り研鑽後同大

伊澤 爲吉 醫師 市立京都病院長 內科醫 栃木縣人大正三年京都帝國大學內科卒業同四年同大學病院中西內科ニ入り研鑽後同大

伊澤 爲吉 醫師 市立京都病院長 內科醫 栃木縣人大正三年京都帝國大學內科卒業同四年同大學病院中西內科ニ入り研鑽後同大

伊澤 爲吉 醫師 市立京都病院長 內科醫 栃木縣人大正三年京都帝國大學內科卒業同四年同大學病院中西內科ニ入り研鑽後同大

伊澤 爲吉 醫師 市立京都病院長 內科醫 栃木縣人大正三年京都帝國大學內科卒業同四年同大學病院中西內科ニ入り研鑽後同大



治見町平野

正五勳五 米穀利用研究所技師
大分縣農産三男明治廿六年三月九日出生大正
八年東京帝國大學農學部農學科卒業農商省ニ奉
職米穀局技師昭和八年十月農林技師大阪米穀
事務所長ヲ經テ同十三年現職ニ就任ス

正七 厚生技師 衛生局勤務
秋田縣人明治廿五年十二月十二日出生昭和五
年北海道帝國大學農學部農藝化學科卒業北海道
廳託同農林技師ヲ經テ支那農務部農産課課長
部農産課勤務ヲ經テ同十四年十二月現職ニ就
ク東京市牛込區辨天町一五四

正六 都市計畫技師 兵庫縣勤務
兵庫縣人明治廿三年十一月一日出生昭和三年
東京帝國大學農學部農學科卒業同大學傳染病研究
所技師外務省文化事業部上海自然科學研究所
技師同十一年岡山縣衛生技師翌年地方技師同
縣警察部衛生課勤務ヲ經テ同十三年三月現職
ニ就ク兼テ同十年學位ヲ受ク船橋市五日市
下道七一四

正六 地方事務官 德島縣勤務
德島縣人明治廿三年八月六日出生大正十四年
早稻田大學政經學部政治科卒業翌年高文行政
科合格昭和二年警視廳巡查奉命次テ同警部補
同四年同警部保安部規畫課勤務第二第一各方
面擔當監察官附同六年任警視廳警視南千住青
山西神田坂本四谷本富士愛宕各警署署長歷補
同十三年八月地方事務官ニ任テ德島縣地方課
長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク德島市會
所丁三〇八四

正五勳五 典獄 小菅刑務所長
男爵朝江ノ弟明治廿三年十一月出生大正六年
東京帝國大學法科卒業那覇裁判所檢事奈良京長
崎各刑務所長ヲ經テ昭和十三年九月現職ニ就
ク妻敏(明治廿六年男爵今歸仁朝英妹)長男
朝忠(大六)二男朝雄(同十)東京市葛飾區少

正六 地方農林技師 滋賀縣經
濟部水産課長
兵庫縣人明治廿八年九月廿八日出生大正七年
農商務省水産講習所本科漁撈科卒業滋賀縣水
産試驗場技師德島縣產業技師滋賀縣農林技師
同縣農林技師和八年地方農林技師ニ任テ滋賀
縣農林技師ニ補セラレ今日ニ及ブ同大津市松
本日ノ出官會同五一五

正五勳六 史料編纂官 東京帝
山口縣士族向藏ノ長男明治十六年三月出生大
正十三年家督相續明治廿九年東京帝國大學文
學科卒業更ニ同大學院ニ入り大正十四年任史
料編纂官東京帝國大學史料編纂所ニ勤務傍テ帝
法學部講師慶大講師明大教授學士院囑託タリ

酒田市龜ヶ崎町四五六

從五勳五 逓信局書記官兼簡易
保險局事務官 仙臺逓信局保險
東京府人龜太郎ノ弟明治廿三年十月廿日出生
同四十五年明治大學商學部畢業爲警庁金局書記
簡易保險局書記大正十年高文行政科合格貯金
局事務官下關貯金支局貯金課長大阪貯金支局
振替貯金課長金澤仙臺各貯金支局長等歷任昭
和十年貯金局長第二貯金課長同十三年同集計課
長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク

正五勳六 逓信技師 工務局試
東京府士族故工博秀助ノ二男明治廿一年九月
十八日出生昭和八年家督相續大正十一年東京
帝國大學電氣科卒業同十二年任逓信局技師
次テ逓信技師昭和十三年逓信局技師兼本逓信
局工務課長ヲ經テ同十五年現職ニ就任ス其間
臨時電信電話建設局東京逓信局工務課電話試
驗係長兼電力係長工務局東京市逓信局等ニ
歷勤同六年巴里ニ出張ス

從七 地方事務官 靜岡縣學務
靜岡縣人直喜ノ長男明治廿六年同縣鹿原郡蒲
原町ニ出生大正十三年鹿原郡書記奉命同十五
年任靜岡縣屬昭和十三年六月地方事務官ニ任

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク

妻彌子(同廿五)

東京府士族葛藤三女)男篤
(大)女宮子(同五)男正(同八)女日出子(同
十三)女幸子(昭五)同函館市沙見町九六九

從六 札幌市立高等女學校長
福井縣人山下庄之助ノ二男明治廿六年十二月
十六日同縣足羽郡ニ出生後北海道伊坂重馬ノ
養子トナル福井縣師範ヲ經テ大正九年東京高
師理科卒業福井師範各教諭昭和五年
札幌市視學ニ歷任同十二年三月現職ニ就任ス

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五勳五

逓信局書記官兼簡易
保險局事務官 仙臺逓信局保險
東京府人龜太郎ノ弟明治廿三年十月廿日出生
同四十五年明治大學商學部畢業爲警庁金局書記
簡易保險局書記大正十年高文行政科合格貯金
局事務官下關貯金支局貯金課長大阪貯金支局
振替貯金課長金澤仙臺各貯金支局長等歷任昭
和十年貯金局長第二貯金課長同十三年同集計課
長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク

從五勳六 逓信技師 工務局試
東京府士族故工博秀助ノ二男明治廿一年九月
十八日出生昭和八年家督相續大正十一年東京
帝國大學電氣科卒業同十二年任逓信局技師
次テ逓信技師昭和十三年逓信局技師兼本逓信
局工務課長ヲ經テ同十五年現職ニ就任ス其間
臨時電信電話建設局東京逓信局工務課電話試
驗係長兼電力係長工務局東京市逓信局等ニ
歷勤同六年巴里ニ出張ス

從七 地方事務官 靜岡縣學務
靜岡縣人直喜ノ長男明治廿六年同縣鹿原郡蒲
原町ニ出生大正十三年鹿原郡書記奉命同十五
年任靜岡縣屬昭和十三年六月地方事務官ニ任

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 法文學部
岡山縣元助ノ弟明治廿四年四月九日出生大正
十四年高文司法科合格同十五年東京帝國大學
法科卒業同大學助手東北帝大助教授ヲ經テ昭和
九年現職ニ就ク

從五 東北帝大教授 工學部
岡山縣元藏長男明治廿三年一月出生大正十二
年東京帝國大學法科卒業東北帝大講師同十四
年現職ニ就ク



學部命命命現職ニ就任ス大正十年醫學博士トナル  
京都市左京區田中野神町二一四七〇

伊勢川 實 從七勳六 外務理事官 情報部

大分縣新六ノ二男明治廿年八月三日出生同縣

師範卒業(昭五)妻ルイ(明治卅一)中野倉治妹(昭五)長女京子(大十四)東京市池田區永田町二ノ二七〇銀座七〇六六

伊勢谷次郎 從四勳三 通信省管船局長兼高

長野縣佐藤茂ノ二男明治廿三年七月十二日同

縣安曇郡ニ出生大正九年先代吉藏ノ養子トナリ昭和八年家督相續ス大正七年東京帝大法科

獨法科卒業通信省ニ入り爾來通信事務官補同

事務官官補浦和郵便局長通信事務官東京通信

局局長兼任外務書記官並米利加局局長同十

一年通信省郵務局長同十二年簡易保險局長ヲ

經テ同十三年一月現職ニ就ク妻ニ大正十五年

獨米露各國ニ留學ス(昭四)妻ニ大正十五年

(明七)妻キヨミ(同卅二)養父吉藏長女東京府

立第一高女卒(長男吉郎(大九)二男壽徳(同十

二)三男三樹郎(同十四)四男浩(同十五)五男

順藏(昭四)東京市小石川區西丸町二六〇大

塚三二二〇

伊田庄三郎 正七 軍事保護院事務官 業務

局勤務 福島縣人多右衛門ノ三男明治廿七年三月廿二

日同縣耶麻郡喜多方町ニ出生昭和六年高文合

格同七年東京帝大法學部政治學科卒業富山縣

助教授ヲ經昭和十年現職ニ就ク(昭四)妻

妻菊枝(明卅二)東京府町野恒長女京華高女

卒(嗣子一彦(大七)二女ヨシエ(同十四)東京

京市牛込區市谷加賀町二ノ八〇牛込三一三〇

伊東 隆治 從五勳五 總領事 漢口在勤

鹿兒島縣士族隆明長男明治卅一年七月八日出

生大正十年高文行政科及外交官試驗合格同十

一年東京帝大法學部政治科卒業公使館三等書

記官外務事務官通商局第一課勤務等歷任其間

瑞西瑞典各公使館ニ歴勤傍ラ瑞典大學ニ佛語

ヲ研究次テ領事ハヴサナ在勤公使館二等書記

官チエツコソヴアキア國在勤公使館一等書記

官兼總領事タイ國在勤昭和十三年九月外務

書記官兼農林書記官通商局第五課長ヲ經テ同

十五年四月現職ニ就ク妻ニ國際聯盟會議事務

ニ從事ス(昭四)妻ニ國際聯盟會議事務(昭

主)東京市世田谷區北澤町二ノ三一〇世田

谷二九二八(留守宅)

伊東 武二 從五 鐵道局監理監督官 名古屋

靜岡縣士族信廣ノ六男明治卅二年出生鐵道省

ニ入り靜岡運輸事務所長名古屋鐵道局運輸部

庶務課長ヲ經テ昭和十四年十月現職ニ就ク

(昭五)妻ニ讀書(昭五)妻妙子(明四三)愛知縣

井口巳之助三女(昭五)名古屋市西區西柳町鐵道

官舎七七

伊東 鐵雄 從六勳六 地方事務官 神奈川

神奈川縣人宗誠ノ二男明治十八年十二月二日

同縣鎌倉郡戸塚町ニ出生夙ニ鎌倉郡書記次テ

神奈川縣屬拜命優良官吏ノ表彰ヲ受ケ任地地方

事務官同縣

事務官同縣

事務官同縣

屬拜命等テ愛媛縣屬兼管部地方事務官同縣社

會課長知事官房主事兼人事課長地方課長昭和

十三年埼玉縣學務課長同十四年同縣庶務課長

等ヲ經テ同年現職ニ就ク(昭四)妻ニ讀書(昭

五)妻高子(明四五)富山縣士族野口詮太郎六

女西宮高女卒(嗣子剛一(昭十三)長女淑子(同

十一)東京市目黒區中目黒一ノ七三四

伊地知重二 正五勳五 通信局技師兼地方海

鹿兒島縣士族池田純行ノ二男明治廿四年九月

二日出生伊地知宗助ノ養子トナル大正八年東

京帝大工學部機械工學科卒業同九年任通信局

技師同年八月任通信局技師爾來熊本大阪廣島

各通信局地方海員審判所審判官兼任東京地方

通信局海事部審判出張所長ヲ經テ昭和十三年

現職ニ轉ズ(昭五)妻ニ讀書(昭五)妻ス

ガ子(明卅六)本田三之助二女鹿兒島高女卒)

伊地知四郎 從四勳三 海軍少將 鹿兒島市

鹿兒島縣士族李治二男明治十二年十一月廿八

日出生同卅七年機關學校卒業任少尉累進昭和

四年同少將ニ陞ル其間日露役ニ從軍同六年退

役同十一年現職ニ就ク(昭五)妻伸子(明廿四)龜

井直信長女(長男季信、二男季英、四男季、二女

須賀子、三女吉子、四女清子)鹿兒島市冷水町

二三七七五一三

伊地知四郎 從五 地方技師 群馬縣經濟部

鹿兒島縣人舊姓宇都宮ト稱ス明治廿七年七月

十一日出生大正十二年東京帝大農學部卒業翌

農林主事農務課長心得昭和十一年五月水産課

長ヲ經テ同十三年八月現職ニ就ク(昭五)妻

馬(昭五)妻ヨモ(明卅六)神奈川縣伊東鐵丸長女

縣立第一高女卒(長男秀一(大十三)本牧中學

在長女靜子(同七)鶴見高女卒(二女富美子(同

十五)三女和江(昭三)二男章司(同七)同橫濱

市磯子區磯子町廣地二八三(長者町一三一〇

伊東 健雄 正八 大阪市理事 產業部長

宮城縣賢治長男明治廿七年四月廿日出生大正

八年東京帝大法科卒業大阪府ニ入り中央市場

ヨリ昭和十一年現職ニ轉ズ(昭五)妻治(慶應

二)母智(明三)妻澄(同卅五)東京府福島四郎

長女同府立二女卒(嗣子淳一(大十三)同兵庫

縣武庫郡元村仁川四六、五〇(仁川一〇七

伊東 廣雄 從四勳四 農博 東京高等蠶絲

長野縣久太郎長男明治廿一年十一月廿四日出

生大正二年東京帝大農科卒業現校教授ヲ經テ

昭和十一年五月校長ニ就任ス大正九年學位ヲ

受ク妻ニ歐米各國ニ出張ス(昭五)妻富士子(明

廿九)女陽子(大十四)東京市淀橋區下落合

一ノ五二一(大塚一三三〇)

伊東 彌治 從四勳三 醫博 千葉醫大教授

靜岡縣安太郎ノ長男明治廿四年十月二日出生

大正六年東京帝大醫學部眼科卒業同八年任千

葉醫專教授同十二年現職ニ就ク同十四年學位

受領妻ニ歐米ニ留學屢次リ(昭五)妻(昭五)妻

綾(明卅九)千葉縣高石四郎平二女跡見女學

年大分縣產業技師昭和三年島根縣農林技師同

八年地方技師佐賀縣耕種課長同十二年地方農

林技師福井縣耕種課長兼農業水利改良事務所長

兼務ヲ經テ同十四年一月現職ニ就ク(昭五)妻

石川町一〇ノ二〇三三三八

伊地知辰夫 正六 稅務監督局書記官 東京

鹿兒島縣上山乙次郎二男明治卅七年十月四日

出生伊地知周八ノ養子トナル昭和三年東京帝

大英法科卒業兩國稅務署長廣島大阪各稅務監

督局間稅務部長試驗所事務官兼主稅局事務

官試驗所庶務課長等ヲ經テ同十四年四月

現職ニ就ク(昭五)妻ニ讀書(昭五)妻弘子(明四

二)上山甲輔女跡見高女卒)東京市本郷區駒

込林町二一六(駒込一〇五八)

伊東 榮信 正五勳五 檢事 福島地方裁判

京都府人明治廿二年四月出生大正六年京都帝

大法科卒業任檢事京都府山各地方裁判所檢

事兼海防府法院判官田川少倉川内八代各區

熊本地方八代支那柳河區各檢事(昭五)妻照

子(明卅二)京都淑徳高女卒)長女美榮子(大

九)堀川高女卒)長男邦彦(同十一)福島市萬

世町一三官舎九三六

伊東 五郎 從五 內務技師 計畫局勤務

東京府人大正十四年東京帝大工學部建築學科

卒業警視廳技師建築監督官ヲ經現時前配ノ職

ニ在リ(昭五)妻ニ讀書(昭五)妻(昭五)妻

伊東 孝一 從五勳四 東京帝大教授 農學

東京府治三郎長男明治廿一年九月廿八日出生

大正二年東京帝大農科水産科卒業同大學助手

東京府善右衛門四男明治廿年十二月出生大正

七年分家明治四十三年東京高工卒業同校助教

授東京美術學校助教兼任大正八年米國留學

同九年文部省在外研究員被命獨英佛各國ニ留

學歸朝後同十一年現職ニ就ク(昭五)妻(昭五)妻

妻次枝(明卅三)東京府大江太長女)長男通雄

(昭五)長女愛子(大十五)三男律夫(昭八)二女

節子(同九)三女陽子(同十一)東京市荏原區

中延町一一八一

伊 伊行 從七 職業主事 豐橋職業紹介

愛知縣人明治廿八年二月六日出生大正十一年

日大宗教科專門部卒業名古屋市書記愛知縣社

會事業主事補同縣社會教育主事補ニ歷任昭和

十三年現職ニ就ク(昭五)妻(昭五)妻(昭五)妻

伊 一 正七 厚生事務官 體力局勤務

愛知縣人明治四十三年四月十一日同縣愛知郡

鳴海町ニ出生昭和二年第八高校ヲ卒(同七年

高文合格翌八年東京帝大法學部法律學科卒業

同年兵庫縣屬拜命同十一年內務局同十二年任

地方事務官長崎縣勸務社寺兵事課長兼體育課

長同十三年二月同縣農政課長ヲ經テ同十四年

五月現職ニ就ク(昭五)妻(昭五)妻(昭五)妻

伊 英三 從五 地方事務官 京都府勤務

廣島縣人昭和二年東京帝大法學部獨法科卒業

臺灣總督府ニ入り高雄州廳ニ勤務次テ地方理

事官嘉義市尹同十三年州事務官兼中州警務部

長ヲ經テ同十五年六月現職ニ就ク(昭五)妻(昭五)妻

都府廳內



**伊藤 榮次** 正八 地方警視 宮城縣警察部  
 福島縣人明治廿二年二月十八日出生大正十一年  
 同縣巡查拜命同十四年巡查部長昭和三年警部  
 補同七年任福島縣警部警察部保安課勤務兼任  
 同縣屬同年內務局警務局勤務同十四年六月地  
 方警視ニ任シ宮城縣警察部勤務同年十二月現  
 職ニ就ク(國)妻よし(仙臺市北二番丁二四)三  
 一八五

**伊藤 兼吉** 正四勳三 臺灣總督府檢察官  
 靜岡縣人吉ノ四男明治十九年八月出生先代安  
 五郎ノ養子トナリ同廿六年家督相續同四十三  
 年東京帝大法科獨法科卒業爾來東京區兼同地  
 方裁判所檢察官臺灣總督府州事務官兼中州警務  
 部長兼南州內務部長兼臺灣總督府稅關長同府事  
 務官臺灣總督府法院檢察官高等法院檢察官歷  
 任昭和十一年臺南地方法院檢察官長ヲ經テ同  
 十二年現職ニ就ク(妻)同四年歐米各國ニ出張  
 ス(國)妻光子(明)廿六、神奈川縣土族鼓包美  
 妹(男)正彦(大)四女(女)節子(同)八(同)八  
 二男道彦(同)十(三)男和彦(同)十一(三)女英子  
 (同)十四(四)男信彦(昭)二(四)女秀子(同)四(同)四  
 北市文武町六丁目官舎(昭)二二四〇

**伊藤 龜雄** 從七勳七 內務理事官 警保局  
 山形縣人明治廿五年五月廿四日出生大正九年早  
 稻田大學法學部英法科卒業翌年警察技手拜命  
 警視廳技手兼警部保安部保安課勤務同十四年  
 任內務局警保局勤務ヲ經テ昭和十三年十二月  
 任內務理事官ニ任ズ同十四年關東州及滿洲國へ  
 出張ス(國)東京市目黒區三谷町六〇

**伊藤 憲郎** 正五勳五 朝鮮總督府檢察官 全  
 州地方法院檢察官正  
 青森縣人昇太郎長男明治廿五年十二月出生後  
 家督相續ス大正七年東京帝大法科獨法科卒業  
 朝鮮總督府判事光州地方法院并邑支廳京城海  
 州各地方法院京城覆審法院各判事ニ歷任昭和  
 二年檢事ニ轉シ平壤覆審法院兼高等法院檢察  
 同府事務官京城覆審法院檢察官光州地方法院檢  
 事大邱覆審法院檢察官ヲ經テ同十三年十月現職  
 ニ就ク(國)妻直子(明)廿二、新潟縣今井時太郎  
 二女函館高女卒(長)男洋(大)十五(長)女京子(同  
 九)二女文子(同)十一(二)男治(昭)四(同)全州府  
 花園町官舎(昭)四三

**伊藤 孝吉** 從五 機械試驗所技師兼商工技  
 師 機械試驗所勤務  
 岩手縣人大正六年東京帝大機械科卒業地方商  
 工技師埼玉縣川口鑄物工業試驗場長ヲ經テ昭  
 和十二年現職ニ就ク(國)東京市大森區馬込町東  
 四ノ二六八(昭)六〇七八

**伊藤 進** 正五勳六 鐵道技師 建設局勳  
 兵庫縣土族貴志ノ長男明治廿一年十月十日出  
 生大正十二年東京帝大工學部建築科卒業鐵道  
 省ニ入り鐵道技師工務局勤務ヲ經テ現時前記  
 ノ任ニ在リ(國)旅行運動(國)妻悠(明)廿七、福  
 井縣福島總次郎二女双葉高女卒(國)東京市麻  
 布區本村町三五(昭)三田四三三三

**伊藤 重三郎** 從四勳三 朝鮮總督府判事 全  
 州地方法院長  
 愛知縣人利三郎長男明治十五年六月出生昭和  
 五年家督相續明治廿五年明治法律學校卒業判  
 檢事登用試驗合格同廿八年任判事岐阜地方名

**伊藤 完二** 從五勳六 臺灣總督府交通局長  
 大分縣土族和一郎二男明治廿年四月出生大正  
 十四年京都帝大法科卒業總督府稅務秘書各課  
 勤務高州警務課長臺灣警察官司獄官練習所  
 主席教官臺北州內務部地方官房文書各課長  
 新竹郡守屏東市尹等ヲ經テ現職ニ就ク昭和十  
 四年五月ブエノスアイレスニ於ケル萬國郵便  
 會議ニ際シ同委員ヲ命ゼラレ歐米各國出張ス  
 (國)妻澄(明)廿八、大分縣荒木明長女(長)男三  
 造(大)十五(昭)北市錦町一七(昭)二八六〇

**伊藤 清** 從五勳六 厚生書記官 社會局  
 東京府人德次郎三男明治廿六年一月廿八日出  
 生大正十四年東京帝大法學部政治學科卒業爾  
 來兵庫縣屬內務省土木局勤務地方警視和歌山  
 縣保安課長大阪府警務官京都府保安課長地方  
 事務官東京府警務課長等歷任昭和十年社會局  
 事務官保險部勤務內務事務官兼任同十三年一  
 月厚生書記官社會局兒童課長ニ任ズ同年十月  
 遣族援護課長ヲ兼テ後免兼務(國)妻ハツエ  
 (明)廿六、富山縣本田吉治郎長女(長)男齊(大)  
 四(二)男照(昭)三(三)男健(同)六(同)東京市世田  
 谷區松原町二ノ七六二(昭)松澤三三三三

**伊藤 隆二** 從五勳六 內務書記官 神戶局  
 廣島縣土族辰吉二男明治廿四年四月一日廣島  
 市出生大正十一年高文合格同十三年東京帝大  
 法學部獨法科卒業任岡山縣屬爾來地方事務官  
 同縣商工課長學務課長知事官房主事秋田縣庶  
 務課長地方課長北海道廳事務官地方課長庶務  
 課長等歷任岩手兵庫各縣書記官學務部長ヲ經  
 テ昭和十四年現職ニ就ク(國)妻ミサホ(明)廿  
 八、岡山縣佐藤茂長女岡山高女卒(長)男達雄  
 (昭)四(長)女道子(同)六(二)女忠子(同)十(同)東京  
 市牛込區市谷河田町一九(昭)牛込七〇七八

**伊藤 順二** 從五勳六 貯金局書記官 貯金  
 局總務課長  
 愛媛縣建夫ノ男明治廿四年八月出生大正十四  
 年東京帝大經濟學部卒業福井郵便局長貯金局  
 振替貯金課長同貯金課長廣島通信局庶務課長  
 通信省事務官通信官史練習所勤務通信局書記  
 官札幌通信局監督課長等歷任昭和十三年東京  
 都市通信局規畫課長同十四年名古屋通信局監  
 督課長ヲ經テ同十五年七月現職ニ就ク(國)妻  
 山國(國)妻高子(明)四十、東京府所喜之助二  
 女東京女學館卒(長)男順夫(昭)六(長)女裕子(同  
 七)二女渥子(同)十(同)東京市麻布區貯金局

**伊藤 信** 正六 內務技師 土木局第一技  
 術課勤務  
 山形縣人明治廿五年二月十八日出生大正十三  
 年第八高校昭和二年東京帝大工學部土木工學  
 科各卒業內務工手拜命同七年內務技師ニ任ズ  
 東京土木出張所ヲ經テ同十二年一月土木局勳  
 務ヲ命ゼラル(國)市川市中山德重四七〇

**伊藤 佐** 從五 農林書記官兼農林大臣秘  
 書官 大臣官房秘書課長  
 愛知縣人明治廿六年出生大正十四年高文合格  
 翌年京都帝大法科英法科卒業農林省ニ入り營  
 林局事務官產業組合事務官米穀局勤務倫敦駐  
 在農林書記官米穀局外地課長臨時農村對策部  
 計畫課長等歷任昭和十四年四月滋賀縣書記官  
 經濟部長ヲ經テ同十四年十月現職ニ就ク同十年歐  
 米各國ニ出張同十三年北米ニ出張ス(國)妻美和子(明)四五、山形縣本間光

**伊藤 壽刀** 正五勳三 九州帝大教授 農學  
 福岡縣土族定次郎ノ四男明治廿八年二月出生  
 同廿七年家督相續大正九年東京帝大農學部農

**伊藤 憲郎** 正五勳五 朝鮮總督府檢察官 全  
 州地方法院檢察官正  
 青森縣人昇太郎長男明治廿五年十二月出生後  
 家督相續ス大正七年東京帝大法科獨法科卒業  
 朝鮮總督府判事光州地方法院并邑支廳京城海  
 州各地方法院京城覆審法院各判事ニ歷任昭和  
 二年檢事ニ轉シ平壤覆審法院兼高等法院檢察  
 同府事務官京城覆審法院檢察官光州地方法院檢  
 事大邱覆審法院檢察官ヲ經テ同十三年十月現職  
 ニ就ク(國)妻直子(明)廿二、新潟縣今井時太郎  
 二女函館高女卒(長)男洋(大)十五(長)女京子(同  
 九)二女文子(同)十一(二)男治(昭)四(同)全州府  
 花園町官舎(昭)四三

**伊藤 孝吉** 從五 機械試驗所技師兼商工技  
 師 機械試驗所勤務  
 岩手縣人大正六年東京帝大機械科卒業地方商  
 工技師埼玉縣川口鑄物工業試驗場長ヲ經テ昭  
 和十二年現職ニ就ク(國)東京市大森區馬込町東  
 四ノ二六八(昭)六〇七八

**伊藤 進** 正五勳六 鐵道技師 建設局勳  
 兵庫縣土族貴志ノ長男明治廿一年十月十日出  
 生大正十二年東京帝大工學部建築科卒業鐵道  
 省ニ入り鐵道技師工務局勤務ヲ經テ現時前記  
 ノ任ニ在リ(國)旅行運動(國)妻悠(明)廿七、福  
 井縣福島總次郎二女双葉高女卒(國)東京市麻  
 布區本村町三五(昭)三田四三三三

**伊藤 重三郎** 從四勳三 朝鮮總督府判事 全  
 州地方法院長  
 愛知縣人利三郎長男明治十五年六月出生昭和  
 五年家督相續明治廿五年明治法律學校卒業判  
 檢事登用試驗合格同廿八年任判事岐阜地方名

**伊藤 完二** 從五勳六 臺灣總督府交通局長  
 大分縣土族和一郎二男明治廿年四月出生大正  
 十四年京都帝大法科卒業總督府稅務秘書各課  
 勤務高州警務課長臺灣警察官司獄官練習所  
 主席教官臺北州內務部地方官房文書各課長  
 新竹郡守屏東市尹等ヲ經テ現職ニ就ク昭和十  
 四年五月ブエノスアイレスニ於ケル萬國郵便  
 會議ニ際シ同委員ヲ命ゼラレ歐米各國出張ス  
 (國)妻澄(明)廿八、大分縣荒木明長女(長)男三  
 造(大)十五(昭)北市錦町一七(昭)二八六〇

**伊藤 清** 從五勳六 厚生書記官 社會局  
 東京府人德次郎三男明治廿六年一月廿八日出  
 生大正十四年東京帝大法學部政治學科卒業爾  
 來兵庫縣屬內務省土木局勤務地方警視和歌山  
 縣保安課長大阪府警務官京都府保安課長地方  
 事務官東京府警務課長等歷任昭和十年社會局  
 事務官保險部勤務內務事務官兼任同十三年一  
 月厚生書記官社會局兒童課長ニ任ズ同年十月  
 遣族援護課長ヲ兼テ後免兼務(國)妻ハツエ  
 (明)廿六、富山縣本田吉治郎長女(長)男齊(大)  
 四(二)男照(昭)三(三)男健(同)六(同)東京市世田  
 谷區松原町二ノ七六二(昭)松澤三三三三

**伊藤 隆二** 從五勳六 內務書記官 神戶局  
 廣島縣土族辰吉二男明治廿四年四月一日廣島  
 市出生大正十一年高文合格同十三年東京帝大  
 法學部獨法科卒業任岡山縣屬爾來地方事務官  
 同縣商工課長學務課長知事官房主事秋田縣庶  
 務課長地方課長北海道廳事務官地方課長庶務  
 課長等歷任岩手兵庫各縣書記官學務部長ヲ經  
 テ昭和十四年現職ニ就ク(國)妻ミサホ(明)廿  
 八、岡山縣佐藤茂長女岡山高女卒(長)男達雄  
 (昭)四(長)女道子(同)六(二)女忠子(同)十(同)東京  
 市牛込區市谷河田町一九(昭)牛込七〇七八



正妹酒田高女卒(男健一)昭十三長女教子(同十)東京市澁谷區代々木本町七六五四四谷一五〇

伊藤 清一 從五勳五 東京府立第五高等女學校長

愛知縣庄十郎ノ三男明治九年十一月廿八日出生同廿八年東京高師卒業東京府立第一高女教諭同府視學府立第七高女校長等ヲ經テ現職ニ就ク妻ニ滿洲ヲ視察ス(國)教育座神宮妻まき(東京府多田三彌三女御茶の水高女專攻科卒)長男正一(大元)東京市澁谷區代々木西原町九七六四四谷八〇四〇

伊藤 正一 從五勳二功四 海軍少將 海軍省人事局長

福岡縣人明治四十四年海軍兵學校卒業任少尉果進少將ニ陞ル其間駐滿海軍部附人事局第一課長最上愛宕榛名各艦長等歷補現時前記ノ任ニ在リ(國)妻ヲトセ及長男毅(東京市杉並區大宮前一七〇四四野七五六七)

伊藤 誠哉 從三勳二 農博 北海道帝大教授 農學部勸務

新潟縣士族均二ノ長男明治十六年八月出生同四十四年東北帝大農科植物病理學科卒業同大學助教任シ北海道農技師ヲ兼任後現職ニ就ク大正八年學位ヲ受ク妻ニ歐洲ニ留學ス(國)文學(國)妻年(明廿三、新潟縣鈴木昌平妹日本女大卒)男信夫(大三)女壽(同六、札幌高女卒)女正(同十四、同校卒)女淳(同十五)札幌市北十二條東二丁目五五五

伊藤 仙藏 長兼教諭 千葉縣立長生中學校 長兼教諭

千葉縣伊之佑二男明治十九年一月三日出生東

家督相續大正七年東京帝大文學部獨文科卒業翌年第四高校教授ニ任ズ昭和三年獨瑞伊各國ニ留學同四年歸朝(國)映畫(國)母せん(明六)妻雪鑄(同廿六、石川縣古田貞次郎長女)長男洋一(大十二)長女百合(同十一)二男岬二(昭二)二女なぎ(同五)金澤市下胡桃町四

伊藤 武雄 從五勳五 帝室會計審査官 東京府松雄二男明治廿九年九月一日出生大正十一年東京帝大法學部政治科卒業同十四年任帝室林野局事務官名古屋支局東京支局各監理課長兼整理課長官内事務官諸陵寮庶務課長兼考證課長ヲ歷任昭和十二年五月現職ニ就ク(國)古典歴史研究(國)妻周子(明廿八、東京府大久保初男長女實踐高女卒)長女あゐ子(昭四)二女いさ子(同八)東京市澁谷區豊分町二

伊藤 武太郎 從七 警視廳警視 代々木警察署長

山形縣人明治廿年四月三日出生大正八年警視廳巡查拜命同十三年警部補昭和五年任警部總監官房特高課特高部勞動課同七年内務屬警保局勤務警務官補ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク(東京市澁谷區代々木初臺四九四四四谷六三三二)

伊藤 辰雄 從五勳五 神戸高等商船學校教授

東京府士族明治廿五年七月出生大正五年商船學校航海科卒業同九年現職教授ニ任ズ(國)母千代(明四)妻豐(同廿三、茨城縣士族橋本正壽三女東京府立第二高女卒)男功一(昭三)兵庫縣武庫郡本庄村宇西青木一三五〇御影二一六五

京高師卒業成田千葉朝倉大分各中學大分師範各教諭佐伯國東各中學高岡高女神通中學各校長ヲ經テ現職ニ就ク(國)尺八(國)妻松子(明廿七、東京府小倉庄太郎妹共立女子職業卒)長男斌郎(大五)二男剛郎(同七、神通中卒)三男良士郎(同十一)四男公士郎(同十四)千葉縣長生郡茂原町同校内(昭七)

伊藤 爽哉 從五勳六 橫濱市主事 收入役 會計課長

熊本縣人明治廿二年出生大正六年東京帝大政治科卒業大阪府警部岐阜縣事務官山梨縣警務部長柄木官崎各縣警務部長廣島縣警務部長濱市監督課長等歷職現職ニ就ク(國)濱濱市中區本牧三之谷町一八一〇本局四一七一

伊藤 大三 從六 內務事務官 土木局河川課勸務

岐阜縣石川守次郎ノ二男明治廿八年二月廿五日出生後同縣伊藤初次郎ノ養子トナル昭和六年九州帝大法文學部卒業同年內務省ニ入り土木局道路課勸務同十年任地方事務官高知縣總務部庶務課長同十二年社會局事務官社會部勸務ヲ經テ同十三年現職ニ就ク(國)妻ふじ(五(明四四、岐阜縣石川清次郎長女淑德高女卒)嗣子雅次(昭九)女美智子(同十二)東京市大森區雪ヶ谷町五一二(國)荏原六〇七八)

伊藤 泰吉 從五勳五 朝鮮總督府事務官 警務局長

埼玉縣與三郎ノ二男明治廿二年十二月十七日出生大正十三年高文合格翌年東京帝大政治科卒業朝鮮總督府屬拜命地方課勸務理事官忠清北海道學務課長昭和三年任總督府事務官忠清北海道尚北道各警務部長歷補同十一年五月現

伊藤 千代太郎 從五勳五 地方技師 岐阜縣土木部道路課長 岐阜縣人明治廿二年十月二日出生同四十五年名古屋高工卒業名古屋技師岐阜縣技師同縣土木技師大正十年同縣土木技師兼道路技師昭和四年同縣道路技師兼土木技師內務部土木課勸務同年地方技師ニ任ズ(國)岐阜縣羽島郡柳津村五月道路課長ニ就任(國)岐阜縣羽島郡柳津村(國)笠松三七五

伊藤 一 從五勳五 地方技師 愛媛縣經濟課長

愛媛縣人明治廿一年一月十七日出生大正四年東京帝大農科農學科卒業同縣技師拜命同八年愛媛縣地方農林技師ヲ經テ地方技師ニ任ズ昭和六年現職ニ就ク(國)松山市柳井町官舎(一〇七九)

伊藤 忠一 從七勳七 警視廳警視 品川警察署長

埼玉縣喜十郎二男明治廿一年八月十五日出生大正八年日大法科卒業同十三年警視廳巡查拜命昭和二年任警部警務部勸務富坂巢鴨上野愛宕本富士各署歷勸務葛飾香堀目黒各署長同十二年任警視廳浦田署長ヲ經テ同十五年二月現職ニ就任(國)妻ふつ(明廿八)三男忠美(大十一)二女正子(同十四)四男功一(昭二)五男守二(同四)東京市品川區北品川三ノ一二五〇高輪三四

伊藤 兆司 從五勳五 九州帝大教授 農學部勸務

福岡縣人萬太郎長男明治廿八年五月出生大正八年東京帝大農學部卒業同大學助手ヲ經テ同大學院ニ入り同十一年九州帝大助教拜命研

職ニ就ク(國)妻ケン(明廿六)長男晉(大十五二男治(昭六)三男博美(同十)京城府倭城臺官舎二一〇本局一〇一八)

伊藤 隆夫 從七 地方事務官 物價調整官

富山縣人明治廿九年十月廿八日出生大正八年東京農業大學高等科卒業農商務省ニ勸務同十三年農商務技師翌年農林屬昭和六年任地方農林主事岐阜新潟各縣農林主事產業組合課長ヲ經テ同十三年九月任地方事務官現職ニ就ク(國)新潟市關屋町松波

伊藤 武夫 從四勳四 林博 東京帝大教授 兼林業試驗場技師

新潟縣士族龜之助ノ二男明治廿年三月出生大正二年東京帝大農科林學科卒業同大學講師同十年米佛瑞各國ニ留學同十一年三重高等農林學校教授ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ任ズ同九年學位ヲ受ク(國)妻公子(明廿、東京府三宅長策三女)男正春(大八)女三重子(同十)女ま(昭三)五女濱子(同五)東京市本郷區駒込千駄木町三八

伊藤 武男 從四勳五 京都高等蠶絲教授

山口縣伊太郎二男明治廿六年十二月出生大正七年東京帝大農科農藝化學科卒業盛岡高等農林教授ヲ經テ昭和七年現職ニ就ク(國)妻獨米埃各國ニ留學ス(國)妻スワ(明廿四、山口縣村川豐之助五女同縣岩國高女卒)嗣子義郎(大十)長女多惠子(同十二)二女倫子(同十五)京都市上京區大將軍坂田町三〇

伊藤 武雄 從四勳五 第四高校教授

東京府士族武一郎長男明治廿八年四月出生後

究員トシテ歐米各國ニ在留後比律賓關領東印度滿洲國等へ出張昭和九年タイ國立大學教授ニ聘セラレ同十五年三月教授ニ任ズ(國)妻三ツネ(明廿四、福岡縣杉清見長女日本女大卒)長男昌司(同十四)長女市惠(大十二)三女美惠子(昭七)四女南海惠(同十)福岡縣糟屋郡箱崎町二〇三四

伊藤 輝雄 從七 地方事務官 栃木縣總務部地方課長

三重縣人明治廿四年三月十日出生大正十一年第四高校文科同十四年京都帝大經濟學部各卒業昭和四年高等試驗行政科合格任栃木縣屬同九年兼同縣警務部免兼官學務部社會課長同十一年同縣農林主事農務課勸務等ヲ經テ同十二年六月任地方事務官栃木縣經濟部農務課長次ヲ現職ニ就ク(國)宇都宮市埴田町縣公舎(四〇六〇)

伊藤 貞市 從五勳六 理博 東京帝大助教 大阪府人才次郎長男明治廿一年九月出生大正十二年東京帝大理科地質科卒業同十四年同校助教任ズ(國)妻二大正十五年歐米各國ニ留學昭和十四年學位ヲ受ク(國)妻富美(明廿七、東京府大木貞次郎長女)男順(大十五)東京市世田谷區經堂町三六〇

伊藤 健之助 從四勳三 理博 九州帝大教授 千葉縣人東京帝大卒業昭和九年學位ヲ受ク(國)福岡市東唐人町堀端九

伊藤 敏行 從五勳六 貯金局書記官 貯金局經理課長

東京府人明治廿五年九月廿七日出生大正十四年東京帝大法學部政治學科卒業同年高文行政



科合格選信局書記昭和三年任通信事務官兼選  
信局事務官高知郵便局長副來選信局事務官廣  
島選信局經理課長仙臺選信局規畫課長同監督  
課長兼海軍部長ヲ兼任選信局書記官大阪選信  
局購買課長關東局選信局長ヲ經テ現時前記ノ  
職ニアリ同東京市豊島區集鴨一ノ六三〇大塚  
二二〇三

伊藤 俊夫 正七 鑛山監督局技師 東京鑛  
山監督局監理部施設課長兼鑛業  
警察課長

東京府人昭和八年東京帝大工學部鑛山學科卒  
業商工省ニ入り鑛山局勤務次テ商工技師ニ任  
ジ鑛山局勤務鑛山監督局技師大阪鑛山監督局  
勤務ヲ經テ同十四年現職ニ就ク同東京市澁谷  
區千駄ヶ谷五ノ八六六四谷三五五

伊藤 仁吉 正四勳二 第八高等學校長  
福島縣人佐藤嘉藏二男明治十八年三月出生同  
四十二年伊藤武壽ノ養子トナル同四十年第一  
高校卒業同四十三年高文合格翌年東京帝大法  
科獨法科卒業農商務屬爾來富山埼玉山梨各縣  
理事官文部省官兼文部書記官文部書記官  
兼文部省參事官對支文化事務局事務官外務書  
記官東京帝大書記官兼文部書記官等歷任昭和  
二年福島高商校長ヲ經テ同十五年一月現職ニ  
就ク同大正八年支那ニ同十年歐米各國ニ昭  
和十一年四月滿洲國及中華民國ニ出張ス同  
國英國國妻トメ(明治廿五)神奈川縣平沼亮三妹)

伊藤 信之 正五勳六 鐵道局參事 大阪鐵  
道局鐵道局長  
廣島縣人信吉三男明治卅三年十月出生大正  
十二年東京帝大法科政治科卒業同年高文合格

秋田縣人重五郎ノ四男明治廿七年三月廿二日  
出生大正十一年明治大學英法科卒業翌年高文  
行政科試驗ニ合格警視廳警部拜命爾來谷中警  
察署長警視廳赤坂青山麻布烏居坂各警察署長地  
方事務官香川縣社寺兵事課長神奈川縣社會課  
長兼社會教育課長建築工場監督官調停官岐阜  
縣工場課長同縣地方課長兼統計課長廣島縣庶  
務課長會計課長兼商工水産課長等歷任昭和十  
三年現職ニ進ム(明治廿五)乘馬將棋(國)妻美代(明  
四〇)日本女子大卒)長男秀久(昭五)同鹿兒島  
市下瀧尾町六五官舎六一六一

伊藤 正誠 從五勳六 農林技師 山林局業  
務課長  
東京府人明治卅一年二月九日出生大正十一年  
東京帝大農學部林學科卒業同年山林技師拜命  
同十三年營林署技師和五年營林局技師高知  
營林局勤務同八年農林技師兼營林局技師山林  
局勤務東京營林局勤務同十年專任營林局技師  
同十三年秋田營林局勤務同事兼部作業課長ヲ  
經テ同十五年五月現職ニ就ク同橫濱市中區打  
越町六八

伊藤 正夏 從五勳六 山梨縣書記官 學務  
部長  
石川縣人明治廿七年十一月四日出生大正八年  
東京高師卒業同十三年高文行政科合格同十四  
年東京帝大法學部卒業爾來岩手縣屬兼警部地  
方警視山口三重各縣勤務地方事務官岡山縣勤  
務等ヲ經テ昭和十二年樺太廳交通部長ニ任ジ  
同十四年現職ニ就ク同甲府市百石町官舎二  
六六九

伊藤 正義 從四勳三 醫博 京城帝大教授  
醫學部勤務  
從四勳三 醫博 京城帝大教授  
醫學部勤務

宮城縣人松村文治二男明治廿三年二月出生同  
卅八年伊藤悌太郎ノ養子トナリ同四十四年家  
督相續大正五年東京帝大醫科卒業同校副手朝  
鮮總督府醫院醫官兼同府京城醫專教授兼京城  
帝大教授ヲ歷任昭和三年京城帝大教授專任今  
日ニ至ル大正十一年及昭和二年歐米各國ニ留  
學ス(國)妻きん(明治廿四)養父悌太郎(二女)同  
京城府東四軒町五〇〇同本局五五三五

伊藤 又吉 從七勳六 警視廳警視 扇橋警  
三重縣又四郎四男明治四十二年警視廳巡查拜  
命昭和二年任警部警視廳保安部安寧係長同十  
二年警視廳警視大井署長ヲ經テ同十五年二月  
現職ニ就ク(國)書道(國)妻初枝(明治廿五)三重  
縣伊藤八郎長女(一男晴夫(大十五)四女米子  
(同九)同東京市深川區東町五〇本所六一〇一三  
伊藤 修一 從七勳七 地方事務官 岐阜縣  
伊藤縣人明治廿五年十二月廿一日出生大正四  
年同縣師範卒業小學校訓導奉職同十年惠那郡  
書記同十五年任岐阜縣屬昭和十三年學務部社  
會課長ヲ經テ同十四年九月地方事務官ニ任ジ  
岐阜縣飛騨支廳長同十五年五月現職ニ就ク同  
岐阜市北八ッ寺町一七九四

伊藤 光治 正五勳五 農博 北海道帝大助  
教授 農學部勤務  
北海道土族三代吉ノ二男明治廿八年十月出生  
後分家大正十年北海道帝大農學部農藝化學科  
卒業同大學助手拜命同十二年同大學助教授  
任又昭和七年學位ヲ受ク(國)映畫(國)妻エイ  
(明治廿五)北海道伊藤信康姉立札幌高女卒)  
長男廣吉(大十二)二男英治(同十四)長女芳枝

法學部各卒業文部省屬託東北帝大助教教授兼同  
大學事務官ニ歷任文部書記官普通學務局學務  
課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク(國)妻時  
子(明四一)養父只一二女縣立廣島高女卒)長  
女恭子(昭六)二女賴子(同十一)同東京市目黒  
區下目黒四ノ八四八八大崎七二二

伊藤 久榮 從五 醫博 造幣局保  
健課長 造幣局病院長  
長野縣助藏四男明治廿八年二月廿五日出生大  
正九年大阪醫大卒業同大學內科教室及同附屬  
病院ニ勤務造幣局ニ入り現時前記ノ任ニ在リ  
妻ニ同十五年學位ヲ受ク(國)妻ふく(明治廿六、  
大阪府由井卯三郎二女大前高女卒)長男榮  
一(昭五)二男芳久(同十一)同大阪府北區新川  
崎町一官舎同堀川三八五

伊藤 久松 從五勳六 奈良縣書記官 總務  
部長  
山口縣人政吉ノ長男明治廿九年九月廿八日同  
縣吉敷郡鑛錢司村ニ出生大正十一年高文合格  
翌年東京帝大法學部獨法科卒業熊本縣屬同縣  
值託郡長次テ任地方事務官熊本縣屬同縣  
值託郡各課長岡山縣工場學務農務各課長三重  
縣知事官房主事經濟更生課長兼水産課長地方  
課長等歷任昭和十年秋田縣書記官學務部長同  
十三年埼玉縣書記官學務部長ヲ經テ同十四年  
五月現職ニ就任ス(國)讀書(國)妻尺八テニス  
(國)妻敏子(明治廿九)愛媛縣八木春樹二女同  
縣立今治高女卒)長男健(昭十一)長女寬子(同  
四)二女由香子(同八)同奈良市登大路町官舎  
同二〇一一

伊藤 秀譽 從五勳六 鹿兒島縣書記官 學  
務部長  
鹿兒島縣人奧本鐵漢ノ三男明治卅六年一月九日  
廣島市ニ出生後同縣伊藤只一ノ養子トナル大  
正十五年京都帝大經濟學部昭和四年東京帝大

伊藤 實 正五勳四 醫博 東北帝大教授  
醫學部勤務  
東京府實之助長男明治廿七年二月九日出生大  
正九年東京帝大醫學部卒業更ニ同校皮膚科ニ  
研鑽同十三年金澤醫大助教授昭和三年同教授  
ヲ經テ同十二年七月現職ニ轉ズ(國)妻道子  
(明治廿四)東京府宮坂德三郎長女中村高女卒)  
長男安(昭二)長女そめ(大十一)同仙臺市角五  
郎町一〇七六一六八一

伊藤 百世 從四勳三 內務技師兼鐵道技師  
下關土木出張所長  
鳥根縣土族治ノ二男明治廿一年四月出生大正  
十一年家督相續同二年東京帝大工科土木工學  
科卒業同六年任內務技師仙臺土木出張所勤務  
昭和九年新潟土木出張所長ヲ經テ同十三年七月  
現職ニ就ク大正十三年歐米各國ニ出張ス(國)  
妻ゼン(明治廿六)富谷真之助三女)男國男(大十  
五)二女賀子(同十三)三女秀子(昭五)同下關  
市大字豐浦村二九五九國長府一〇一

伊藤 盛次 從四勳五 京都高等蠶絲學校教  
授  
東京府人芳郎二男明治廿一年一月出生同卅九  
年家督相續同四十五年東京帝大農科農學科卒  
業東京農業大學講師鹿兒島高等農林學校講師  
ヲ經テ大正八年現職ニ就ク同十二年英獨米  
各國ニ留學ス(國)庭球旅行(國)妻久江(明治  
廿八)東京府伊藤滋姉見女學卒)長男芳一(大  
七)二男實(同九)長女明子(同十三)二女禮子  
(昭三)三男俊郎(同六)四男治夫(同九)同京都

鐵道局書記副參事門司鐵道局庶務課文書掛長  
同局大分門司運輸事務所長東京鐵道局運輸課  
庶務掛長等歷任昭和十一年任鐵道局參事廣島  
鐵道局庶務部長同運輸部長ヲ經テ同十三年  
九月現職ニ就ク(國)讀書(國)妻文(明四  
十)廣島縣土屋一彦長女)長女道子(大十五)二  
女綾子(昭四)同大阪市住吉區天王寺鐵道官舎  
同天二五一〇

伊藤 達史 正四勳二 法博 特命全權公使  
愛媛縣道沖ノ長男明治十八年八月出生同卅四  
年家督相續同四十二年東京高商專攻部卒業外  
交官及領事官試驗合格大使館三等書記官同二  
等書記官外務事務官公使館大使館各一等書記  
官等歷任昭和二年大使館參事官拜命伊國瑞西  
支那佛國等在勤後大使館參事官國際聯盟帝國  
事務局長次長ヲ經テ昭和八年十一月特命全權公  
使ポーランド國駐劄同十二年待命被仰付妻ニ  
同七年法學博士トナル(國)妻アンドロイ、リ  
モージニ(明治廿八)佛國クロード長女)嗣子義  
(大十)同神奈川縣葉山町森戸神社境内

伊藤 八郎 正五勳五 大藏技師 主稅局勤  
務  
山形縣人大正七年東京帝大農科農藝化學科卒  
業大藏省ニ入り稅關檢查官橫濱稅關勤務ヲ經  
テ大藏技師ニ任ジ現ニ主稅局勤務ヲ任シ東京  
府北多摩郡武藏野町西窪宇三谷二五八國吉祥  
寺六六七

伊藤 日出登 正六 文部書記官 普通學務局  
學務課長  
廣島縣人奧本鐵漢ノ三男明治卅六年一月九日  
廣島市ニ出生後同縣伊藤只一ノ養子トナル大  
正十五年京都帝大經濟學部昭和四年東京帝大

宮城縣人松村文治二男明治廿三年二月出生同  
卅八年伊藤悌太郎ノ養子トナリ同四十四年家  
督相續大正五年東京帝大醫科卒業同校副手朝  
鮮總督府醫院醫官兼同府京城醫專教授兼京城  
帝大教授ヲ歷任昭和三年京城帝大教授專任今  
日ニ至ル大正十一年及昭和二年歐米各國ニ留  
學ス(國)妻きん(明治廿四)養父悌太郎(二女)同  
京城府東四軒町五〇〇同本局五五三五

伊藤 又吉 從七勳六 警視廳警視 扇橋警  
三重縣又四郎四男明治四十二年警視廳巡查拜  
命昭和二年任警部警視廳保安部安寧係長同十  
二年警視廳警視大井署長ヲ經テ同十五年二月  
現職ニ就ク(國)書道(國)妻初枝(明治廿五)三重  
縣伊藤八郎長女(一男晴夫(大十五)四女米子  
(同九)同東京市深川區東町五〇本所六一〇一三  
伊藤 修一 從七勳七 地方事務官 岐阜縣  
伊藤縣人明治廿五年十二月廿一日出生大正四  
年同縣師範卒業小學校訓導奉職同十年惠那郡  
書記同十五年任岐阜縣屬昭和十三年學務部社  
會課長ヲ經テ同十四年九月地方事務官ニ任ジ  
岐阜縣飛騨支廳長同十五年五月現職ニ就ク同  
岐阜市北八ッ寺町一七九四

伊藤 光治 正五勳五 農博 北海道帝大助  
教授 農學部勤務  
北海道土族三代吉ノ二男明治廿八年十月出生  
後分家大正十年北海道帝大農學部農藝化學科  
卒業同大學助手拜命同十二年同大學助教授  
任又昭和七年學位ヲ受ク(國)映畫(國)妻エイ  
(明治廿五)北海道伊藤信康姉立札幌高女卒)  
長男廣吉(大十二)二男英治(同十四)長女芳枝

法學部各卒業文部省屬託東北帝大助教教授兼同  
大學事務官ニ歷任文部書記官普通學務局學務  
課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク(國)妻時  
子(明四一)養父只一二女縣立廣島高女卒)長  
女恭子(昭六)二女賴子(同十一)同東京市目黒  
區下目黒四ノ八四八八大崎七二二

伊藤 久榮 從五 醫博 造幣局保  
健課長 造幣局病院長  
長野縣助藏四男明治廿八年二月廿五日出生大  
正九年大阪醫大卒業同大學內科教室及同附屬  
病院ニ勤務造幣局ニ入り現時前記ノ任ニ在リ  
妻ニ同十五年學位ヲ受ク(國)妻ふく(明治廿六、  
大阪府由井卯三郎二女大前高女卒)長男榮  
一(昭五)二男芳久(同十一)同大阪府北區新川  
崎町一官舎同堀川三八五

伊藤 久松 從五勳六 奈良縣書記官 總務  
部長  
山口縣人政吉ノ長男明治廿九年九月廿八日同  
縣吉敷郡鑛錢司村ニ出生大正十一年高文合格  
翌年東京帝大法學部獨法科卒業熊本縣屬同縣  
值託郡長次テ任地方事務官熊本縣屬同縣  
值託郡各課長岡山縣工場學務農務各課長三重  
縣知事官房主事經濟更生課長兼水産課長地方  
課長等歷任昭和十年秋田縣書記官學務部長同  
十三年埼玉縣書記官學務部長ヲ經テ同十四年  
五月現職ニ就任ス(國)讀書(國)妻尺八テニス  
(國)妻敏子(明治廿九)愛媛縣八木春樹二女同  
縣立今治高女卒)長男健(昭十一)長女寬子(同  
四)二女由香子(同八)同奈良市登大路町官舎  
同二〇一一

伊藤 秀譽 從五勳六 鹿兒島縣書記官 學  
務部長  
鹿兒島縣人奧本鐵漢ノ三男明治卅六年一月九日  
廣島市ニ出生後同縣伊藤只一ノ養子トナル大  
正十五年京都帝大經濟學部昭和四年東京帝大

伊藤 實 正五勳四 醫博 東北帝大教授  
醫學部勤務  
東京府實之助長男明治廿七年二月九日出生大  
正九年東京帝大醫學部卒業更ニ同校皮膚科ニ  
研鑽同十三年金澤醫大助教授昭和三年同教授  
ヲ經テ同十二年七月現職ニ轉ズ(國)妻道子  
(明治廿四)東京府宮坂德三郎長女中村高女卒)  
長男安(昭二)長女そめ(大十一)同仙臺市角五  
郎町一〇七六一六八一

伊藤 百世 從四勳三 內務技師兼鐵道技師  
下關土木出張所長  
鳥根縣土族治ノ二男明治廿一年四月出生大正  
十一年家督相續同二年東京帝大工科土木工學  
科卒業同六年任內務技師仙臺土木出張所勤務  
昭和九年新潟土木出張所長ヲ經テ同十三年七月  
現職ニ就ク大正十三年歐米各國ニ出張ス(國)  
妻ゼン(明治廿六)富谷真之助三女)男國男(大十  
五)二女賀子(同十三)三女秀子(昭五)同下關  
市大字豐浦村二九五九國長府一〇一

伊藤 盛次 從四勳五 京都高等蠶絲學校教  
授  
東京府人芳郎二男明治廿一年一月出生同卅九  
年家督相續同四十五年東京帝大農科農學科卒  
業東京農業大學講師鹿兒島高等農林學校講師  
ヲ經テ大正八年現職ニ就ク同十二年英獨米  
各國ニ留學ス(國)庭球旅行(國)妻久江(明治  
廿八)東京府伊藤滋姉見女學卒)長男芳一(大  
七)二男實(同九)長女明子(同十三)二女禮子  
(昭三)三男俊郎(同六)四男治夫(同九)同京都



市上京區北野白梅町三一西陣七四〇  
 伊藤 安雄 正五勳五 種馬所技師 北見種  
 朽木縣士族明治廿二年十月十一日出生同四十  
 四年東京帝大農科獸醫學實科卒業馬政局技師  
 種馬所技師農林技師大正十五年任種馬所技師  
 長萬部福島縣本館路各種馬所長歷任昭和十四  
 年七月現職=就夕國北海道紋別郡遠輕町北見  
 種馬所官舎

伊藤 祐一 正五勳五 判事 宇都宮區裁判  
 千葉地方裁判所判事ヲ經テ現職=就夕國宇都  
 宮市清住町

伊藤 祐三 宮城縣電氣局技師 工務課長  
 宮城縣龍之亮二男明治廿四年十月十五日仙臺  
 市ニ出生同四十五年仙臺高工電氣工學科卒業  
 名取川水力電氣主任技師者大正十三年任本縣  
 電氣技師石巻小田田鹽釜各出張所長ヲ經テ現  
 時前記職ニアリ

伊藤 祐四 東京府佐藤文三長女角田高女卒)長  
 男太郎(大十四)二男次郎(昭四)長女美代子  
 (同六)國仙臺市北三番丁一〇六國二六一九  
 伊藤 祐五 從五 地方農林技師 千葉縣農  
 業試驗場長

伊藤 祐六 從五 鐵道書記官 經理局倉庫  
 東京府人明治廿二年十一月廿八日出生大正十  
 三年東京帝大農學科卒業內務省東京衛生試驗  
 所勤務後現所技師=任夕場長事務取扱ヲ經テ  
 昭和十二年現職=就任ス

伊藤 祐七 長女美和子(大十五)三女美惠子  
 (昭五)國千葉市新田町七七  
 伊藤 祐八 中村幡雄長女東京府立第三高女卒)  
 嗣子信(昭七)長女美和子(大十五)三女美惠子  
 (昭五)國千葉市新田町七七  
 伊藤 祐九 正五勳四 文庫 臺北帝大教授  
 文政學部勤務

京都府祖猷長男明治廿二年九月出生大正六年  
 京都帝大哲學科卒業大學院ニ入り京都市立繪  
 畫專門京都高等蠶絲彥根高商各講師龍谷臨濟  
 各大學臺灣總督府高各教授ヲ經テ昭和四年  
 現職=就夕大正十五年歐米各國ニ留學昭和十  
 四年學位ヲ受ク國書道國畫ニ於テ(明廿一、  
 岐阜縣林友九郎長女東京高師卒)長男英覺  
 (大十三)長女寧子(同八、臺北一高女卒)二女  
 歸子(同十一)二男猷顯(昭五)國臺北市昭和町  
 四六二國六〇一八

伊藤 祐十 正七 農林事務官 水産局勤務  
 福岡縣人明治四十五年七月一日出生昭和九年  
 高文行政科並司法科合格同十年東京帝大法學  
 部佛法科卒業翌年農林屬拜命水産局勤務同十  
 二年四月農林事務官ニ任ゼラル國東京市世田  
 谷區三軒茶屋町七三

伊藤 祐十一 正六勳六 工業試驗所技師 東  
 大阪府六郎四男明治廿三年二月廿三日出生大  
 正九年東京高工工業科卒業東京工業試驗所ニ  
 入り果進現時同所第三部長ヲリ 國妻行子  
 (明四二)長女玲子(昭七)國東京市小石川區久  
 堅町一

伊藤 祐十二 從五 鐵道書記官 經理局倉庫  
 東京府五三郎二男明治廿四年三月十日出生大  
 正十五年東京帝大獨法科卒業鐵道省ニ入り兩  
 國驛長新橋運輸事務所庶務主任東京鐵道局人  
 事掛長歷職鐵道事務官官房文書課勤務鐵道監  
 察官兼企業院書記官ヲ經テ昭和十五年三月現  
 職=就夕國庭球國妻君子(明四一、鈴木清  
 秀妹水戸高女卒)長男忠敏(昭五)二男裕(同

伊藤 祐十三 從五 鐵道書記官 經理局倉庫  
 東京府五三郎二男明治廿四年三月十日出生大  
 正十五年東京帝大獨法科卒業鐵道省ニ入り兩  
 國驛長新橋運輸事務所庶務主任東京鐵道局人  
 事掛長歷職鐵道事務官官房文書課勤務鐵道監  
 察官兼企業院書記官ヲ經テ昭和十五年三月現  
 職=就夕國庭球國妻君子(明四一、鈴木清  
 秀妹水戸高女卒)長男忠敏(昭五)二男裕(同

伊藤 祐十四 從五 鐵道書記官 經理局倉庫  
 東京府五三郎二男明治廿四年三月十日出生大  
 正十五年東京帝大獨法科卒業鐵道省ニ入り兩  
 國驛長新橋運輸事務所庶務主任東京鐵道局人  
 事掛長歷職鐵道事務官官房文書課勤務鐵道監  
 察官兼企業院書記官ヲ經テ昭和十五年三月現  
 職=就夕國庭球國妻君子(明四一、鈴木清  
 秀妹水戸高女卒)長男忠敏(昭五)二男裕(同

七)三男忠正(同九)國東京市豐島區西巢鴨町  
 二ノ二五七〇國大塚三九〇二  
 伊藤 芳雄 從五勳六 千葉縣書記官 警察  
 部長  
 群馬縣人八平ノ男明治卅一年二月出生大正十  
 二年東北帝大理學部地質科同十四年東京帝大  
 法學部政治科各卒業官途ニ就キ果進警視廳警  
 視衛課長第二方面監察官調停課長警視廳部  
 長消防部長兼監察課長兼消防訓練所長ヲ經テ  
 昭和十四年四月現職=就夕國乘馬庭球國  
 妻智惠(明四十、靜岡縣野田修治五女九段精華  
 女學卒)長男信一(昭四)長女美知子(同五)二  
 女玲子(同九)國千葉市長洲町一丁目官舎附一  
 一〇

伊藤 信一 從六 軍事保護院事務官 援護  
 局長  
 大阪府人善次郎ノ三男明治卅八年七月廿九日  
 出生昭和五年高文合格同六年同志社大學法律  
 科卒業同年警視廳巡查部長拜命同年司法科試  
 驗合格同七年同警部補同警部同十年任地方警  
 視岩手岐阜各縣警務課長同十三年傷兵保護院  
 事務官計費局勤務ヲ經テ同十四年現職=就夕  
 國妻千代子(大四)長女伸代(昭十一)國東京  
 市杉並區清水町一五六國荻窪五一二九

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊吹 貞治 從六 地方事務官 朽木縣經濟  
 和歌山縣人明治卅三年五月一日出生大正十一  
 年通信官史練習所行政科卒業同年通信局書記  
 大阪通信局在勤同十三年通信書記通信局兼通  
 信官史練習所勤務昭和四年通信局命選通信官  
 史練習所勤務同五年簡易保險局書記同年高文  
 行政科合格同十年通信書記尾道郵便局長同年  
 通信事務官兼任通信局事務官同局長同十一年  
 依願免本官並兼官滿洲國交通部事務官郵務司  
 辨司次ヲ郵政總局理事官簡易保險課長郵政總  
 局監察官ヲ經テ同十三年通信局事務官ニ任ジ  
 東京地方通信局勤務同年保險院事務官總務局  
 企業課勤務同十四年七月社會保險局勤務ヲ經  
 テ同十五年六月任地方事務官現職=就夕國宇  
 都宮市堀田町官舎三六八七

伊藤 榮治 從四勳四 判事 札幌控訴院部  
 長  
 福井縣庄兵衛二男明治十五年二月出生昭和二  
 年家督相續明治四十四年東京帝大法科獨法科  
 卒業爾來小倉區行橋區金澤地方同區七尾區函  
 館地方札幌地方各裁判所判事札幌控訴院判事  
 金澤七尾高岡岡崎各區裁判所監督判事等歷任  
 昭和十四年現職=補サレ國妻しげを(明廿  
 三、福井縣的場權兵衛二女同縣立高女卒)嗣子  
 英男(大十)長女京子(同六)二女加壽子(同十  
 四)三女榮子(昭四)國札幌市札幌控訴院內

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 貞吉 從四勳四 工務課長 管財局技  
 師  
 東京府人廣容五男明治廿五年三月出生大正五  
 年分家同年東京帝大工科建築科卒業陸軍技師  
 同技師內務技師帝都復興院技師復興局技師等

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八

伊藤 隆 從六 大藏事務官兼內閣總理大  
 藏事務官大藏大臣秘書官ヲ經テ現時前記ノ  
 職ニ在リ國東京市澁谷區原宿二ノ二一〇國青  
 山二六八



猪俣 喜藏

從四勳四 岡山市助役 大分縣猪俣政太郎長男明治十八年二月出生同...

從五勳六 鳥取縣書記官 警察 福岡縣治二男明治廿五年四月一日出生大正...

從五勳五 青森縣電氣局主事 總務課長 青森縣俊策ノ七男大正四年京都帝大英法科卒...

事務官農務局兼山林局勤務翌年營林局山林事務官...

飯田 嘉六 從四勳四 通信技師兼高等海員 審判所審判官 管船局船務試驗...

飯田 忠 從五勳六 種畜場技師 大宮種 新海縣人正七年東京帝大農科農學科卒業農...

飯田 秀雄 從五勳六 埼玉縣立浦和高等女 茨城縣人宗次郎長男明治廿三年十一月廿五日...

各教諭宇陀中學校校長歷任昭和九年忍高女校長

業同九年靜岡區裁判所

入り後任地方事務官 宮城縣經濟更生課長愛媛縣書記官學務部長歷...

從四勳四 旭川地方裁判 官城縣士族亨ノ二男明治廿三年一月出生大正...

從五勳六 地方技師 宮城縣土 埼玉縣人龜之助ノ四男明治廿三年七月廿七日...

從五勳五 長崎商教授 福岡縣星野彦三郎二男明治十五年二月出生叔...

飯田 秀雄 從五勳六 祭務官 神社局勤務 千葉縣士族明治廿二年三月廿三日出生大正九...

飯田 益雄 從四勳三 直方區裁判所 栃木縣第五郎二男明治十二年五月出生飯田マ...

飯田 英助 從五勳六 東京刑事地方 秋田縣人明治廿六年七月廿一日出生昭和七年...

飯田 敏夫 從五勳六 東京刑事地方 新潟縣人長男明治廿二年十二月十三日出生大...

飯島 嘉太郎

從四勳五 第五高校教授 茨城縣人重威長男明治廿四年十二月出生大正...

從四勳四 東京高師教授 栃木縣人清五郎ノ長男明治十八年二月出生同...

從五勳五 第七高校造士館教授 東京府士族貞菴長男明治十六年六月出生同...

飯島 浩 從五勳五 營林局事務官 秋田 營林局庶務部長 庶務課長地元...

飯島 浩 從五勳五 營林局事務官 秋田 營林局庶務部長 庶務課長地元...



事司長司法事務官司法書記官刑事局第一課長  
 等歷任同十三年東京控訴院判事ヲ經テ同十五  
 年二月現職ニ就ク 關西文藝美術園父昌和  
 (明五)母美惠子(同十四)妻ヌズ子(同卅七、北  
 海道佐々木平次郎三女)長男高宏(大十五)二  
 男高昭(昭二)三男晴夫(同四)東京市澁谷區  
 代々木宮ヶ谷一四三五

**飯沼 道彦** 從四勳四 醫學博士 京都府立醫大  
 教授同附屬醫院第二內科部長  
 秋田縣人 大正四郎七男 明治廿五年五月出生 同四  
 五年東北帝大農科大正五年京都帝大醫科各卒  
 業東北帝大助手京都帝大醫科副手同大學講師  
 同助教授ヲ經テ同十三年歐洲各國ニ留學歸朝  
 後同十五年現職ニ任ゼラル 同十二年醫學博士  
 ノ學位ヲ受ク 關西文學美術園妻喜代(明廿  
 六、岐阜縣間立右衛門長女 縣立中津高女卒)長  
 男義彦(大五)長女晃(同八)四女昭(昭二)二  
 男道彦(同五) 關西都市上京區上御堂前通鳥  
 丸東入團西陣四四五六

**飯沼 一省** 從四勳三 內務省神戶局長  
 福島縣人 關西長男 明治廿五年二月出生 大正五  
 年高文合格同六年東京帝大法律科卒業內  
 務廳拜命爾來靜岡縣志太郡長同縣理事官內務  
 事務官同書記官神戶總務課長造神宮主事內  
 務書記官兼復興事務局長同書記官大臣官房都計  
 畫課長埼玉縣知事內閣調查局調查官內閣紀元  
 二千六百年祝典事務局局長等歷任昭和十二年六  
 月靜岡縣知事同十三年十一月廣島縣知事同十  
 四年八月神奈川縣知事ヲ經テ同十五年四月現  
 職ニ就ク 妻ニ大正十二年歐米ニ出張ス 關西妻  
 櫻子(明卅二、東京府南長女女子學院卒)

長男一慶(大九)長女富士子(同十一)二男一之  
 (同十三) 關西東京市淀橋區下落合二ノ八一  
 落合長崎二五五三

**飯沼 藥助** 從五勳五 檢察官 東京區兼東京  
 廳兒島縣太郎左衛門長男 明治廿七年八月廿一  
 日出生 大正九年東京帝大獨法科卒業同十一年  
 任檢察東京地方都宮地方兼同區各檢察ヲ經  
 テ現職ニ就ク 關西野球ボール短艇柔道園妻  
 ヌキ(明卅三、松永菊太郎長女 平沼女學院卒)  
 長女恭子(大十二)二女茂子(同十五)三女宏子  
 (昭三)四女道子(同六)五女珠子(同九) 關西京  
 市世田谷區玉川奧澤二ノ五八一 關西調布三  
 一〇七

**飯沼 龍造** 從四勳三 臺北帝大教授 文政  
 岐阜縣人 伊十郎四男 明治廿一年六月出生 大正  
 十五年分家ス 同五年東京帝大文科哲學科卒業  
 富山藥專助教同教授第六高專臺灣總督府高  
 校各教授歷任昭和三年現職ニ就ク 妻ニ臺灣總  
 督府在外研究員トシテ歐米各國ニ留學ス 關西  
 妻シヅ(明廿一、愛知縣栗原寄周一長女)養子  
 明(大十四、東京府赤尾鹿孫) 關西北市昭和町  
 大學住宅團六〇一九

**飯村 五郎** 從五勳四 厚生參事官 衆議院  
 茨城縣飯野茂吉ノ二男 明治廿一年四月出生 同  
 四十二年飯村忠七ノ養子トナル 大正二年東京  
 帝大法律科獨法科卒業辯護士開業同十三年以來  
 衆議院議員ニ當選六回昭和會ニ屬シ昭和十五  
 年一月厚生參事官ニ任ズ 妻ニ歐米各國ヲ視察  
 ス 關西妻キミ(明廿三、養父忠七長女 三輪田  
 高女卒)長男大吉(大六)女禮子(同三、日本女

大卒)二男大造(同十)三男大平(同十二) 關東  
 京市澁野川區田端町八五團駒込二八一〇  
**飯本 信之** 從五勳六 東京女高師教授  
 石川縣七三郎長男 明治廿八年三月十四日出生  
 大正十一年東京帝大地理科卒業東京女高師東  
 京高師日大各講師歷職同十三年現職ニ就ク  
 關西母カノ(明二)妻敏子(同卅五、石川縣高橋  
 善三郎五女 金澤一高女卒)長男稔(大十四)長  
 女輝子(同十二)二男彰(昭四) 關西東京市中野區  
 高根町五團中野五一六七

**飯本 文彦** 從五勳五 特許局技師 特許局  
 機械部第二課長 審查官  
 長崎縣人 明治廿六年十二月六日出生 大正十年  
 東京帝大工科船舶工學科卒業同年特許局技師  
 拜命同十二年同技師ニ任ジ機械部勤務昭和十  
 一年八月第二課長ニ就任ス 關西東京市荏原區中  
 延町一〇九一

**應谷 治家** 從七勳七 警視廳警視 中野警  
 察署長  
 京都府島太郎長男 明治廿九年二月廿一日出生  
 大正四年同府立第一中學卒業同六年京都府巡  
 査拜命同九年警部補同十三年警視廳警部補昭  
 和三年任同警部總監官房特高課勤務特高部特  
 高課勤務同外事課歐米係長ヲ經テ同十三年八  
 月現職ニ就ク 關西寫眞釣乘馬園妻カメ子  
 (明卅二)嗣子實(大十二)二女和子(昭六)三女  
 滿子(同十) 關西東京市中野區本町通三ノ六團中  
 野三二〇一

**生悅 佳求馬** 從五勳五 厚生書記官 大臣官  
 房會計課長  
 三重縣爲次郎長男 明治卅三年四月廿六日出生  
 大正十三年東京帝大法律部英法科卒業內務省  
 ニ入り栃木縣會計課長社會課長岡山縣社會課

長知事官房主事內務事務官警保局圖書課勤務  
 茨城靜岡各縣書記官警保部長等歷任昭和十三  
 年七月內務書記官土木局港灣課長同十四年一  
 月警保圖書課長同九月地方局監查課長ヲ  
 經テ同十五年四月現職ニ就ク 關西讀書園妻  
 浪子(明卅八、兵庫縣森十司二女 縣立姫路高女  
 卒)長男滿(昭六)長女玲子(同四)一男望(同  
 九)三男弘(同十一) 關西東京市世田谷區池尻町  
 五二一 關西世田谷二九八七

**生島 五三郎** 從五勳五 檢察官 保護觀察所補  
 導官 神戶地方裁判所檢察官 神戶保護觀察所  
 長 裁判所檢察官 神戶保護觀察所

先代五三郎ノ長男 明治廿九年十一月出生 昭和  
 八年家督相續前名敏治ヲ改メ 襲名ス 大正九年  
 東京帝大法律科佛法科卒業大阪區裁判所檢察官  
 經テ昭和十年現職ニ就任ス 關西母キミ(明八、  
 兵庫縣安國幸左衛門姉)妻博子(明卅六、愛知  
 縣伊藤利彦妹)男五三治(大十四) 關西神戶市灘  
 區岩屋北町二七二 關西御影二八二四

**生田 慶之丞** 從五勳五 大阪府立清水谷高等  
 女學校校長兼教諭

明治十五年一月十日松江市ニ出生 同四十一年  
 東京帝大文科卒業白杵濱松宇和島長野武藏生  
 野各中學秋田師範大阪外語各教諭大手前高女  
 校長ヲ經テ現職ニ就任ス 關西妻ツル(明廿、庄  
 司萬太郎妹 松江高女卒)長男秀(大二、京都帝  
 大工學部卒) 關西大阪市住吉區阿倍野筋二ノ二  
 關西天王寺二六〇八

**生田 武夫** 從五勳四 保險院理事 簡易保  
 險局業務長

東京府士族武四郎長男 明治廿三年三月出生 昭  
 和十年家督相續 大正五年通信官吏練習所行政  
 科卒業同七年高文合格爾來爲替貯金局書記簡  
 易保險局事務官同局契約計理支拂庶務各課長  
 簡易保險局書記官兼通信書記官規畫課長及監  
 督課長同監理課長等歷任昭和十二年簡易保險  
 局理事ニ任ジ同十三年一月現職ニ就ク 妻ニ英  
 米ニ出張ス 關西讀書園旅行園妻ツル(明  
 卅二、東京府宮地茂妹 府立第三高女卒)長男武  
 正(大十三)二男建治郎(昭二)三男勝也(昭七)  
 關西東京市世田谷區上馬町三ノ九八三 關西世田谷  
 二〇六二

**池 清** 從五勳四 朝鮮總督府新義州稅  
 關長  
 山口縣彌三郎二男 明治廿八年六月十日出生 大  
 正六年通信官吏練習所卒業朝鮮總督府通信局  
 ニ奉職高文合格任貯金局管理所主計課長通信  
 局事務官通信局庶務課長海員審判所理事官ヲ  
 經テ昭和十一年現職ニ就ク 關西讀書園妻  
 妻ふみ子(明卅三、安田益次郎長女 京城一高女  
 卒)長男聰(大十三)二男禎三(昭三)長女良子  
 (同十四) 關西新義州府常盤町五官舍團三三二

**池井 啓次** 從四勳三 鐵道省經理局長  
 北海道人 太助二男 明治廿六年一月出生 大正二  
 年分家ス 同七年東京帝大法律科獨法科卒業高文  
 合格鐵道院書記鐵道局副參事鐵道省事務官ニ  
 歷任在外研究員被命米獨各國ニ出張昭和三年  
 第十一回國際勞動總會ニ政府代表隨員被命出  
 張ス 同四年任鐵道局參事門司大阪東京各鐵道  
 局經理課長同九年鐵道書記官大臣官房現業調  
 査課長同十一年名古屋鐵道局長ヲ經同十二年

七月現職ニ就ク 關西讀書園妻ツヤ(明廿三、  
 山口縣河村忠一妹)長女百合枝(大九) 關西東  
 市大森區馬込東町四ノ二一九 關西大森七八六六

**池內 覺太郎** 從五勳四 判事 洲本區裁判所  
 支部々長  
 明治廿二年六月出生 同四十五年關西大學法律  
 科卒業大正六年判事試驗及辯護士試驗合格  
 同八年檢事ニ任ジ大阪府和各地方裁判所松本  
 區京都奈良高松各地方裁判所檢事ニ歷任同十  
 五年判事ニ轉ジ大津奈良地方兼同區裁判所判  
 事協町區兼德島地方協町支部判事ヲ經テ現職  
 ニ補セラル 關西運動競技見物園妻イツ(明  
 廿三、大阪府谷藤久左衛門三女)男次郎(大十  
 二)長女ミツ子(昭三) 關西兵庫縣津名郡洲本町

**池內 夏太** 從七勳七 警保局長 山林事務官兼  
 大臣官房秘書課勤務  
 福岡縣人 舊姓石野ト稱ス 明治廿四年七月十七  
 日出生 同四十四年小學校本科正教員免狀受領  
 大正三年普通試驗合格其間小學校訓導奉職同  
 八年福岡縣農業技師同縣屬拜命知事官房  
 勤務同十一年農商務省統計官補翌年農商務  
 同十四年農林大臣官房秘書課勤務山林局兼  
 務ヲ經テ昭和十三年八月現職ニ就ク 關西東京市  
 麴町區三番町四番地八官舍

**池內 善雄** 從四勳三 臺灣總督府法院判官  
 臺北地方法院長  
 兵庫縣人 宗太郎ノ四男 明治十六年九月出生 同  
 四十二年分家ス 翌年京都帝大法律科卒業大正二  
 年判事ニ任ジ爾來京都地方同區大阪地方同區  
 各裁判所判事高松神戶各地方裁判所部長神戶  
 高商囑託神戶區同地方各裁判所判事大阪控訴



院判事大阪地方裁判所部長大審院判事臺灣總督府法院判官高等法院上告部判官等歷補昭和十年現職ニ就ク(國妻)妻ひさの(明廿三、兵庫縣荒木慶次郎妹)二男正次(同十二)三女洋子(同十五)三男秀雄(昭五)四女武子(同八) 國臺北市文武町六丁目二〇二一

池上 五郎 正四勳三 醫博 熊本醫大教授 三重縣柳莊五男明治十六年十月出生後延次郎ノ養子トナル同四十年京都帝大福岡醫大卒業現時熊本醫大教授ニシテ元附屬醫院長タリ大正十三年歐米ニ留學更ニ昭和七年歐米各國ニ出張ニ當リテ(國妻)妻京(明廿三、東京府士族笹岡一實長女東京府立第一高女卒)男柳一(大三)女みね(明四五)女喜久(大六) 國熊本市東子飼町一七八七

池上 幸雄 從四勳三 警視廳技師兼同廳衛生部獸醫課長 神奈川縣幸操長男明治十年四月出生大正十五年家督相續ニ明治四十一年東京帝大農科獸醫學科卒業同年警視廳屠畜検査技師拜命大正二年任警視廳技師衛生部獸醫課長ニ果進ス(國妻)妻正子(明廿四、東京府渡邊梯姉)男宗治(大五) 國川崎市池上新田一六七〇二六六六

池上 豊一 從四勳四 岡山醫大助教授 岡山縣人嘉三長男明治十年十二月出生同十六年家督相續同卅三年第三高女校醫學部卒業岡山長崎各醫專助教授同教授支那北京醫大教授ニ歷任現職ニ及ビ勅任宮待過タリ昭和三年獨米埃各國ニ留學ス(國妻)妻房子(明廿四、岡山縣土族澤原源治二女)男晴(昭二)長女志津子(同五) 國岡山市六番町一六〇七九一五

池田 清志 從六 地方警視 兵庫縣警察部 鹿兒島縣人明治卅三年九月十五日出生昭和二年第七高女校士館同六年東京帝大法學部法律學科各卒業其間同五年高文行政司法各科合格同七年內務省衛生局勤務同十年地方警視奈良縣保安隊長建築監督官翌年官內事務官內匠兼官房總務課勤務臨時帝室博物館造營課兼務同十二年兼任官內書記官官房總務課勤務同八月應召出征同十四年一月解除同二月官內省參事官兼同書記官ヲ經テ同十五年二月現職ニ就ク 國神戸市神戶區中山手通四丁目公合九〇〇三三三五一

池田 九郎 正五勳五 檢事 岡崎區裁判所 廣島縣人明治廿五年三月出生大正五年京都帝大法科卒業辯護士トナリ同九年檢事ニ任テ爾來札幌地方小樽岩見澤熊本直方各區裁判所竹田區裁判所檢事兼支那支隊川內區裁判所竹方川內支隊檢事大分地方裁判所檢事ニ歷補現職ニ就ク(國妻)妻アヤ(明廿九、熊本縣士族片山算長女熊本大江高女卒)長女エミ(大八)二女二三子(同十一)三女妙子 國岡崎市同區裁判所檢事局內

池田 健三 從四勳四 工博 東京帝大教授 工學部勤務

池田 健三 從四勳四 工博 東京帝大教授 工學部勤務

池田 健三 從四勳四 工博 東京帝大教授 工學部勤務

池田 健三 從四勳四 工博 東京帝大教授 工學部勤務

池上 佐吉 正五勳五、明治專門學校教授 福井縣人江津長右衛門長男明治七年五月出生池上吉太郎ノ養子トナル(國妻)妻うた(明十八、東京府谷太平妹)養子卯之助(同卅五、福岡縣齋田秀吉二男)長女しづ(同四〇)、養子卯之助(妻)同長男浩之(昭六)同二男雅夫(同八)二女のぶ(大三) 國戶畑市中原同校內三

池上 弘 正五勳五 鹿兒島縣師範學校校長 福井縣人明治十九年八月出生同四十四年廣島高師卒業廣島師範同女師範鹿兒島縣教育主事沖繩女子師範大分縣師範各校長ヲ經テ昭和十三年現職ニ就任(國妻)妻トヨ(明廿五、福井縣酒井甚太郎長女福井高女卒)嗣子薩馬(大六)二女幸子(同五、大分高女卒)三女洋子(同十二)四女慶子(同十四) 國鹿兒島市武町同校內

池田 豐太郎 東京市豐島區區長 福岡縣士族弘ノ長男明治廿一年九月出生同廿五年家督相續同四十四年立教大學文科卒業大正五年北米ニ留學同七年コロンビヤ大學文科翌年セネラル神學院及紐育大學文科各卒業歸朝後慶應大學教授次ニ東京市社會教育課長淺草澁橋各區區長歷任昭和十年東京市理事兼港灣部勸業後辭ス大日本聯合青年團及東京市聯合青年團團長ヲ經テ現職ニ在リ著書數種アリ(國妻)妻旅行讀書談曲書道(國妻)妻弘代(明卅三、京都府田村辨津田英學華卒)男悅太郎(昭三)長女和子(大十一)二女惠子(同十三)三女光子(同十四) 國東京市杉並區荻窪二ノ一〇四四荻窪二二三五六

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

池田 居守 從五勳六 山口縣立熊毛高等女學校校長

岡山縣幸七ノ長男明治十六年八月廿日出生同卅六年岡山師範卒業岡山東京各府縣小學訓導神奈川青英學校教諭一高理學部助教海軍大學物理學助手開成東京各中學東京市立工業大分縣立日田福岡縣八幡山口縣豐浦各中學教諭同縣安下庄中學校校長歷任昭和十三年現職ニ就ク(國妻)妻きん(明廿五、滋賀縣堀田安吉三女同縣女師卒)長女敏子(大六、長府高女卒) 國山口縣熊毛郡田布施町同校內

池田 健二 從四勳四 判事 大審院判事 佐賀縣虎一郎ノ長男明治廿七年七月出生同卅五年家督相續大正三年東京帝大法科法律科卒業司法官試補拜命同五年任判事爾來東京地方兼同區浦和地方法院同區東京地方兼同區各裁判所判事東京控訴院判事千葉地方法院判事部長東京控訴院判事昭和五年東京地方法院判事部長同七年同地方法院判事等歷補シ同九年遺外法官トシテ海外出張同年東京刑事地方法院判事部長ヲ經テ同十二年現職ニ任ズ(國母)妻(明元)佐賀縣秋山清市妹(國妻)妻綱子(同廿五、東京府矢部廉二女)嗣子隆(昭五) 國東京市世田谷區玉川奧澤町一ノ三七七 國岡田調布四〇七三

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院 靜岡縣士族忠一ノ三男同宏ノ弟明治廿六年五月出生大正六年東京帝大法科法律科卒業任檢事爾來東京地方兼同區各裁判所檢事司法書記官兼任行刑局勤務司法書記官兼任同局勤務等ヲ司法書記官兼檢事大臣官房調査課長等歷補昭和十年專任檢事大審院檢事ヲ經テ同十五年

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院

池田 克 從四勳三 檢事 東京地方法院



池田 多助 正五勳六 兵庫縣立第一神戶中學校長

三重縣庄助長男明治十六年十一月出生大正元年京都帝大英文學科卒業山口縣德山中學校教頭關西學院專門部文學部教授大阪府立生野中學校長ヲ歷任同十二年現職ニ就任ス

池田 大助 從六 警務局長 大阪警務局長 廣島縣人明治廿六年二月十一日出生大正十五年東京帝大農學部林學科卒業警務局長

池田 正五勳五 厚生技師 衛生局長 靜岡縣士族一ノ二男明治廿三年八月十八日出生大正五年東京帝大農科獸醫學科卒業傳染病研究所ニ入り同八年大阪府技師院第九年任內務技師衛生局勤務ヲ經昭和十三年現職ニ就ク

熊本縣人平吉ノ二男明治卅年十月十五日出生大正八年家督相續同十二年高文合格翌年東京帝大法學部英法科卒業任長野縣屬南來地方警備隊長野縣保安工場各課長地方事務官同縣庶務課長等歷任昭和十三年德島縣書記官警備隊長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク

池田 經喜 從五勳六 鐵道局技師 大阪鐵道局古屋鐵道局技師電氣部電力課長東京鐵道局電氣部電力課長ヲ經テ昭和十三年現職ニ就ク

池田 鐵作 正五 理博 臺灣總督府工業試驗所技師兼同府技師 工業試驗所技師 新海縣人正九年東京帝大理科化學科卒業臺灣總督府專賣局技師兼中央研究所技師專賣局臺北南門工場長ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク

鹿兒島縣士族長男明治十三年四月七日出生同四十年東京帝大文科史學科卒業從大學院ニ學ビ大正六年學部院講師次ヲ任教授兼務課長ヲ經テ現職ニ就ク

池田 豐雄 從五 愛知縣學部中學校長 神奈川縣德松二男明治廿二年十一月廿八日橫濱市ニ出生大正二年東京帝大卒業長野中學愛知縣第一高女各教諭歷任昭和十二年四月同縣津島高女校長ヲ經テ同十五年二月現職ニ就ク

池田 成彬 從三 內閣參議 舊米澤藩家老成章ノ長男同省三ノ兄慶應三年七月十六日出生大正元年家督相續前名慎平ヲ改メ明治廿一年慶應義塾卒業同廿二年渡米ハバート大學ニ學ビ歸朝後時事新報社ニ入り從三井銀行ニ轉テ爾來同行足利支店長本店督

業部次長同部長等ヲ經テ同四十二年常務取締役ニ擧ゲラレ昭和十一年同行ヲ辭ス同十三年大藏大臣兼商工大臣ニ親任兼ニ內閣審議會委員及三井合名會社常務理事三井信託外關係各社重役タリ

池田 保吉 正七 警視廳消防司令 消防部山形縣石之助ノ男明治卅三年一月十八日出生昭和二年明大法科卒業警視廳巡查拜命同五年任警部補淺草區署勤務同八年任警部同十一年警視廳警視ニ任シ京橋警察署本廳外事課保安課歷任洲崎橋各警察署長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク

岡山縣庄七長男明治廿九年一月十八日出生大正六年警視廳巡查拜命同十一年中央大學法律科專門部卒業同年警部補同十三年同廳技師兼警部昭和七年東亞商業第二本科翌年中央大學專門部法學科同十年警察講習所本科各卒業同十一年東調布翌年尾久各警察署長歷任同十三年八月警視廳警視ニ任シ萬世橋警察署長ニ補セラル



**曙町二六** 正五勳四 判事 小樽區裁判所  
 堀玉縣輔 正五勳四 判事 小樽區裁判所  
 年分家明治四十三年東京帝大法科英法科卒業  
 任判事爾來宇都宮區判事長岡區各裁判所判  
 事千葉地方八日市場支判事兼同區木更津支  
 部川越區豐原區各裁判所判事兼同區木更津支  
 裁判所部長函館區裁判所判事兼同區木更津支  
 十四年四月現職ニ補テ妻松枝(明治廿四、埼  
 玉縣土族青羽延妹)男(明治廿七)三男(明治  
 三十)女(明治廿九)小樽市小樽三九二二  
**池野 清男** 從六 內務事務官兼都計畫地  
 方委員會事務官 計畫局勤務  
 東京地方委員會  
 山形縣傳吉長男明治廿九年四月十一日出生  
 和五年東京帝大法學部政治科卒業同年長野縣  
 屬拜命爾來內務局警務部地方警務部警務課  
 保安課長熊本縣警務課長等歷任同十二年七月  
 內務事務官計畫局勤務ヲ經現時前記ノ職ニ在  
 リ妻文枝(明治四三、栃木縣平出誠三郎長女  
 宇都宮第一高女卒)長女弘子(明治三十)東京市  
 淀橋區諏訪町六丁目二七三〇  
**池部 晴吉** 從四勳四 警務局技師 青森警  
 務局局長  
 石川縣土族津長男明治廿年十月出生同四十四  
 年東京帝大農科林學科卒業爾來林務技師山林  
 技師山林技師警務局技師秋田縣本各警務局造  
 林課長等歷任昭和五年任農林技師山林局勤務  
 ヲ經同十四年現職ニ就ク妻大正五年及昭和  
 七年滿洲及關東洲ニ出張ス妻菊枝(明治  
 廿九、石川縣土族浦正道長女)長男豐典(大正  
 十四)

二男武夫(同八)長女文子(同十)二女怡久(同  
 十三)三女とみ子(昭二) 青森市大字沖館青  
 森警務局局長  
**池見 利夫** 正六 千葉縣千葉商業學校校長兼  
 教諭  
 福岡縣磯野野伴助男明治廿四年九月十五日出生  
 同縣辰次郎ノ養子トナル大正六年東京高師米  
 國マンモス大學各卒業加治水中學教諭加治水  
 伊作各高女伊萬里商業各校長ヲ經テ昭和十二  
 年現職ニ就ク妻タマ(明治廿六、養父辰次郎  
 長女筑紫高女卒)長男哲太郎(大正二、京大法科  
 卒)二男西治郎(同四)長女時子(同六) 千葉  
 市登戸町二ノ二ノ一八  
**池村 平太郎** 從五勳五 和歌山縣立伊都中學  
 校長  
 三重縣淺次郎長男明治廿年十二月十六日出生  
 同四十年三重縣師範卒業同四十二年文藝博物  
 科合格大正二年福岡柳河高女若松中學若松高  
 女福井師範海南中學各教諭日新高宮各高女校  
 長粉河中學校長歷任昭和八年現職ニ就ク妻和  
 歌山縣伊都郡高野町大字大野四一  
**砂治 國良** 正五勳五 內務技師 土木局第  
 二技術課勤務  
 兵庫縣土族明治廿四年十一月廿六日出生大正  
 八年九州帝大工學部土木工學科卒業內務省新  
 潟土木出張所勤務同十年任內務技師同所勤務  
 同十五年東京土木出張所兼土木局勤務昭和七  
 年土木局第一技術課勤務ヲ經現時同第二技術  
 課勤務ヲリ東京市杉並區中通三八  
**陳早 信夫** 正七 厚生技師 社會局住宅課  
 兼生活課勤務  
 東京府人明治四十年十一月三日出生昭和三年

第一高校同六年東京帝大工學部建築學科各卒  
 業同大學警務課事務取扱員同十二年內務技  
 師同十三年一月厚生技師ニ任シ大臣官房會計  
 課勤務同十五年二月社會局勤務トナル東京  
 市牛込區南根町二八  
**石井 淺八** 正五勳四 通信技師兼通信局長  
 東京市通信局工務課長  
 香川縣辨治三男明治廿四年十一月八日出生大  
 正七年京都帝大工科電氣工學科卒業通信局履  
 拜命次テ通信局技師兼臨時電氣技師兼通信局技  
 師通信技師兼通信局技師兼臨時電氣技師兼通信  
 電氣試驗所技師通信局技師兼臨時電氣技師兼  
 設局技師兼本通信局工務課長代理名古屋通信  
 局在勤ヲ經テ昭和五年歐米ニ留學同七年歸朝  
 通信技師工務局日滿電話建設課長トナリ現時  
 前記ノ職ニ在リ妻藤子(明治廿九、  
 福岡縣山崎福藏長女立第一高女卒)長男敏  
 夫(昭二)二男久雄(同四)三男康雄(同九)四  
 女弘子(同十)四男寛治(同十三) 東京市大  
 森區田圃調布四ノ七一田圃調布二八二二  
**石井 康吉** 從五勳五 地方技師兼地方農林  
 技師 靜岡縣經濟部耕種課長  
 三重縣土族養忱長男明治廿七年二月七日津市  
 出生夙ニ農業大學卒業三重縣津奈川和歌山各縣  
 技師鳥取縣技師耕種課長等ヲ經テ現職ニ就ク  
 妻國子(明治廿六、三重縣桑田久  
 次郎二女) 靜岡市安東三丁目六號官舎一  
 一  
**石井 午二** 從五勳六 靜岡縣立濱松第一中  
 學校校長兼教諭

靜岡縣人明治十五年五月十四日出生同四十四  
 年東京高師卒業馬場松靜岡各師範教諭靜岡  
 縣視學官高女志太中學各校長歷任昭和十一  
 年七月現職ニ就ク妻(明治廿三、  
 五靜岡精華高女卒)長男春一(大十一)二女濱  
 子(同五、藤枝高女卒)四女靜枝(同十四)二男  
 富士彦(昭三) 濱松市廣澤町五〇〇二八四二  
**石井 英一** 從六 鐵道省事務官 大臣官房  
 保健課勤務  
 香川縣人昭和七年東京帝大法科科卒業札幌鐵  
 道局副參事總務部保健課長東京鐵道局總務部  
 文書課長同保健課長ヲ經テ現職ニ就ク東京  
 市目黒區中目黒三ノ一一七〇大崎一、二一六  
**石井 英之助** 正五勳五 農林事務官 米穀局  
 勤務  
 東京府萬次郎長男明治廿三年一月十六日出  
 生昭和八年家督相續大正十二年東京帝大經濟  
 學部卒業高文合格農商務局命爾來警務局山  
 林事務官農林事務官兼同書記官畜產局畜政課  
 長馬事課長馬政局事務官兼馬醫官長農林書  
 記官農務局肥料課長歷任昭和十四年五月大臣  
 官房文書課長ヲ經テ現職ニ就任ス妻(昭和四  
 年歐米ニ出張ス)母トク(明治四、東京府佐藤  
 藤平長女)妻春子(同四〇、東京府中井町作長  
 女聖心女學院卒)長男浩一郎(昭四)二男淳二  
 郎(同七)三男隆三郎(同十一) 東京市芝區白  
 金三光町四五〇高輪三九三二  
**石井 繁三** 正七 地方警視 神奈川縣警察  
 岡山縣人明治四十年二月十四日出生第一高校  
 ヲ經テ昭和七年東京帝大法學部獨法科卒業在  
 學中高等試驗行政科合格任神奈川縣屬學務部

社會課內務部庶務課各勤務昭和九年任同縣警  
 務部特高課警務課各勤務同十年任內務局警務局  
 勤務同十一年任地方警視高知縣警務部警務課  
 長同十二年福井縣警務課長同十四年靜岡縣特  
 高課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク妻橫濱  
 市中區紅葉ヶ丘官舎六長者町一六二一  
**石井 實三** 正五勳五 判事 大阪控訴院判  
 事  
 東京府人明治廿年二月出生大正二年東京帝大  
 法科政治學科更同四年京都帝大法科英法科  
 卒業同八年任檢事同年判事ニ轉シ神戸地方裁  
 判所部長大阪控訴院判事大阪地方裁判所部長  
 ヲ經テ昭和十五年二月現職ニ就任ス妻ま  
 さ子(明治廿九、三重縣水谷源七三女)男彰(大  
 五)女百合子(同六)男爾朗(同八) 大阪府市同  
 控訴院內  
**石井 菊次郎** 正二勳一 子爵 樞密顧問官  
 千葉縣大和久龜太郎弟慶應二年三月十日出生  
 先代邦敏ノ養子トナリ明治廿六年家督相續同  
 廿三年東京帝大法科英法科卒業同年外交官試  
 驗合格公使館三等書記官領事公使館二等書記  
 官同一等書記官外務書記官通商局長外務次官  
 駐佛駐米各特命全權大使外務大臣等歷任其間  
 貴族院議員ニ勅選セラレ昭和四年樞密顧問官  
 被仰付兼ニ國際聯盟總會帝國代表世界經濟會  
 議帝國全權委員トシテ出席ス妻タマ(明  
 十四、東京府土族櫻村正五女) 嗣子太郎(同卅  
 九)二男建次(同四二) 東京市澁谷區青葉町  
 一五〇青山四五〇  
**石井 清雄** 正五勳五 第七高校造士館教授  
 三重縣土族茂之進長男明治廿一年十月出生大

正十五年家督相續同五年東京帝大理科植物學  
 科卒業同十年任工業試驗所技師翌年第七高等  
 學校造士館教授ニ轉テ妻(明治卅一、三重  
 縣福地鏡吉長女三重縣立津高女卒)男壽俊(大  
 十一)女順(同七)女恭(同九)三女朝(同十四)  
 二男昌生(昭八) 鹿兒島市長田町五七  
**石井 清重** 正七 警視廳警視 堀留警務署  
 長  
 山梨縣人明治卅一年一月廿二日出生大正十年  
 警視廳巡查拜命同十三年警文試驗合格內務局  
 ヲ經テ昭和十二年任警視代々木署長同十四年  
 五月現職ニ就ク妻(明治廿五、(明治卅五)長男清  
 久(大十四)二男清信(昭三) 東京市日本橋區  
 常盤町九〇日本橋五七〇  
**石井 清彦** 正五勳五 商工技師兼興亞院技  
 師 鐵道地質調查所勤務  
 愛知縣人明治廿六年九月廿六日出生大正七年  
 東京帝大理學部卒業同八年農商務技師同十年  
 同技師同十四年商工技師ニ歷任現時前記ノ職  
 ニ在リ妻東京市豐島區高田本町二ノ一五一八  
**石井 禮彌** 正五勳四 少年審判官 東京少  
 年審判所長  
 千葉縣人喜一、二男明治廿四年一月出生大正  
 五年東京帝大法科卒業司法官試驗補任檢察  
 德島地方裁判所檢察官兼德島府法院檢察官兼  
 北地方法院檢察官兼檢察官兼保護觀察所檢察官水  
 戶地方裁判所東京控訴院各檢察官ニ歷任昭和十  
 三年現職ニ任テ妻(明治四、千葉縣小川  
 次郎右衛門二女)妻ヤエ(同卅二、大阪府西田  
 忠一妹)長男喜藏(大十三)長女恒子(同十四)  
 二男哲(昭七) 東京市杉並區松ノ木町一一八  
 五〇中野七二一六



石井 正五 保險院書記官 總務局企畫課長

茨城縣教員二男銀彌ノ弟明治卅一年八月出生

大正十三年分家同十年高文合格翌年東京帝大法學部英法科卒業

任通信書記兼通信局副長

信局事務官地方海員審判所審判官社會局事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

勸業司事務官地方事務官社會局事務官國際事務官

石井 正五 官幣中社白峯宮々司

廣島縣千別二男明治十四年八月十二日出生

東京帝大支那哲學科卒業神宮學館教授ヲ經テ

昭和六年現職ニ就ク妻久(東京府佐藤順一

女神田高女卒)長女道子(六十一)東京都市

左京區鹿ヶ谷御所之段町六

石井 茂樹 從五勳六 大藏書記官 爲替局

東京府淳二郎長男明治卅四年三月廿三日出生

大正十三年東京帝大法學部卒業大藏省ニ入り

米國紐育駐在財務書記官稅務官川崎浦和各

稅務署長等歷任昭和八年六月大藏事務官外國

爲替管理部長爲替局第二管理課長ヲ經テ同

十三年現職ニ就ク妻美津子(昭五)長女

明四、小野英二郎(昭五)長男(昭五)妻米子

男茂雄(同八)東京市麹町區九段四ノ一五

九段二二三二八

石井 信二 正五勳五 東京工大學主事

鳥取縣人明治四十二年東京帝大哲學科卒業

岡高工教授兼主事ヲ經テ現職ニ就ク東京

市目黒區大岡山大學構內官舎在任三七五六

石井 新藏 正七勳六 保險院簡易保險事務

東京府人正六年通信官史練習所卒業官途ニ

就キ現職ニ就ク東京市目黒區大岡

山八六〇在任五九〇〇

石井 道 從六 獸疫調査所技師

東京府人明治卅四年十一月十三日出生昭和

三年家督相續同二年東京帝大農學部獸疫科卒業

獸疫調査所屬ヲ經テ同九年獸疫調査所技師

ニ任ジ今日ニ至ル妻ニ同十年佛獨英三ヶ國ニ

留學被命國際獸疫會議ニ列席翌十一年歸朝ス

石井 政一 正五勳六 內務書記官兼造神宮

奈良縣庄太郎長男明治卅一年二月出生大正

一年高文合格翌年東京帝大法科法律科卒業京

玉縣飯野喜四郎(三女)外四男二女浦和市岸

町三一六浦和和二九四八

石井 幸一 從六 物價局事務官

東京府人明治四十年七月五日出生昭和八年東

京帝大法學部英法科卒業同年高文司法科合格

翌年司法官試補拜命同十年任判事名古屋地方

兼同區裁判所勤務同十四年十二月現職ニ轉テ

東京市京橋區木挽町物價局氣付

石井 權三 從五勳五 臺灣總督府視學官

佐賀縣坂本權三男明治廿二年二月一日出生石

井義恭ノ養子トナル大正四年廣島高師卒業津

中學臺灣總督府師範同附屬公學校主事兼南第

二臺北第二各高女校長歷任現時前記ノ任ニ在

リ妻スミ子(佐賀縣宮崎源次長女奈良女

高師卒)長男忠盛(大八、臺南一中卒)長女尙

子(同六、臺北一高女卒)二女幸子 女淑子(同

十五)五女泰(昭五)六女節子(同九)同臺北

龍口町三ノ二一三九六四

石井 佐賀 從五勳六 樺太廳技師 內務部

明治廿六年一月十七日岡山縣ニ出生大正九年

東京高等工學卒業任通信技師昭和四年樺太廳

技師同十一年現職ニ就ク同豐原市同廳內

石井 定 正五勳五 航空研究所技師

兵庫縣平六ノ三男明治廿三年出生大正五年早

稻田大學理工科卒業立製作所試驗研究部員

早稻田大學教授等ヲ經テ同十年現職ニ就ク

運動旅行スポーツ俱樂部(昭三)妻シヨ(昭三、澁

克巳二女明石女子師範卒)嗣子浩(昭九)二女

澄子(大十四)三女保子(昭二)四女信子(同七)

東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺一九〇一

續大正十一年東京帝大法學部卒業姫路高校教

授東京帝大學主事教學局教學官企畫課長ヲ

經テ昭和十四年四月現職ニ就ク妻母ヒデ

石井 忠輔 從四勳三 東京外國語學校長

秋田縣士族忠長男明治十九年五月十九日出

生大正十年家督相續同十四年東京帝大文科

獨文科卒業爾來萬朝報學藝部記者第四高校東

京高校各教授文部省督學官山形高校校長等歷任

昭和十一年文部省圖書局長ヲ經テ同十三年現職

ニ就ク妻ニ獨英埃各國ニ留學ス妻讀書登山

妻タカ(昭七、秋田縣青木竹治長女)

石井 龍藏 正五勳四 臺灣總督府內務局長

佐賀縣加藤十四年男明治卅九年九月出生先代

力三郎ノ養子トナル同四十年家督相續大正十

年東京帝大法學部政治科卒業臺灣總督府屬拜

命同年高文合格爾來同府州理事官同事務官府

事務官歷任其間高雄州勸業課長臺中州教育課

長臺北州地方課長臺南州警務部長警務局長

課長臺南州內務部長內務局地方課長兼地理課

長海外出張後內務局勸務同十一年臺北市尹等

歷職昭和十四年臺南州知事ヲ經テ同十五年五

月現職ニ就ク妻喬子(昭三、東京府村

松一造三女)男民郎(大十五)長女陽子(昭三)

二女朝子(同六)二男和郎(同九)三女靖子(同

十二)同臺北市文武町二ノ二官舎二〇四〇

石井 正五勳六 興亞院調查官 華北

愛知縣推尾玄順二男明治卅一年二月出生大正

十年石井菊次郎ノ養子トナル昭和六年家督相

續大正十一年東京帝大法學部卒業姫路高校教

授東京帝大學主事教學局教學官企畫課長ヲ

經テ昭和十四年四月現職ニ就ク妻母ヒデ

(昭八)妻皆子(同卅五、先代菊次郎養子愛知縣

水野種太郎長女)長男菊郎(大十一)二男榮郎

(昭十)東京市豐島區西巢鴨一ノ三五二七

大塚一三八

石井 常次郎 正五勳二 海軍少將 海軍東京

造船造監官

大阪府人明治四十四年機關學校卒業昭和十

一年少將ニ累進海軍燃料廠平壤鐵道部長鐵道本

部造船監督長ヲ經テ現職ニ就ク東京府北多

摩郡武藏野町吉祥寺二五四六吉祥寺三七七

石井 時彦 從五 農林技師 毛皮獸養殖所

神奈川縣士族明治廿九年十二月一日出生大正

十一年東京帝大農學部農學科卒業同十五年任

陸軍輜重兵少尉昭和三年農林技師同五年兼任

畜產試驗場技師ヲ經テ同十二年農林技師ニ任

シ毛皮獸養殖所長ヲ命ゼラル同岩手縣岩手郡

瀧澤村毛皮獸養殖所官舎

石井 平雄 正五勳五 判事 大阪控訴院判

大阪府白石儀七男明治廿三年五月出生大正

十二年石井家ノ養子トナル同六年東京帝大獨

法科卒業同七年司法官試補拜命爾來大阪和歌

山高知各地方大阪區同地方大阪控訴院各判事

大阪地方裁判所部長歷補現職ニ就ク妻美津子

(昭六、大阪府石井儀太郎女)長女惠美子

(大十一)二男次郎(同十四)三男三郎(昭三)四

男眞四郎(同六)大阪府西成區岸松通二ノ一

一〇天下茶屋二四六二

石井 政一 正五勳六 內務書記官兼造神宮

奈良縣庄太郎長男明治卅一年二月出生大正

一年高文合格翌年東京帝大法科法律科卒業京

都府屬拜命爾來地方警視長崎縣大阪府各警署

都府屬地方事務官愛知縣勸務內務事務官警保

局勸務兼鐵道省事務官岡山縣警務部長內務書

記官土木局港灣課長歷任昭和十三年七月同道

路課長同年十一月大臣官房文書課長ヲ經テ同

十五年四月現職ニ就ク同九年歐米各國ニ出張

ス父庄太郎(昭七)母チカ(同十一)妻壽

子(同卅四、京都府谷口甲子郎長女)長男徹(昭

五)二女玲子(同九)三女清子(同十)東京

市四谷區舟町五六四四谷八二三〇

石井 政之助 從四勳四 判事 新官區裁判所

和歌山縣三ノ長男明治十四年四月出生同四

十一年京都帝大法科卒業判事ニ任ジ大館區秋

田地方兼同區能代區米子區奈良區同地方大阪

須崎各區裁判所判事高知地方中村區兼高知地

方中村支部判事ヲ經テ現時前記ノ職ニアリ

妻朝憲(昭四、和歌山縣島

居伊太郎妹和歌山高女卒)男隆男(昭四、男

秀男(大元)男敏男(大五)四男正夫(大九)新

官市區裁判所內七

石井 茂助 從五勳六 東京工大事務官

福島縣茂一男明治卅二年十二月廿三日出生

福島縣卒業文部省勸務昭和四年現職ニ就ク

妻鶴江(昭三、熊本縣三池長次

三三







石川貞四郎 從五勳五 栃木縣書記官 經濟

茨城縣人明治廿三年十月廿日出生第六高小... 醫學部補命十年醫學部高等文行政科合格...

石川 正二勳四 醫學部長 東北帝大教授

岩手縣人義郎長男明治十二年五月廿一日出生... 同四十年家督相續同廿九年東京帝大醫學科...

石川仁一郎 醫學部長 大塚病院院長

栃木縣喜志次長男明治廿二年二月出生同四十四... 年熊本醫大卒業後東京帝大醫學部ニテ研究大...

石川 光春 從四勳五 第一高小教授

東京府光時長男明治十七年九月十四日出生同... 四十二年東京帝大理科植物科卒業同四十四年...

石川 賴彥 正五勳五 朝鮮光州師範學校校長

香川縣人幸治ノ長男明治十九年六月出生同四... 十三年東京高師英語科卒業宮崎師範原中學校...

石川 鏡一 正七勳七 內閣印刷局技師

東京市王子區稻付西町二ノ一 赤羽二九三五

石川 健次 正五 東京府立高校教授

神奈川縣士族洋之助ノ二男明治廿六年一月出... 生大正六年東京帝大文科獨文科卒業爾來第六...

女芳枝(昭四) 東京市世田谷區世田谷三ノ二

石川 憲夫 正五勳四 醫學博士 千葉醫大教授... 東京府公一長男明治廿二年七月二日千葉市...

石川 半三郎 從四勳二 陸軍主計中將

兵庫縣士族松二長男明治十八年三月出生同四... 十五年家督相續同四十年任陸軍三等主計昭和...

石川 房吉 正五勳五 地方農林技師

福岡縣人明治廿七年二月十五日出生大正七年... 東京帝大農科農學科卒業同年靜岡縣技師...

石川 蓮平 從三勳二 陸軍中將

東京府士族石川儀平五男同六郎ノ兄明治十二... 年二月出生後家督相續同廿二年任陸軍砲兵少...

石川 小三郎 從三勳二 大阪高等學校校長

東京府士族忠德長男明治十四年六月出生同廿... 四年家督相續同廿七年東京帝大文科獨逸文學...

石川 俊寬 從四勳三 海軍主計少將

島根縣青戶林平ノ三男明治十三年二月出生先... 代益藏ノ養子トナリ昭和二年家督相續...

石川 謙 從四勳三 海軍主計少將

將ニ陸軍主計官練習所卒業爾來累進主計少... 將ニ陸軍主計官練習所卒業爾來累進主計少...

石川 鶴雄 從四勳三 理博 東北帝大教授

京都府宗三郎二男明治廿二年十二月出生同廿... 四年家督相續大正三年京都帝大理科純正化學...

石川 昌 正六 農博 東京帝大教授

愛知縣士族昌平長男明治廿六年六月出生昭和... 五年家督相續大正六年東京帝大農科水產科卒...

石川 政吉 正五勳四 工博 東京帝大教授

栃木縣多助三男明治廿一年七月出生後分家... 大正十一年東京帝大工學部機械科卒業航空研...

石川 武重 正五勳四 山形縣知事

石川縣重三郎長男明治廿五年五月十三日橫須賀... 市ニ出生大正九年高文行政科合格同十年東京...

石川 立 從五勳六 社會教育主事

大分縣士族明治廿二年二月一日出生同四十二年... 廣島高師英語部卒業同校助教兼教授大阪府...

石川 謙 從四勳三 海軍主計少將

愛知縣人舊姓大西ト稱ス明治廿二年十二月廿... 六日出生大正九年普通試驗合格愛知縣學務部...

石川 謙 從四勳三 海軍主計少將

愛知縣人舊姓大西ト稱ス明治廿二年十二月廿... 六日出生大正九年普通試驗合格愛知縣學務部...



保同秘書保勤務昭和五年同縣統計主事補知事  
官房統計調查課勤務昭和五年同縣統計主事補知事  
知事官房秘書課勤務昭和二年兼任警務部警務課  
警務課經濟部商工課警務部保安課勤務ヲ經テ  
同十五年四月地方事務官ニ任ゼラル名古屋  
市昭和區小樽町三ノ二三

石坂 修一 正五勳五 判事 東京刑事地方  
官廳第一長男明治廿八年九月出生大正八年  
東京帝大法學部卒業司法官試補トナリ任判事  
橫濱地方裁判所判事東京刑事地方裁判所部長  
東京控訴院判事ヲ經テ昭和十四年現職ニ任ズ  
父豐一(明七)妻春子(明廿五)富山縣二上  
兵治長女(明七)妻春子(明廿五)富山縣二上  
三男昭三(昭三)四男高志(同五)東京市目黒  
區洗足一四六八在任七〇二七

石坂 健吉 從三勳二 醫博 金澤醫大學長  
富山縣土族石坂專之介三男同友太郎ノ弟明治  
十四年八月出生先代キヨノ養子トナリ同十五  
年家督相續同四十年東京帝大法學部卒業金澤醫  
專教授ヲ經テ任金澤醫大教授昭和七年學長ニ  
進ム大正六年學位ヲ受ク妻ニ獨逸ニ留學ス  
妻(明廿二)山形縣長澤作彌姉) 金澤  
市殿町六五〇八一九

石坂 善男 從七 職事主事 中津職業紹介  
大分縣人明治廿六年二月十三日出生大正七年  
大分縣巡查拜命兼進任警部竹田日出日田各署  
長保安課長歷職昭和十二年任地方警視大分縣  
中津警察署長ヲ經テ同十三年七月現職ニ就ク  
中津市三ノ町同所内七五六

石崎 卯藏 從四勳五 大阪帝大技師兼文部  
大阪府卯之助長男明治廿六年三月出生大正十  
四年家督相續同八年東京帝大工科建築科卒業  
同九年文部技師昭和七年神戸高工教授兼文部  
技師ヲ經テ同十年現職ニ就ク妻(明七)明  
廿四、大阪府河内藤次郎三女)長男幸雄(大十  
五)長女和子(同十)二女歌子(同十二)三女文  
子(昭五)二男幹夫(同八)四女正子(同十)大  
阪府豐能郡中豐島町岡山

石崎 丈一 正八勳八 地方事務官 茨城縣  
茨城縣人明治廿四年一月廿八日出生大正九年  
西茨城郡書記同十三年任茨城縣內務部會計  
課勤務總務部地方課勤務ヲ經テ昭和十四年七  
月現職ニ任ズ同水戸市本町五丁目一七五二  
石崎 常夫 從六 地方事務官 鳥取縣總務部時局  
課長  
愛媛縣人正三年三月十八日出生昭和十年靜  
岡高校同十四年東京帝大法學部法律學科各卒  
業其間同十三年高文行政科合格翌年佐賀縣屬  
拜命地方課勤務同十五年二月兼任警部經濟保  
安課兼保安課勤務ヲ經テ同年四月現職ニ任ズ  
鳥取市東町九七〇

石澤 延太郎 正七 地方統計主事 秋田縣總  
務部調查課長  
秋田縣土族明治廿一年十二月十八日出生同縣  
=勤務大正十年秋田縣產業主事補同十四年同  
統計主事補昭和八年同縣屬統計課勤務調查課  
勤務ヲ經テ同十一年八月現職ニ就ク同秋田市  
保戸野表鐵砲町四一二二四

石澤 政男 正五勳三 醫博 九州帝大教授  
醫學部勤務

石澤 豐 從五勳五 外務書記官 歐亞局  
第三課長  
奈良縣人明治廿九年七月出生大正十年高文外  
交科合格同十一年東京帝大法學部政治科卒業  
任領事官補廣東在勤爾來外交官補外務事務官  
情報部第二課勤務大使館三等書記官英國在勤  
同二等書記官外務事務官通商局第一課第三課  
各勤務總領事カルクツタ同ベタウイア在勤ヲ  
經テ昭和十二年現職ニ就ク東京市麹町區九  
段一ノ一二野々宮アパート九段四一五六

石澤 吉藏 從四勳三 奈良女高師教授  
山形縣土族藤右衛門長男明治八年二月出生同  
廿五年家督相續同廿九年山形縣師範卒業奈良  
女高師助教授ヲ經同廿五年同教授任ズ妻

石田 英一 從五勳四 東京美術學校教授  
佐賀縣熊六長男明治九年四月十一日出生同卅  
三年美校卒業起師トナル母校助教ヲ經テ  
大正二年現職就任帝展審査員タリシ事二回兼  
=佛國ニ留學ス妻芳枝(明廿、東京府本  
有道姉渡邊裁縫女學卒)長男榮尙(大元、慶大  
卒)二男尙友(同元、東京美校卒)三男尙豐(同  
十一)東京市世田谷區駒澤新町一ノ六五

石田 吉男 從六 大藏事務官 爲替局勤務  
長野縣人昭和七年東京帝大法學部法律科卒業  
專賣局勤務ヲ經テ現時爲替局勤務タリ東京  
市杉並區高圓寺六ノ七〇

石田 啓次郎 從六勳六 鐵道技師 建設局  
大阪府庄七二男明治廿四年七月廿一日出生大  
正十四年東京帝大土木科卒業鐵道省ニ入り米  
子熊本盛岡各建設事務所ヲ經テ昭和十三年現  
職ニ就ク父庄七(明二)母マ(同七)妻百  
代(同四)千葉縣茨城生鐵造二女東京女子職業  
家政科卒)長男孝昭九)長女弘子(同六)東京  
市淀橋區下落合二ノ七〇三

石田 三郎 從六 醫博 縣立鹿兒島病院長  
新潟縣人渡邊熊吉三男明治廿八年九月出生大  
正三年石田三郎吉ノ養子トナリ昭和四年家督相  
續ス大正七年九州帝大醫科卒業同附屬醫院勤  
務青森縣立病院院長岡山醫學專門學校教授岡  
山醫大助教授ヲ歷任昭和三年現職ニ就ク妻ニ  
歐米ニ留學大正十五年醫學博士ノ學位ヲ受ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク

石田 常夫 正五勳五 朝鮮總督府技師兼同  
官廳試驗場技師 農林局勤務  
宮城縣人明治廿三年十月出生大正六年東京帝  
大農科農林學科卒業爾來山形縣東京府各林業  
技師山口山梨各縣農林技師朝鮮總督府技師兼  
同水原高等農林技師歷任昭和七年同府技師  
慶尚北道山林課長林業試驗場技師兼任同十四  
年五月現職ニ就ク







**石橋 實作** 正五勳四 貴族院書記官 貴族院事務局長 速記課長  
 福岡縣馬吉二男明治十三年五月三日出生大正十一年分家入明治四十一年東京帝大法科政治科卒業貴族院書記官命大正九年同院書記官任之同年高文合格昭和二年同院書記官兼任昭和十二年六月現職ニ就ク  
 妻 美智子(明治廿三、東京府神戶野榮太郎三女)長男 英明(大八)長女 綾子(同四)二男 光明(同十二)三男 德明(昭二)東京市芝區高輪臺町二八八高輪六二一

**石橋 實** 從五勳五 判事 鹿兒島地方裁判所部長  
 福岡縣人父作二男明治廿四年十一月廿日出生大正六年早大英法科卒業任判事長崎福岡久留米大分熊本長崎各地方裁判所判事ニ歷任昭和十年現職ニ就ク  
 妻 トク(明治廿四、小島直太五女)長男 弘毅(大十二)長女 恒子(同十)二女 慶子(同十三)二男 久陽(同十五)鹿兒島市高輪町六二二五一〇

**石橋 實信** 從四勳三 文庫 東京帝大教授  
 福岡縣人父信ノ二男明治十九年五月日出生昭和八年分家入明治四十二年東京帝大文科哲學科卒業同年渡歐柏林日本史家オスカ、ナツホツ博士助手柏林大學ニ神學科研究ヲイブテヒ大學文明史研究院東亞部助手同大學神學科ニ入り三ヶ年研究大正三年歸朝東京帝大文學部講師同助教ヲ經テ昭和九年教授ニ任ズ大正十年學位ヲ受ク  
 妻 トシ(明治廿八、愛知縣井本利三郎五女)男 直(大五)二男 裕(同十)三男 祝(同十二)四男 晃(昭九)東京市杉並區三男 祝(同十二)四男 晃(昭九)東京市杉並區

**石橋 實** 從四勳四 警務局長 警務局長  
 福岡縣人父實ノ二男明治廿一年二月十日出生同縣石橋周次郎ノ養子トナリ家督相續ス大正十五年高文ニ合格昭和三年九州帝大法文學部卒業爾來大分縣屬同縣警務部地方事務官大分縣社會課長地方警視廳警務部保安各課長德島縣地方課長兼人事課長兼知事官房主事埼玉縣警務課長兼社會課長地方課長兼人事課長兼知事官房主事等歷任同十三年警視廳警務課保安部保安課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク  
 妻 花子(明治廿五、養父周次郎長女直方高女卒)長男 美彦(大十三)二男 辰彦(昭三)高知市永國寺町官舎四三二

**石橋 實** 正五勳四 理博 京都帝大教授  
 千葉縣定次郎長男明治廿九年十二月日出生大正十年京都帝大理科化學科卒業同校理學部講師同十三年同助教教授昭和十一年同教授ニ進ム昭和十五年學位ヲ受ク同五年歐米各國ニ在留ス  
 妻 美智子(明治廿六、兵庫縣石橋五郎長女)男 義弘(大十四)二男 道弘(昭四)三男 基弘(同八)東京市左京區下鴨膳部町八六

**石橋 實** 正四勳三 警博 千葉醫大教授  
 千葉縣人明治十六年五月日出生同四十四年九州帝大醫學部卒業現時千葉醫大教授ニシテ病理學界ノ一權威タリ  
 妻 ヒデ(明治廿一、千葉縣石橋玄伯長女立千葉高女卒)養子 豐彦(同廿九、東京府岸上鎌吉三男千葉醫大卒)女 澄江(同四四、養子 豐彦妻)千葉市長洲町一七一七〇一〇一七

**石橋 實之介** 從六 關東局事務官 關東州廳長官々房秘書課長兼文書課長  
 島根縣吉三郎ノ長男明治廿二年六月日出生松江農林東京高等實業各校ヲ經テ昭和二年京都帝大經濟學部選科卒業同四年高文行政科合格京都府警務部補次ヲ關東局警務部補關東廳警務部同十年任關東局事務官關東州廳警務部保安課長兼衛生課長同十四年現職ニ就ク  
 妻 山屯三六七四二二一

**石橋 實** 正五勳四 神奈川縣師範學校校長  
 廣島縣人明治十七年一月十五日出生同四十二年東京高師卒業香川沖繩各師範太田中津井池田各師範學校校長ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 シナ(明治廿、廣島高女卒)長男 太郎(大十一)長女 フミエ(同五、扇町高女卒)二女 シズエ(同八、大手前高女卒)二男 次郎(同十四)三男 三郎(昭三)四男 眞四郎(同六)鎌倉市西御門官舎内

**石原 實** 正五勳三 陸軍中將 第十師團團長  
 山形縣士族啓介ノ男明治廿二年一月十七日出生同四十二年陸軍士官學校卒業任陸軍步兵少尉昭和十二年陸軍少將次ヲ中將ニ果進其間大正二年第二位ヲ以テ陸軍大學ヲ卒業步兵第六十五聯隊中隊長支那派遣軍司令部附陸軍大學教官關東軍主任參謀步兵第四聯隊長參謀本部課長兼通信學校研究部員參謀本部第一部長等歷補兼要港司令部官ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 國子(明治廿九)第十六師團內隨行ス

**石原 清造** 從四勳四 警務局長 熊本警務局長  
 熊本縣半三郎四男明治十七年十一月出生同四十二年東京帝大農科林學科卒業林業技師山林技師同技師農商務技師大正十三年任警務局長同東京秋田大阪東京各警務局長歷職昭和十年秋田警務局長同十三年高知警務局長ヲ經テ同十五年一月現職ニ就ク  
 妻 支那及英領香港ヲ視察又南米及歐洲各國ニ出張ス  
 妻 眞(明治廿五、愛知縣實義二女)男 昭一郎(昭四)女 眞佐子(大九、秋田高女卒)四女 芳子(同十四)熊本市櫻井町司旅館三七〇〇

**石原 實** 正五勳五 林博 北海道農技師  
 島根縣人明治廿二年二月十一日出生大正五年東京帝大農科林學科卒業北海道農技師拜命同八年技師ニ任ジ現時前記ノ職ニアリ  
 妻 江別一三五

**石原 實** 從四勳三 文庫 東北帝大教授  
 東京府士族實ノ二男明治十五年八月一日出生同四十二年分家入同四十年東京帝大文科哲學科卒業明治學院早大各講師東京帝大文學部講師大正十一年同助教教授任次ヲ獨逸瑞西ニ留學同十三年東京帝大教授ニ任ズ  
 妻 眞(明治廿二、東京府淺草實子女子學院卒)東京市同心町三八八一八三九

**石原 實** 東京市技師 建築部第二工務課長  
 兵庫縣人明治廿八年二月廿八日出生大正八年東京帝大建築科卒業大阪市囃託東京市調査課

**石原 實** 正六勳五 警務局長 警務局長  
 福岡縣人父實ノ二男明治廿一年二月十日出生同縣石橋周次郎ノ養子トナリ家督相續ス大正十五年高文ニ合格昭和三年九州帝大法文學部卒業爾來大分縣屬同縣警務部地方事務官大分縣社會課長地方警視廳警務部保安各課長德島縣地方課長兼人事課長兼知事官房主事埼玉縣警務課長兼社會課長地方課長兼人事課長兼知事官房主事等歷任同十三年警視廳警務課保安部保安課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク  
 妻 花子(明治廿五、養父周次郎長女直方高女卒)長男 美彦(大十三)二男 辰彦(昭三)高知市永國寺町官舎四三二

**石原 實** 正四勳三 警博 千葉醫大教授  
 千葉縣定次郎長男明治廿九年十二月日出生大正十年京都帝大理科化學科卒業同校理學部講師同十三年同助教教授昭和十一年同教授ニ進ム昭和十五年學位ヲ受ク同五年歐米各國ニ在留ス  
 妻 美智子(明治廿六、兵庫縣石橋五郎長女)男 義弘(大十四)二男 道弘(昭四)三男 基弘(同八)東京市左京區下鴨膳部町八六

**石原 實** 正四勳三 警博 千葉醫大教授  
 千葉縣人明治十六年五月日出生同四十四年九州帝大醫學部卒業現時千葉醫大教授ニシテ病理學界ノ一權威タリ  
 妻 ヒデ(明治廿一、千葉縣石橋玄伯長女立千葉高女卒)養子 豐彦(同廿九、東京府岸上鎌吉三男千葉醫大卒)女 澄江(同四四、養子 豐彦妻)千葉市長洲町一七一七〇一〇一七

**石原 實** 從六 關東局事務官 關東州廳長官々房秘書課長兼文書課長  
 島根縣吉三郎ノ長男明治廿二年六月日出生松江農林東京高等實業各校ヲ經テ昭和二年京都帝大經濟學部選科卒業同四年高文行政科合格京都府警務部補次ヲ關東局警務部補關東廳警務部同十年任關東局事務官關東州廳警務部保安課長兼衛生課長同十四年現職ニ就ク  
 妻 山屯三六七四二二一

**石原 實** 正五勳四 神奈川縣師範學校校長  
 廣島縣人明治十七年一月十五日出生同四十二年東京高師卒業香川沖繩各師範太田中津井池田各師範學校校長ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 シナ(明治廿、廣島高女卒)長男 太郎(大十一)長女 フミエ(同五、扇町高女卒)二女 シズエ(同八、大手前高女卒)二男 次郎(同十四)三男 三郎(昭三)四男 眞四郎(同六)鎌倉市西御門官舎内

**石原 實** 正五勳三 陸軍中將 第十師團團長  
 山形縣士族啓介ノ男明治廿二年一月十七日出生同四十二年陸軍士官學校卒業任陸軍步兵少尉昭和十二年陸軍少將次ヲ中將ニ果進其間大正二年第二位ヲ以テ陸軍大學ヲ卒業步兵第六十五聯隊中隊長支那派遣軍司令部附陸軍大學教官關東軍主任參謀步兵第四聯隊長參謀本部課長兼通信學校研究部員參謀本部第一部長等歷補兼要港司令部官ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 國子(明治廿九)第十六師團內隨行ス

**石原 實** 從四勳四 警務局長 警務局長  
 福岡縣人父實ノ二男明治廿一年二月十日出生同縣石橋周次郎ノ養子トナリ家督相續ス大正十五年高文ニ合格昭和三年九州帝大法文學部卒業爾來大分縣屬同縣警務部地方事務官大分縣社會課長地方警視廳警務部保安各課長德島縣地方課長兼人事課長兼知事官房主事埼玉縣警務課長兼社會課長地方課長兼人事課長兼知事官房主事等歷任同十三年警視廳警務課保安部保安課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク  
 妻 花子(明治廿五、養父周次郎長女直方高女卒)長男 美彦(大十三)二男 辰彦(昭三)高知市永國寺町官舎四三二

**石原 實** 正四勳三 警博 千葉醫大教授  
 千葉縣定次郎長男明治廿九年十二月日出生大正十年京都帝大理科化學科卒業同校理學部講師同十三年同助教教授昭和十一年同教授ニ進ム昭和十五年學位ヲ受ク同五年歐米各國ニ在留ス  
 妻 美智子(明治廿六、兵庫縣石橋五郎長女)男 義弘(大十四)二男 道弘(昭四)三男 基弘(同八)東京市左京區下鴨膳部町八六

**石原 實** 正四勳三 警博 千葉醫大教授  
 千葉縣人明治十六年五月日出生同四十四年九州帝大醫學部卒業現時千葉醫大教授ニシテ病理學界ノ一權威タリ  
 妻 ヒデ(明治廿一、千葉縣石橋玄伯長女立千葉高女卒)養子 豐彦(同廿九、東京府岸上鎌吉三男千葉醫大卒)女 澄江(同四四、養子 豐彦妻)千葉市長洲町一七一七〇一〇一七

**石原 實** 從六 關東局事務官 關東州廳長官々房秘書課長兼文書課長  
 島根縣吉三郎ノ長男明治廿二年六月日出生松江農林東京高等實業各校ヲ經テ昭和二年京都帝大經濟學部選科卒業同四年高文行政科合格京都府警務部補次ヲ關東局警務部補關東廳警務部同十年任關東局事務官關東州廳警務部保安課長兼衛生課長同十四年現職ニ就ク  
 妻 山屯三六七四二二一

**石原 實** 正五勳四 神奈川縣師範學校校長  
 廣島縣人明治十七年一月十五日出生同四十二年東京高師卒業香川沖繩各師範太田中津井池田各師範學校校長ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 シナ(明治廿、廣島高女卒)長男 太郎(大十一)長女 フミエ(同五、扇町高女卒)二女 シズエ(同八、大手前高女卒)二男 次郎(同十四)三男 三郎(昭三)四男 眞四郎(同六)鎌倉市西御門官舎内

**石原 實** 正五勳三 陸軍中將 第十師團團長  
 山形縣士族啓介ノ男明治廿二年一月十七日出生同四十二年陸軍士官學校卒業任陸軍步兵少尉昭和十二年陸軍少將次ヲ中將ニ果進其間大正二年第二位ヲ以テ陸軍大學ヲ卒業步兵第六十五聯隊中隊長支那派遣軍司令部附陸軍大學教官關東軍主任參謀步兵第四聯隊長參謀本部課長兼通信學校研究部員參謀本部第一部長等歷補兼要港司令部官ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻 國子(明治廿九)第十六師團內隨行ス



本縣家傳十郎三女)男(昭九)女(淳子)大五)二女(子)昭三)仙臺市米ヶ袋中ノ坂通七四一八二

石原 虎好 正六 地方事務官 兵庫縣津務長野縣岩井縣七男明治卅四年十二月一日出生大正十三年明大法學部卒業警視廳ニ入り警務部監査課長主任補佐保安部保安課長行保長龜戸西神田本郷各警察署長刑部捜査第二課長警務部警務課長任昭和十三年地方事務官神奈川縣地方課長兼警務課長人事課長ヲ經同十五年四月現職ニ就ク(妻)子(明四)四、東京市石原長秀長女(妻)高女(卒)神戶市神戶區中山手通四丁目縣公會(妻)合二七五〇

石原 勇雄 正五 警務官 東京市技師 衛生試驗所長

岡山縣警二男明治十七年三月出生同四十四年東京帝大醫科ヲ卒業後大正九年海外留學歸朝後同大學助教ニ任シ昭和八年任東京市技師現職ニ就ク(妻)醫學博士ノ學位ヲ授ケラル(妻)旅行南畫(妻)雪江(明卅七、新潟縣吉田氏長女)日本女子大學卒(嗣子)義博(大二)二男(義人)東京市中野區上高田一ノ四七(中野七四八一)

石引 一朗 正六 東京市立深川工業學校校長 大正八年東京高工電機科卒業昭和十年府立電氣工業學校教頭ヲ經テ同十三年現職ニ就ク(妻)東京市世田谷區玉川等ヶ力町三ノ八一三

石丸 敬次 正六 勸業局長 文部書記官 普通學務局長 福岡縣警三ノ三男明治卅九年十月卅日同縣築上郡合河村ニ出生大正十四年日本大學法文學部政治學科卒業高文行政科合格長崎縣視學兼同縣屬學務部社會課長昭和七年地方事務官爾來神戶縣林寺長事務課長兼社會課長兼商工水產課長兼農林課長兼警務課長野縣農商課長任後都府計畫地方委員會事務官兼地方事務官大阪府地方課長專任地方事務官兼警務課長文部事務官(明四十、長崎縣森谷亦太郎二女長崎縣立高女(卒)長男(昭四)東京市世田谷區經堂町三〇一

石丸 三郎 正五 勸業局長 名古屋帝大教授 福岡縣警四男明治廿八年十一月出生昭和二年分家ス大正七年東京高工卒業東北帝大助手拜命同十二年東北帝大理學部化學科卒業濱松高工講師同校教授ニ任シ昭和二年歐米各國ニ留學歸朝後同六年東北帝大助教金尾村材料研究所員ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク(同十年學位ヲ受ク(妻)妻タキヨ(明卅六、福岡縣西田幸太郎長女)門司高女(卒)男(秀幸)昭二)二男成幸(同十一)名古屋市名古屋帝大理工學部內

石丸 士郎 正五 勸業局長 金澤醫大助教 石川縣藤田左士郎二男明治廿八年三月廿六日出生石丸龜次郎ノ妻子トナル大正六年金澤醫專卒業耳鼻喉科解剖學各教室ニ研究昭和三年現職ニ就ク大正十四年歐米ニ留學ス(妻)文學(妻)妻米子(明卅二、養父龜次郎長女)金澤一高女(卒)金澤市市三番丁四六一一九六

石丸 優三 正五 勸業局長 大分高等商業學校校長 愛媛縣警五郎三男明治十四年十二月出生同四

上郡合河村ニ出生大正十四年日本大學法文學部政治學科卒業高文行政科合格長崎縣視學兼同縣屬學務部社會課長昭和七年地方事務官爾來神戶縣林寺長事務課長兼社會課長兼商工水產課長兼農林課長兼警務課長野縣農商課長任後都府計畫地方委員會事務官兼地方事務官大阪府地方課長專任地方事務官兼警務課長文部事務官(明四十、長崎縣森谷亦太郎二女長崎縣立高女(卒)長男(昭四)東京市世田谷區經堂町三〇一

正五 勸業局長 名古屋帝大教授 福岡縣警四男明治廿八年十一月出生昭和二年分家ス大正七年東京高工卒業東北帝大助手拜命同十二年東北帝大理學部化學科卒業濱松高工講師同校教授ニ任シ昭和二年歐米各國ニ留學歸朝後同六年東北帝大助教金尾村材料研究所員ヲ經テ同十五年三月現職ニ就ク(同十年學位ヲ受ク(妻)妻タキヨ(明卅六、福岡縣西田幸太郎長女)門司高女(卒)男(秀幸)昭二)二男成幸(同十一)名古屋市名古屋帝大理工學部內

石丸 士郎 正五 勸業局長 金澤醫大助教 石川縣藤田左士郎二男明治廿八年三月廿六日出生石丸龜次郎ノ妻子トナル大正六年金澤醫專卒業耳鼻喉科解剖學各教室ニ研究昭和三年現職ニ就ク大正十四年歐米ニ留學ス(妻)文學(妻)妻米子(明卅二、養父龜次郎長女)金澤一高女(卒)金澤市市三番丁四六一一九六

石丸 優三 正五 勸業局長 大分高等商業學校校長 愛媛縣警五郎三男明治十四年十二月出生同四

石本 征雄 職業主事 高知縣警介紹所長 高知縣土族明治廿八年九月廿五日出生夙ニ縣

立第四中學ニ學ビ大正七年高知市ニ入り果進昭和八年任高知市主事同市職業紹介所長拜命同十三年現職ニ任ズ(妻)高知市井口町一四一

石本 實三 正五 勸業局長 陸軍少將 陸軍省兵務局長

東京府新六ノ三男明治廿三年十一月出生同四十四年任陸軍少尉昭和十三年三月同少將ニ陞ル(妻)陸軍省軍務局軍務課長兵器本廠附馬政局次長等歷補昭和十五年三月現職ニ就ク(妻)東京市小石川區大塚坂下町一四(大塚三〇三)石本 勸夫 正五 勸業局長 東京市理事 監査部

東京府人作太郎ノ二男明治十四年十月卅日出生同卅五年前名鶴吉ヲ改メ大正十三年家督ヲ相續シ明治四十二年法政大學專門部法科ヲ卒業警視廳巡查拜命大正九年同警視廳ニ進ミ爾來中野大森千住巢鴨七軒町三田相生象海上野日比谷丸ノ内四谷本所兩國各警察署長本廳第二檢査課長等ニ歷補後退官昭和八年豊島區長同十二年四谷區長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク(妻)探偵研究會會長(妻)ヒサ(明卅一、神奈川縣小澤廣太郎四女)神奈川縣女子師範卒(男)實作(大九)女(美子)同七、千代田高女(卒)男(俊夫)同十一)女(雅子)昭九)東京市淀橋區淀橋七二六(淀橋一五五八)

石山 信一 從四 勸業局長 農事試驗場技師 病東京府重連長男明治廿一年七月出生大正十年家督相續同三年東京帝大農科農學科卒業農事試驗場技師ヲ經テ同六年同技師ニ任シ現ニ病理科主任ヲ任シ東京帝大農學部講師ヲ兼ヌ(妻)旅行諸曲(妻)妻さち(明卅四、長野縣北村

門之丞長女東京女高師專攻科卒)長女ニキ(昭三)二女アキ(同五)東京市澁谷區幅ヶ谷中町一三九九

石渡 莊太郎 從三 勸業局長 內閣書記官長 東京府士族第一長男明治廿四年十月出生大正五年東京帝大法科英法科卒業高文合格大藏省ニ入り同稅官前稅務局長稅務監督局事務官大阪東京各稅務監督局間稅務部長大藏事務官書記官臨時土地調查課長大藏書記官兼同大藏書記官銀行檢査官主稅局國稅課長大藏省主稅局長內閣調查局調查官等歷任昭和十二年六月大藏次官ニ任シ警備管財局長官兼任同十三年更ニ國民貯蓄獎勵局長官兼任同十四年一月大藏大臣ニ親任同年八月拜辭同十五年一月現職ニ任ズ(妻)母ヲテ(明元)妻久子(同卅一、東京府山田文太郎妹)茶水高女(卒)長男良一(大八)二男誠三(同十三)東京市地町區永田町二ノ一官舍(妻)銀座五〇九、一〇一八

石渡 隆 從四 勸業局長 小濱區裁判所 千葉縣市太郎ノ三男明治十一年七月出生同卅八年東京帝大法科法律科卒業同四十四年任判事爾來長崎地方裁判所長崎縣原各區長崎縣宮崎府各地方新發田村上相川龍ヶ崎太田各區水戶地方橫手區兼秋田地方橫手支部分長同區區長名古屋地方區兼支部分長等ヲ經テ現職ニ就任(妻)妻チヨ(明廿一、栃木縣鶴見守義長女)長男健一(同四二、京大經濟學部卒)女萬千子(大二、名古屋高女(卒)女三千子(同五、岡崎高女(卒)女八十子(同十、小濱高女(卒)福井縣遠敷郡小濱町

岩本 從六 林業試驗場技師 香川縣五吉ノ二男明治廿九年三月廿三日出生私立東京農大分析化學部修了後東京帝大農科ニ研究林業試驗場助手農務省海外實業練習生トシテ北米合衆國ニ派遣シシガン州立大學林學科及ウイソコンシン州立大學ニ於テ林學森林利用專攻大正十一年歸朝後農林省林業試驗所屬昭和十年技師ニ任ズ(妻)妻芳江(明卅五、香川縣入倉宇平太六女)香川縣立白山高女(卒)長男敏明(大十二)二男修二(昭三)長女和子(同七)東京市目黒區下目黒四ノ八四一

泉 仙助 正五 勸業局長 金澤醫大教授 茨城縣柳之助長男明治廿一年四月出生大正三年東京帝大醫科卒業同大學副手次ヲ東北帝大醫學部專門部教授同大學講師助教授ヲ經テ大正十三年現職ニ任ズ(妻)同大學附屬醫院長ヲ受ク(妻)父柳之助(現戶主)妻ヒサ(明廿八、千葉縣吉岡七郎兵衛妹)男(勉之助)昭五)女(多喜)大七)女(絹子)同十)女(教子)昭七)女(淳子)同十)金澤市下本多町六番丁一八(三一六三)

泉 守記 從五 勸業局長 宮城縣書記官 經濟山梨縣人文作ノ三男明治卅一年二月出生大正十二年東京帝大法科政治科卒業高文合格任青森縣屬爾來同縣警務部地方警視大阪府警視廳島各警察署長群馬縣警務部警務課長北海警務部警務課長務長杉馬縣警務部警務課長等歷任昭和十二年七月岡山縣書記官警務部長ヲ經テ同十四年四月現職ニ就ク(妻)妻貞子(仙臺市外記丁一八官舍)一七三



**縣農事試驗場長** 從五勳六 地方農林技師 青森縣農事試驗場長 青森縣正登ノ三男明治廿二年九月十日出生大正二年農事試驗場技師命產業技師地方農林技師歷昭和十一年八月現職ニ就ク

**妻** 妻(明廿九)長男將(大九)長女米子(同十三)二男二郎(昭六)青森縣南洋輕部中野村官舎 黒石五六

**農田** 一 正七 社會教育主事 愛媛縣學愛媛縣人半三郎ノ長男明治廿二年九月二日出生大正八年愛媛師範卒業昭和六年高文行政科同七年同司法科各合格其間小學校訓導縣立松山高女教諭歷昭和七年愛媛縣學兼同縣屬拜命同十年同縣社會事業主事ヲ經テ同十二年十二月現職ニ就任ス

**妻** 妻(子)藤立伊豫實(業卒)男一郎、女翠、男一洋、男一洲、男一依 同松山市御實町一四〇 一五五

**農田** 正七 農工事務官 化學局勤務 香川縣人明治四十二年十一月廿二日出生昭和十二年東京商科大学卒業先是同十一年高文行政科合格同十二年農工事務官命次ヲ貿易局同十三年農工事務官ニ任ジ工務局勤務同十四年六月化學局勤務ナル東京市目黒區綠ヶ丘三〇一

**農田** 從七 地方事務官 宮城縣總務官 宮城縣人榮三郎ノ長男明治廿二年一月十七日同縣刈田郡白石町ニ出生同縣刈田郡書記次ヲ宮城縣屬拜命總務部庶務課ニ勤務昭和十二年地方事務官ニ任ジ同縣會計課長兼統計課長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク

**農田** 從七 農林技師 農務局勤務 二年第五高校理科同十五年東京帝大工學部土木科各卒業同年內務技師命大臣官房都市計畫課勤務昭和四年都市計畫地方委員會技師都市計畫東京地方委員會勤務翌年兼任內務技師大臣官房都市計畫課勤務ヲ經テ同八年專任內務技師現在ニ及ブ

**農田** 從五勳五 農林技師 農務局勤務 東京府人明治十八年二月一日出生大正二年東京農學大學高等科卒業同五年農商務技師命爾來農商務局兼技師同十二年農林技師ニ任ジ農務局勤務今日ニ及ブ

**農田** 從五勳四 農林技師 農務局勤務 山形縣人四郎ノ三男明治十九年八月廿一日出生大正三年東京帝大農科獸醫科卒業同大學助手同十一年同助教授ニ任ジ昭和十一年十二月同教授ニ進ム

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**町** 從六 朝鮮總督府道務官 咸鏡南道警務部長 神奈川縣人昭和五年東京帝大法學部政治學科卒業高文合格朝鮮總督府ニ入り同府事務官警務局勤務ヲ經テ同十四年現職ニ就ク

**農田** 從五勳五 農田院技師 廈門連石川縣人 正七 農工事務官 機械局勤務 廈門總督府技師內務局勤務ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク

**農田** 從七 農工事務官 機械局勤務 廈門總督府人舊姓佐瀨ト稱ス明治四十四年一月十一日出生昭和十年高文行政科合格翌年東京帝大法學部卒業昭和十一年農務局同十五年一月現職ニ就ク

**農田** 從五勳五 農田院技師 廈門連石川縣人 正七 農工事務官 機械局勤務 廈門總督府技師內務局勤務ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク

**農田** 從七 農工事務官 機械局勤務 廈門總督府人舊姓佐瀨ト稱ス明治四十四年一月十一日出生昭和十年高文行政科合格翌年東京帝大法學部卒業昭和十一年農務局同十五年一月現職ニ就ク

**大正三年宮內技師命** 同十一年現職ニ就ク 農田 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル

**農田** 從三勳一 陸軍中將 支那軍官學校卒業任步兵少尉昭和十一年中將ニ陞ル其間陸軍大學卒業支那各地ニ駐在參謀本部々員關東軍參謀奉天特務機關長滿洲國軍政部顧問關東軍參謀副長同參謀長第五師團長等ニ歷補同十三年陸軍大臣ニ親任同十四年九月現職ニ補セラル



**從五動六 鐵道局技師** 新潟鐵道省入り果道鐵道技師監督局勸務鐵道省監理官兼鐵道技師監督局監理勸務同技師勸務ヲ經テ昭和十五年一月現職ニ就ク秋田縣南秋田郡土崎町同工場内  
**正六 地方技師** 青森縣警察部衛生課長  
 熊本縣人明治卅四年八月廿五日出生大正十三年縣立熊本醫事學院同年兵庫縣衛生技師拜命同十五年同技師警察部衛生課勸務トナリ昭和十三年六月地方技師ニ任ジ兵庫縣勸務ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク青森市長島官舎  
 二四八三  
**保夫 官司** 官幣大社阿蘇神社男爵阿蘇維紀ノ弟明治四十一年七月出生先代公卿ノ養子トナリ昭和十一年家督相續親爵ス別格官幣社菊池神社主典ヲ經テ同年阿蘇神社官司被仰付 養母貞子(明十二)子爵九鬼隆治姉京都府立第三高女卒)妻友子(同四三)養父公昭(二女四日市高女卒)長女由子(昭十)熊本縣阿蘇郡宮地町  
 一本 本職 正五動四 檢事 東京刑事地方男爵喜徳郎ノ長男明治廿七年二月靜岡縣ニ出生大正七年東京帝大法科司法科卒業司法省ニ入リ東京控訴院檢事東京刑事地方裁判所檢事兼東京區裁判所檢事東京區裁判所檢事專任等ヲ經テ昭和十四年九月現職ニ就任ス 長男允(昭四)長女友子(同六)東京市本郷區駒込曙町二六 大塚五二五〇

**一島三 從七動七 地方事務官** 石川縣石川縣人明治廿六年九月七日出生同縣鳳至珠洲鳳至各郡書院歷職大正十五年同縣鳳至珠洲郡庶務課勸務課庶務部庶務課勸務ヲ經テ昭和十四年六月現職ニ任ズ 國金澤市角場川岸町三五〇三一  
**正七 地方事務官** 大阪府總務部 養夫 部地方課勸務  
 北海道人舊姓佐藤ト稱ス明治卅二年十月十一日出生大正十一年普通試驗合格同年北海道鳳鳴命後志支廳勸務課庶務部商工課勸務昭和十年地方商工主事大阪府經濟部商工課勸務同商工第二課勸務ヲ經テ同十五年三月地方事務官ニ任ゼラル 大阪府住吉區阿倍野筋二丁目官舎  
**一戸廣次郎 從四動四 第三高校教授**  
 岩手縣人金六ノ二男明治十一年六月出生大正八年家督相續明治四十年京都帝大理工科文理學科卒業同四十五年現職教授ニ任ズ 國妻信(明廿四)岩手縣太田孝太郎妹)男亮(大六)女國(同二)二男亮二(同十)二女民(同十四) 國京都市左京區吉田中大街町一四  
**正五動四 臺灣總督府臺南州一番少 總務課 知事**  
 佐賀縣健太郎男明治廿八年六月六日出生大正九年東京帝大法學部英法科卒業農商務局國勢院農商務各事務官嶺山監督局書記官地方事務官大阪府工務課長拓務書記官拓務局第三課長同兼外務書記官管理地方課長殖産局農務課長昭和十四年八月新州知事ヲ經テ同十五年五月現職ニ就ク 國野球乘馬南貴 妻チ七

**子(明卅五)長崎縣草苅又次郎二女長崎高女卒(長男佳正(大十三)長女康子(昭元)二男一耳(同九)國臺南市竹園町一丁目官舎 國八**  
**正五動三 厚生政務次官 兼議院議員**  
 大分縣波多宗直ノ二男明治八年三月出生一松能安ノ養子トナル 同卅五年明大法科卒業檢事ニ任ジ長崎大分佐賀廣瀨大阪各裁判所歷任退官後刑事專門辯護士開業立憲政黨ニ屬シ衆議院議員當選五回昭和十五年一月厚生政務次官ニ任ズ 大阪府會議員タリ 妻モト(明九)養父能安長女)養子政昭(同卅九)大分縣宮本伴次郎三男)長女スミ(同卅二)養子政昭妻)四女カズ(同四二)五女惠美(同四四)七女ヒデ(四五) 國大阪府西區江戶北通四ノ一九 土佐堀四三六〇(東京宅)四谷區仲町八 堀四谷七二二〇  
**一 學 從五 新潟縣立新潟商業學校校長**  
 愛知縣金治郎ノ長男明治廿六年六月七日出生大正二年京都帝大文科卒業同四年三重縣立第二中學教諭同八年京都帝大法科英法科卒業爾來日本郵船社員松山高商教授ヲ經テ歐米各國出張歸朝後同校教授岡山縣笠岡商業學校校長等歷職昭和九年五月現職ニ就ク 國讀書登山 妻志壽榮(愛媛縣西村竹五郎長女善通寺高女卒)長男俊夫(大十三)二女文子(同六)三女信子(昭五) 國新潟市關屋田町一  
**市岡 正六 地方事務官** 愛知縣總務部庶務課長  
 岐阜縣人故鐵四郎男明治廿六年九月十八日同縣惠那郡苗木村出生大正十二年北海道帝大

**農學部林學實科卒業** 昭和三年愛知縣屬拜命同四年高文行政科合格同年任同縣農林主事同十年再任同縣屬總務部庶務課勸務同十三年任地方事務官爾來總務部會計課長秘書課長兼知事官房主事物價調整官經濟部商工第二課長兼秘書課長等歷職後現職ニ就ク 國庭球弓 妻久子(明卅六)愛知縣高川虎三郎二女同縣立第一高女卒)長女富子(昭八) 國名古屋市中區區豐田通六ノ二九 瑞穂一一一  
**市川 從七動七 警視廳警視 澁谷警視長**  
 山梨縣初五郎三男明治廿七年六月十一日出生昭和三年警視廳警部拜命警務課勸務同十一年任警視廳來六本木駒込各署長ヲ經テ同十四年四月現職ニ就ク 國妻敏子(明卅四)東京府安田末吉長女)東京市澁谷區中通三ノ二四官舎 國青山一八八一  
**市川 從四動三 獸醫博士 北海道帝大教授**  
 茨城縣俊五郎ノ長男明治廿一年四月出生大正二年東北帝大農科畜產科卒業爾來研究ヲ積木同八年學位ヲ受ク同九年北海道帝大助教任ニ任ジ同十一年佛獨兩國ニ留學昭和三年英國同九年滿洲國ニ出張ニ現時同大學農學部勸務ヲ任ズ 妻朝子(明廿七)茨城縣鈴木幸一郎長女)長男健興(大八)長女篤子(同六)二男篤信(同九)三男健寬(同十一)二女世世子(同十五) 國札幌市北六條西十一丁目  
**市川 正四動三 會計検査院検査官**  
 佐賀縣本村四男明治十三年七月出生大正四年分家ニ明治四十二年東京帝大法科政治學科卒業

**業大正元年高文合格會計検査院書記副検査官兼衆議院書記官任検査官第三部第一課長第二部第三第四各課長ヲ經テ現職ニ就ク 國文學**  
**國妻つた(明廿四)佐賀縣坂井克己妹佐賀高女卒)長男忠男(大二)二男義雄(同四)三男秀夫(同六)女レツ(同十) 國東京市澁谷區青葉町二〇 國青山五〇八**  
**市河 正四動二 文部 帝國學士院會附屬圖書館長**  
 東京府三條四男同三條ノ兄明治十九年二月出生大正五年分家ニ同四十二年東京帝大文科書院學科卒業大正元年英米各國ニ留學同五年歸朝東京帝大助教同九年教授ニ進ミ昭和六年歐米各國ニ出張同十五年附屬圖書館長ニ補セラル 大正十二年學位ヲ受ク本邦英文學界ノ第一人者殊ニ言語學ニ於テハ最高權威タリ尙多年ニ亙リ昆蟲ノ蒐集並ニ研究ヲナス 國動物採集 國妻晴子(明廿九)福積重遠妹御茶水高女卒)男三榮(大六)女三枝子(同十一) 國東京市牛込區北山伏町二五 牛込一七〇〇  
**市河 從五動五 外務書記官兼文部書記官**  
 靜岡縣人大正九年東京帝大法學部政治學科卒業外務省ニ入リ果通文化事業部第三課長ヲ經テ昭和十三年十二月現職ニ就ク 國東京市淀橋區諏訪町一〇二 牛込五一五〇  
**市來 正六 臺灣總督府交通局長**  
 鹿兒島縣人大正十四年法學部政治學科卒業臺灣總督府事務官總督官房外事課勸務次ヲ同府交通局長事務課總理課長兼庶務課長ヲ經テ

**昭和十四年現職ニ就ク 國臺北市幸町一三五**  
**市來 從五 厚生書記官 體力局施設課長**  
 鹿兒島縣助八郎長男明治廿六年八月廿三日出生大正十五年東京帝大法學部政治學科卒業高文合格內務局兼復興局屬地方事務官廣島縣社會課長長崎縣地方課長兵庫縣農務課長各課長等歷任昭和十一年內務事務官地方局勸務ヲ經テ同十四年四月現職ニ就任ス 國妻タマ(明四〇)鹿兒島縣濱田才二次女同縣立高女卒)長男俊郎(昭五)二男八郎(同九) 國東京市杉並區方南町七二 國松澤三六四八  
**市毛 正五動四 總領事** プラージュ在  
 茨城縣人佐一ノ三男明治廿七年七月出生大正七年東京帝大法科獨法科卒業同年高文合格領事官補外交官補大使館公使館各三等書記官外務事務官大使館二等書記官領事公使館一等書記官大使館一等書記官ブラジル國在勸務和九年總領事ニ任ジサンパウロ在勸ヲ經テ現職ニ就ク 國妻マリ(明廿二)佛蘭西アンヂュラムベール妹) 國東京市芝區白金三光町二五八(留守宅)  
**市瀨 正五動五 工務 工業試驗所技師**  
 兵庫縣泰太郎ノ長男明治卅一年一月七日出生大正十年東北帝大工科工業化學科卒業同年大阪工業試驗所技師拜命同十三年同技師ニ任ジ昭和十三年第五部長ニ就任 妻ニ同七年學位ヲ受ク 國旅行登山 國母むつ(明十)妻敏(同卅九)押本重平二女京都府立第一高女卒)長



女恭子(昭七)西宮市北昭和町五九  
 市原 友治 從七 農林事務官 經濟更生部  
 滋賀縣士族明治四十四年五月十八日出生昭和  
 十年高文行政科合格同十二年東京帝大法學部  
 佛法科卒業同年農林局奉命靈林局勸務型年營  
 林局事務官東京營林局勸務同年應召出任同十  
 四年八月解除後農林事務官任之ヲル東京  
 市芝區白金三光町四八六、佐々木康雄方  
 市橋友次郎 從四勳四 地方技師 千葉縣經  
 濟局農務課長 濟部耕地課長  
 群馬縣五郎ノ二男明治十四年九月出生同四  
 十五年東京帝大農科卒業大正元年任滋賀縣技  
 師石川宮崎各縣技師秋田福島各縣耕地課  
 長等ニ歷職ス 妻和子(昭六)岡田養平長  
 女)長男利夫(昭三)二男兼夫(昭五)三男三郎  
 (昭七)長女ミヤ(昭十二)二女日出子(昭十四)  
 三女孝子(昭二)千葉市長洲町二丁目官舎  
 六〇二  
 市橋 晴次 從七 地方統計主事 宮城縣總  
 務部統計課長  
 新潟縣人明治廿二年三月十七日出生大正八年  
 縣立佐渡中學卒業同十三年內閣統計職員養成  
 所修業農林省ニ勸務昭和二年同省統計官補同  
 八年農林局農林省統計官補大臣官房統計課  
 勸務ヲ經テ同十三年十二月現職ニ任ズ 妻  
 シズ 仙臺市濱橋通五官舎 二五六二  
 市原 豐木 從五勳六 浦和高校教授  
 東京府卯之助長男明治廿五年六月廿二日出  
 大正十五年東京帝大佛文科卒業後現職ニ就ク  
 妻高根(昭九)東京府岡田哲藏三女御茶  
 水高女卒)長男新(昭七)長女友子(昭八)東京

京市本郷區駒込西片町十ノ四〇  
 市原 分 正五勳五 保護觀察所輔導官  
 東京保護觀察所長  
 東京市目黒區原町一三五一 在任四六九二  
 市村 定 正五勳四 京城高工教授兼生徒  
 主事  
 茨城縣平造五男明治廿年六月出生同四十三年  
 東北帝大工科土木工學科卒業北海道土木技  
 手朝鮮總督府技師ヲ經テ現職ニ就ク昭和六年  
 獨英米各國ニ留學ス 妻幸(昭七)茨城縣  
 小松島吉長女)長女清子(昭六)二女節子(昭  
 十)四女正子(昭三)京城府岡崎町四五  
 市村 清次郎 從五 靜岡縣立清水高等女學校  
 長兼教授  
 山形縣重太郎ノ二男明治廿七年十二月九日山  
 形市ニ出生大正九年東京高師同十一年同校專  
 攻科各卒業東京府立七中靜岡縣師範各教諭掛  
 川高女校長ヲ經テ昭和十一年十二月現職ニ就  
 ク 妻三子(昭五)山形縣石川悅  
 之助三女山形高女卒)長女麗子(昭十二)二女  
 恒子(昭十四)三女紀子(昭四)四女邦子(昭七)  
 五女雅子(昭九)六女純子(昭十一)清水市入  
 江岡一〇六四  
 市村 勇志 從五勳五 朝鮮總督府大邱師範  
 長野縣人大正二年廣島高師化學科畢業南中  
 學校長ヲ經テ現職ニ就ク 妻大邱府同校內  
 出 正五勳四 文庫 東京帝大教授  
 岡山縣士族渡部惟明ノ二男明治廿六年三月出  
 生同廿七年出道直ノ養子トナル大正六年東京

帝大文科哲學科卒業更ニ同大學院ニ畢ビ同大  
 學副手青山學院日本大學東洋大學各教授東京  
 女子大教授東京帝大助教歷任昭和十年現職  
 ニ就ク同十二年學位ヲ受ク 妻棋 妻幸  
 子(昭三)一、士族三浦道之姉津山高女卒)男哲  
 史(昭九)女まり子(昭十一)五女みち子(昭十  
 四)三男英利(昭十五)六女のり子(昭三)七女  
 かず子(昭六)東京市小石川區小日向邊町二  
 ノ一五 大塚六〇七六  
 出村 肇平 正七勳六 地方事務官 香川縣  
 總務部庶務課長  
 香川縣人明治廿五年七月七日出生私立關西中  
 學校ニ畢ビ大正四年普文合格同七年香川縣ニ  
 勸務同十四年同縣屬拜命內務部地方課同庶務  
 課歷動昭和四年同會計課長同十年處務課則改  
 正總務部會計課長ヲ經テ同十一年九月任地方  
 事務官學務部社寺兵事課長次ヲ現職ニ就ク  
 高松市二番丁 二八五四  
 出島 一忠 正五勳五 鐵道技師 岡山工事  
 事務所長  
 石川縣高十郎長男明治廿六年十一月廿六日出  
 生大正八年東京帝大土木工學科卒業長岡岡山  
 各建設事務所鐵道省建設局勸務米子岡山各建  
 設事務所長ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク  
 妻一歐米ヲ視察ス 妻將棋 母いよ(昭三)  
 高女卒)長女宜子(昭十四)二女佳子(昭三)  
 岡山市南方町官舎 三九〇八  
 出田 正藏 從五勳五 農林技師 靈林局勸  
 務  
 長崎縣人明治廿五年四月八日出生大正三年京  
 都高等實業學校本科卒業農商務技師生林檢査

所技手兼農商務技師農林技師任昭和四年農  
 林技師ニ任ジ靈林局勸務今日ニ及ブ 妻濱濱市  
 鶴見區東寺尾町二〇八八  
 出村 三郎 正五勳五 茶業試驗場技師  
 茨城縣人舊姓鶴見ト稱ス明治廿八年四月三日  
 出生大正七年盛岡高等農林學校卒業同九年茶  
 業試驗場技師命同十二年同技師ニ任ジ今日  
 ニ及ブ 妻岡縣原郡金谷町茶業試驗場官舎  
 七 正五勳五 水産試驗場技師  
 京都府士族明治廿三年八月一日出生同四十四  
 年東北帝大農科水産學科修業茨城水産試驗場  
 技師同縣水産技師水産講習所技師農商務技師  
 兼任水産講習所技師農林技師任大正十五年  
 任農林技師水産局勸務昭和七年地方農林技師  
 兵庫縣水産試驗場長ヲ經テ同十三年六月現職  
 ニ就ク 妻東京市大森區桐里町一七一  
 桑井 治 正六勳六 職業主事 東京職業  
 紹介所長  
 京都府人勸助二男明治廿八年一月廿八日出  
 大正六年農學大學農化學科卒業同九年協同  
 會ニ入り同年任中央職業紹介事務所同事務  
 官ニ任ジ昭和四年名古屋地方職業紹介事務所  
 局長東京地方職業紹介事務所局長ヲ歷任地方事  
 務官東京府職業課長ヲ經テ同十三年現職ニ就  
 ク 妻同十年滿洲國朝鮮ニ出張ス 妻幸子  
 (昭三)北海道金澤三四郎長女頌榮高女卒)  
 東京市芝區白金三光町六一 高輪二三〇六  
 桑井 俊三 從四勳四 商工技師 中央度量  
 衡檢定所大坂支所長  
 埼玉縣人保太郎ノ二男明治十八年五月出生昭  
 和二年家督相續大正二年東京帝大理科物理學  
 科卒業同七年栃木縣立宇都宮中學教諭命同

十年農商務技師次ヲ同十四年商工技師工務局  
 中央度量衡檢定所所長ヲ經テ昭和十年  
 七月現職ニ就ク 妻ひで(昭廿一)埼玉縣  
 實業市四女)女先枝(昭四)女成枝(昭六)女幸  
 枝(昭九)女しげる(昭十二)大阪府豊能郡豐  
 中島村會根三一七  
 桑川 實次郎 職業主事 青森縣介紹所長  
 千葉縣人明治廿一年九月十六日出生夙ニ中央  
 大學別科專門部ニ畢ビ東京市事務員同市書記  
 ニ歷任昭和十三年現職ニ就ク 妻青森市柳町同  
 所內 三三九二  
 桑原 健 從六 機械工養成所技師 愛知  
 大分縣人明治廿四年十一月廿日出生大正四年  
 東京高工機械科卒業同十四年鹿兒島縣立志布  
 志中學教諭昭和七年公立中學教諭同十三年東  
 京府電機工業學校教諭ヲ經テ同年現職ニ就ク  
 妻名古屋市中區西區平手町一ノ七六 西五一〇  
 稻内 清二 從五勳五 市川市長  
 京都府人官治郎ノ三男明治廿五年八月出生大  
 正三年盛岡高等農林學校同九年京都帝大法科  
 獨法科各卒業同十一年高文ニ合格和歌山縣伊  
 都郡長地方事務官同縣東牟婁支廳長熊本香川  
 廣島各縣勸務昭和十一年宮崎縣書記官學務部  
 長同十三年秋田縣書記官學務部長歷任同十五  
 年四月退官同年六月現職ニ任ズ 妻旅行 妻  
 まさえ(昭三)京都府中島ノ孫京都高女  
 卒)長女弘子(昭十三)二女文子(昭十)市  
 川市市役所氣付  
 稻浦 廣 從五 道路技師兼土木技師 大  
 阪府土木部河港課長

三重縣人明治廿七年十月十九日出生大正十三  
 年京都帝大工學部土木工學科卒業昭和二年內  
 務技師ニ任ジ神戸土木出張所勸務同十年內務  
 省道路技師兼土木技師等ヲ經テ同年八月前記  
 ノ職ニ就任ス 妻大阪府住吉區阿倍野筋二丁目  
 官舎 天王寺六一八  
 稻生 有年 正五勳六 厚生技師 職業部  
 廣島縣人大正七年東京高工機械科卒業東京  
 市品川區大井出町五〇五一 大森二四八八  
 稻垣 三郎 從三勳一 功二 陸軍中將 陸院  
 官別當  
 島根縣了齋長男明治三年五月出生同卅年家督  
 相續同廿五年任騎兵少尉大正八年陸軍中將ニ  
 陞ル其間騎兵第一聯隊長英國大使館附武官騎  
 兵第一旅團長國際聯盟帝國陸軍代表等歷補大  
 正十二年豫備役被仰付昭和三年陸院官御用掛  
 拜命次ヲ現職ニ任ズ 妻テウ(昭十一)東京  
 府藤森吉兵衛養子)男武雄(昭廿七)同妻數子  
 (昭廿七)東京府長澤光男(昭廿七)女德子(昭四三)雙  
 葉高女卒)女道子(昭七)同校卒)四男四郎(昭十  
 一)東京市澁谷區榮通二ノ四 澁谷八四八  
 稻垣 征夫 正五勳三 前拓務事務官 拓務  
 局滿洲國出張員  
 長野縣士族明治廿一年一月出生大正十年東京帝  
 大法學部英法科卒業高文合格農商務局命昭  
 和五年拓務書記官殖産局第一課長農林課長東  
 洋拓殖監理官朝鮮部第二課長殖産局交通課長  
 滿鐵監理官等歷任拓務書記官兼朝鮮總督府事  
 務官關東軍司令部附昭和十二年七月拓務事務  
 官拓務局滿洲國出張員ヲ經テ同十五年七月  
 退官ス 妻道スボーツ 妻文子(昭廿  
 五)東京雙葉高女卒)長男皓三(昭二)二男舜二



(同三)三男雄三(同六)四男東三(同九)東京市淀橋區十二社三〇〇〇淀橋五一八

稻川 晃 從五勳六 專賣局技師 岡山地  
東京府盛久長男明治廿七年八月出生大正十一年東京帝大法科政治科卒業大藏省ニ入り果進專賣局技師大阪仙臺本各專賣局鑑定課長ヲ經現職ニ就ク(妻)妻玲子(明治廿七、東京府池田政務長女府立第二高女卒)長男博(昭七)長女和子(同五)岡山市三番町廿一(三九〇)五

稻本 道 從七 地方事務官 福井縣經濟  
福井縣人明治四十三年三月廿七日出生昭和五年第四高女校卒業同年京都帝大法學部ニ入り同八年學士試驗及同年高文行政科試驗ニ合格其間同八年福井縣屬地方課經濟課課長職務同十二年同縣農林主事經濟課課長職務同十四年二月地方事務官ニ任シ商工水產課職務同翌年二月現職ニ就ク(妻)福井市明里新町一六ノ三

稻田 肇 從五勳五 判事 東京刑事地方  
茨城縣人正十年東京帝大法科卒業東京控訴院判事ヲ經テ現職ニ就ク(妻)東京市中野區野方町一ノ七一五(中野六六〇)五

稻田 周一 從五勳四 內閣書記官 官房總  
新潟縣法學博士周之助長男明治廿五年二月廿六日出生大正十三年高文合格同十四年東京帝大法科政治科卒業任佐賀縣屬南地地方事務官群馬縣社會課長拓務事務官大臣官房文書課職務內閣書記官總務課官房會計課長等ヲ經テ昭和十二年十一月總務課長ニ任ズ(妻)實動

局書記官兼任(母)キク(明十、東京府小山勝與二女)妻千鶴(同四〇、岐阜縣植木五郎二女實踐女學專門部卒)男浩一(昭六)三男義也(同十)東京市麹町區永田町二ノ一官舎(銀座一九四〇)

稻田 進 正四勳二 醫博 岡山醫大教授  
愛知縣見龍ノ四男龍吉及三之助ノ弟明治十八年二月出生大正十一年分家明治四十三年京都帝大醫學部大卒業同校內科及醫學化學教室ニ勤務北里傳染病研究所講師慶應醫大助教授日本赤十字社山口支部病院長朝鮮總督府醫官京城醫專教授ニ歷任大正十三年海外ニ留學ス(妻)益我(イキヤ)國妻スミ(明治廿五、醫博大西克知長女福岡縣立高女卒)男通五(大五)三男正美(同九)四男謙(同十一)五男實(同十三)六男豐(同十五)七男七郎(昭五)岡山市三番町二七(五九一)〇

稻田 成一 職業主事 芝浦労働職業紹介所  
熊本縣人明治卅四年十二月廿八日出生大正十三年早大專門部政治科卒業東京市事務員同市書記ニ任セラレ新橋小石川労働紹介所各所長ニ歴職シ昭和十三年現職ニ就ク(妻)東京市杉並區荻窪二ノ二四六

稻田 清助 正六 文部書記官 宗教局宗務  
東京府周之助ノ二男明治廿七年十一月十八日出生昭和四年東京帝大法學部法政科卒業爾來朽木縣屬內務局衛生局勤務地方事務官鳥取縣農務課長千葉縣學務課長文部事務官大臣官房會計課勤務ヲ經テ同十二年七月現職ニ就任ス

稻田 スキ一 妻和子(明四四、富山縣牛久保太郎長女御茶水高女卒)東京市四谷區南伊賀町五(四谷五六一)三

稻田 隆 從四勳三 工博 九州帝大教授  
長崎縣士族山崎高成ノ二男明治廿五年十月出生同四十年稻田英次郎ノ養子トナル大正九年九州帝大工學部土木工學科卒業鐵道技師大ヲ九州帝大助教授ニ任シ歐米ニ留學歸朝後教授ニ進ム昭和二年學位ヲ受ク(妻)妻ハマ(明廿七)長男淳(大十一)長女トシ(同六)二女瑠子(同十五)二男覺(昭四)岡岡市島崎町三ノ一八六

稻田 隆 從五勳六 臺灣總督府交通局長  
茨城縣人正十五年東京帝大法學部法政科卒業臺灣總督府ニ入り果進現職ニ就ク(妻)妻ハマ(昭五)在リ

稻田 龍吉 正三勳二 醫博 宮內省御用掛  
東京府大正九年東京帝大法學部法政科卒業內閣恩給局顧問醫 帝國學士院

愛知縣見龍ノ二男同三之助及通ノ兄明治七年三月出生大正十一年分家明治卅三年東京帝大醫學科卒業後文部省留學生被命渡瀨內科學ヲ研究同卅六年京都帝大醫學部助教授歸朝後同教授大正七年東京帝大教授ニ歷任現時宮內省御用掛ニシテ前掲諸名譽職ヲ兼ズ(妻)妻ニ明治四十五年學位ヲ受ケ昭和三年帝國學士院會員ニ推サル(妻)東京市神田區駿河臺二ノ九ノ九(神田三五〇)〇

稻葉庄三郎 從四勳三 檢事 佐賀地方裁判  
宮城縣人毛利庄兵衛三男明治十六年五月出生同四十四年稻葉義徳ノ養子トナル同四十二年東京帝大法科政治科卒業任檢事爾來金澤高山石卷登米青森盛岡福島仙臺弘前各裁判所檢事青森弘前松本長野各支部檢事小倉福岡支部檢事釧路地方裁判所檢事正等歷任昭和十一年現職ニ就ク(妻)妻コウ(明治廿、養父義徳長女)佐賀市松原町中ノ小路官舎(六六五)

稻葉 幸雄 從五勳六 通信技師 工務局勳  
京都府人正十五年京都帝大工學部電氣工學科卒業通信省ニ入り果進現職ニ就ク(妻)妻トシ(昭五)子六二七

稻葉 兵衛 從五勳六 鐵道技師 東京第一  
福岡縣人正十三年東京帝大工學部土木工學科卒業鐵道省ニ入り官房研究所ニ勤務昭和十四年現職ニ就ク(妻)東京市澁谷區千駄谷五ノ九六七官舎(四谷七〇六)〇

稻葉 三郎 從五勳五 學習院教授 圖書課  
東京市板橋區練馬南町二ノ三六五(練馬七二)

稻葉 四郎 正四勳一 陸軍中將 東部防衛  
東京府人明治十八年八月出生昭和十二年陸軍中將ニ陞ル騎兵第四旅團長陸軍騎兵學校長等ヲ經テ現職ニ就ク(妻)東京市小石川區小石川町小石川六五五六

稻葉 通彦 正五勳六 鐵道技師 大臣官房  
茨城縣人彦六ノ男明治廿二年八月出生大正十二年東京帝大土木科卒業鐵道省ニ入り鐵道省建設局計畫課鐵道調查部勤務ヲ經テ現職ニ就ク(妻)妻カヅ(明治廿七)東京市豊島區池袋二ノ一〇九五(大塚一六八六)

稻葉 慎一 正五勳五 商工技師兼農林技師  
栃木縣人紀一郎長男明治廿九年十二月十一日出生大正十年東京帝大工學部應用化學科卒業農商務技師拜命同十四年同技師昭和二年商工技師工務局瓦斯事業監督同十二年燃料局技師兼商工技師兼農林技師同十三年商工技師兼農林技師工務局兼統制局勤務ヲ經テ同十四年現職ニ就ク(妻)同六年歐米各國ニ出張セリ(妻)ル(東京市中野區住吉町一〇)

稻葉 誠次 勳八 靜岡市長  
靜岡縣馬場佐吾右衛門二男明治十五年五月十日出生稻葉定吉ノ養子トナル同四十年料理業ヲ始メ兼ニ靜岡縣參事會員靜岡市會議員靜岡自動車社長巴商會靜岡トゴ各會社取締役歷職昭和十三年現職ニ就ク(妻)妻トシ(昭五)子(明廿七、東京府松本辰藏三女日本女子商業卒)嗣子定男(大七、靜岡商業修)養子利三郎(靜岡縣屬勸助弟)長女ゆき子(明四一、養子利三郎妻、靜岡高女卒)同長男大二(昭七)同長女滿壽枝(同九)同二男文治(同十一)靜岡市兩替町三ノ二四(四二二)三

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十

二年東京帝大法科卒業同大學院ニ學ビ高文合格專賣局書記官同局副參事高崎水戸宇都宮各專賣局勤務司稅官兩國橋稅務署長歷任昭和八年大藏事務官外國爲替管理部長同十一年大藏書記官中華民國駐在ヲ經テ同十三年五月現職ニ就ク(妻)妻女子(明治廿九、東京府平井政進三女女高師附屬高女卒)長女貞子(昭四)東京市豊島區雜司ヶ谷一ノ一二(牛込五五四八)

犬飼 官備 從五勳五 臺灣總督府法院判官  
岡山縣嚴勝長男明治廿五年八月七日出生大正六年京都帝大法學部法政科卒業京都地方裁判所ニ勤務爾來德島京都各裁判所判事臺灣總督府臺北同地方臺中高雄各地方法院判官高等法院判官同覆審部々長等歷任昭和十五年三月現職ニ就ク(妻)妻旅行野球(妻)子(明廿一)臺中市利國町五ノ七官舎(五一二)

犬飼 健之助 善視廳新舊健康保險出張所長  
愛知縣人明治廿二年九月十日名古屋市港區眞砂町ニ出生大正十三年愛知縣衛生主事補同十五年同縣屬警察部衛生課勤務同四年健康保險署書記愛知健康保險署勤務昭和四年同縣屬警察部健康保險課勤務同十年同縣屬健康保險出張所勤務同十三年七月同所長等ヲ經テ同十四年八月現職ニ就ク(妻)東京市澁谷區山谷一〇九

犬飼 哲夫 從五勳四 農博 北海道帝大  
長野縣武司二男明治卅年十月出生昭和七年家督相續前名哲男ヲ改ム大正十一年北海道帝大農學部卒業同大助手同助教授ヲ經テ昭和五年教授ニ進ム(妻)再度歐米各國ニ出張ス(妻)

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十

稻葉 實 正五勳六 大藏書記官 爲替局  
三重縣曾次郎長男明治卅二年九月出生大正十



山野球 母ひで(明八、長野縣武居美佐雄二女)妻道子(同廿四、同縣河野常吉二女)札帳高女卒(二女孝子(昭五)三女眞子(同七)四女智子(同十一)○札帳市北五條西十五丁目五八九

犬塚 三 從四勳四 第四高校教授  
長崎縣土族明治廿年四月出生同廿八年大塚從太郎ノ養子トナリ家督相續同四十五年東京帝大法科獨法科卒業大正三年陸軍通譯命同十年第四高校教授ニ任ズ昭和九年文部省在外研究員被命獨逸ニ留學ス妻タカ(明廿一)養父義太郎長女崎縣立平戸高女卒)養子泰三(大二)金澤醫大卒)○金澤市上柿木島三八

犬丸 從四勳三 判事 大審院判事  
舊岡山藩士石雄二男東京府士族鐵太郎ノ弟明治十六年十月出生大正三年分家明治四十二年東京帝大法科卒業司法官試補拜命任判事爾來松山東京前橋名古屋各地方檢區各裁判所判事名古屋地方裁判所部長東京控訴院判事等ニ歴補昭和三年長崎控訴院部長ヲ經テ現職ニ就ク

國澤繪畫 妻三美(明廿六、岡山縣金谷一二妹岡山就實高女卒)嗣子直(大十二)東京市杉並區東田町一ノ四五○東京四五〇三

犬丸 實 從六 帝室林野局事務官  
東京府人昭和五年東京帝大法學部英法科卒業帝室林野局ニ入り果道監理部土地課長ヲ經テ昭和十四年五月現職ニ就ク東京市品川區五反田五ノ六〇大崎六〇六〇

成實 忠一 從四勳三 檢事 京都地方裁判所檢事正

奈良縣千代造長男明治十四年一月出生同廿二年先代タマノ後ヲ承ケ家督相續同四十年京都帝大法科卒業同四十二年任判事大津地方同區神戸地方大阪地方同區各裁判所判事大正七年檢事ニ轉ジ大阪地方同區各裁判所檢事大阪控訴院檢事同地方裁判所檢事和歌山安濃津神戸各地方裁判所檢事正ヲ經テ昭和十五年四月現職ニ就ク妻ニ大正十五年歐米各國ニ出張ス(俳句遠足)妻セイ(明十七、奈良縣野坂善一郎三女)○京都市上京區小山上總町官舎西陣一四〇〇

明太郎 正六 地方農林技師 長崎縣水產試驗場長  
高知縣人大正八年水産講習所漁撈科卒業ニ歸長崎市大井手町官舎内一八九八

伊本 正五勳五 佐賀縣書記官 學務  
大阪府人明治卅年五月廿二日出生大正十年高文合格同十一年東京帝大法學部卒業爾來秋田縣屬警部地方警視秋田縣保安課長同警務課長地方事務官山梨縣農商課長社寺長事務課長海道警務官長官ノ房文書課長兼統計課長土地整理課長工場課長兼建築監督官群馬縣社會課長兼社會課長地方課長兼統計課長等歷任昭和十二年七月香川縣書記官學務部長ヲ經テ同十四年一月佐賀縣ニ轉ズ(佐賀市赤松町一〇一)官舎九四九

武 從五勳六 鹿兒島縣書記官 經  
香川縣士族富太郎ノ長男明治廿八年八月四日出生大正十二年京都帝大經濟學部卒業高文ニ

合格爾來關東廳同警視同事務官大津地方警視木茨城各縣地方事務官茨城福島各縣勸務等歷任昭和十一年四月奈良縣書記官經濟部長ヲ經テ同十四年四月現職ニ就ク(讀書)妻山榮太郎長女(長男輝夫(昭三)長女芳子(大十五)○鹿兒島市上荒田町官舎一七三一)

廣 正五勳五 通信技師兼通信局技師  
東京府浦生後ノ二男明治廿四年二月廿六日出生同十四年絕家乾家ヲ再興ス大正六年東京高等商船學校機關科卒業通信省ニ入り管船局船舶試驗所勸務ヲ經テ現時前記ノ職ニ在リ

妻光子(明卅一、東京府大木喜三郎長女三田高女卒)嗣子邦廣(大七)二男敏博(同十)三男廣忠(同十四)長女ミネ(同十五)東京市中野區野方町二ノ一五九六中野二二三二五

美本 正三勳二 竹田宮別當  
石川縣士族操二男明治九年八月出生同四十年家督相續同廿二年東京帝大文科英文學科卒業爾來第四高校教授文部省視學官兼圖書室查官同省警務官東京音樂東京外語松本高校東京女高師各校長等歷任昭和二年任浦和高校々長同十年退任同校名譽教授ニ推サレ同十二年現職ニ任ズ(讀書)妻良(明廿、男爵本多政綱妹)男順一(同卅九)男敬四郎(同七)女美和(同十)女延(同二)○東京市中野區新井町六六二中野四三二六

今井 從五勳六 東京外國語學校教授  
東京府又男長男明治廿六年八月廿五日出生東京帝大法學部及經濟學部各卒業大正十五年現職ニ就ク妻ニ歐米ニ留學ス(讀書)妻利

子(明卅七、重戶常之助長女)長男康文(昭六)長女希子(大十三)二女孝子(同十五)三女宏子(昭四)東京市王子區十條中原町四ノ二

今井 正六勳六 石川縣師範學校校長  
埼玉縣惟長男明治十六年二月十九日川越市ニ出生同廿九年東京高師大正九年同校專攻科各卒業爾後師範英城女子師範各教諭同土浦高女校長神戸市視學同市立教員養成所長大鐵教習所長香川縣視學官學務課長島根縣師範學校長等歷任昭和十三年現職ニ就任(讀書)妻由馬(妻はの(明十八、埼玉縣柳川文作長女埼玉女師範卒)嗣子恭(同四一、阪大造船科卒)三女鞠子(大五、高松高女卒)四女興江(同七、松江高女卒)○金澤市泉野町

今井 正六 大使館一等書記官  
廣島縣人昭和二年東京帝大法科英法科卒業大藏省ニ入り銀行檢査官預金部資金局書記官運用部運用課長外務事務官兼任同十四年大使館二等書記官ツヅイニト聯邦在勤ヲ經テ同十五年六月同一等書記官ニ就ク(讀書)妻野球(妻女子(明四四)男成男(昭九)○留守宅)東京市世田谷區成城町八六四〇七

今井 從六 地方事務官 長野縣經濟  
三重縣清津四男明治卅七年九月廿五日同縣一志郡天野村ニ出生昭和三年高文行政科合格同四年東京帝大法學部政治學科卒業岩手縣屬兼警部同縣社會課長同七年任地方事務官爾來福島縣社寺事務課長社會課長兼會計課長經濟課長課長農務課長和歌山縣農務課長商工水産課

長商工課長等歷任昭和十四年現職ニ就ク(讀書)妻ニス油繪(長野市西長野町官舎二八四五)

今井 三言 從五 大阪第二商業學校校長  
富山縣人留次郎長男明治廿五年十月廿日出生大正五年東京高商卒業爾來本商業北實業東京主計安田保善各校長教諭香川縣坂出高松各商業校長歷任昭和十年長崎市立商業學校校長兼教諭兼同市立第二商業學校校長兼教諭ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク(讀書)妻久子(明卅、東京府中田幸吉長女實業女學卒)長男一雄(大十五)長女陽子(昭三)○大阪府東區廣小路同校內

今井 正五勳五 埼玉縣立浦和中學校  
舊平戶藩士尙人ノ長男明治十三年六月出生同四十四年家督相續同廿六年東京帝大文科史學科卒業東京神奈川縣本長崎香川各縣中等學校ニ歷任シ昭和二年以來浦和中學校校長タリ(讀書)妻志經日本女大附屬高女卒)男正人(同卅六)東亞同文書院卒)妻靜枝(同四四、東京市橫山功喜妹)男守之(同四四)男良夫(大四)男武成(同七)孫悦子(昭八、男正人長女)○浦和市仲町四ノ一五〇二八六二

今井 正七 貿易局事務官兼商工事務  
新潟縣人大正二年十月五日出生昭和十一年高文行政科合格翌年東京帝大法學部政治學科卒業同年商工局拜命次ヲ貿易局同事務官ニ任シ第二部輸入課勸務同十三年兼任臨時物資調整局事務官同年第二部第六課勸務ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク東京市品川區大井坂下

町二七二一

今井 從五勳六 東京市土木局長  
兵庫縣人明治四十四年東京帝大工學部卒業妻ニ土木局道路建設課長同局技師長等歷任ス(東京市本郷區駒込西片町一ノホノ一〇)小石川四八〇五

今井 從四勳三 東京帝大教授 文學  
長野縣水穗長男明治十九年六月出生大正十五年家督相續同四十四年東京帝大文科史學科卒業大學院ニ學ビ東京外語一高各講師一高教授東京帝大助教授ヲ經テ昭和五年同校教授ニ任ジ同十四年文學部長ニ補セラル(妻ニ英佛佛米各國ニ留學ス(讀書)男秀喜(大十三)女美智代(同六)女彌生子(同九)女眞弓(同十一)東京市澁谷區千駄ヶ谷三ノ五四○(讀書)妻山五五七〇)

今井 正五勳五 東京帝大助教授 文  
宮城縣三郎長男明治廿二年二月出生大正二年東京帝大文科社會學科卒業同六年露米各國ニ留學同九年歸朝同年東京帝大助教授ニ任ジ昭和十年滿洲國ニ出張ス(妻里(明廿八、福井縣內田重遠三女)男宗九(大十一)女幸子(同十二)二男乙人(同十四)二女二葉(昭二)三男計三(同四)四男梯四郎(同十)東京市板橋區中新井町四ノ一二五四(讀書)妻馬四七三)

今井 正五勳四 貯金局事務官 貯金  
富山縣士族重吾二男明治十七年五月出生同廿九年東京外語佛語本科卒業通信省ニ入り爾來東京中央橫濱各郵便局外國郵便課長通信官吏



練習所教官通信局事務官前橋郵便局長吳郵便局長兼本郵便局長ヲ經テ昭和十五年七月現職就任ス  
妻ヨネ(明治十五、富山縣神通清次郎妹富山女子師範卒)男一郎(大七)女青子(明四四)東京市麻布區貯金局内

今井 久 部長 從五勳六 三重縣書記官 警察

東京府人明治卅五年七月廿四日出生大正十四年東京帝大法學部英法科卒業地方警視石川大阪各府警務課長佐賀縣書記官警察部長內務事務官警保局保安課勤務軍事保護院事務官總務課勤務等ヲ經テ昭和十五年一月現職ニ就ク  
津市下田田一六〇

今井 久男 正七 內閣印刷局技師 抄紙部

東京府人昭和五年東京帝大農學部農藝化學科卒業內閣印刷局ニ入り果敢同十三年現職ニ就ク  
東京市道野川區道野川町九七官舎王子四三〇九

今井 秀一 正五勳五 富山縣女子師範學校

富山縣淨觀長男明治廿二年八月廿二日出生同四十五年富山高等師範學校畢業  
卒業新潟吳高岡各中學官制師範各級職官時高女校長ヲ經テ昭和六年現職ニ就ク  
妻ヨネ(明治廿九、富山縣吉野久太郎長女富山縣立高女卒)長男淨秀(大六)二男尙秀(同七)三男完秀(同十)四男秀茂(同十二)五男美壽(同十五)長女壽子(昭三)二女淳子(同六)六男敬義(同八)富山市稻荷町六五二二〇六  
今井 弘 正五勳四 工博 九州帝大教授

新潟縣退藏四男明治廿七年十二月出生昭和六年分家ス大正八年東京帝大工學部探査冶金科卒業三菱工業研究所技師東北帝大助教兼金屬材料研究所員旅順工大豫科教授兼東北帝大助教旅順工大教授歷任昭和八年九州帝大教授ニ任ズ大正十五年歐米各國ニ留學同十四年學位ヲ受ク  
妻サキ(明治廿八、東京府關口繁次郎養子)男純一(大十四)福岡市地行東町三番丁

今井 夏次郎 正七勳六 地方事務官 三重縣

三重縣木戶代三郎二男明治廿六年四月廿五日桑名市ニ出生同縣土族今井一右衛門ノ養子トナリ大正十年家督相續ス同四年三重縣多氣郡書記爾來同縣員辦郡書記同縣屬知事官房秘書課長總務部人事課長兼知事官房秘書課長ヲ經テ昭和十年地方事務官ニ任ジ現職ニ就ク  
妻春(明治卅一、三重縣杉村安貞長女)長男茂(大十二)津中學卒二男靖(同十四)同校在(大)三男裕(昭二)四男敬(同四)五男誠(同十)長女愛子(同十三)津市大字塔西裏一〇六

今泉 佳三郎 從六 道路技師兼土木技師 愛

群馬縣人和助ノ男明治廿五年一月一日桐生市ニ出生大正十四年東京帝大工學部土木學科卒業爾來東京市技手牛込出張所長東京市技師道路技師兼土木技師千葉縣勤務ヲ經テ昭和十二年七月現職ニ就任ス  
名古屋市昭和區初見町一ノ九瑞穂二〇九

今泉 門助 從五勳六 商工技師 機械局勸

新潟縣人明治卅二年三月七日出生大正十三年

東京帝大理學部物理學科卒業昭和二年商工技手拜命同三年同技師ニ任ジ工務局勤務同十四年六月機械局勤務トナル  
川崎市池田町三一  
今枝 信男 正六 法制局參事官

愛知縣人昭和五年東京帝大法學部法律科卒業  
判事ニ任ジ東京民事地方裁判所判事次ヲ企畫院調査官ニ轉ジ現時法制局參事官ヲ經テ東京市世田區松原町四ノ三八八松澤二二〇七

今尾 由太 正六 地方事務官 京都府警察

山口縣人舊姓白井ト稱ス明治廿七年十二月一日出生大正九年明治大學政經科卒業廣島市書記同主事社會課長同十五年社會局健康保險會書記昭和四年兼任社會局同年警視廳屬社會局屬次ヲ同七年地方事務官ニ任ジ愛媛縣勤務同十年警察部健康保險課長ヲ經テ同十三年六月現職ニ就ク  
京都府上京區室町中立賣上ル官舎西陣一〇〇一

今治 一雄 從五勳六 鐵道局技師 大阪鐵

兵庫縣熊吉長男明治卅五年一月三日出生大正十四年東京帝大卒業鐵道省ニ入り屬取工務課務大宮工務第一技術係主任鋼路工場長廣島鐵道局工作部車輛課長ヲ經テ昭和十四年四月現職ニ就ク  
ラグビー旅行團團長チエ子(明治卅九)嗣子武雄(昭六)二女町子(同四)大阪府大阪鐵道局内

今關 傳 正七 地方統計主事 千葉縣總

千葉縣人忠三郎長男明治廿年十月廿六日出生明治學院卒業大正十二年千葉縣統計課奉職昭

和九年任地方統計主事同十年現職ニ就ク  
妻サヨ子(明治廿一、千葉縣佐藤與惣次長女佐倉精華高女卒)長男昌(大二、千葉中卒)長女純江(同四、千葉高女卒)千葉市長洲町二丁目官舎九六六

今田 好太 正五勳六 德島縣立光慶圖書館

德島縣人明治四十二年廣島高師英語科卒業德島縣立養正中學校長ヲ經テ昭和十三年九月現職ニ就ク  
德島市富田中屋敷町

今田 卓爾 從五勳六 臺灣總督府澎湖廳長

岡山縣周吉ノ長男明治廿七年四月出生大正四年第六高校卒業警備保安部勤務次ヲ總督府ニ入り警務局保安課勤務警察課警務官警務課長高堆稅關監視部長殖産局警務所警務課長ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク  
運動ゴルフ  
妻千代(明治卅三、岡山縣雪宮喜佐治妹)長女光子(昭十一)澎湖廳馬公街馬公一三三

今松 治郎 部長 正五勳五 北海道廳部長 土木

愛媛縣佐一郎二男明治卅一年七月出生大正十一年東京帝大法科卒業同年高文合格同十二年北海道廳警視廳來地方警視和歌山縣勤務地方事務官官制勤務地方警視埼玉愛知各縣勤務地方事務官愛知京都各府縣勤務官制縣警務部長群馬縣警務部長警視廳官房主事茨城縣警務部長內務事務官內務書記官等歷任昭和十四年四月內務書記官地方局振興課長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク  
母ヌイ(明五)妻和子(同四)東京府安田繁三郎長女(男光一郎)昭八

八)札幌市北大通西五丁目官舎八三

今村 荒男 從四勳三 醫博 大阪帝大教授

奈良縣人幸男同奇男ノ弟明治廿年十月出生大正元年東京帝大醫科卒業現時大阪帝大教授タリ同十一年學位ヲ受ク  
妻ハル(明治卅、京都府石田英一郎姉)男勳(昭二)女文子(大五)女澄子(同八)女和子(同十)女玲子(同十三)西宮市南郊町五七二〇八

今村 亮雄 從四勳三 臺北帝大教授 文政

愛媛縣祐次四男明治十七年十一月出生同四十五年東京帝大文科支那哲學科卒業後大學院ニ入り爾來日本大學豐山大學東京農大學院大學院各講師松山高校教授廣島高師講師臺灣總督府臺北高校教授ヲ經テ昭和四年現職ニ任ズ  
妻ニ文政學部長タリ  
妻チエ(明治卅、長崎縣榮原光彰女)長男達夫(大十)三男三郎(同十三)二女マチ子(同十五)三女英子(昭四)同妻北市昭和町大學官舎四一八五

今村 純一 正六 大分縣立大分工業學校校長

岐阜縣人松永傳之助三男明治廿五年四月廿六日出生今村太一郎ノ養子トナル  
大正七年京都帝大電氣工學科卒業中部電力新瀉電燈各技師歷勤岐阜縣第一工業教諭ヲ經テ昭和十年七月現職ニ就ク  
弓道部部長妻定子(明四)嗣子純夫(大八、大分中卒)大分市中島五條通

今村 捷二 從六 大阪市立扇町商業學校校長

茨城縣人明治廿八年出生昭和十二年福島商業教諭次ヲ若松商業學校長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク  
大阪市北區野崎町同校内

今村 信次郎 從三勳一功五 海軍中將 秩父

舊米澤藩士藩次郎二男明治十三年五月出生大正二年分家明治廿五年海軍兵學校ヲ卒業翌年任海軍少尉昭和五年同中將ニ果敢ス其間海軍大學卒業日向艦長東京官制武官特從武官練習艦隊司令官舞臺港司令部第三艦隊司令官佐世保護守府司令官軍令部出仕等歷補昭和十一年三月豫備役被仰付同年十一月現職ニ任ズ  
妻馬(明治廿四、宮島信三女東京女高師附高女卒)長男一郎(同四五)三男信敏(大九)四男重信(同十一)五男五郎(同十三)東京市大森區新井宿四ノ一〇〇六大森五五〇二

今村 重人 正五勳六 東京府立第三商業學

福岡縣專太郎ノ長男明治廿四年十二月十二日出生大正五年東京高商卒業濱松市立大阪府立市岡各商業學校教諭靜岡縣立沼津商本縣立愛知縣立京都市立第二商業各校長ヲ經テ現職ニ就ク  
妻瑞枝(明治廿五、大石英吉二女福岡女師範卒)嗣子節之輔(大十)二女道子(同八)三女直子(同十四)男慶郎(昭五)男洋太郎(同八)

今村 守三 從七勳七 通信事務官 東京中

東京市杉並區天沼三ノ六二一  
中央電信局第二內信課長  
東京市大森區馬込町東三ノ七三三三六六九〇四

今宮 敏雄 正五勳四 關東局司政部長

大分縣孫市長男明治卅一年六月出生大正八年東京帝大法科卒業同七年高文合格內務省ニ入り果敢和歌山縣書記官警務部長若手縣書記官警察部長歷任昭和七年拓務書記官朝鮮第一







現職ニ就ク東京市杉並區松ノ木町一七  
 七 正五勳四 北海道廳部長 總務  
 岩上夫 部長  
 東京府人照雄ノ長男明治廿一年四月出生昭和  
 九年家督相續ス大正十年高文ニ合格翌十一年  
 東京帝大法學部英法科卒業任内務省南來山梨  
 縣理事官地方事務官大阪府工務監督官奈良岡山  
 縣知各縣書記官警務部長埼玉縣書記官總務部  
 長等ニ歷任昭和十三年警視廳部長警務部長兼  
 警務練習所長ヲ經テ同年十二月現職ニ就ク  
 妻國和(明治四一、千葉縣久保田專藏三女)  
 男嘉夫(昭五)女和代(同七)國札幌市北二條西  
 四丁目官舎八

岩川 寬 從三勳二 醫博 新潟醫大教授  
 青森縣常之進長男明治十三年十一月出生同四  
 十三年家督相續同廿九年東京帝大醫科卒業同  
 四十五年學位ヲ受ケ大正元年任新潟醫學教授  
 同附屬病院小兒科醫長同八年歐米ニ留學歸朝  
 後現職ニ就ク妻テニス(國妻ハル(明治十九、  
 新潟縣大塚益郎六女跡見女學卒) 男克信(大  
 四)男重雄(同五)女アツ(同七)女和子(同九)  
 三女サチ(同十四)國新潟市南濱通二ノ五二二  
 六一五

岩城 正五勳五 朝鮮總督府檢察 清  
 津地方法院檢察正  
 岡山縣人明治四十三年中央大學法科卒業朝鮮  
 總督府檢察平壤覆審法院檢察事海州地方法院檢  
 事正ヲ經テ昭和十四年現職ニ就ク國朝鮮清津  
 府巴町清津地方法院檢察事局氣付

岩城 從四勳三 奈良女高師教授  
 富山縣平二長男明治十一年三月出生大正九年  
 家督相續明治廿五年東京帝大文科卒業三重縣  
 立第一中學校教諭第四高師教授等ニ歷任ス  
 妻八重(明治十九、東京府寺內章明三女) 男  
 隆利(同四三)女佐保子(大八)女南都子(同十)  
 國奈良市法蓮町

岩城 正六 岩手縣書記官 經濟部長  
 三重縣人明治廿八年十一月十七日出生大正十  
 一年東京帝大法學部政治科卒業高文行政科合  
 格同十五年警視廳警部補同警部昭和三年警視  
 廳警視本所太平本鄉駒込四谷兩國各署長監察  
 官等歷任昭和十年地方事務官京都府總務部地  
 方課長ヲ經テ同十四年現職ニ就ク國盛岡市第  
 一地割内丸官舎二五

岩城 從五勳五 朝鮮總督府專賣局事  
 務官 大邱地方專賣局長  
 新潟縣彌市郎長男明治廿八年二月廿七日出生  
 大正六年選信官吏練習所卒業同十二年高文合  
 格警視廳警視神田西神田四谷各署署長消防司令  
 消防課長朝鮮忠清南道警察部長同總督府事務  
 官警察官講習所教官等歷職昭和十三年七月現  
 職ニ就ク妻キミ(明治卅一、新潟縣丸山國太  
 郎長女)長女和子(昭三)二女雅子(同十一) 國  
 大邱府同地方專賣局内

岩倉 規夫 從七 內閣書記官 內閣官房會  
 計課兼總務課課長  
 石川縣人正二年一月十五日出生昭和八年富  
 山高校同十二年東京帝大法學部獨法科卒業先  
 是同十一年高文司法科行政科各合格同十二年  
 三重縣廳兼警部同十三年地方警視同縣警務課

岩崎 從五勳三 陸軍歩兵大佐  
 長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就任ス 讀書  
 運動俳句東京市淀橋區西落合一ノ一五〇〇  
 落合長崎三五二二

岩崎 從五勳三 陸軍歩兵大佐  
 廣島縣人明治卅年出生士官學校第卅期卒業大  
 正六年任陸軍歩兵少尉後果進陸軍大學校卒業  
 陸軍省參謀本部等歷職軍務局軍事課員ヲ經テ  
 昭和十四年二月現職ニ就ク國東京市大森區田  
 園調布二ノ七八九國田園調布二五四三

岩崎 從七 軍事保護院理事官 傷痍  
 廣島縣人明治廿六年十月十一日出生大正九年  
 高文豫備試驗合格廣島縣ニ勤務同十五年同縣  
 屬調停官補兼工場監督官昭和二年社會局屬  
 福利課勤務同十四年傷兵保護院屬業務局勤務  
 ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク國愛知縣知多  
 郡大府町同療養所官舎

岩佐 從五勳四 判事 豊橋區裁判所  
 滋賀縣武平ノ長男明治十四年一月出生大正十  
 二年家督相續明治四十四年日本大學卒業判事  
 試驗ニ合格任判事小倉區名古屋地方裁判所各  
 裁判所判事岐阜區裁判所所長判事同地方裁判  
 所部長ヲ經テ昭和十一年五月前記ノ職ニ就ク  
 妻ゆき(明治廿四、滋賀縣人中川兵六三女)  
 男武衛(大八)女みち子(同九) 女のり子(同十  
 一)一男武文(昭三) 國豊橋市旭町三四八

岩崎 從七 地方事務官 鹿兒島縣學  
 務部長  
 鹿兒島縣土族明治廿八年六月一日出生昭和八  
 年舊姓關ヲ改稱ス先是大阪郡便爲替貯金支局  
 ニ勤務大正三年鹿兒島縣縣拜命同九年同縣屬

內務部會計課勤務昭和十一年總務部會計課長  
 事務取扱同十二年同課長ヲ經テ同十三年現職  
 ニ就ク國鹿兒島市藥師町三四四二〇七

岩崎 正五勳五 鐵山監督局長 福  
 東京府人正九年東京帝大工科採鑛冶金科卒  
 業商工省ニ入り果進鐵山監督局長東京鐵山  
 監督局勤務札幌鐵山監督局長ヲ經テ昭  
 和十四年現職ニ就ク國福岡市土手町福岡鐵山  
 監督局内

岩崎 職業主事 江東橋務労働業紹介  
 所長  
 東京府人明治卅二年十一月十八日出生大正十  
 一年日大專門部法科卒業南千住役場書記庶務  
 社會各課長ヲ經テ東京市事務員同市書記江東  
 橋務紹介所長トナリ昭和十三年職事主事ニ  
 任ズ國東京市本所區綠町四同所内

岩崎 從四勳四 警務局長 秋田警  
 務局長  
 岩手縣賢次郎長男明治十六年十一月出生同廿  
 七年家督相續同四十五年東京帝大農科林學科  
 卒業爾來林務技師山林技師農商務技師歷任大  
 正十三年警務局長任テ現職ニ就ク妻  
 トメ(明治卅一、岩手縣久慈政爲三女)長男正明  
 (昭三)長女アイ(大七) 國秋田市橋山上本町一  
 七四一〇八九

岩崎 從五勳五 水道局給水課長  
 東京府福松長男明治廿一年三月卅日出生大正  
 二年東京帝大工科大學土木科卒業東京市水道  
 局ニ入り技師トナリ淨水課長ヲ經テ現職ニ就  
 ク妻ニ歐米各國ヲ視察ス 讀書旅行運動  
 妻いまい子(明治卅一、群馬縣藤原太郎長女

岩崎 從四勳三 奈良女高師教授  
 桐生高女卒)長男保久(大十四)長女靖子(同  
 十)二女和子(昭二) 國東京市淀橋區角管二ノ  
 一〇〇淨水場公舎

岩崎 從七 警務局長 警務局長  
 福島縣人明治十九年十二月廿一日出生同四十  
 二年東北帝大農科林學實科卒業同大學助手北  
 海道帝大助手山林技師兼任農林技師ヲ經テ昭  
 和十三年警務局長農林技師ニ任テ東京警  
 務局長山林局勤務同十五年五月免兼官前記ノ  
 職ニ就ク妻ニ同十三年學位ヲ受ケ國青森市大  
 字沖館青森警務局長内

岩崎 從六 警務局長 軍事保護院醫官  
 傷痍軍人愛知療養所長  
 群馬縣人明治卅五年十一月廿八日出生大正十  
 五年東京帝大醫學部醫學科卒業同大學副手次  
 等助手同副手名古屋帝大講師歷職昭和十三  
 年十二月傷兵保護院醫官同十四年四月傷兵保護院  
 醫官傷痍軍人愛知療養所長ニ任テ同年七月官  
 制改正軍事保護院醫官トナル 國愛知縣知多郡  
 大府町同療養所官舎

岩崎 從五勳四 石巻市長  
 宮城縣土族岩崎亭平四男明治廿年十月出生同  
 四十年陸軍歩兵少尉任官昭和五年同中佐ニ果  
 進豫備役トナル妻ニ宮城縣方面委員石巻市協  
 和會長及帝國在郷軍人會石巻聯合分會會長タリ  
 國野球劍道曲藝國長男正孝(大十一)、石巻  
 商業卒)二男悟(大十四)三男英和(昭二) 四男  
 守男(昭八)長女和子(大九、石巻高女卒) 二女  
 順子(大十、同高女卒)三女允子(昭四) 國石巻  
 市日和東山二九〇九三

岩崎 從五勳三 陸軍歩兵大佐  
 長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就任ス 讀書  
 運動俳句東京市淀橋區西落合一ノ一五〇〇  
 落合長崎三五二二

岩崎 從五勳三 陸軍歩兵大佐  
 廣島縣人明治卅年出生士官學校第卅期卒業大  
 正六年任陸軍歩兵少尉後果進陸軍大學校卒業  
 陸軍省參謀本部等歷職軍務局軍事課員ヲ經テ  
 昭和十四年二月現職ニ就ク國東京市大森區田  
 園調布二ノ七八九國田園調布二五四三

岩崎 從七 軍事保護院理事官 傷痍  
 廣島縣人明治廿六年十月十一日出生大正九年  
 高文豫備試驗合格廣島縣ニ勤務同十五年同縣  
 屬調停官補兼工場監督官昭和二年社會局屬  
 福利課勤務同十四年傷兵保護院屬業務局勤務  
 ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク國愛知縣知多  
 郡大府町同療養所官舎

岩佐 從五勳四 判事 豊橋區裁判所  
 滋賀縣武平ノ長男明治十四年一月出生大正十  
 二年家督相續明治四十四年日本大學卒業判事  
 試驗ニ合格任判事小倉區名古屋地方裁判所各  
 裁判所判事岐阜區裁判所所長判事同地方裁判  
 所部長ヲ經テ昭和十一年五月前記ノ職ニ就ク  
 妻ゆき(明治廿四、滋賀縣人中川兵六三女)  
 男武衛(大八)女みち子(同九) 女のり子(同十  
 一)一男武文(昭三) 國豊橋市旭町三四八

岩崎 從七 地方事務官 鹿兒島縣學  
 務部長  
 鹿兒島縣土族明治廿八年六月一日出生昭和八  
 年舊姓關ヲ改稱ス先是大阪郡便爲替貯金支局  
 ニ勤務大正三年鹿兒島縣縣拜命同九年同縣屬

岩崎 從五勳六 農林技師 經濟更生  
 新潟縣人大正十二年東京帝大農學部農藝化學  
 科卒業農林省ニ入り農林技師兼農産組合事務  
 官經濟更生部農産組合課勤務ヲ經テ現職ニ就  
 ク國東京市杉並區大宮前二ノ六一二

岩崎 從五勳五 地方技師 京都府土  
 熊本縣人古閑俊太ノ四男明治廿二年十一月出  
 生大正五年岩崎欽二郎ノ養子トナル同年九州  
 帝大工科土木科卒業本縣技師同縣建築技師  
 土木技師土木工事道路技師兼土木技師地方技  
 師高知茨城岐阜長野各縣勤務等歷任昭和十年  
 現職ニ就ク妻テヨ(明治廿八、養父欽二郎長  
 女)長女文(大八)二女皆子(同十三)三女みよ  
 子(昭三) 國京都市左京區吉田近衛町二六ノ一  
 官舎國上三二二〇

岩崎 從五勳五 內務技師 東京土木  
 廣島縣熊助ノ男明治廿五年六月出生大正七年  
 京都帝大工科土木科卒業內務技師拜命大臣官  
 房都市計畫課勤務大分縣勤務同縣土木技師同  
 縣技師等歷任同十年內務技師土木局第一技師



課勤務ヲ經現時前記ノ任ニ在リ其間臨時災  
救護事務局事務官被命昭和四年歐米出張同七  
年臨時土木監察委員被命運動會委員  
(明廿九、廣島縣東條榎長女廣島高女卒東京府  
立第二高女卒)長女仁子(大七)一女聰子(同  
八、東洋高女卒)東京市小石川區原町一三  
大塚四〇四八

岩田 正八 地方事務官 鹿兒島縣總  
務部庶務課長明治廿四年九月四日出生大正十  
三年同縣稅務課長同十五年同縣屬內  
務部庶務課長昭和十三年總務部會計課長  
兒島市下龍尾町六三〇二四四四  
岩田 正五 青森縣書記官 總務  
山口縣人明治廿八年六月廿一日出  
生大正十年高文二合格同十一年東京帝大法學  
部獨法科卒業野縣屬同警部巡查教育所長地  
方警視廳兒島縣保安課長福岡縣保安警務各課  
長岡山愛知各縣特高課長任地方事務官岡山縣  
學務課長兼社寺兵事課長商工水產課長兵庫縣  
地方課長兼知事官房主事千葉縣書記官學務部  
長等歷任昭和十一年京都府書記官學務部長  
經同十四年四月現職一就任ス  
登山 妻月子(明廿六、大分縣宮永縣吉長女  
中津高女卒)長男忠博(昭二)長女リツ子(同  
四)二女美成子(同五)三女隆子(同八)青森  
市大野官舎二〇一七

岩田 正五 勳功七 判事 鶴岡區裁  
判所書記官兼山形地方裁判所  
長野縣寅次二男明治十二年四月出生同四十五  
地方警視ニ任シ鹿兒島縣特高課長ヲ經テ同十  
五年四月現職ニ任ズ(妻三子(明四五、千  
葉縣白井正之介二女三輪田女卒)長女節子  
(昭十二)二女隆子(同十三)仙臺市外記下一  
八官舎二二六〇

岩田 正七 地方事務官 福島縣經濟  
部農務課長  
愛知縣人明治廿七年四月十九日出生大正十三  
年普通合格愛知縣屬拜命同十四年同縣統計主  
事補同翌年縣稅務課長同二年縣參事會書記  
同三年任內務屬地方局勤務同十一年十一月地  
方事務官ニ任シ爾來福島縣社會課長水產課長  
地方課長兼總動員課長等ヲ經テ現職ニ就任ス  
福島市舟場町三官舎九六五

岩田 正七 地方事務官 青森縣書記官  
岩田 正八 地方事務官 鹿兒島縣總  
務部庶務課長明治廿四年九月四日出生大正十  
三年同縣稅務課長同十五年同縣屬內  
務部庶務課長昭和十三年總務部會計課長  
兒島市下龍尾町六三〇二四四四  
岩田 正五 青森縣書記官 總務  
山口縣人明治廿八年六月廿一日出  
生大正十年高文二合格同十一年東京帝大法學  
部獨法科卒業野縣屬同警部巡查教育所長地  
方警視廳兒島縣保安課長福岡縣保安警務各課  
長岡山愛知各縣特高課長任地方事務官岡山縣  
學務課長兼社寺兵事課長商工水產課長兵庫縣  
地方課長兼知事官房主事千葉縣書記官學務部  
長等歷任昭和十一年京都府書記官學務部長  
經同十四年四月現職一就任ス  
登山 妻月子(明廿六、大分縣宮永縣吉長女  
中津高女卒)長男忠博(昭二)長女リツ子(同  
四)二女美成子(同五)三女隆子(同八)青森  
市大野官舎二〇一七

岩田 正七 地方事務官 青森縣書記官  
岩田 正八 地方事務官 鹿兒島縣總  
務部庶務課長明治廿四年九月四日出生大正十  
三年同縣稅務課長同十五年同縣屬內  
務部庶務課長昭和十三年總務部會計課長  
兒島市下龍尾町六三〇二四四四  
岩田 正五 青森縣書記官 總務  
山口縣人明治廿八年六月廿一日出  
生大正十年高文二合格同十一年東京帝大法學  
部獨法科卒業野縣屬同警部巡查教育所長地  
方警視廳兒島縣保安課長福岡縣保安警務各課  
長岡山愛知各縣特高課長任地方事務官岡山縣  
學務課長兼社寺兵事課長商工水產課長兵庫縣  
地方課長兼知事官房主事千葉縣書記官學務部  
長等歷任昭和十一年京都府書記官學務部長  
經同十四年四月現職一就任ス  
登山 妻月子(明廿六、大分縣宮永縣吉長女  
中津高女卒)長男忠博(昭二)長女リツ子(同  
四)二女美成子(同五)三女隆子(同八)青森  
市大野官舎二〇一七

岩田 正七 地方事務官 青森縣書記官  
岩田 正八 地方事務官 鹿兒島縣總  
務部庶務課長明治廿四年九月四日出生大正十  
三年同縣稅務課長同十五年同縣屬內  
務部庶務課長昭和十三年總務部會計課長  
兒島市下龍尾町六三〇二四四四  
岩田 正五 青森縣書記官 總務  
山口縣人明治廿八年六月廿一日出  
生大正十年高文二合格同十一年東京帝大法學  
部獨法科卒業野縣屬同警部巡查教育所長地  
方警視廳兒島縣保安課長福岡縣保安警務各課  
長岡山愛知各縣特高課長任地方事務官岡山縣  
學務課長兼社寺兵事課長商工水產課長兵庫縣  
地方課長兼知事官房主事千葉縣書記官學務部  
長等歷任昭和十一年京都府書記官學務部長  
經同十四年四月現職一就任ス  
登山 妻月子(明廿六、大分縣宮永縣吉長女  
中津高女卒)長男忠博(昭二)長女リツ子(同  
四)二女美成子(同五)三女隆子(同八)青森  
市大野官舎二〇一七

岩田 正七 地方事務官 青森縣書記官  
岩田 正八 地方事務官 鹿兒島縣總  
務部庶務課長明治廿四年九月四日出生大正十  
三年同縣稅務課長同十五年同縣屬內  
務部庶務課長昭和十三年總務部會計課長  
兒島市下龍尾町六三〇二四四四  
岩田 正五 青森縣書記官 總務  
山口縣人明治廿八年六月廿一日出  
生大正十年高文二合格同十一年東京帝大法學  
部獨法科卒業野縣屬同警部巡查教育所長地  
方警視廳兒島縣保安課長福岡縣保安警務各課  
長岡山愛知各縣特高課長任地方事務官岡山縣  
學務課長兼社寺兵事課長商工水產課長兵庫縣  
地方課長兼知事官房主事千葉縣書記官學務部  
長等歷任昭和十一年京都府書記官學務部長  
經同十四年四月現職一就任ス  
登山 妻月子(明廿六、大分縣宮永縣吉長女  
中津高女卒)長男忠博(昭二)長女リツ子(同  
四)二女美成子(同五)三女隆子(同八)青森  
市大野官舎二〇一七

年明大法科卒業大正五年辯護士試驗翌年判檢  
事試驗ニ各合格司法官試補同八年判事ニ任シ  
東京地方石巻區青森地方新庄大曲各區裁判所  
判事大館區裁判所監督兼秋田地方大館支部々  
長等歷任米澤區裁判所監督兼山形地方米澤支  
部々長ヲ經テ昭和十五年三月現職ニ就ク  
讀書運動益裁(妻元代(明十四、長野縣金森  
寧濟二女)養子武三郎(大六、京都帝大在)養子  
美代子(同十一、岩下茂吉二女)鶴岡市馬場  
町同所内一四九

岩田 正七 地方視學官 群馬縣學務  
部庶務課長  
栃木縣人明治廿七年二月廿一日出生大正十二  
年山形高女同十五年東京帝大文學部教育學科  
各卒業更ニ昭和八年同大學院ニ學ブ先是大正  
十五年青森縣師範教授補爾來同教授栃木縣  
下都賀郡大谷尋常高小南校代用教員同訓導兼  
大谷南農業補習教諭山形縣女子師範教諭同縣  
立寒河江中學校校長等歷任昭和十三年九月現職ニ  
就ク(前橋市石川町一〇ノ一三〇九八

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

岩田 正七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十一 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十二 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十三 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十四 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十五 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十六 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十七 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十八 通信技師兼電信局技師  
岩田 正十九 通信技師兼電信局技師  
岩田 正二十 通信技師兼電信局技師

立農學校卒業岐阜縣農會同縣稻葉郡ニ勤務大  
正十五年同縣屬拜命昭和二年同縣土木書記  
務部土木課勤務同五年同縣道路主事ニ任シ同  
十四年四月土木部監理課長ニ就任ス(岐阜市  
啓運町同岐阜市西野町五〇四二九一  
岩田 正五 北海道帝大農科教授  
千葉縣人佐藤半次四男明治廿年四月出生大正  
四年先代左和ノ入夫トナリ家督相續明治四十  
四年東京高師數學專修科卒業千葉縣立大多喜  
中學教諭拜命後東北帝大理科數學科ニ入り大  
正五年卒業福岡縣立修猷館中學校教諭ヲ經テ  
現職ニ任ズ(妻左和(明廿八、先々代小平  
長女)長男善彦(大七)長女美代(同九)二男和  
夫(同十三)二女房(昭二)同札幌市北大通東七  
ノ一二二七一四

岩田 正五 勳功四 理博 東北帝大教授  
長崎縣延次郎三男明治廿七年十一月十四日出  
生大正七年京都帝大物理學部純正化學科卒業同  
大學東北帝大各講師東北帝大助教歷任昭和  
三年同教授ニ進ム(妻トナリ(妻福子  
(明廿八、京都府北川與牧兵衛妹京都第一高女  
卒)長男慶昭(昭二)二男慶和(同四)三男慶孝  
(同九)仙臺市北六番丁二二二五

岩田 正七 地方警視 宮城縣警察部  
特高課長  
愛知縣人七六ノ三男明治四十一年三月廿日豐  
橋市ニ出生昭和五年山形高女卒業同七年高文  
行政科同司法科各合格同八年東京帝大法學部  
法律學科卒業東京府ニ勤務同十二年六月任地  
方事務官福岡縣總務部監理課長同十三年二月

愛知縣人明治廿年九月四日同四十四年愛  
知縣專卒業警視廳ニ奉職後關東廳滿鐵本社各  
勤務社會局技師等ヲ經テ神戶市ニ入り昭和三年  
醫博ノ學位ヲ受ク(妻三子(明廿一)同神戶  
市須磨區離宮西町一ノ一八〇一三二八

山口縣文學士長男明治十二年十二月出生同廿九  
年家督相續同廿八年法政大學專門部法律科卒  
業東京市下谷區役所書記大正二年判檢事登用  
試驗合格任判事爾來水戶靜岡甲府各地方下妻  
松本飯田各區裁判所判事甲府地方裁判所部長  
高崎區裁判所監督兼前橋地方裁判所高崎支部  
々長等歷補昭和十一年現職ニ任ズ(妻道吟  
詠(妻タカ(明十七、東京府岩崎區大郎長  
女)男龍一(大元)女道子(同四)女信子(同六)  
二男龍彦(同八)三男精(同十)四男大(同十三)  
五男實(昭二)同長岡市神明町官舎一八一二  
岩田 正五 勳功四 醫博 千葉醫大教授  
岡山縣谷野瀧治四男明治廿六年一月出生岩津  
房次郎ノ養子トナル大正七年東京帝大醫學部  
卒業同十五年千葉醫大助教拜命昭和十三年  
十月任同教授附屬醫院長ニ補セラレ同十五年  
四月辭ス(妻三子(明廿三)妻泰子(明廿三、養父房次郎  
長女京都府立第二高女卒)長男英雄(大十五)  
長女京子(同十)同千葉市富士見町一七一〇一  
三一四

岩田 正七 理博 廣島文理大教  
授  
新潟縣士族持照ノ二男明治廿七年一月出生大

岩田 正七 理博 廣島文理大教  
授  
新潟縣士族持照ノ二男明治廿七年一月出生大

岩田 正七 理博 廣島文理大教  
授  
新潟縣士族持照ノ二男明治廿七年一月出生大



正七年東北帝大理科數學科卒業山口高校教授  
受ク同年現職ニ轉ズ(國)妻フミ(明廿二)新潟  
縣解良利貞六女)男昱夫(昭三)女壽美子(大  
十)一女英子(同十四)廣島市平野町

岩三 正六 醫學博士 軍事保護院醫官  
和歌山縣光之助三男明治廿七年十月廿九日同  
縣那智郡田中村ニ出生大正十年大阪醫大卒業  
農ニ歐米ニ留學大阪醫大醫學部小澤内科ニ勤  
務昭和二年學位ヲ受ク小澤内科退職後現職ニ  
就ク(國)妻信(明廿六)山野宮樟二女  
和歌山縣立一高女卒)長女昭代(昭二)二女政  
子(同三)三女泰子(同六)大阪府南區久左衛  
門町三二番南三一五六

岩名 昇 從五勳五 地方統計主事 青森  
縣總務部統計課長  
福島縣人明治十四年十一月廿日出生同廿二年  
同縣屬拜命次之同縣書記產業主事補國勢院屬  
國勢院統計官補德島縣屬德島新瀨各縣產業主  
事主任大正十四年地方統計主事ニ任ジ新潟縣  
統計主事ヲ經テ昭和四年青森縣ニ轉ズ(國)青森  
縣東郡濱館村縣營住宅北一七號(昭三)七四二  
岩永 賢一 正七 內務事務官 大臣官房文  
書課  
鹿兒島縣人三省ノ長男明治四十年五月二日同  
縣肝屬郡内之浦町ニ出生昭和四年第一高校卒  
業同六年高文行政科及司法科合格同七年東京  
帝大法學部法律學科卒業內務屬拜命爾來地方  
局土木局大臣官房文書課各勤務地方事務官山  
口縣農務課長等歷任同十三年傷兵保護院事務  
官業務局勤務ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク

岩波 喜代登 從五勳五 和歌山縣師範學校長  
長野縣人橫山喜代三郎三男明治廿五年八月十  
六日出生岩波定治ノ養子トナル大正五年東京  
高師數物化學科卒業熊本縣第二師範本中學  
京都公立高女各教諭京都師範主事同府視學官  
栃木縣宇都宮第二高女同縣女子師範各校長歷  
職昭和十年現職ニ就ク著書ニ(私どもの數學)  
(度量衡の話等)アリ(國)妻ヨリ子(明廿七)長  
野縣本川寅次郎長女松本高女卒)長男正昭(昭  
二)長女一子(大七)宇都宮高女卒)二女ノリ子  
(大九)同校卒)二男春喜(昭七)和歌山市眞  
砂町官舎(昭五)一三

岩波 武信 從四勳三 內匠頭  
長野縣武左衛門二男明治十五年六月出生大正  
十二年分家明治四十二年東京帝大法科獨法科  
卒業官內省ニ入り帝室林野管理局事務官帝室  
會計検査官官內事務官後官內書記官式部官兼

陸軍砲兵少尉タリ (國)庭球乘馬(國)妻孝子  
(大三)高知縣齋藤孝二郎長女大阪府立茨木女  
學卒)長女冴子(昭十二)東京市中野區新井  
町九九八  
岩永 仁雄 正五勳四 醫學博士 大阪帝大教授  
長崎縣土族林作ノ長男明治廿三年二月出生大  
正五年九州帝大醫科卒業同大學助手助教大  
阪醫大教授ヲ經テ昭和六年現職ニ就ク大正十  
四年歐米各國ニ留學同十二年學位ヲ受ク(國)  
妻澤江(明廿三)長崎縣本川仙舟孫)嗣子剛(昭  
六)長女その(大九)一女慶子(同十二)三女紀  
代子(昭三)四女俊子(同十)西宮市安井町一  
九(昭一)七九九

任宗秩寮庶務課長兼宗親課長大臣官房總務課  
長ヲ經テ昭和十一年現職ニ就ク(國)妻京(明  
廿三)山口縣土族榎木幹雄妹)男輝俊(大十一)  
女靜子(同九)東京市四谷區本村町三三番四  
谷八七〇  
岩瀨 邦男 從四勳五 商工技師 機械局中  
央度量衡檢定所勤務  
千葉縣人鎌田助次ノ三男明治廿二年九月出生  
大正六年岩瀨祐治ノ養子トナル同七年京都帝  
大工科機械工學科卒業國勢院農商務各技師ヲ  
經テ同十四年商工技師ニ任ジ現時機械局中央  
度量衡檢定所勤務タリ(國)妻父祐治(明五)養  
母五(同十一)妻きよ(同廿八)養父祐治長  
女(男淳一郎(大七)二男博(同十)四男敏夫(同  
十三)東京市淀橋區西大久保三ノ九一  
岩野 稔 正五勳四 判事 名古屋地方裁  
判所部長  
長野縣人明治廿五年四月出生大正十五年家督  
相續同五年京都帝大法科法律學科卒業後辯護  
士トナリ米國コロンビア大學ニ學ビ同九年歸  
朝同十年任判事爾來熊本濱濱札幌札幌各地  
裁判所判事同部長名古屋區同地方裁判所判  
事歷任昭和十一年七月現職ニ補ス(國)妻ツル  
(明廿七)男正(大十)二男直(同十三)三男尙  
(昭二)同名古屋市東區赤荻町一ノ二(昭東六  
〇六五  
岩橋 小彌太 從五勳五 史料編纂官 東京帝  
大史料編纂所勤務  
京都府土族破鬼多長男明治十八年十月出生同  
廿六年家督相續同四十年國學院大學卒業京都  
帝大文科助手史料編纂官國學院明治各大學教  
授東京文理大講師兼任等ヲ經テ現職ニ就ク

和歌山縣常之丞ノ長男明治十八年一月五日出  
生同四十年廣島高師卒業新潟縣高田長野縣各  
師範教諭釜山海草高津各中學教諭大阪府立風  
中學同天王寺中學各校長等歷職後現職ニ就ク  
妻ニ歐米滿支ヲ視察ス(國)旅行スポーツ(國)  
妻季子(明廿五)和歌山縣山東重成三女縣立高  
女卒)嗣子剛(大十四)二女美惠子(同三)二女  
華子(昭四)大阪府住吉區西長居町二一七番  
住吉二〇九五  
岩橋 元亮 東京市技師 東京市深川廣芥處  
理工場長 試驗所長  
京都府土族元亮ノ二男明治廿六年七月廿日出  
生大正七年京都帝大工科工業化學科卒業セラ  
チン製造アルミニウム製練マダネシニウム  
製造等ニ從事同八年大阪府ニ奉職同十三年東  
京市ニ轉ジ現職ニ就ク妻ニ歐米ヲ視察ス(國)  
讀書(國)妻富美子(明卅)富田直登長女京都市  
立第一高女卒)長男元成(大十四)東京市大  
森區池上德持町七九  
岩瀨 彰 從四勳三 檢事 長崎地方裁判  
所檢事長  
栃木縣太郎平ノ三男明治十八年二月出生同四  
十四年東京帝大法科卒業大正二年檢事ニ任ジ  
爾來名古屋地方同區金澤區同地方東京區同地  
方新潟區同地方各裁判所檢事東京控訴院檢事  
姫路區裁判所檢事兼神戸地方姫路支部檢事等  
歷補昭和十一年宮崎地方裁判所檢事正同十二

年六月高知地方裁判所檢事正ヲ經テ同十四年  
現職ニ任ズ(國)妻キミ(明廿九)栃木縣鈴木長  
壽妹)長男康郎(大十五)女靜子(同七)女澄子  
(同十二)二男芳夫(昭四)長崎市馬町官舎(昭  
四)一  
岩部 成城 東京市主事 市民局庶務課長  
香川縣龜士ノ男明治廿二年十月廿八日出生同  
四十一年高松商業卒業滿鐵鐵礦炭礦ニ入り庶  
務主任機械課事務主任本社商工課庶務主任ニ  
歷勤昭和四年東京市主事ニ轉ジ電氣研究所第  
三課長社會局福利課長ヲ經テ現職ニ就ク(國)  
弓術(國)妻ヨシエ(明卅九)香川縣三木右門三  
女高松高女卒)長男成仁(大十一)長女美彌子  
(同十四)二女富士子(昭二)二男一成(同四)東  
京市世田谷區經堂町一五五番世田谷四三三番  
岩松 玄十 正四勳三 檢事 長崎控訴院檢  
事長  
佐賀縣繁義ノ六男明治十四年二月出生同四十  
四年分家同四十四年東京帝大法科英法科卒業  
司法官試補同四十四年任判事後檢事ニ轉ジ爾  
來奈良東京長野千葉各區同地方裁判所檢事ニ  
歷任昭和二年千葉地方裁判所檢事正次ヲ臺灣  
總督府法院檢察官橫濱地方裁判所檢事正東京  
控訴院檢事司法省行刑局長等歷補同十一年十  
二月宮城控訴院檢事長ヲ經テ同十四年九月現  
職ニ補サル妻ニ大正十五年歐米各國ニ出張ス  
(國)國基撞球(國)妻ツナ(明廿二)佐賀縣伊丹  
誠一三女佐賀高女卒)長男慎太郎(大二)二男  
悌二郎(同五)長崎市馬町官舎(昭四)三九  
岩松 五夏 正五 關東局在滿教務部長  
東京府兼經ノ四男明治卅一年一月廿日出生大

正十三年東京帝大法學部卒業爾來東京帝大講  
師海軍兵學校教官文部省社會教育官文部事務  
官司書記官實業學務局農林教育課長等歷任昭  
和十二年十一月普通學務局學務課長同十四年  
一月兼任大臣秘書官大臣官房秘書課長同年九  
月文部省實業學務局長航海練習所長ヲ經テ同  
十五年四月現職ニ就ク尙東京帝大附屬農林教  
員養成所東京高等農林學校明治大學各講師タ  
リ(國)旅行水泳乘馬(國)妻フミ子(明卅六)鈴  
木濟美三女府立第一高女卒)嗣子良(大十二)  
二男秀(同十五)新東京中央通關東局氣付  
岩松 三郎 正五勳五 司法研究所指導官  
東京府兼經二男明治廿六年十二月出生大正八  
年分家同六年東京帝大法科卒業司法官試補拜  
命任判事東京橫濱各地方裁判所判事東京控訴  
院部長大審院判事等ニ歷補昭和十四年七月現  
官ニ補セラル(國)妻ゆらこ(明卅六)愛知縣稻  
葉林之助養子)長男貞夫(大十三)二男益二(昭  
二)東京市世田谷區野澤町一ノ四九番世田  
谷四三五二  
岩松 觀 從七勳七 地方警視 鹿兒島縣  
警察部警務課長  
鹿兒島縣土族明治廿六年六月廿六日出生同四  
十五年縣立第二鹿兒島中學卒業大正四年同縣  
巡查拜命同八年警部補同十三年任警部警察部  
警務課勤務大口伊集院各警察署長警察部特高  
課勤務昭和五年兼任同縣屬同十年川內警察署  
長翌年警察部保安課長歷任同十二年六月地方  
警視ニ任ジ川內警察署長ヲ經テ同十四年六月  
現職ニ就ク(國)鹿兒島山下町七二番一七三二



**增 正四勳一 陸軍中將 中部防衛**  
 愛知縣人明治十九年五月出生同廿八年陸軍士官學校卒業任陸軍步兵少尉昭和十二年陸軍中將五師團參謀本部參謀長步兵第二聯隊長第五師團參謀長本部參謀長步兵第一旅團長臺灣守備隊司令官等歷補昭和十五年三月現職二補七十九 妻榮(愛知縣土族小出秀滿長女名古屋市立高女卒)女義子、女喜久榮(大阪府市東區中部防衛司令部部内)

**增 從七 地方事務官 愛知縣學務**  
 福岡縣人秀吉ノ長男明治卅年十二月九日出生大正十三年中央大學專門部經濟科卒業同十四年千葉縣屬昭和四年內務省對策調查會書記神戶縣振興委員會書記任同十二年任地方事務官愛知縣總務部地方課勤務ヲ經テ同十二年九月現職ニ就ク 妻孝(明治卅五年、福島縣龜山與一郎三女)長男俊英(大十二、鞍手中學在)二男陽千(同十五)三男秀博(昭二)長女スガ子(同五)四名古屋市千種區田代町山下二六〇千種八〇三

**增 和 豐支場勤務 豐林試驗場技師 武**  
 愛媛縣人舊姓桑原ト稱ス明治廿五年十月十五日出生大正六年京都高等實業學校本科卒業愛媛縣知事原種製造所技師愛知縣產業技師同縣實業試驗場技師地方農林技師愛知縣農林技師同縣實業試驗場技師岩津支場長ヲ經テ昭和十年實業試驗場技師ニ任シ明石支場勤務同十三年武豐支場勤務トナル 愛知縣知事多郡武豐町宇大屋敷二六ノ一

**增 從五 理博 地方商工技師 愛**  
 兵庫縣正ノ長男明治廿年六月十一日出生大正二年東京帝國大學理學部化學科卒業金屬業研究所技師滿鐵中央試驗所職員東京帝國大學理學部職託等歷勳章ニ現職試驗場長タリ 妻可惠子(明治廿八年、岡山縣久山毅範長女清水谷高女卒)長男仁(大十二)長女榮子(同八、金城高女卒)二女百重(同十)三女明子(同十四)四名古屋市南區櫻見町二ノ八 瑞穂八六〇

**增 從四勳二 海軍中將 軍令部出**  
 佐賀縣人故貴族院議員錦鷲間祇候定高ノ五男明治廿二年九月出生後分家又同四十二年海軍兵學校卒業同四十四年任海軍少尉昭和十四年同中將ニ累進ス其間海軍大學卒業來檢艦長海軍省副官兼大臣秘書官英國大使館附武官軍令部參謀第一遣外艦隊司令官附同參謀軍令部出仕兼海軍省出仕矢矧阿武隈各艦長海軍省副官第三艦隊參謀長同十二年橫須賀鎮守府參謀長同十三年艦隊本部總務部長ヲ經テ現官ニ任ゼラル 妻美須代(明治卅一年、佐賀縣高木八尺養妹)長男一(大九)二女八重子(同十二)三男江三(昭四)四名在中華民國日本大使館内

**增 成 正五勳四 式部職御用掛**  
 東京府成績長男明治九年六月八日出生同卅年外務省ニ入り支那各地ニ歴勤爾來副領事奉天鄭家屯南京鐵嶺駐在領事支那公使館勤務公使館二等書記官外務省文化事業部勤務公使館一等書記官等ヲ經昭和八年退官同十一年五月現職ニ就ク 妻美須代(明治卅一年、佐賀縣高木八尺養妹)長男一(大九)二女八重子(同十二)三男江三(昭四)四名在中華民國日本大使館内

**增 從四勳五 樺太廳中央試驗所技**  
 東京府士族正一郎二男明治廿二年八月出生兄熊雄ノ養子トナル大正四年東北帝大農科農學科卒業樺太廳技師同農事試驗場技師同技師ヲ經テ昭和四年中央試驗所技師ニ任シ現時宇遠泊支所長タリ 妻父熊雄(明治四)養母サ(同十三)妻英(同卅四、北海道東海林長治孫)長男達雄(大十二)女啓子(同十一)二女正子(同十四)二男忠雄(同十五)三男剛雄(昭三)四名樺太廳原郡豐北村中央試驗所内

**增 從七 地方事務官 靜岡縣學務**  
 大阪府人明治卅三年十一月八日東京市ニ出生昭和三年關西大學專門部法科卒業同八年高文合格先是同三年社會局屬拜命同十三年一月厚生局ニ轉シ同年六月地方事務官ニ任シ現職ニ就任ス 妻國子(長男九嗣(昭九)二男尹嗣(同十一)長女文子(同八)三名靜岡市安東三丁目九號官舎三九八一

**增 從四勳四 京都市電氣局長**  
 英吉姉(長男成正(大八、東文化學院高等科卒)二男成典(同四)長女ヤチ子(同八)三名東京市麻布區斧町一七六 赤坂五一〇七

**增 從四勳三 判事 大分地方裁判**  
 熊本縣大九郎ノ長男明治十三年十一月出生同四十四年東京帝國大學法科卒業同四十四年判事ニ任シ爾來京都區大阪區同地方判事各裁判所判事大阪控訴院判事大阪地方裁判所部長大阪長崎各控訴院部長等ニ歷補佐賀地方裁判所長ヲ經テ昭和十四年九月現職ニ任ゼラル 妻イト(明治十八、熊本縣野田耕藏妹)四名分市金池町官舎八

**增 正四勳二 檢事 檢事總長**  
 故男爵岩村通俊五男岩村俊武ノ弟男爵岩村一木ノ兄明治十六年八月出生大正二年分家明治四十四年東京帝國大學法科法律科卒業任檢事司法省參事官兼秘書官檢事官兼司法書記官任其間東京區兼同地方各裁判所檢事大臣官房秘書長東京地方裁判所東京控訴院各檢事官古屋東京各地方裁判所檢事正歴職昭和十年司法省行刑局長同十二年大審院檢事次官司法官ヲ經テ同十五年一月現職ニ就ク 妻實美(明治卅一年、東京府學部卒)長男通正(大十二、京都帝大卒)二男竹俊(同十)三男敏通(同十二)四男保通(昭二)四名東京市杉並區萩窪二ノ一〇三 萩窪四一七八

**增 營治 從四勳四 橫濱高商教授**  
 愛知縣土族下方員齋孫明治十九年八月出生同廿六年先代彌十郎ノ養子トナリ昭和六年家實相續明治四十四年東京高商專攻部保險科卒業

三重縣立四日市商業教諭山口神戸各高商教授歷任大正十二年歐米ニ留學現時前記職ニ在リ

**增 散步讀書 妻しな(明治廿七、三重縣土族**  
 岩脇林之丞二女四日市高女卒)男治郎(大七)女英(同十一)三男龍平(同八)四女芳(同十五)名橫濱市中區南太田町二ノ一九一

**增 正六勳六 地方技師 青森縣經**  
 明治廿三年三月廿三日出生大正二年盛岡高等農林學校林學科得業福島縣技師同縣林業技師新潟縣技師同縣產業技師同縣農林技師內務部林務課勤務兵庫縣農林技師內務部農務課經濟部農務課同林務課勤務ヲ經テ昭和十二年八月地方技師ニ任シ青森縣勤務今日及ブ 妻青森市浦町大字橋本二八八 二二八九

**增 正五勳五 福島縣師範學校長**  
 山口縣竹之進長男明治十七年出生同四十四年東京高師卒業札幌一中和歌山師範各教諭和歌山縣立新宮同伊都各中學校長昭和十年熊本縣女子師範學校長ヲ經テ同十五年五月現職ニ就ク 妻道子(明治廿八、山口縣阿蘇半七郎二女厚狹高女卒)長男義一(大六、慶大卒)二男徹(大九、熊本中卒)三名福島市同校内

**增 從三勳二 航空研究所飛行機部**  
 東京府人三二ノ二男明治十四年八月出生同四十五年分家同廿七年東京帝國大學理學部物理學科卒業清國湖南省遊學豫備學校教習ヲ經テ同四十二年任陸軍技師航空機設計製造從事其間歐洲ニ差遣二回大正十四年現職ニ任ズ 妻洋子(明治十二、東京府士族明石竹作

**增 從五 理博 地方商工技師 愛**  
 妹(同東京市淀橋區西大久保一ノ三八七 四谷二〇五)

**增 正七 地方事務官 岩手縣學務**  
 岐阜縣人明治廿六年十一月二日出生昭和五年中央大學卒業同八年高文合格同五年商工省同九年山梨縣商工課同十二年山形縣商工課各勤務ヲ經テ同十三年任地方事務官現職ニ就ク 妻登山野球(妻と子(岐阜縣高山高女卒)三名盛岡市加賀野北井崎六四 一六五)

**增 從四勳五 樺太廳中央試驗所技**  
 東京府士族正一郎二男明治廿二年八月出生兄熊雄ノ養子トナル大正四年東北帝大農科農學科卒業樺太廳技師同農事試驗場技師同技師ヲ經テ昭和四年中央試驗所技師ニ任シ現時宇遠泊支所長タリ 妻父熊雄(明治四)養母サ(同十三)妻英(同卅四、北海道東海林長治孫)長男達雄(大十二)女啓子(同十一)二女正子(同十四)二男忠雄(同十五)三男剛雄(昭三)四名樺太廳原郡豐北村中央試驗所内

**增 從七 地方事務官 靜岡縣學務**  
 大阪府人明治卅三年十一月八日東京市ニ出生昭和三年關西大學專門部法科卒業同八年高文合格先是同三年社會局屬拜命同十三年一月厚生局ニ轉シ同年六月地方事務官ニ任シ現職ニ就任ス 妻國子(長男九嗣(昭九)二男尹嗣(同十一)長女文子(同八)三名靜岡市安東三丁目九號官舎三九八一

**增 從四勳四 京都市電氣局長**  
 舊版原藩士阿比留淳藏ノ二男明治廿年八月出生同藩士祝卷ノ養子トナリ大正十年家實ヲ相續ス同三年東京帝國大學法科獨法科卒業高文合格爾來通信事務官補通信副事務官兼地方海員審判所審判官航空局事務官通信事務官航空局書記官兼通信省參事官兼地方海員審判所審判官兼通信省書記官通信省書記官郵務局外國郵便課長札幌通信局長等歷任昭和十年六月退官現職ニ就任ス 妻通子(明治卅五年、島根縣中井濱夫婦)女澄子(大九)三名京都市左京區下鴨北園町一ノ一六 上一五〇〇

**增 正六勳六 土木事務官 名古屋**  
 鹿兒島縣人明治廿三年六月一日出生同四十四年成城學校中等科大正五年早大附屬早稻田工手學校土木科各卒業更ニ中央大學法科ニ學ビ同六年內務省土木局屬拜命道路課勤務同年任內務屬土木局勤務昭和四年土木事務官ニ任シ橫濱土木出張所勤務同九年神戸土木出張所勤務ヲ經テ現時名古屋土木出張所勤務タリ 名古屋市東區百人町九 東四九二〇

**增 正五勳四 朝鮮總督府江原道知**  
 京城府需昌洞出身明治十九年九月十五日出生同廿六年官立日語學校卒業外國語學校副教官官立高等小學校日語教授關稅局屬託總督府屬員同府道書記同府道理事官京畿道內務部勸業課長同產業課長同府道事務官咸鏡南道財務部長忠清南道內務部長京畿道參事官兼產業部長等歷任昭和十四年五月現職ニ就ク 妻朝鮮江原道春川郡春川邑丹陽町官舎七



ウの部

宇井 伯壽 從四勳三 文部 東京帝大教授  
愛知縣人明治四十二年東京帝大文科印度哲學  
科卒業曾洞宗大學慶應大學各講師ヲ經テ現職  
ニ就ク同東京市澁橋區諏訪町二三二圖牛込一  
二二六

宇賀田 順三 正五 九州帝大教授 法文學部  
茨城縣新次郎三男明治卅一年八月出生大正十  
二年東京帝大法科政治科卒業先是高文ニ合格  
文部省在外研究員被命渡獨留學ス現時九州帝  
大教授タリ同福岡市草ヶ江本町二ノ一五六〇  
圖西一七二八

宇川 濟 正四勳二功五 海軍中將 久通  
長野縣士族榮次郎二男明治十二年十二月出生  
昭和七年分家明治卅三年海軍兵學校卒業任海  
軍少尉昭和三年海軍中將ニ累進其間八雲榛名  
各艦長吳海軍鎮守府人事部長橫須賀鎮守府參  
謀長第一遣外艦隊司令官第五戰隊司令官海軍  
令部出仕等歷補同五年豫備役被仰付同十年  
別當ニ任ズ同運動會妻ル(明十九)嗣子  
毅(同四)女和子(同四四)同東京市本郷區駒  
込曙町三圖大塚六〇九八

宇川 春景 從五勳六 大藏書記官 大臣官  
福島縣久衛ノ男明治卅四年九月十八日出生大  
正十四年東京帝大法學部英法科卒業大藏省ニ  
入り果進大藏書記官中華民國各國各駐在昭和

十四年八月現職ニ就ク(國)妻美代子(明卅八  
前福岡市長久喜庸夫長女京都府立第一高女  
卒)長男秀幸(昭六)二男弘毅(同十一)同東京  
市麹町區九段四ノ八ノ五

宇喜多 景家 從七 地方事務官 兵庫縣總務  
兵庫縣人舊姓木下ト稱ス明治廿七年十一月廿  
五日出生大正八年關西大學專門部法律學科卒  
業同年大阪府屬拜命內務部會計課勤務同十年  
兵庫縣屬產業部農務課內務部農務課同社會課  
學務部社會課土木部河港課同庶務課經濟部農  
政課歷昭和十四年一月現職ニ任ズ同明石市  
大藏谷清水圖明石五一九(呼出)

宇佐川 秀 正七 地方事務官 三重縣經濟  
三重縣人明治廿七年五月廿四日出生大正十四  
年第一高校ヲ經テ昭和四年東京帝大農學部經  
濟科卒業神奈川縣立農林教諭拜命同八年高文  
行政科合格同九年任農林屬同十年任地方農林  
主事神奈川縣勤務同十四年任地方事務官三重  
縣農務課勤務ヲ經テ現職ニ就ク同津市下部田  
羽所町一〇三

宇佐美 珍彦 正五勳四 特命全權公使 エジ  
長野縣和太郎二男明治廿六年十一月廿七日出  
生大正七年東京帝大法科政治科卒業農商務省  
商工局ニ奉職次テ外務省ニ轉ジ爾來果進外務  
事務官條約局第一課勤務亞細亞局第一課勤務  
領事安東在勤外務書記官通商局第二課長總領  
事兼臺灣總督府事務官總領事奉天在勤等歷任  
昭和十二年四月大使館參事官兼總領事國  
際聯盟帝國事務局次長同十三年九月大使館參

事官獨國在勤ヲ經テ同十五年一月現職ニ任ズ  
(國)妻慶惠(明卅)長野縣宮下一雄三女同縣立  
飯田高女卒(嗣子)和彦(大九)二男嘉彦(昭二)  
三男高彦(同四)同在エジプト國日本大使館內  
(留守宅)東京市澁谷區榮町二ノ九

宇佐美 健一 正五勳六 醫學博士 名古屋帝大教  
授 愛知縣小八郎三男明治廿三年十一月出生同四  
十二年鶴三郎ノ養子トナル愛知醫專卒業名古屋  
屋帝大助教授ヲ經テ昭和十五年三月教授ニ任  
ズ大正十年學位ヲ受ケ妻ニ獨塊ニ留學ス(國)  
妻はな(明廿九)女郁子(大六)女禎子(同七)女  
勢矣(同九)女嘉那(同十三)同名古屋市東區葵  
町三四圖東一四五八

宇佐美 定治 職業主事 舞鶴職業紹介所長  
東京府士族明治卅三年一月一日出生大正十五  
年早大商學部卒業日清汽船株式會社ニ入社支  
那漢口支店勤務退社後任京都市書記伏見七條  
各職業紹介所勤務昭和十三年現職ニ就ク同京  
都府加佐郡舞鶴町同所內圖二

宇佐美 毅 從六 內務大臣秘書官兼內務事  
務官 大臣官房勤務  
山形縣勝夫三男明治卅六年十二月九日東京市  
ニ出生昭和三年東京帝大法學部政治學科卒業  
高文合格千葉縣屬爾來同縣社會課長地方事務  
官柗木縣商工課長地方課長兼庶務課長愛知  
縣社會課長同十二年六月地方課長兼庶務等歷任  
內務事務官神戶總務課長代理ヲ經テ同十五  
年一月現職ニ就ク(國)妻玉突將棋(國)妻美智子  
(大)香川縣久保隆三二女女子學智院卒(國)  
東京市芝區白金今里町八四圖高輪三〇三七











川縣屬ヲ經テ同十五年二月任地方事務官現職ニ就ク高知市丸ノ内縣公會八八九

上田 從四勳三 理博 京都帝大教授 德島縣人慶藏長男明治廿五年二月出生大正五年東京帝大理科星學科卒業臨時緯度觀測所技師京都帝大助教ヲ經テ現時教授タリ昭和四年學位ヲ受ケ次テ獨逸米各國ニ留學同九年南洋ニ出張ス(弓道)妻テルエ(明卅三、德島縣近藤三郎五女)男正康(大八) 國京都市左京區吉田本町一(二)上六一八七

上田 從七 務部社會課長 熊本縣學 熊本縣人政次ノ二男明治廿八年九月七日同縣玉名郡南關町ニ出生昭和五年家督ヲ相續ス同二年日本大學ヲ卒業同三年熊本縣立商業學校教諭兼會監ニ任ジ同九年熊本縣社會事業主事補ヲ經テ同十二年十月任社會事業主事同十三年七月現職ニ就ク(テニス)妻モル(明卅一、上林高女卒)長男裕(大十三) 一男亨(昭三)三男諒(同五)四男光(同八) 國熊本市出水町國府一七七三 熊本八七五

土田 從五勳六 地方技師 千葉縣經 愛知縣人明治廿四年十一月十四日出生大正六年京都帝大工科土木科卒業名古屋市技師同技師都市計畫地方委員會技師長崎縣勸業道路技師兼土木技師廣島縣兵庫縣ニ各勤務シ土木部道路課長兼軌道課長等歷任後奈良和歌山各縣土木課長ヲ經テ昭和十年現職ニ就ク 千葉市本千葉町五〇官舎 五七九

上地 從五勳六 宮崎縣女子師範學校 高知縣人治三郎二男明治廿二年十二月廿二日出生大正三年東京高師卒業和歌山師範長崎京都各師範教諭秋田女師範校長ヲ經テ昭和十二年現職ニ就ク(國語)妻シズ(高知縣古立氏女)嗣子義郎(大十三)長女聰子(同五、秋田高女專科卒)二女明子(同八)三女敏子(同九) 國宮崎市丸山町

上塚 弘 正六 福島縣書記官 學務部長 熊本縣人秀勝ノ長男明治廿七年二月廿八日出生大正十五年東京帝大法學部政治學科ヲ卒業北海道廳ニ奉職爾來地方警視千葉茨城各縣保安課長警視廳警視交通課長地方事務官廣島縣社會課長工場課長兼任地方課長庶務課長兼知事官房主事神奈川縣庶務課長兼秘書課長等ニ歷任昭和十三年官崎縣書記官學務部長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク(國語)妻シズ(立第三高女高等科卒)長男滿(昭七)長女由李(同九) 國福島市松木町六三官舎 八四六

上床 國夫 正五勳四 理博 東京帝大教授 鹿兒島縣土族國彦ノ長男明治廿七年十二月出生同卅七年家督相續大正十一年東京帝大理學部地質學科卒業大學院ニ入り同大學講師北海道帝大助教同教授歷任兼ニ歐米各國留學昭和六年理博トナル(國語)妻サニ(明卅六、鹿兒島縣折田一郎四女跡見女學卒)男珍彦(大十五)二女道子(昭四)三女美惠子(同十四) 國東京市牛込區南坂町五(牛込) 六八四〇

上瀧 關 正五勳五 通信技師 經理局 奈良縣浩ノ弟明治卅年六月九日出生大正十一年東京帝大工學部建築學科卒業通信技師拜命同十二年任通信技師經理局勤務トナル 國東京市澁谷區原宿二ノ二〇九 國青山五一六〇

上野 一晴 從四勳三 醫博 金澤醫大教授 熊本縣人一馬ノ六男明治廿六年三月出生大正十四年分家ス同七年東京帝大醫科卒業同大學助手ヲ經テ現職ニ就ク妻ニ同九年昭和七年歐米ニ出張大正十四年學位ヲ受ケ(スポーツ)寫眞(國語)妻順(明卅八、岡山縣守屋信子岡山高女卒)男賢一(昭二) 國金澤市山崎町五ノ一〇 四六三〇

上野 藥仁 從五勳六 農林技師 蠶絲局勸 長野縣人明治廿八年十二月十一日出生大正五年上田蠶絲專門學校卒業同校助手岐阜縣蠶絲業技師岐阜長野各縣蠶絲業技師地方農林技師官城縣蠶絲檢査所長ヲ經テ昭和七年農林技師ニ任ジ蠶絲局勤務今日ニ及ブ 國東京府北多摩郡三鷹村下連雀二一〇

上野 幸七 從六 貿易局事務官 總務課長 鳥根縣人明治卅九年十二月十五日出生昭和六年高文行政科合格翌年東京帝大法學部法律學科卒業同八年商工局兼保險事務官同十年商工事務官貿易局勤務同十二年貿易局事務官第一分部勤務翌年臨時物產調整局事務官兼商工事務官同年商工事務官臨時物產調整局事務官歷任現時前記ノ任ニ在リ 國東京市世田谷區代田一ノ四一九

上野 耕作 正五勳六 鐵道局技師 名古屋 兵庫縣茂三郎二男明治廿九年五月三日出生大正十一年東京帝大工學部機械科卒業同年四月鐵道省ニ入り鐵道局技師神戸鐵道局勤務同十四年任鐵道局技師米子濱町各運輸事務所運輸主任札幌鐵道局運輸課列車掛長大阪鐵道局運輸課機關車掛長等歷任昭和七年在外研究員被命歸朝後仙臺鐵道局福島運輸事務所長大阪鐵道局大阪運輸事務所長ヲ經テ同十三年現職ニ就ク(國語)妻美(明卅七、岡山縣岩崎瀧五郎二女)長女茂子(昭三) 國名古屋市中區大曾根町二一七 鐵道官舎 東二九八〇

上野 幸三 正六勳六 東京工業試驗所技師 新潟縣石黒寅次ノ三男明治廿九年一月十三日出生東京府士族學博士上野金太郎ノ養子トナル大正十年東京帝大理學部化學科卒業東京工業試驗所ニ入り技師ヲ經テ現職ニ就ク(國語)妻博子(明四十、養父金太郎四女山脇高女卒)嗣子昭一(昭四)長女澄子(同二) 國東京市麻布區宮村町四二 赤坂一九九三

上野 豐 正五勳四 理博 東京工大教授 三重縣人楠之助長男明治廿二年五月出生昭和三年家督相續明治四十年三重縣立工業卒業同四十五年任海軍技師爾來日本染料製造會社技師同技師化學研究所關東東北大理學部關東東京工大助教兼附屬工學專門部教授ヲ經テ昭和六年現職ニ任ズ昭和三年學位ヲ受ケ同四年歐米各國ニ留學ス(國語)妻文(明四十、靜岡縣三好寬美長女)女壽美子(大九、東京府立第三高女卒) 國東京市目黒區綠ヶ丘二三

七三國荏原五三〇三

上野 省三 正六勳六 通信局書記官 大阪 大正九年通信官吏練習所行政科卒業通信事務官豐原郵便局長通信局書記官仙臺通信局經理課長ヲ經テ昭和十四年八月現職ニ就ク(大阪)市住吉區昭和東町三ノ三二 國天王寺三〇三〇

上野 善治 從五勳五 地方統計主事 長崎 山形縣人明治十八年五月五日出生同四十二年山形縣屬ニ任ジ爾來同四十五年石川縣屬大正八年長崎縣屬歷任同十二年同縣統計主事ニ任ジ昭和二年統計課長ニ就任ス 國長崎市東小島町六二 一六〇一

上野 武雄 正六 朝鮮總督府道事務官 忠 福同縣人昭和三年九州帝大法文學部英法科卒業朝鮮總督府ニ入り累進同府道理事官咸鏡北道地方課長府稅務監督局事務官光州稅務監督局稅務部長ヲ經テ同十五年二月現職ニ就ク(忠清北道清州郡清州邑道廳警察部氣付)

上野 忠貞 從四勳四 臺灣總督府技師 營 山形縣人大正五年東京帝大林學科卒業臺灣總督府ニ入り殖產局山林課勤務昭和十四年現職ニ就ク(臺北)市千歲町二ノ一七

上野 民治 從六 厚生技師 勞働局監督課 千葉縣人明治卅二年二月十四日出生大正十二年早稻田大學理工學部機械科卒業新潟縣技師社會局技師昭和十年任社會局技師勞働部勤務工場監督官ヲ經テ同十三年厚生技師トナル

東京市目黒區中根町一七七九

上野 道輔 正四勳三 法博 東京帝大教授 東京府繁ノ弟明治廿一年一月出生同四十五年東京帝大法科經濟學科卒業大正二年英獨米各國留學歸朝後同大學助教同八年任教授同年學位ヲ受ケ(國語)妻和(明卅一、東京府士族宮本仲二女)長女康子(大十四) 國東京市中野區水川町二一 中野五二一四

上野 友則 正六 專賣局參事 金澤地方專 鹿兒島地方專賣局參事長ヲ經テ昭和十四年五月現職ニ就ク(國語)妻津市下楠木島町 九七〇

上野 直昭 從四勳三 京城帝大教授 法文 神奈川縣土族明治十五年十一月出生同四十四年東京帝大文科哲學科卒業大學院ニ入り同大學文科副手東京女子大教授東京高師學院各講師日本女子大教授歷任次テ京城帝大豫科講師大正十五年同教授ニ任ジ昭和七年九州帝大教授兼任兼ニ法文學部長タリ大正十三年獨逸希米各國ニ出張昭和四年歐米ニ出張セラル(國語)妻ひき(明廿六、田中元三郎三女東京音樂學校卒)長女マリ子(大七)二女アキ子(同十一) 國京城府東區東區光明門一九九一

上野 正秀 從五勳五 判事 東京民事裁判 岡山縣幸十郎長男明治廿三年四月十二日出生大正九年東京帝大法學部卒業司法官試驗補拜命同十一年現職ニ就ク(國語)妻長女素子(昭三) 國東京市本郷區駒込町三二七

上野 又男 從七 職業主事 一宮職業紹介



三重縣人明治卅一年三月十四日出生三重縣屬トナリ内務部農務課警察部健康保險課勤務同縣警部主任又同十一年大阪府屬尾尾健康保險課所徵收係長天滿河所給付係長警察部健康保險課監査係長等二歷任昭和十三年現職二就夕一宮市向山町二ノ五

上野 芳男 從四勳五 東京高校教授兼教諭岩手縣太田長男明治廿一年一月三日出生同四十四年東京高師本科英語部大正三年同校專攻科英語部各卒業同縣女子師範千葉縣立成東中學神奈川縣立第一演習中學受知縣立第一中學各教諭ヲ經テ同十一年任東京高校教授昭和二年英米獨各國ニ留學同四年歸朝ス

書 妻のぶ(明治廿七、靜岡縣秋山善平四女東京女高師卒)長男芳太郎(大六)長女チヨ(明四三)二女タヘ(大六)二男隆二(同八)三男修三(同十二)四男四郎(昭五)東京市世田谷區代田町一ノ六五二松澤三三〇

上野山實太郎 正六 鐵道局技師 廣島鐵道局工作部機械課長

東京府太夫長男明治卅六年出生昭和三年京都市大橋機科卒業鐵道省ニ入り東京鐵道局新橋電力事務所同川崎發電所ニ歷勤門司鐵道局小倉工場技師ヲ經テ現職ニ就ク

妻教子(明四一、陸軍中將山内靜夫二女)長女明子(大十三)二女芳子(昭五) 廣島市已斐町二ノ二八八官舎四四三

上羽 長書 從七 地方事務官 岩手縣學務部社會教育課長 青年教育官

京都府人明治卅五年九月四日出生大正十三年大阪府池田師範本科昭和二年關西大學專門部

文學科同五年日本大學法文學部國文學專攻科同十一年東京文理大學國史學科各卒業同年岩手縣女子師範教諭同十三年十二月社會教育主事岩手縣勸務同十四年十二月地方事務官ニ任ゼラル 盛岡市仁王第一地割一六七七日影門外小路

上原 秋三 從五勳五 逓信局書記官兼保險課長

鹿兒島縣士族稻倉長男明治卅一年十月六日出生昭和十年家督相續大正十二年東京帝大法學部獨法科卒業高文行政科合格同年內閣恩給局屬拜命昭和二年內閣恩給局書記官兼事務課長兼審査課長大藏事務官貯金局書記官等ヲ經テ昭和十三年六月現職ニ轉ス妻ニ支那及滿洲國ハ出張三回ニ及ブ

妻香葉國華柔道(母アイ(明五)妻衣子(同卅三、山梨縣青木幸作二女)嗣子安一郎(昭三) 東京市大森區南千束町一七〇 荏原六九〇三

上原 清夫 從五勳六 地方農林技師 德島縣經濟部農林課長兼農林取締所

長野縣人明治廿四年二月廿六日出生大正三年上田農林專門學校農林科卒業爾來長野縣農林取締所農林科卒業同縣農林學校教諭同縣農林技師手歷職大正十二年一月千葉縣產業技師昭和三年岐阜縣農林技師ヲ經テ同十二年十月現職ニ就ク

妻玉突(妻三重子(明卅三、三重縣桑名高女卒)男達郎(大四、京都帝大在)女信子(同七、岐阜高女卒)女總子(同十、同校卒)男健次(同十三)女千惠子(同十五)女和子(昭四) 德島市前川町字前川九五〇二六九〇

上原 孝夏 正五勳五 高知縣書記官 總務高知縣八藏ノ三男明治廿四年十月十日出生大正八年東京帝大法科獨法科卒業高文ニ合格任都計畫地方委員會書記兼內務局屬南地方署視察城縣保安課長地方事務官鳥取縣農務課長農商課長羽木縣農務課長兼農工課長等歷任昭和十二年七月長野縣書記官經濟部長同十四年四月三重縣書記官總務部長ヲ經テ同十五年四月現職ニ就ク妻ニ大正十五年上海方面ニ出張ス

妻馬場野球スキ一庭球ゴルフ 妻晴子(明卅五、高知縣中村惣太郎長女縣立第一高女卒)長男孝雄(大十三)長女壽美子(同十一)三女喜久子(昭四) 高知市中島町官舎四三二

上原 禮實 從三勳二 東京農林教育專門學校長

山梨縣種因ノ二男明治十八年一月一日出生大正八年分家ス明治四十二年東京帝大法科卒業爾來農商務省屬託文部屬文部省督學官同圖書官文部事務官實業事務局農林教育課長等歷任其間東京高師教授ヲ兼テ大正十年三重高等農林學校長ヲ經テ現職ニ就ク妻ニ歐米各國ヲ視察ス

妻馬場大弓(妻かよ(明卅一、愛知縣澤田富次郎三女)長女美和子(大十三)二女茂子(昭六) 男美彦(同十一) 東京市澁谷區代々木宮ヶ谷町一三九六 澁谷二二三五

上原 禮三郎 正四勳三 北海道帝大教授 農廣島縣人來助ノ三男明治十六年八月出生同四十五年東北帝大農科卒業大正三年同大學助教ヲ經テ同七年現職ニ任テ昭和九年同大學附

屬圖書館長ヲ兼任ス妻ニ大正十三年英伊獨米各國ニ留學セリ

妻(明廿八、北海道長屋平太郎長女) 札幌市南十八條西八丁目五九九四七二〇

上原 六郎 從六勳六 東京市市民局長

東京府喜六ノ長男明治廿七年十一月卅日札幌市ニ生ル大正九年日大法科卒業內務屬帝都復興院事務官復興局事務官次テ東京市ニ轉ジ財務局監査課長同主計課長ヲ歷任後市理事東京市養育院長東京市收入役ヲ經テ現職ニ就ク

妻旅行(妻壽子(明卅三、福島縣士族角秀壽三女府立第二高女卒)長男信一郎(大十一)二男雄一(同十四)長女光子(昭二)二女由紀子(同三) 東京市淀橋區下落合一ノ四七六ノ一 落合長崎二六五五

上平 正治 東京市主事 總務局企畫課長

奈良縣豐吉ノ四男明治卅五年一月卅一日同縣吉野郡ニ出生大正十五年東京帝大法學部卒業東京市ニ入り土木局文書係長社會局庶務係長保險局庶務課長監査局庶務課長東京市民動員部軍事課課長等ヲ經テ現職ニ就ク

妻都子(明四一、兵庫縣長澤實二郎二女山脇高女卒)長女夏子(昭六) 東京市杉並區天沼二ノ三六六 萩窪四四五二

上 實一 從五勳六 農林省小作官 農務

滋賀縣人明治卅二年五月廿二日出生大正十三年東京帝大農學部農學科卒業農林技師農林省小作官補地方小作官兵庫山梨各縣勸務ヲ經テ昭和九年現職ニ任テ

東京市大森區田圃調布二ノ八二八 田圃調布二一六

上村 勝爾 從三勳二 功五 林博 盛岡高等石川縣士族渡次郎長男陸軍中將友兄ノ兄明治九年九月出生同卅六年家督相續同卅四年東京帝大農科林學科卒業更ニ大學院ニ學ビ奈良縣立農林學校教諭在任中日露戰爭ニ從軍同卅九年現職ニ任テ昭和六年同校長ニ就任妻ニ大正三年歐米各國ニ留學同十五年學位ヲ受ク

妻トシ(明十八、長崎縣野中兼一妹) 男秀勝(大二) 男武(同六) 四男正(同十三) 盛岡市上田小路一七三 四二六

上山 從五 和歌山縣書記官 學務部

兵庫縣人明治卅七年八月十九日出生大正十五年高文行政科合格昭和二年東京帝大法學部政治科卒業任內務屬昭和三年地方事務官ニ任テ靜岡縣工場課長都計畫課長商工課長兼水產課長石川縣地方課長福岡縣商工課長京都府建築工場課長等歷任昭和十三年警視廳事務官保安部工場課長ヲ經テ同十四年九月現職ニ就ク

妻スキ一乘馬(妻領子(大三、鹿兒島縣大島直治長女) 和歌山市關戸高松坪 和歌山一九二九

上山 禮一 從四勳四 判事 五條區裁判所

山口縣千就二男明治十三年九月出生同四十四年分家同四十年京都帝大法科法律科卒業司法官試補拜命同四十二年任判事爾來京都區同地方庭路區奈良地方庭路區奈良區各區各裁判所判事豐岡區裁判所監督兼神戶地方同支部々長岸和田區兼大阪地方各裁判所判事等ニ歷補現職ニ就ク

妻テイ(明卅一、奈良縣片岡

一男妹) 男幸男(昭六) 養子ミツエ(大五) 長女和子(昭三) 二女笑子(昭八) 奈良縣宇智郡五條町四九一

榎本 庚子郎 從五勳六 大藏書記官 主計局

新潟縣人大正十四年東京帝大法科法律科卒業大藏省ニ入り累進大藏事務官主計局勸務次ヲ昭和十二年五月大藏書記官主計局勸務課長ヲ經テ同十四年五月現職ニ就ク

東京市小石川區丸山町五 大塚一〇一五

榎本 孝之助 從五勳六 兵庫縣立柏原中學校

兵庫縣人芳造長男明治十八年十二月八日水上郡新井村ニ出生同四十四年東京高師英語科卒業奈良師範柏原伊都各中學教諭歷職昭和四年現職ニ就ク

妻竹野(明卅一、兵庫縣植木泰治二女柏原高女卒) 嗣子俊彦(大六) 二男芳郎(同八) 二女美知子(同十二) 三女千代子(同十四) 三男(昭二) 兵庫縣水上郡柏原町

榎本 壽雄 從四勳三 東京市電氣局長

鳥取縣人藤一郎ノ長男明治廿二年九月出生同四十五年中央大學法科卒業內閣法制局參事官復興局演習所長北海道廳土木部長等歷任次ヲ關東軍法制顧問最高顧問昭和十二年四月之辭同十四年六月現職ニ就ク

妻長明(文藝) 妻澤子(明廿六) 東京市品川區五反田六ノ一九一 大崎一六六六

榎本 秀幹 從四勳三 農博 水原高等農林

學校教授兼生徒主事試驗場技師

府技師兼同府林業試驗場技師

愛媛縣士族秀村ノ二男明治十五年七月出生同十六年家督相續同卅七年東京帝大農科林學實



科卒業米國ハーバート大學ニ學ビ昭和三年學位ヲ受ク明治廿七年宮城縣立農學校教諭拜命後韓國政府ニ聘セラレ林業技師農林學校教授兼林業技師ヲ經テ現職ニ就ク

(明廿一)愛媛縣加藤良三(女)男秀樹(同四三)男正秀(大二)男行秀(同四)男秀秀(同四七)長女千枝子(同十四)五男博秀(昭四)同朝鮮水原高等農林學校官舎三

植田 謙之助 從六 地方商工主事 茨城縣東茨城縣福地昇吉二男明治十八年九月廿六日同縣那珂郡神崎村ニ出生植田敏行ノ養子トナリ大正元年家督相續明治四十年東京青山學院卒業岐阜縣加茂郡書記命爾來茨城農會書記同縣產業課同社會課商工水産課各首席同縣物産紹介所長等ヲ經テ現職ニ就ク

球 妻惠津(明廿、伊代之助長女水戸高女卒)長男政一(大三、水戸農學校卒)二女稻子(同五、水戸大成高女卒)三女みどり(同七、世田谷高女卒)一男仁(同九)養子謙(同十)四男孝(同十二)五男英(昭二)同東京市世田谷區羽根木町一七九三

植田 謙一 從七勳七 地方事務官 京都府京都府人 大正五年京都高等實業學校卒業同府ニ勤務何處郡書記同府屬内務部地方課勤務同庶務課長ヲ經テ昭和十三年八月地方事務官ニ任セラレ同京都府左京區吉田近衛町官舎同上七九〇一

植田 武彦 正五勳六 農林事務官兼農林書寫官 置林局紐育海外生絲市場兩縣覺太郎 長男明治卅三年四月九日出生大

正十三年東京帝大法科政治科卒業農林省ニ入リ同十四年任農林事務官昭和七年生絲検査所事務官横濱生絲検査所庶務部長同十二年置林局置林課長ヲ經テ同年四月現職ニ就任ス

植田 登山 紐育海外生糸市場調査事務所内務課長 正七 厚生事務官 社會局勤務 大阪府人 明治四十二年四月十一日出生昭和五年大阪府立第一高等學校畢業東京帝大法學部法律學科各卒業内務局警務課兵庫縣屬知事官房文書課長地方警務課秋田縣保安課長兼工場課長警務課長地方事務官山口縣農務地方各課長等歷任同十四年五月現職ニ就ク

植田 北澤町一ノ一二三五

植田 健明 從四勳三 判事 大審院判事 奈良縣三折ノ二男明治十三年三月出生同廿八年京都帝大法科獨法科卒業司法官試補拜命同四十年任判事爾來橫濱地方東京區同地方名古屋地方同區大阪區各裁判所判事大阪控訴院判事神戸地方裁判所部長大阪控訴院部長等ニ歷補昭和七年現職ニ就ク

植田 健一 從四勳四 拓務省殖産局長 市立大阪高女卒)同東京市世田谷區太子堂一〇八〇世田谷四五九五

植田 健三 從四勳四 拓務省殖産局長 大阪府郡正光ノ男明治廿七年一月廿二日出生植田平ノ養子トナル大正十年京都帝大經濟學部卒業翌十一年高文合格秋田縣平鹿郡長同縣農林課長同庶務課長同知事官房主事長崎兵庫各縣事務官社會課長兼官房主事兼太田農林課長等歷任昭和八年拓務省官殖産局農林課長

同十一年兼任拓務大臣秘書官官房秘書課長兼殖産局農林課長ヲ經テ同十二年現職ニ就ク

植田 健球 從六 警務課長 大阪府立梅田高女卒)長男靖(昭六)長女昭子(同三)同東京市豊島區要町二ノ一〇大塚一四九〇

植田 茂雄 從七勳七 警視廳警視 世田谷山梨縣淺井兵衛二男明治廿六年六月十五日同縣北巨摩郡清春村ニ出生大正五年山梨縣巡查拜命昭和五年任警部補屋橋南千住四谷各署歷勤監察官附日暮里署長ヲ經テ昭和十四年二月任警視現職ニ就ク

植田 乘馬 妻セシ(明卅三、茨城縣白井榮太郎三女)長男厚(大十)二男茂(同十三)三男猛(昭九)同東京市世田谷區若林町一八三官舎三八八〇

植田 安 正四勳三 臺北帝大教授 文政學部勤務 愛知縣人 右經ノ五男明治十八年八月出生同四十四年東京帝大文科國文科卒業明倫中學校教諭大正三年東京帝大助教兼附屬圖書館司書官ヲ經テ臺北帝大講師ニ轉ジ昭和五年同大學教授ニ任ズ大正十年英佛獨米各國ニ留學ス

植田 謙二 長男一郎(同四四)二男茂(大三)三男經彦(同七)同臺北市錦町一六四四〇三〇

植田 甲午郎 從四勳三 企畫院次長 東京府士族澄三郎長男同泰二ノ兄明治廿七年三月出生大正七年東京帝大法科卒業農工商事務官兼書記官資源局事務官總務部調查課長同庶務課長資源局事務官兼特許局事務官資源局總務部長等歷任昭和十二年十月企畫院新設調査

部長產業部長兼任同十四年四月同第四部長ヲ經テ同十五年一月現職ニ就ク

妻淑(明卅三、男爵富井周妹御茶ノ水高女卒)嗣子泰忠(大十)長女弘(同十二)二女敏子(同十四)三女和子(昭三)二男泰久(同五)同東京市澁谷區千駄ヶ谷三ノ四九六青山六一三七

植村 正五勳四 理博 東京工業大學大阪府士族俊平ノ長男明治廿六年七月廿六日出生大正十年東京帝大理學部卒業大學院ニ學ビ同十三年東京高工教授拜命昭和五年東京工大助教任之同十四年五月教授トナル同六年學位ヲ受ケ妻ニ佛米各國ニ留學ス

植村 治長 女九段精華高女卒)嗣子政(昭三)長女照子(大十五)二女マリ子(昭六)同東京市麹町區一番町二〇ノ一〇九段二四六七

植村 恒三郎 從三勳二 林博 九州帝大教授 舊會津藩士平太郎弟明治十五年二月出生大正五年分家明治卅九年東京帝大農科林學科卒業大學院ニ學ビ盛岡高等農林教授同生徒監ヲ經テ同十四年獨逸ニ留學大正九年學位ヲ受ケ同十一年現職ニ任ズ妻ニ農學部附屬演習林長農學部長ヲ任ズ

妻テ(明廿三、本田靜六長女)長男敏彦(同四三)男誠次(大四)男秀三(同七)四男恒義(同十)同福岡市六本松上ノ町一六四西二六九七

植田 三郎 正六 水産講習所教授 東京府人 明治卅一年五月六日東京市麻布區新堀町ニ出生大正十四年東京帝大農學部卒業

後水産講習所ニ入り現ニ水産講習所教授トシ

妻梅外ニ二男一女アリ同東京市麹町區永田町二ノ二七

植田 朝治 正五勳四 鐵道技師 電氣局電兵庫縣幸次郎長男明治廿四年八月十六日出生大正七年京都帝大工科電氣工學科卒業鐵道院ニ入り同九年鐵道局技師拜命同十一年任同技師神戸鐵道局電氣課電力掛長同通信掛長東京鐵道局電氣課通信掛長東京第一第二各改良事務所勤務同局電氣課勤務等歷職昭和二年在外研究員被命歐米出張同四年歸朝上野電力事務所長仙臺鐵道局電氣課長心得同課通信掛長兼務門司鐵道局勤務新橋東京各電力事務所長電氣局通信課長ヲ經テ同十三年現職ニ就任ス

植田 國基 將棋國基 妻クニ(明卅一、兵庫縣在田繁松長女縣立高女卒)同東京市淀橋區淀橋七二二〇淀橋三五五

植田 健 從四勳五 熊本醫大學主事 熊本縣士族賀衛長男明治十九年七月出生大正六年家督相續明治四十四年東京帝大文科獨逸文學科卒業大正三年私立熊本醫專講師同教授熊本醫專教授ヲ歷任昭和四年現職ニ任ズ

植田 國基 寫真國基 妻ヨシ(明廿七、熊本縣大森幸三郎二女同縣立第一高女卒)長女斐(大六)二女禎(同十)三女民(同十三)四女迪(昭六)同熊本縣飽託郡清水村津浦二八三一

植田 茂太郎 防府市長 香川縣芳平長男明治十六年一月出生大正二年家督相續明治四十三年東京帝大法科政治學科

卒業東京鐵道會社ニ勤務次ニ東京市吏員同市主事大正十二年下關市助役歷職昭和二年下關市長ニ推サレ同六年退職後現職ニ舉ゲラル

植田 香西 爲吉 妹高松市立實科高女卒)長男茂男(大三、東京帝大法學部卒)長女茂子(昭三)二女美子(昭四)同防府市三田尻六三〇

植田 秀彦 正五勳二 功五 海軍少將 海軍艦政本部第七部長 熊本縣士族眞郷ノ四男明治廿二年七月出生同四十二年海軍兵學校卒業任少尉昭和十一年十二月少將ニ果進其間妙高艦長海軍潜水學校長等歷補ス

植田 國基 登山 妻教子(昭卅二)長男基信(大六)女和子(同九)女眞美子(同十三)二男達啓(昭二)同東京市世田谷區玉川奧澤一ノ四八三同田調布三七六三

植田 敬次郎 正五勳三 陸軍少將 東京陸軍幼年學校長 福岡縣人 明治廿年出生陸軍士官學校第廿二期卒業任陸軍歩兵少尉陸軍大學卒業陸軍少將ニ累進昭和十五年三月現職ニ補セラル

植田 光輔 東京市本所區主事 庶務課長 東京府人 明治廿七年六月廿日出生鎮西中學ヲ經テ早大商科肄業東京市ニ入り昭和八年本所區保健土木課長同十一年社會課長同十三年教育課長ヲ經テ同十四年六月現職ニ就ク

植田 正五勳五 典獄 長崎刑務所長 富山縣記林二男明治十七年一月出生同廿九年